臼田町埋蔵文化財調査報告書第4集

臼田町遺跡詳細分布調査報告書

昭和63年6月

長野県南佐久郡臼田町教育委員会

序

臼田町教育委員会

教育長　　三石　晴夫

このたび国宝、重要文化財等保存整備費国庫補助事業により、昭和61年から63年にわたり、町内遺跡詳細分布調査を行なった。東西25,8キロメートル、南北5,3キロメートルに総面積83,41平方キロメートルの全町にわたり、関係地権者の皆様の文化財に対する深いご理解とご協力をいただき現地調査を行なった。

この調査の中で、環境の変化により保存状態が良くなく、消滅し去ったものなどについては整理統合した結果、総数で194件となった。このうち新しく発見されたものは87件の多数にのぼり、貴重なものが多い。

遺跡の中には、片貝川流域の小田切方面に新しい発見が多かった。また雨川・谷川流域に縄文と平安時代の重なった遺跡が数多く発見され、古代からこの千曲川流域の佐久平が、いかに豊かな生活環境を備えていたかを知る一助となった。

田口地区、雨川の北岸にある古墳群には、新海神社等の所有地が多いことなど、歴史上からも、今後の解明が待たれるところである。

このたび発見された岩水の舟久保古墳は、佐久町の曽原、北沢地籍と共に、佐久地方の古墳のほぼ南限であることが確認されたことは、学術的にも意義深いものがある。

このほか城跡では、従来、入沢の十二山は、これまで、前方後円墳ではないかと伝えられていたが、このほどの調査で、城跡であることが確認された。戦国時代武田勢の佐久進攻のおり、この地方では、比較的大きな城である入沢城を本城とする、磯部城、赤谷の水石城と共に十二山城が出城としての役割りを果したのではないかと思われる。

また町内の遺跡から、すでに出土したものに、際立った特色のある貴重品が多いので、今後地域をあげて、壮大な千曲川水系佐久平の光り輝く人類のいとなみの足跡である先人の文化遺産として大切に保存し、後世に守り伝えてゆきたいものである。

終りに、本遺跡分布調査にあたり関係土地所有者の皆様、資料の提供・現地への案内をして下さった地域の方々並びに、町文化財調査委員、佐久考古学会員の諸先生方には、現地調査あるいは、試掘調査及び本調査報告書編集にあたり、資料の整理、位地図の作製、土地台帳の照合など多大なご指導と、ご協力を戴きました。特に南佐久郡誌編纂委員島田恵子氏には、献身的なご協力を戴いたことを申し添え併せて厚く感謝申し上げる。

昭和63年（1988）5月

例　　言

1．本書は、昭和61年・62年・63年度の３年次にわたり文化財保護事業として実施した「臼田町遺跡詳細分布調査」の報告書である。

2．本調査は、昭和61年11月１日～63年６月25日まで、第１次・第２次・第３次の３年間にわたって実施した。

3．本調査は、国庫補助事業で行なわれた。

4．調査に関する事務局・調査団の構成は下記の通りである。

事務局

	教育長	三石　晴夫
	総務教育課長	丸山　正俊
（61年度）	社会教育係長	土屋　雅城
	社会教育係	浅川　博

	教育長	三石　晴夫		教育長	三石　晴夫
	総務教育課長	三石　学		総務教育課長	土屋　学
（62年度）	社会教育係長	土屋　雅城	（63年度）	社会教育係長	市川　昭治
	社会教育係	日向　浩		社会教育係	日向　浩

調査団

団長	三石　延雄	（長野県考古学会員・臼田町文化財副委員長）
副団長	篠原　太郎	（臼田町文化財委員長）
調査員	井出　正義、佐藤　敏、吉沢　靖、島田　恵子（以上長野県考古学会員）	
協力者	臼田　哲、北村　太平、佐藤　保、桜井　功、鷲見　渡、大工原　徹 丸山　好雄、三石　行雄（以上臼田町文化財調査委員63、3、31現在）	
地元協力者	井出　竜蔵、宇井　照治郎、新津　三郎、日向　領治、日向　長雄、 日向　賢一、小林　清澄、伴野　慎一郎、小林　秀人、小林　耕助、 小林袈裟雄、　沖浦　悦夫（南佐久郡誌刊行会編纂委員長）	

5．本書作成の作業分担は下記の者が行なった。

カード作成・遺跡一覧表……井出正義　　地図作成……佐藤敏、吉沢靖、島田恵子

地番調べ……三石延雄、島田恵子、吉沢靖　　写真撮影……島田恵子

表面採集遺物の整理……三石延雄、佐藤敏、島田恵子、文化センター館長北原佐久生

6．遺跡番号は、佐久市の境から臼田、切原、田口、青沼の地区順に附した。

7．使用した地図は、臼田町基本図（$\frac{1}{2,500}$・$\frac{1}{10,000}$）を使用した。

8．本書の編集は島田恵子が行ない、三石延雄団長が校閲・監修した。

目　　次

序 ……臼田町教育長　三石　晴夫
例　言
目　次
1　原田遺跡 …… 1
2　蛇塚遺跡 …… 3
3　美里在家遺跡 …… 4
4　滝ノ沢遺跡 …… 6
5　荒谷遺跡 …… 7
6　七曲り下遺跡 …… 9
7　平遺跡 ……10
8　寺久保遺跡 ……12
9　下ノ城遺跡 ……14
10　台ケ坂遺跡 ……15
11　反田遺跡 ……16
12　城下遺跡 ……17
13　横山遺跡 ……19
14　城山遺跡 ……20
15　小山崎遺跡 ……21
16　小山遺跡 ……23
17　丸山遺跡 ……24
18　勝間原遺跡 ……25
19　栗ノ木遺跡 ……26
20　日影遺跡 ……27
21　見次遺跡 ……29
22　家浦遺跡 ……30
23　滝遺跡 ……31
24　和田遺跡 ……32
25　北側遺跡 ……34
26　中島遺跡 ……35
27　向城遺跡 ……36
28　上滝遺跡 ……38
29　児玉・大平遺跡 ……40
30　ジンジロ遺跡 ……42
31　山の神遺跡 ……44
32　梨子久保遺跡 ……45
33　五里久保遺跡 ……46
34　法城日向遺跡 ……48
35　居久保遺跡 ……49
36　細久保遺跡 ……51
37　北川勝間遺跡 ……52
38　千曲台団地遺跡 ……54
39　広沢遺跡 ……55
40　田島久保遺跡 ……56
41　城影遺跡 ……58
42　札場吉原遺跡 ……60
43　南久保・居村遺跡 ……61
44　前久保遺跡 ……62
45　広久保・桃の久保遺跡 ……64
46　馬騎遺跡 ……65
47　家浦遺跡 ……67
48　堂裏遺跡 ……69
49　大門地遺跡 ……70
50　岩下洞窟遺跡 ……71
51　日向遺跡 ……73
52　岩下遺跡 ……74
53　十二新田寺久保遺跡 ……75
54　樋口遺跡 ……76
55　大近遺跡 ……78
56　梨子木遺跡 ……79
57　転石遺跡 ……80
58　金ケ崎遺跡 ……81

59 観音平遺跡 ……83
60 葭ケ久保遺跡 ……84
61 町屋形遺跡 ……85
62 坂さ帰り遺跡 ……87
63 大岩穴洞窟遺跡 ……88
64 大平入口遺跡 ……89
65 大曲遺跡 ……91
66 離山遺跡 ……93
67 中反田遺跡 ……95
68 大奈良遺跡 ……96
69 原遺跡 ……98
70 山崎遺跡 ……100
71 脇白山遺跡 ……101
72 芝添遺跡 ……103
73 清川遺跡 ……104
74 はかせ久保遺跡 ……105
75 金原遺跡 ……106
76 清川入遺跡 ……107
77 吉沢堤下遺跡 ……109
78 明法寺遺跡 ……110
79 割塚遺跡 ……112
80 五庵遺跡 ……113
81 神原・道場遺跡 ……114
82 英田地畑遺跡 ……116
83 宮東遺跡 ……118
84 大工原遺跡 ……119
85 山口遺跡 ……120
86 明躰遺跡 ……122
87 日向大工原遺跡 ……124
88 芦内岩陰遺跡 ……125
89 芦内遺跡 ……126
90 丸山下遺跡 ……128
91 丸山上遺跡 ……130
92 影丸山遺跡 ……132
93 程久保遺跡 ……133
94 栗平遺跡 ……135
95 大からさわ遺跡 ……136
96 広川原遺跡 ……138
97 西塚田遺跡 ……140
98 田中遺跡 ……142
99 戸井口遺跡 ……143
100 井上遺跡 ……144
101 遍照寺遺跡 ……145
102 荒巻遺跡 ……146
103 小山沢遺跡 ……148
104 三分遺跡 ……149
105 山際遺跡 ……151
106 和田前遺跡 ……153
107 権現通遺跡 ……154
108 五霊西・湯殿入遺跡 ……156
109 下海戸・山の前遺跡 ……157
110 月通沢・水石遺跡 ……159
111 西墓地堂遺跡 ……161
112 東墓地堂遺跡 ……163
113 萩の入遺跡 ……164
114 一つ石岩陰遺跡 ……165
115 滝日陰遺跡 ……167
116 大岩の滝岩陰遺跡 ……168
117 赤谷遺跡 ……169
118 堂平遺跡 ……171
119 臼窪遺跡 ……172
120 藤原遺跡 ……173
121 馬寄・六角堂遺跡 ……174
122 月夜平遺跡 ……175
123 吉祥寺遺跡 ……177
124 野呂沢遺跡 ……178
125 観正田遺跡 ……179
126 南裏遺跡 ……181

127 東荒谷遺跡 …… 182
128 十日町遺跡 …… 184
129 唐松Ａ遺跡 …… 185
130 唐松Ｂ遺跡 …… 187
131 境塚古墳 …… 188
132 蛇塚古墳 …… 189
133 滝ノ沢古墳 …… 190
134 滝ノ沢経塚 …… 191
135 離山１号古墳 …… 192
136 離山２号古墳 …… 193
137 離山３号古墳 …… 194
138 清川入古墳 …… 195
139 山崎古墳 …… 196
140 幸神１号古墳 …… 197
141 幸神２号古墳 …… 198
142 幸神３号古墳 …… 199
143 幸神４号古墳 …… 200
144 幸神５号古墳 …… 201
145 幸神６号古墳 …… 202
146 外九間１号古墳 …… 203
147 外九間２号古墳 …… 204
148 外九間３号古墳 …… 205
149 中原１号古墳 …… 206
150 中原２号古墳 …… 207
151 中原３号古墳 …… 208
152 割塚古墳 …… 209
153 明法寺古墳 …… 210
154 五庵古墳 …… 211
155 英田地畑古墳 …… 212
156 新海神社西御陵古墳 …… 213
157 新海神社中御陵古墳 …… 214
158 新海神社東御陵古墳 …… 215
159 上宮代１号古墳 …… 216
160 上宮代２号古墳 …… 217
161 山際１号古墳 …… 218
162 山際２号古墳 …… 219
163 山際３号古墳 …… 220
164 月夜平４号古墳 …… 221
165 権現通５号古墳 …… 222
166 権現通６号古墳 …… 223
167 権現通７号古墳 …… 224
168 五霊西８号古墳 …… 225
169 五霊西９号古墳 …… 226
170 五霊西10号古墳 …… 227
171 五霊西11号古墳 …… 228
172 五霊西12号古墳 …… 229
173 湯殿入13号古墳 …… 230
174 天神平14号古墳 …… 231
175 天神平15号古墳 …… 232
176 天神平16号古墳 …… 233
177 天神平17号古墳 …… 234
178 一万窪18号古墳 …… 235
179 西の窪19号古墳 …… 236
180 舟久保20号古墳 …… 237
181 医王寺城跡 …… 238
182 稲荷山城跡 …… 239
183 湯原城跡 …… 241
184 向城跡 …… 243
185 上小田切城跡 …… 244
186 雁峰城跡 …… 245
187 田口城跡 …… 246
188 龍岡城跡 …… 248
189 岩崎砦 …… 249
190 磯部城跡 …… 251
191 十二山城跡 …… 253
192 入沢城跡 …… 254
193 水石城跡 …… 256
194 上ノ城跡 …… 257

遺　跡　位　置　図

1．原田遺跡・131、境塚古墳 …… 2

2．蛇塚遺跡・3．美里在家遺跡・132、蛇塚古墳 …… 5

4．滝の沢遺跡・5．荒谷遺跡 …… 8

7．平遺跡 ……11

6．七曲り下遺跡・8．寺久保遺跡・9．下ノ城遺跡・10．台ケ坂遺跡・181・医王寺城跡 13

11．反田遺跡・12．城下遺跡・13．横山遺跡 ……18

14．稲荷山下遺跡・15．小山崎遺跡・16．小山遺跡・17．丸山遺跡・18．勝間原遺跡 …22

20．日影遺跡・21．見次遺跡・22．家浦遺跡・23．滝遺跡・39．広沢遺跡 ……28

24．和田遺跡・25．北側遺跡・26．中島遺跡 ……33

27．向城遺跡・184．向城跡 …… 37

28．上滝遺跡・133．滝ノ沢古墳・134．滝ノ沢経塚・194．上ノ城跡 ……39

29．児玉・大平遺跡・31．山の神遺跡・32．梨子久保遺跡 ……41

30．ジンジロ遺跡 ……43

33．五里久保遺跡・34．法城日向遺跡 ……47

35．居久保遺跡・36．細久保遺跡 ……50

19．栗ノ木遺跡・37．北川勝間遺跡・38．千曲台団地遺跡 ……53

40．田島久保遺跡 ……57

41．城影遺跡・42．札場吉原遺跡・43．南久保・居村遺跡・186．雁峰城跡 ……59

44．前久保遺跡・45．広久保・桃の久保遺跡 ……63

46．馬騎遺跡 ……66

47．家浦遺跡・48．堂裏遺跡・49．大門地遺跡・185．上小田切城跡 ……68

50．岩下洞窟遺跡・51．日向遺跡・52．岩下遺跡・53．十二新田寺久保遺跡 ……72

54．樋口遺跡・55、大近遺跡・56．梨子木遺跡・57．転石遺跡 ……77

58．金ケ崎遺跡・59．観音平遺跡・60．葭ケ久保遺跡 ……82

61．町屋形遺跡・62．坂さ帰り遺跡・63．大岩穴洞窟遺跡 ……86

64．大平入口遺跡 ……90

65．大曲遺跡 ……92

66．離山遺跡・67．中反田遺跡・135．離山1号古墳・136．離山2号古墳・137．離山3号古墳 ……94

68．大奈良遺跡 ……97

69．原遺跡・70．山崎遺跡・139．山崎古墳・140．幸神1号古墳・141．幸神2号古墳 ……99

142..幸神３号古墳・143.幸神４号古墳・144.幸神５号古墳・145.幸神６号古墳 ……99
146..外九間１号古墳・147.外九間２号古墳・148.外九間３号古墳・149.中原１号古墳 …99
150..中原２号古墳・151.中原３号古墳 ……99
71. 脇白山遺跡・72. 芝添遺跡・73. 清川遺跡・74. はかせ久保遺跡・75. 金原遺跡 ……102
76. 清川入遺跡・77. 吉沢堤下遺跡・138. 清川入古墳・88. 芦内岩陰遺跡 ……108
78. 明法寺遺跡・79. 割塚遺跡・80. 五庵遺跡・152. 割塚古墳・153. 明法寺古墳 ……111
154..五庵古墳 ……111
81. 神原・道場遺跡・188. 龍岡城跡 ……115
82. 英田地畑遺跡・83. 宮東遺跡・84. 大工原遺跡・156. 新海神社西御陵古墳 ……117
157..新海神社中御陵古墳・158. 新海神社東御陵古墳・159. 上宮代１号古墳 ……117
160..上宮代２号古墳 ……117
85. 山口遺跡 ……121
86. 明躰遺跡・87. 日向大工原遺跡 ……123
89. 芦内遺跡 ……127
90. 丸山下遺跡 ……129
91. 丸山上遺跡・92. 影丸山遺跡 ……131
93. 程久保遺跡・94. 栗平遺跡 ……134
95. 大から沢遺跡 ……137
96. 広川原遺跡 ……139
97. 西塚田遺跡・98. 田中遺跡・99. 戸井口遺跡・100. 井上遺跡・101. 遍照寺遺跡 ……141
102. 荒巻遺跡・103. 小山沢遺跡 ……147
104. 三分遺跡 ……150
105. 山際遺跡・106. 和田前遺跡・161. 山際１号古墳・162. 山際２号古墳 ……152
163. 山際３号古墳 ……152
107. 権現通遺跡・108. 五霊西・湯殿入遺跡・164. 月夜平４号古墳・165. 権現通５号 ……155
古墳・166. 権現通６号古墳・167. 権現通７号古墳・168. 五霊西８号古墳 ……155
169. 五霊西９号古墳・170. 五霊西10号古墳・171. 五霊西11号古墳・172. 五霊西12号古墳…155
173. 湯殿入13号古墳・174. 天神平14号古墳・175. 天神平15号古墳・176. 天神平16号古墳…155
177. 天神平17号古墳・178. 一万窪18号古墳・ …… 155
109. 下海戸・山の前遺跡・120. 藤原遺跡・121. 馬寄・六角堂遺跡 ……158
178. 一万窪18号古墳・179. 西の窪19号古墳 …… 158
110. 月通沢・水石遺跡 …… 160
111. 西墓地堂遺跡・112. 東墓地堂遺跡・113. 荻の入遺跡・193. 水石城跡 …… 162

114．一つ石岩陰遺跡・115．滝日陰遺跡・116．大岩の滝岩陰遺跡 ……166
117．赤谷遺跡・118．堂平遺跡・119．臼窪遺跡 ……170
122．月夜平遺跡・123．吉祥寺遺跡・124．野呂沢遺跡 ……176
125．観正田遺跡・126．南裏遺跡 ……180
127．東荒谷遺跡・128．十日町遺跡 ……183
129．唐松Ａ遺跡・130．唐松Ｂ遺跡・180．舟久保20号古墳……186
182．稲荷山城跡 ……240
183．湯原城跡 ……242
187．田口城跡 ……247
189．岩崎砦 ……250
190．磯部城跡 ……252
191．十二山城跡・192．入沢城跡 ……255

付　　表

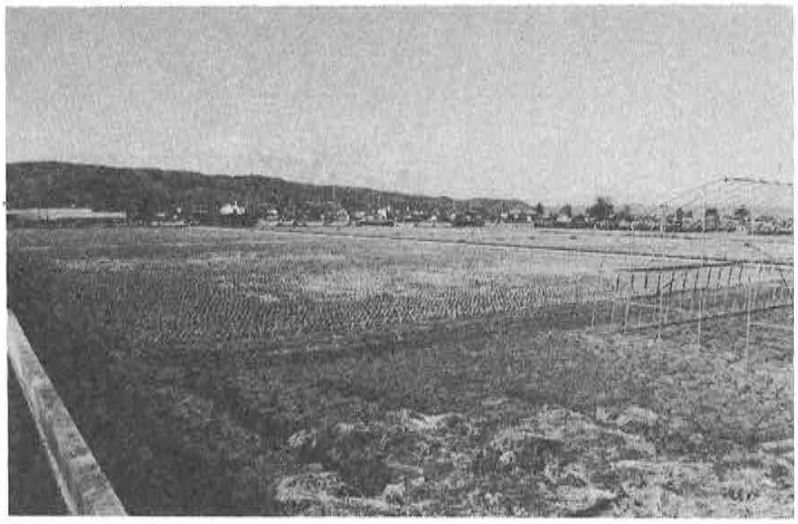
臼田町埋蔵文化財遺跡一覧表
臼田町遺跡分布図
編年表

遺跡番号	1	遺跡名	原　田	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	臼　田
地　目	水　田	面　積	20,000㎡	時　代	古墳・平安	調査年月日	61年11月22日

所在地・土地所有者	字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
	原　田	1132	三石　辰男			
		1133-1	平林　貞雄			
		1133-2	平林　揚興			
		1134	平林　　隆			
		1135	平林利三郎			
		1136	平林利三郎			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（古～平）土師器

位置地形環境	臼田町の北方、野沢町との中間、千曲川左岸の水田地帯の中央部に位置し、東は高柳に北は鍛治屋地籍に接する。南端には堂川分水の水路が東西に通じている。



佐久市
1 原田遺跡
原田
新屋敷
金山
法印塚
白田
(美里)
入在家
蛇塚遺跡
131 境塚古墳
善阿弥
0
100m
200m

遺跡番号	2	遺跡名	蛇塚	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑、宅地	面積	40,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者

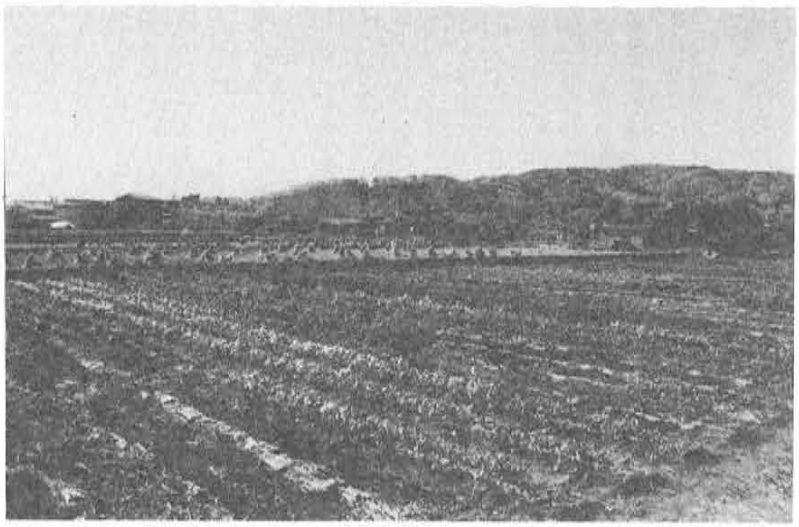
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
法印塚	1014-1～4	田島　松夫			
	1017	桜井　惣吉			
	1019-1～2	山下　耐一			
	1031-3	桜井　元一			
	1105	本多　　広			
源吾庭	1128-1～2	山下　多内			

遺物

採集遺物	（古～平）土師器
既出遺物	（縄）打製石斧（弥）太形蛤刃石斧

位置地形環境

千曲川左岸の平地に立地する。臼田高等学校の北端から北へ約350mの間、西は国道141号線を西限として東へ約150mの巾をもって遺跡の範囲とする。遺跡地内に蛇塚古墳、法印塚が包含される。旧称法印塚遺跡と蛇塚遺跡は連続しているので、一体のものとして、蛇塚遺跡とする。



遺跡番号	3	遺跡名	美里在家	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	住宅地 水田・畑	面積	30,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月14日

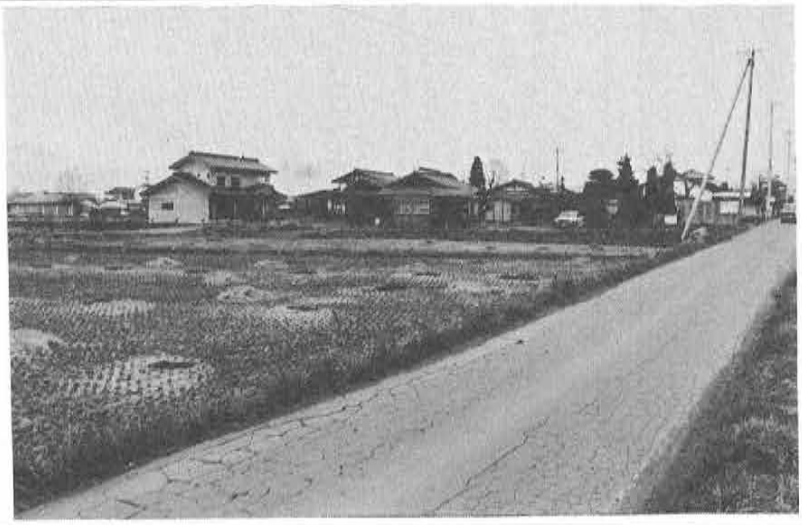
所在地・土地所有者

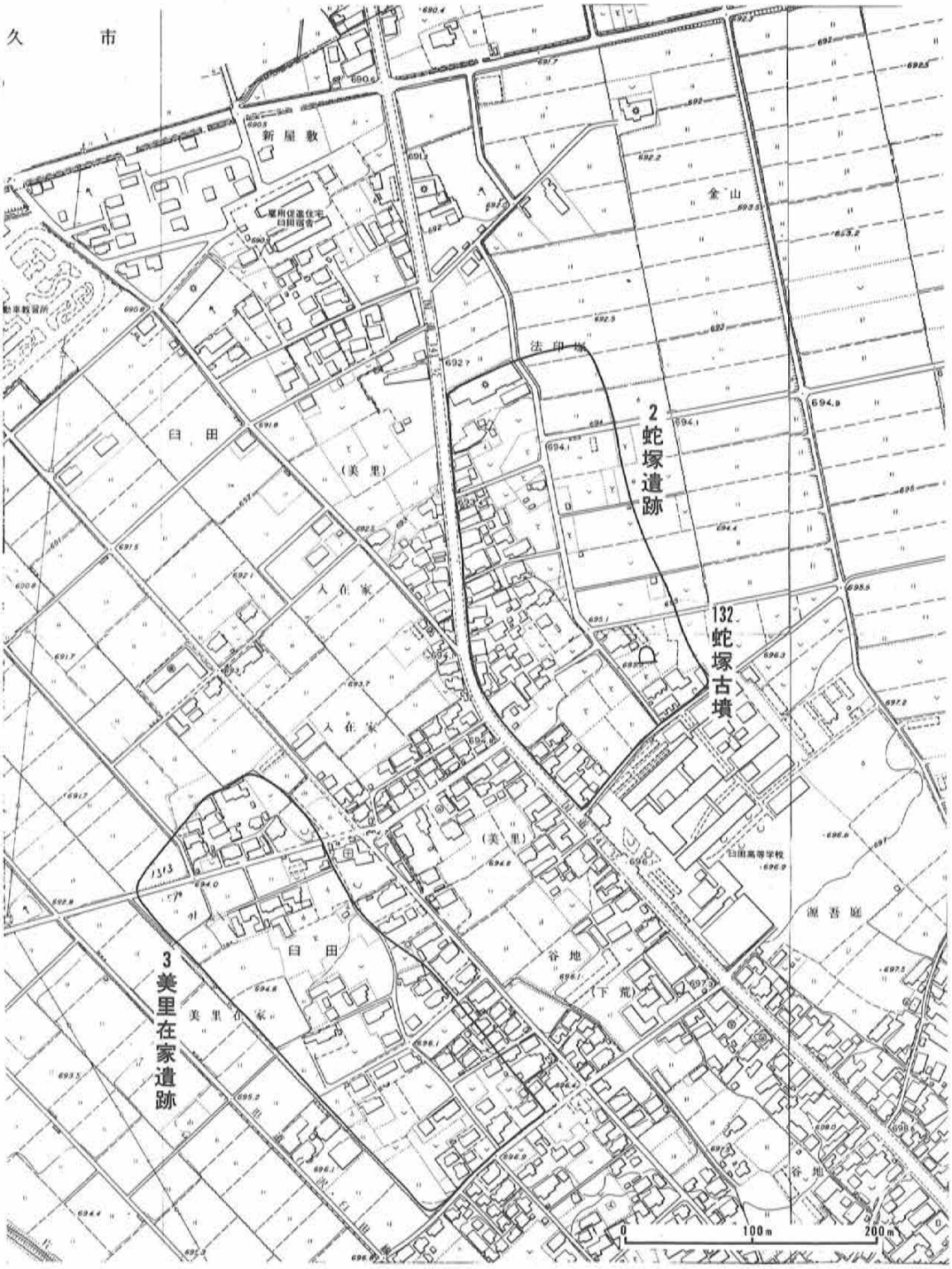
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
美里在家	1570	江原　和夫	美里在家	1652～3	田島　泰
	1571	江原　和夫			
	1622	相沢　信五			
	1631	小林　勝			
	1649-1	松永周一郎			
	1659	木内　常雄			
	1670-2	山下　法雄			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄・中期) 加曽利E式土器、石鏃、打製石斧、凹石(弥・中期) 栗林式土器(古～平) 土師器、須恵器

位置地形環境

臼田町市街地の北端、国道141号線と片貝川の中間の平坦な微高地に立地するが、現在はほとんど全面が住宅街となっている。南端は臼田高等学校正門前の道路から北は佳里保育園前までとし、東は道路、西は低い段丘端をもって限界とする。




久市
新屋敷
金山
法印塚
2 蛇塚遺跡
132 蛇塚古墳
臼田
(美里)
入在家
入在家
(美里)
臼田
谷地
(下荒)
谷地
源吾屋
臼田高等学校
3 美里在家遺跡
美里在家
0
100m
200m

遺跡番号	4	遺跡名	滝の沢	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	5,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月10日

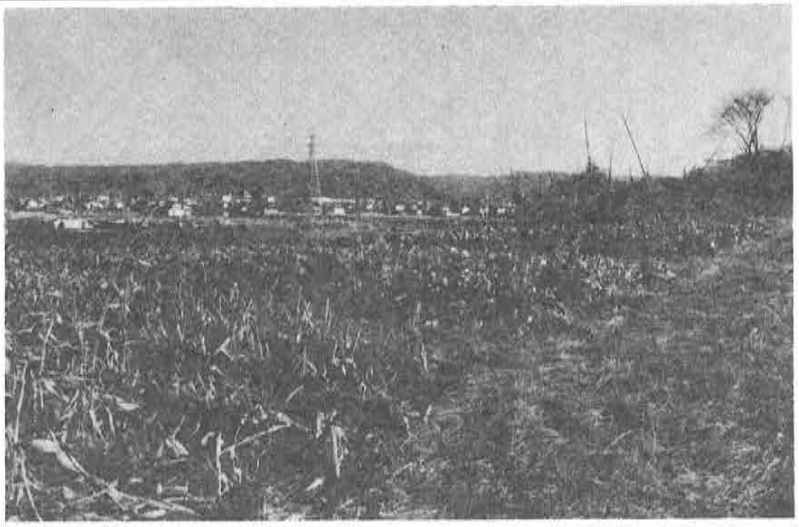
所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
水沼	1450-1	林　三郎			
	1479	桜井　脩一			
	1480	青柳　孝亮			
	1482-1	浅沼　勇治			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器2 (高台付、内黒)、灰釉1
	既出遺物	

位置 地形 環境

臼田町美里在家から片貝川を渡って約200m、滝の沢の出口で大沢方面に通じる道路をはさんで、畑地の中に分布する。片貝川左岸の小さな山麓台地に立地する遺跡で、その北西端は、佐久市大沢地区との境界となっている。遺跡内道路の西側に安井建設の機材置場ができている。

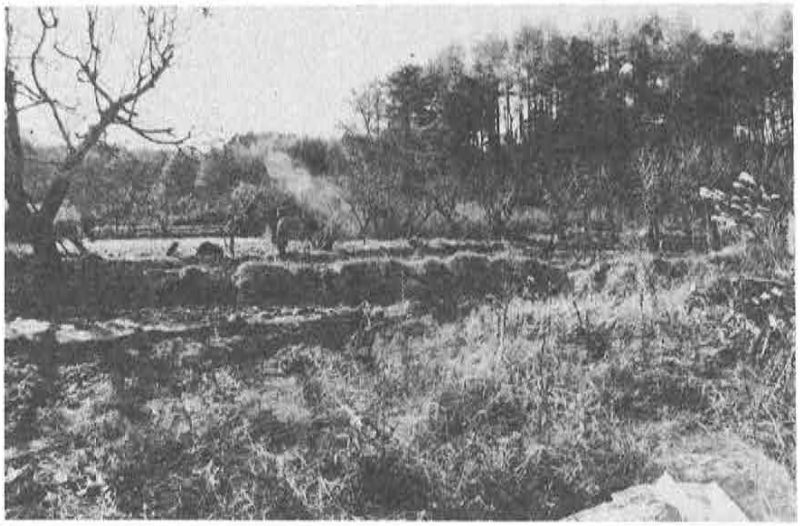


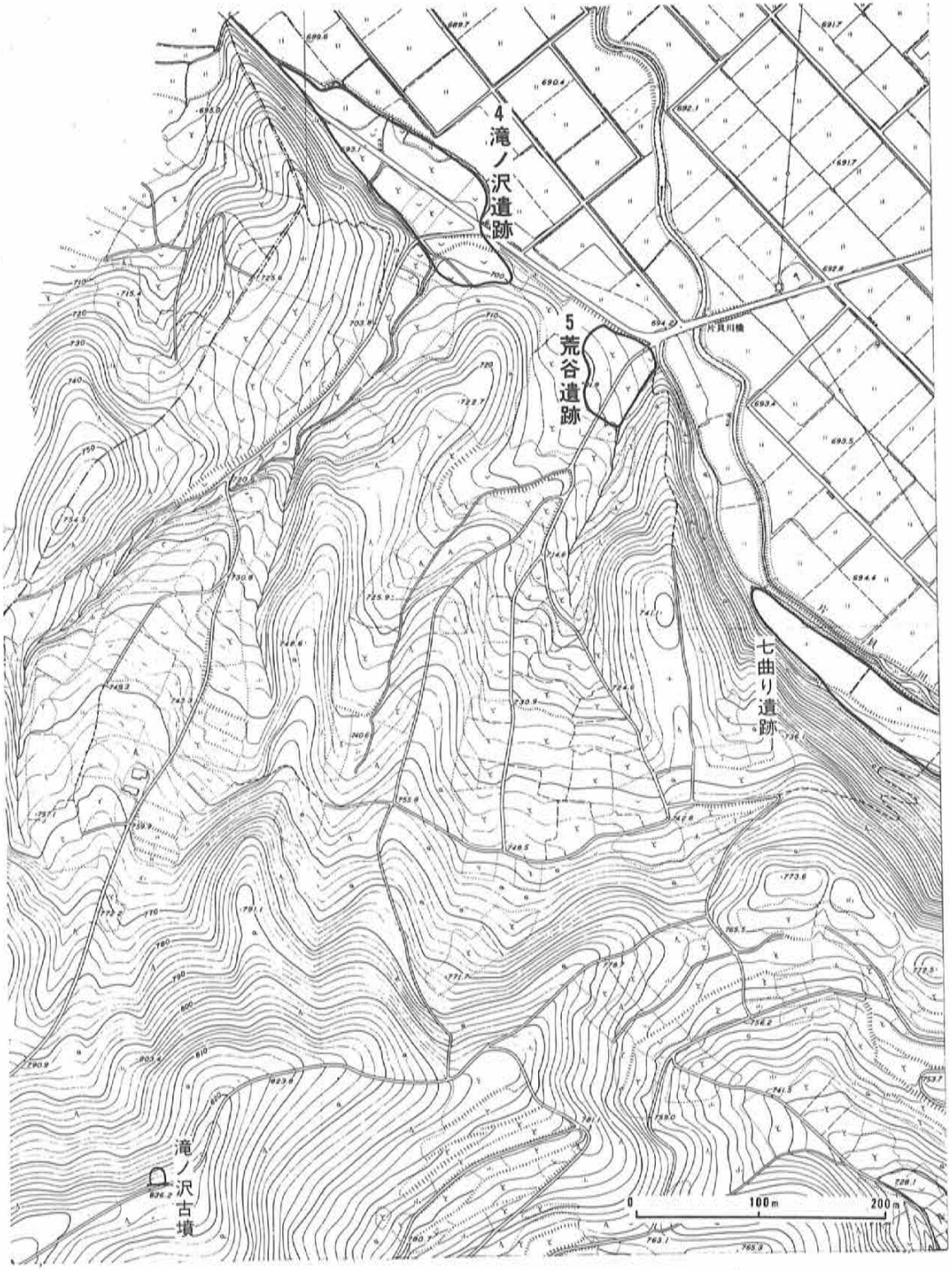
遺跡番号	5	遺跡名	荒谷	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	3,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	荒谷	3729	田島清九郎			
		3730	桜井　美宏			
		3758	北村　信一			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器3
	既出遺物	(縄) 打製石斧

位置地形環境	
	美里在家から大沢に通じる道路が片貝川を渡って約50m、滝の沢南側の浅い沢の出口小段丘上の斜面に立地する。入口に食堂「新玄」ができ、開発が進もうとしている。




4 滝ノ沢遺跡
5 荒谷遺跡
七曲り遺跡
滝ノ沢古墳
0
100m
200m

遺跡番号	6	遺跡名	七曲り下	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑・水田	面積	5,000㎡	時代	弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	加護石	1913	井出照四郎			
		1917	植木　求			

遺物		
	採集遺物	(弥・後期) 箱清水式土器2　(古～平) 土師器8
	既出遺物	

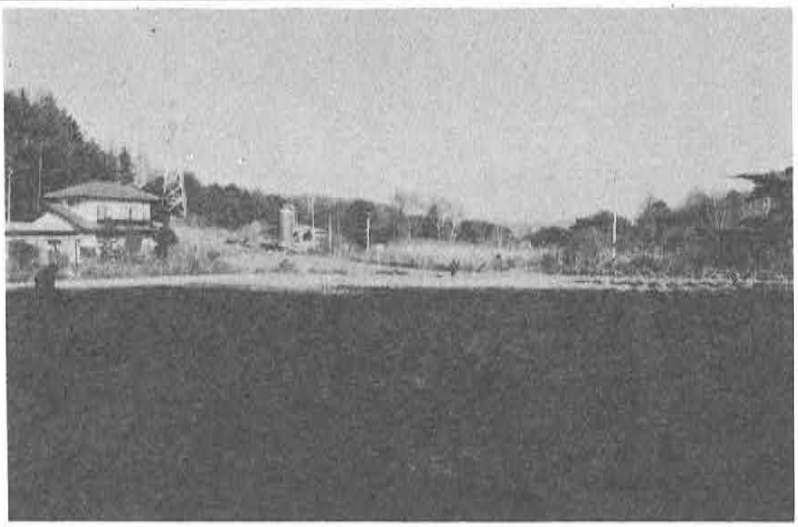
位置地形環境	
	医王寺の北方に隣接し、片貝川左岸と臼田山の山麓の狭くて細長い緩傾斜面に立地する。片貝川にかかる七曲橋を中心にして南北に約200m、巾約30mの範囲に分布する。北半部は水田となっている。

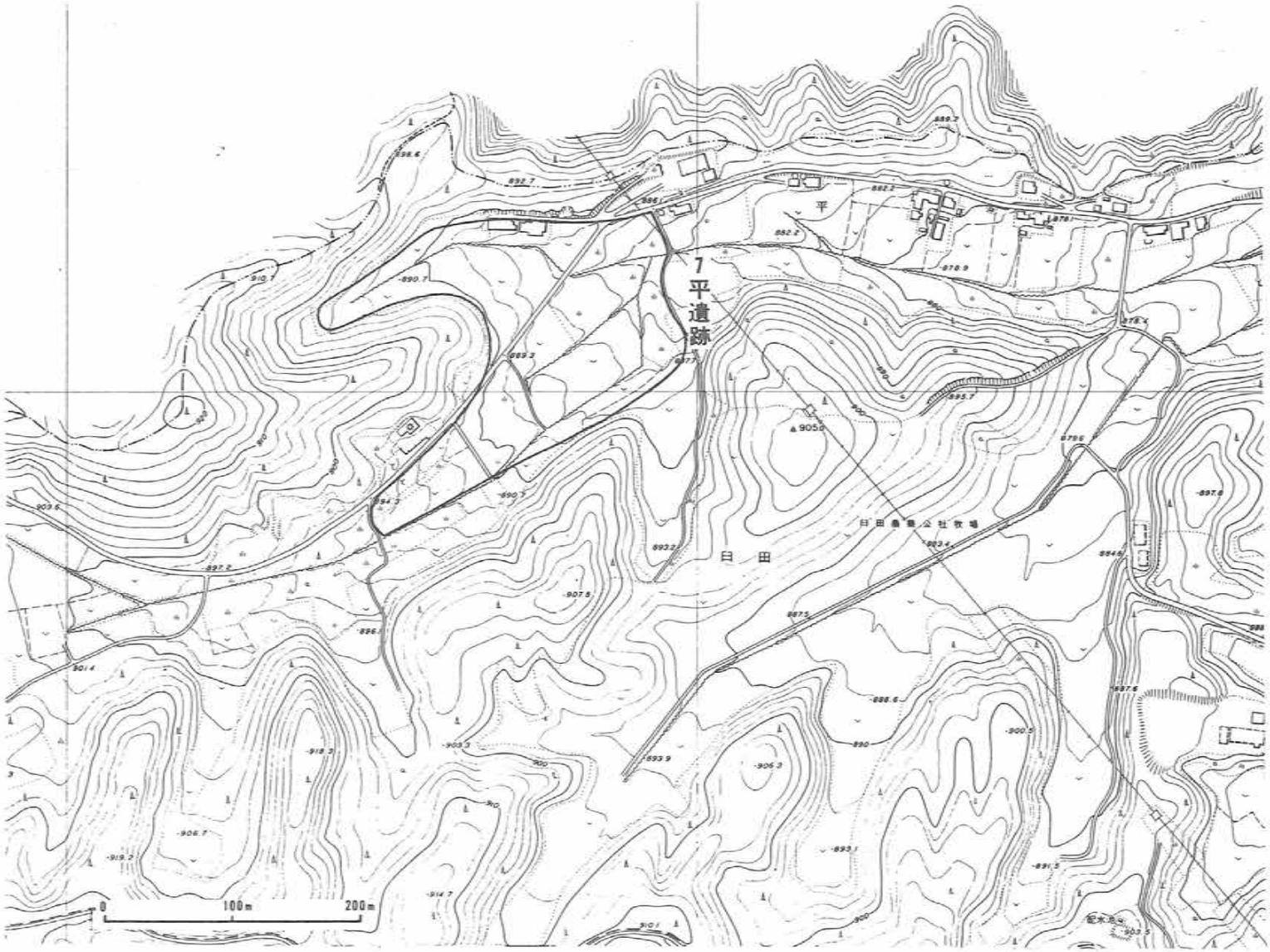
遺跡番号	7	遺跡名	平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑・畜舎	面積	10,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	平	3100	佐々木源治			
		3101	佐々木源治			
		3102	嶋崎　逸夫			
		3104	嶋崎　逸夫			
		3111	臼田町			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄) 石鏃、黒曜石片 (平) 土師器、須恵器　　(井出竜蔵氏所蔵)

位置 地形 環境	
	臼田町の西方約3㎞、臼田山奥の高原状平地に立地する。平集落の西端の道路に沿った畑地で、標高905mの独立丘の北西約100m付近を中心とする範囲に分布する。 遺跡内の東北部分に畜舎がある。遺跡の西方約100m付近で町営運動場の建設工事が進行している。



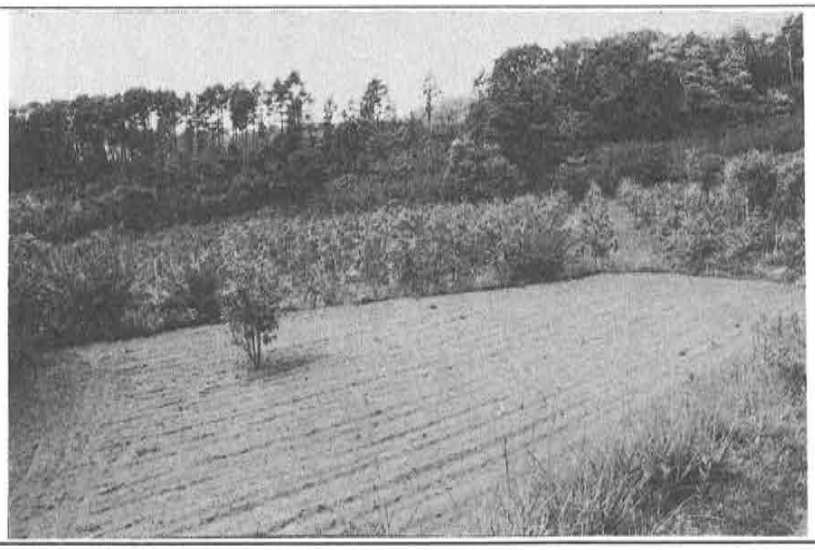

7
平遺跡
平
日田
▲905.0
0
100m
200m

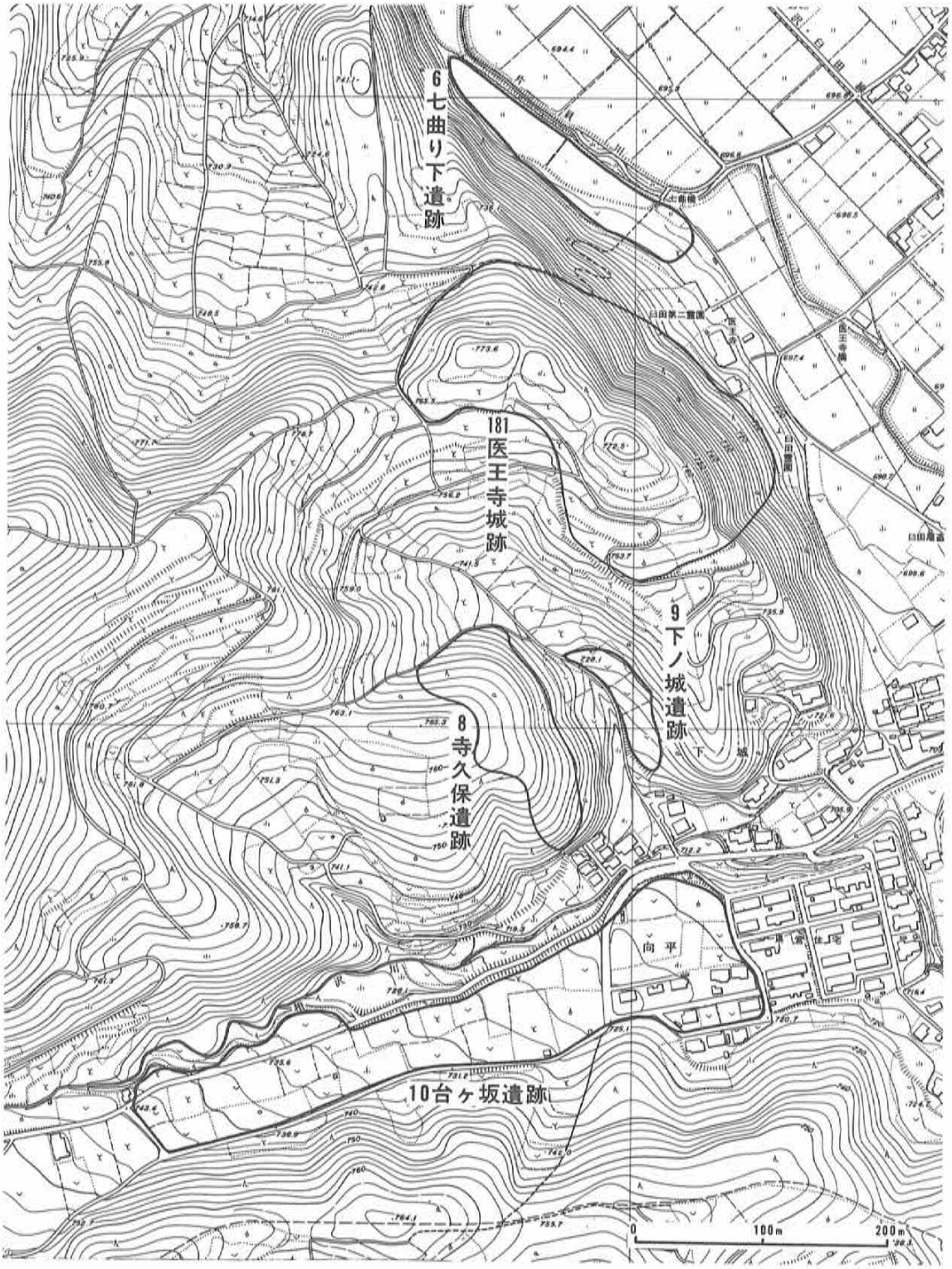
遺跡番号	8	遺跡名	寺久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	7,000㎡	時代	縄文・古墳	調査年月日	61年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	庚申	3509	井出 朝子			
		3510	高沢 孝幸			
		3520	相沢 健児			
		3521	相沢 健児			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄・中期）勝坂式土器、石鏃 （古）須恵器

位置地形環境	
	臼田町片貝川西方、医王寺背後の尾根上の南面する緩傾斜面に立地する遺跡である。東南下方には下の城遺跡があり、西方尾根上約600ｍには滝の沢古墳、滝の沢経塚がある。南方の谷間には台が坂遺跡がある。ここは山間の傾斜地であるが、かつて古い集落が存在したという伝承をもっている。現在はリンゴ園が多い。



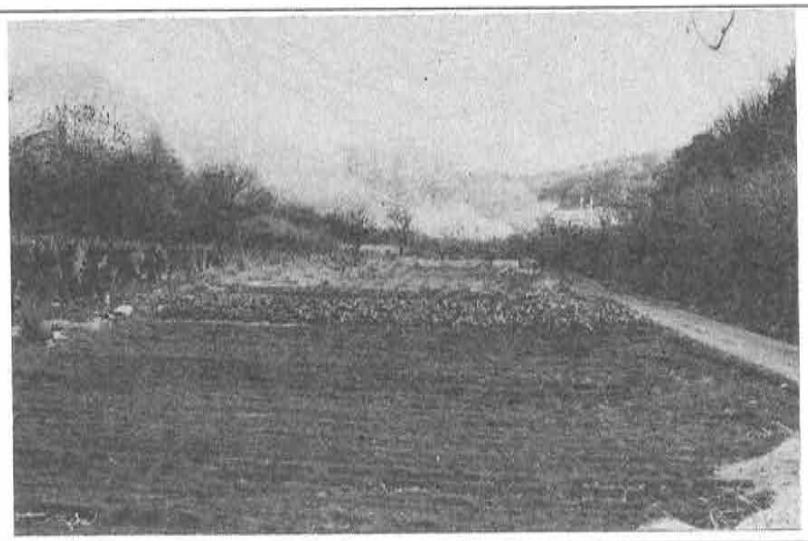

6七曲り下遺跡
181医王寺城跡
8寺久保遺跡
9下ノ城遺跡
10台ヶ坂遺跡
白田第二幼園
医王寺
白田橋
白田幼園
下城
向平
0
100m
200m

遺跡番号	9	遺跡名	下の城	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	2,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	寺久保	3546	井出　俊一			
		3547	今井竹次郎			
		3549	井出　貞夫			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	（縄）打製石斧（弥・後期）箱清水式土器

位置地形環境	
	臼田町の西方医王寺山頂の下の城跡の西方の山麓にそって、南西面する斜面に立地する遺跡である。旭ケ丘団地に下る道から東側の畑地を遺跡範囲とする。

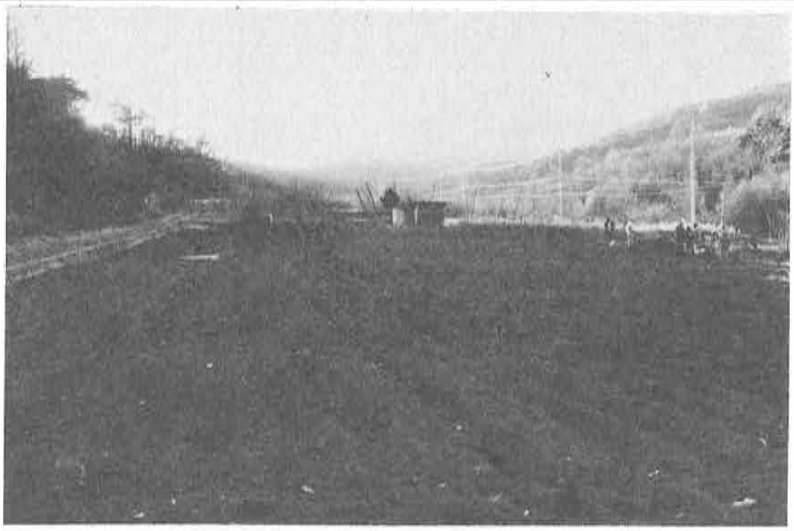


遺跡番号	10	遺跡名	台が坂	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑・住宅地	面積	30,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	向平	2532	市川 隆夫			
	台ケ坂	2536	小林稲之助			
		2541	井出 元			
		2549	勝俣 茂			
		2556	桜井 克二			
		2558	井出 長平			

遺物		
	採集遺物	(縄) 打製石斧・黒曜石 (古～平) 土師器
	既出遺物	

位置地形環境	臼田町中心街の西方約700m、片貝川左岸の段丘上を西方、平方面に向かって入る沢の入口部分から約800mにわたり、右岸にそって約50m巾で連続する山麓段丘面に立地する。遺跡の東端は旭ケ丘団地の住宅地を包含している。平に通じる道路を北限とする。



遺跡番号	11	遺跡名	反田	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	市街地 住宅地	面積	30,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者

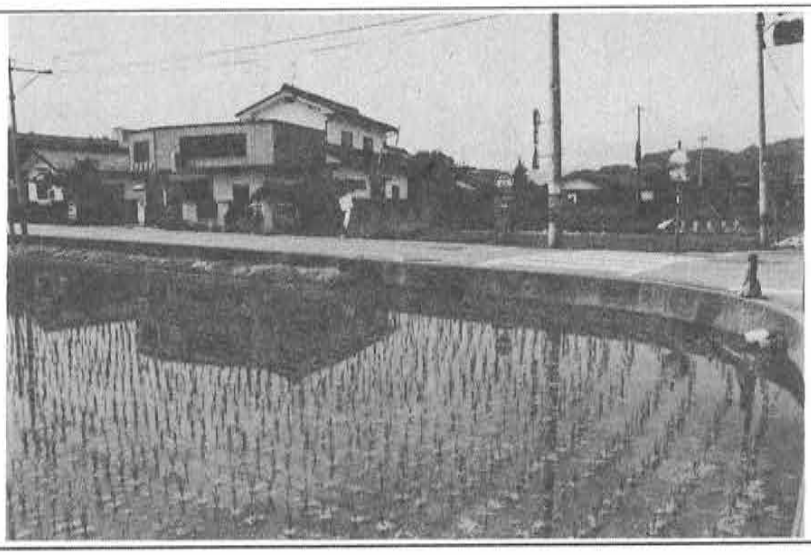
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
反田	2161	中島 四郎			
	2170-1	井出 亮			
	2175-2	井出 欣一			
	2195-2	井出 邦夫			
	2230-1	井出 修一			
	2231-5	井出 寅雄			
	2237-2	井出 忠夫			

遺物

採集遺物	
既出遺物	(縄) 石鏃、凹石

位置 地形 環境

臼田町市街地の中心部、国道141号線から西は佐久病院看護学校裏の道路まで、南は佐久病院入口道路、北は臼田小学校入口道路からそれぞれ西にみとおした線とする。東西に長い長方形の区域であるが、西方片貝川に面した地域もほとんど住宅地化している。



遺跡番号	12	遺跡名	城下	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	市街地	面積	30,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者

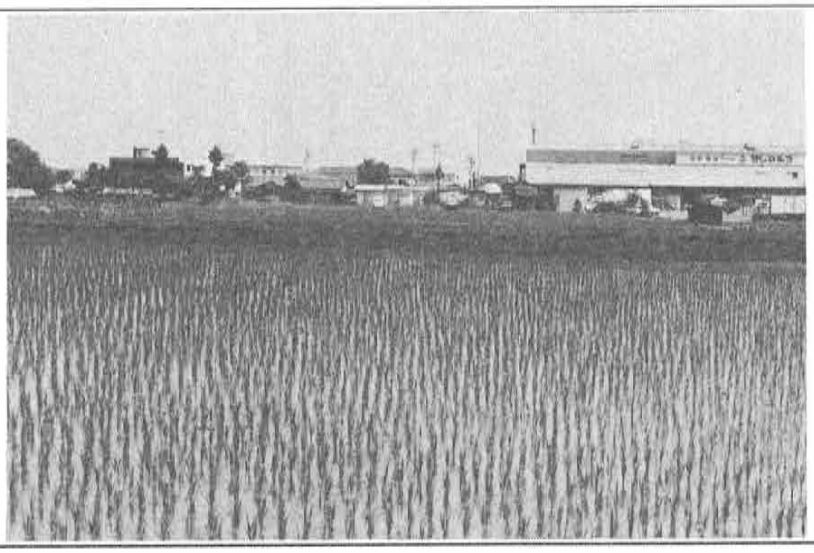
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
城山	5	上田蚕種協同組合			
城下	48-1	菊原 文雄			
	80	㈱ 堀内組			
	82-1	土屋 頓			
	91-1	渡辺 正枝			
	123-1	臼田町			
	128-2	洞庭 春			

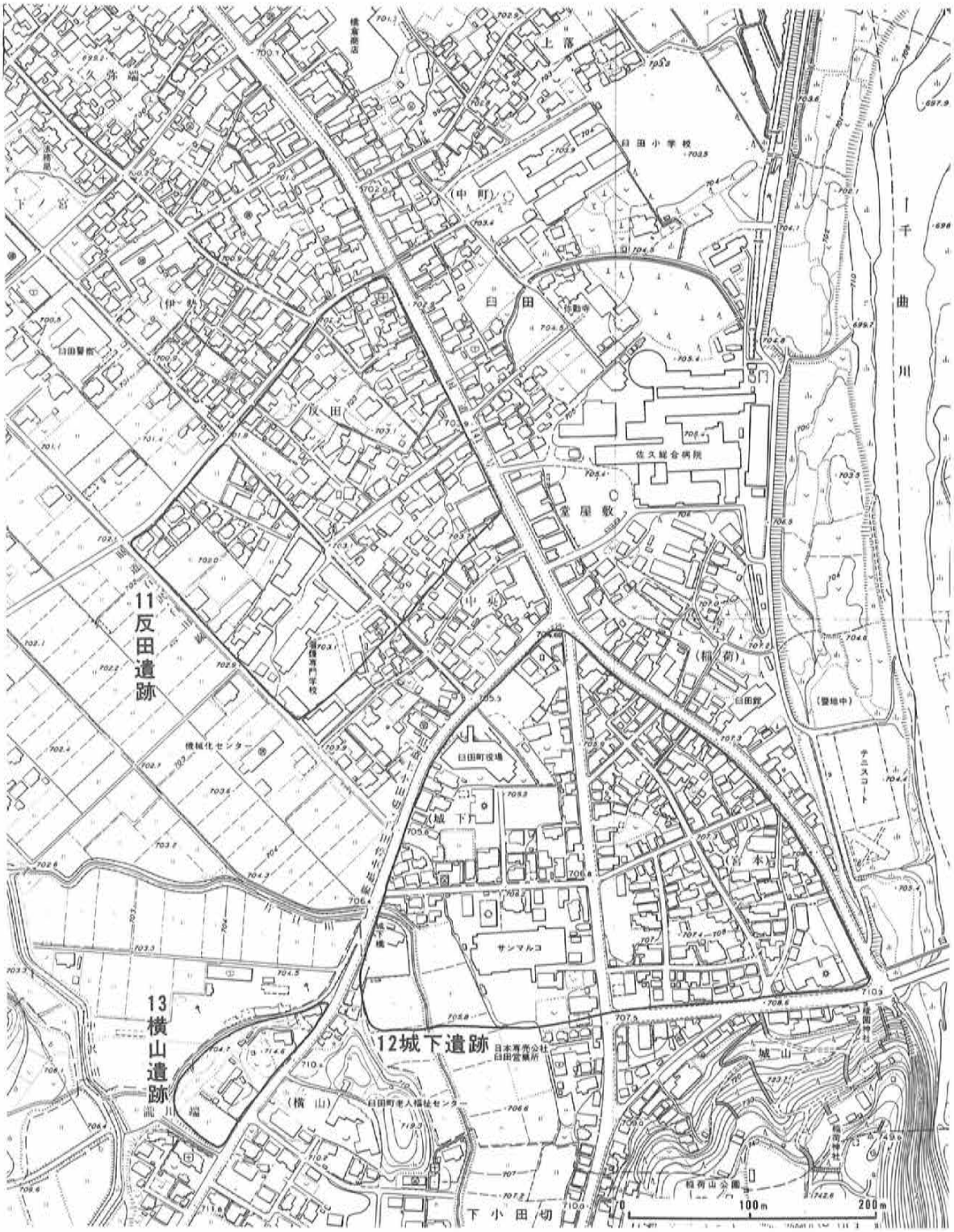
遺物

採集遺物	
既出遺物	(縄・中期) 加曽利E式土器

位置 地形 環境

稲荷山の北方山麓の平地で、千曲川左岸にのぞんで立地する遺跡で、その範囲は臼田橋から西方に直進する道路の延長線上片貝川岸までを見通す線を北の限界として、西は切原線道路を限り東は臼田橋から三叉路の交通信号に達する道路を限界とするほぼ三角形の地域である。現在ほとんど市街化されている。




11反田遺跡
12城下遺跡
13横山遺跡
上落
(中町)
(伊勢)
反田
白田
堂屋敷
中屋
(城下)
(宮本)
(横山)
(稲荷)
城山
千曲川
白田小学校
佐久総合病院
白田町役場
サンマルコ
白田町老人福祉センター
日本専売公社
白田営業所
稲荷山公園
下小田切
100m
200m

遺跡番号	13	遺跡名	横山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	1,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	城下	7—5	川村 秀人			
		8—1	油井 一郎			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器3
	既出遺物	(縄・中期) 加曽利E式土器、石鏃、石匙、打製石斧、磨製石斧、黒曜石片 (弥・後期) 箱清水式土器、磨製石鏃

位置地形環境	
	片貝川とその支流滝川の合流点の内側の小独立丘である横山の西面に立地する遺跡である。宅地化がすすみ現在は切原線道路の西側に残存する小丘陵上の畑地斜面にわずかに残存するに過ぎない。

遺跡番号	14	遺跡名	城山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	1,500㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	城山	34	川村多稼蔵			
		42	川村　乾一			
		43	川村富英雄			
		52	長岡　信義			
		52	浅川　治久			
		68	高見沢ぬい子			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器1
	既出遺物	（縄・後期）堀の内式土器

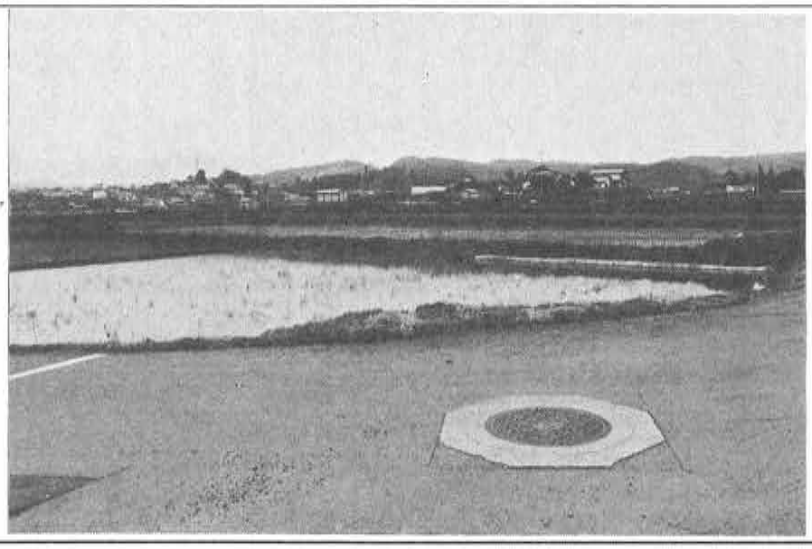
位置地形環境	
	稲荷山城跡の西南面の山麓に立地し、旧臼田学園西方住宅地の道路の西方にそって狭長な畑地に残存している遺跡である。周囲は住宅地化がすすんでいる。

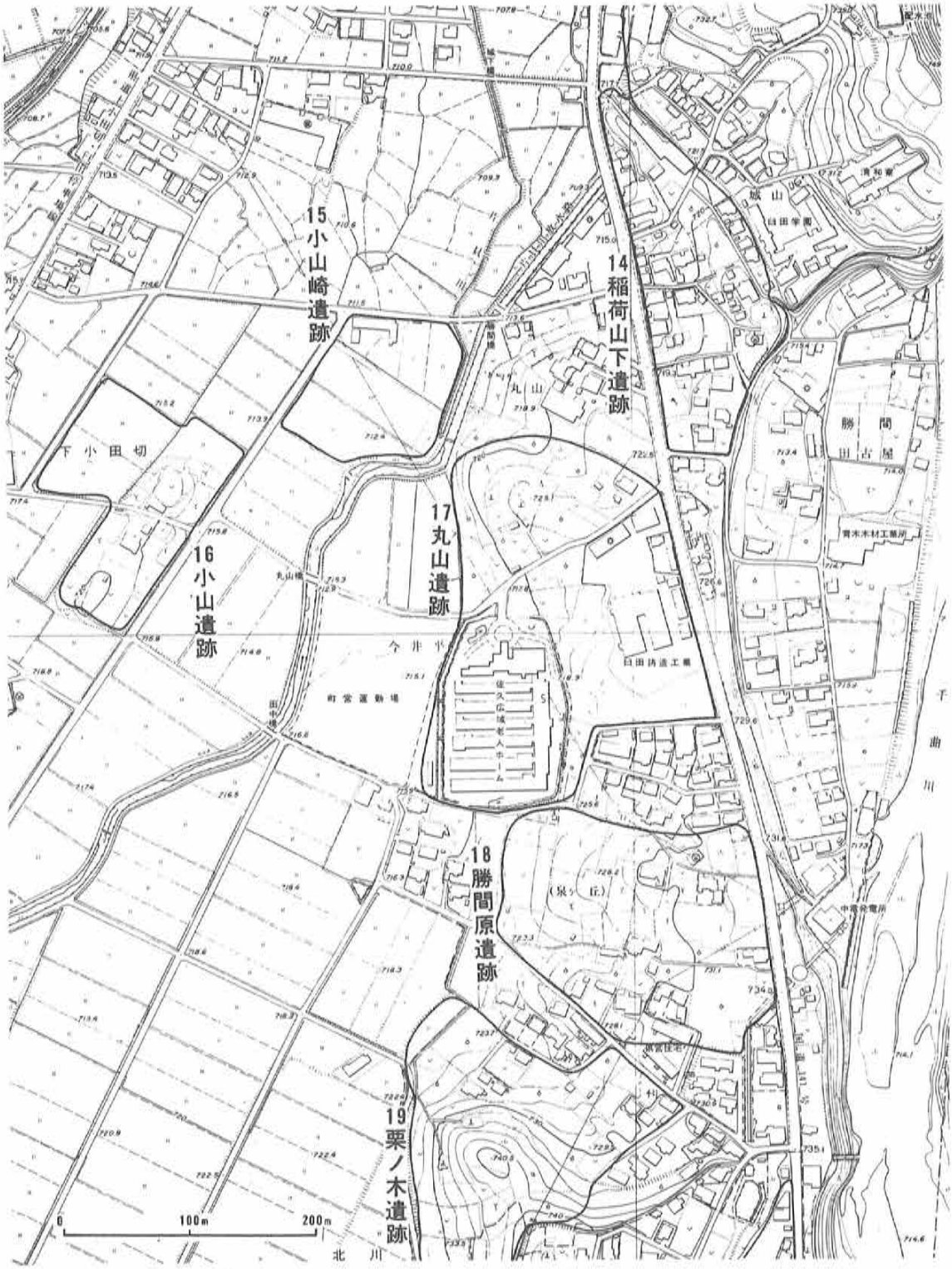
遺跡番号	15	遺跡名	小山崎	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	水田	面積	6,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	小山崎	135—2	三ツ井宗人			
		136—1	高柳　茂樹			
		137—1	市川　教雄			
		137—2	仲沢　數進			
		138—1	宇井照治郎			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄）石鏃

位置地形環境	下小田切部落の東方、片貝川左岸の扇状地に立地する遺跡で、西北辺には道路が通じ、周辺は住宅化がすすんでいる。道路の西側は旧称前田遺跡であるが、今回それを合して小山崎遺跡と改める。片貝川の右岸の勝間原の段丘上には丸山遺跡がある。現在は耕地整理されて水田となっている。




15 小山崎遺跡
14 稲荷山下遺跡
17 丸山遺跡
16 小山遺跡
18 勝間原遺跡
19 栗ノ木遺跡
下小田切
今井平
町営運動場
白田鋳造工業
勝間
田古屋
青木材工業所
中部発電所
千曲川
北川
0
100m
200m

遺跡番号	16	遺跡名	小山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	1,500㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	小山	148—1	吉田 フジ			
		157	市川 健二			
		158—1	堀内 忠雄			
		159	堀内 徳夫			
		159—1	堤 信義			

遺物		
	採集遺物	(縄) 黒曜石 (古〜平) 土師器、須恵器
	既出遺物	(古) 須恵器

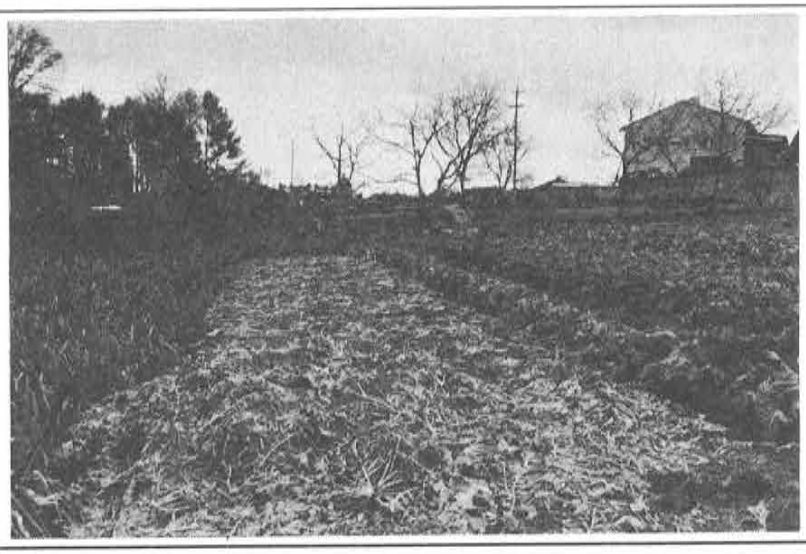
位置地形環境	
	片貝川と滝川の間の平坦地の中央部微高地上に位置する。東は中小田切に通じる道路を限り、北は小山崎遺跡に接する。微高地上南方には、日影、見次遺跡がある。

遺跡番号	17	遺跡名	丸山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	畑	面積	30,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	下小田切字勝間	490	土屋　正嘉			
		511	臼田鉄造工業			
		530	佐久広域老人ホーム			
		545	堤　茂			
		549	東信ヤンマー販売㈱			

遺物		
	採集遺物	(弥・後期) 箱清水式土器 (古～平) 土師器 (内黒)、須恵器、灰釉
	既出遺物	(縄) 加曽利E式、同B式土器、石鏃、磨製石斧、凹石 (弥・後期) 箱清水式土器、(平) 土師器、須恵器

位置 地形 環境	
	下小田切部落の東方、片貝川右岸の勝間原の台地の西側傾斜面に立地する。遺跡地内に佐久広域老人ホームがある。丸山頂上から老人ホーム敷地にわたり、東は国道141号線から、西側は片貝川の水田面に達する。南は原遺跡に接する。



遺跡番号	18	遺跡名	勝間原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	畑・宅地	面積	30,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者

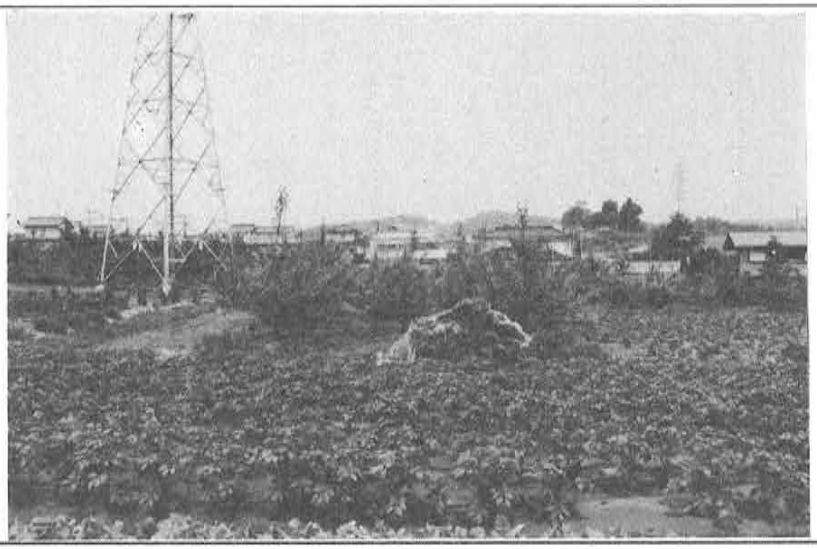
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
下小田切字勝間	460	土屋　弥市			
	468	富田　丑蔵			
	470	土屋　正嘉			
	482	宇井照治郎			
	490-2	土屋　朝生			
	494	堀内　徳夫			

遺物

採集遺物	(弥・後期) 箱清水式土器 (古～平) 土師器、須恵器
既出遺物	(縄・後期) 石鏃、堀の内式土器　(土屋朝雄氏所蔵) (弥・後期) 箱清水式土器、甕、壷、鉢、高坏、ミニチュア土器、磨石、凹石 (臼田町文化センター展示)

位置 地形 環境

片貝川流域低地の東方、勝間原台地に立地する遺跡で、国道141号線から西方、片貝川流域の水田面に接するまでの、西面する段丘斜面上に位置する。果樹園が多いが、泉丘団地の住宅地の一部も含まれる。西北方は丸山遺跡に接し、南方には北川勝間、栗の木遺跡がある。旧称下小田切勝間遺跡は本遺跡の中に包含される。
昭和62年4月中部電力㈱の送電線鉄塔工事のため一部調査する。
弥生時代後期箱清水式期の住居址2棟、溝1基を検出、62年12月報告書刊行。

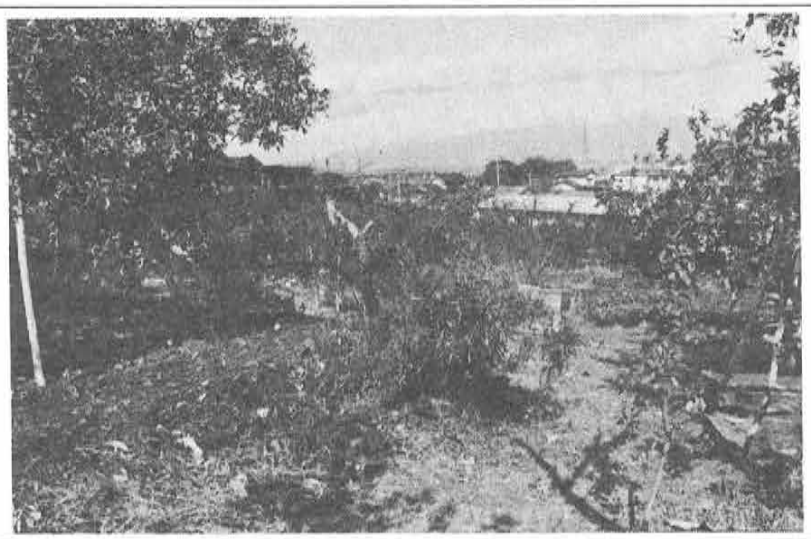


遺跡番号	19	遺跡名	栗ノ木	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	リンゴ園 畑	面積	25,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	栗ノ木	398—5	峯村袈裟男			
		399—1	土屋　則昭			
		423	〃			
		425	〃			
		431	篠原　茂			
		434—2	高橋　賢			
		439	松本政太郎			

遺物		
	採集遺物	（縄）黒曜石　（古～平）土師器
	既出遺物	（縄）石鏃（弥・後期）箱清水式土器、土製紡錘車

位置地形環境	
	勝間原台地の南半部で西面する斜面全体にわたり立地する遺跡で、南端は北川部落の東端に接する。全面ほぼリンゴ園となっている。東に北川勝間遺跡がある。

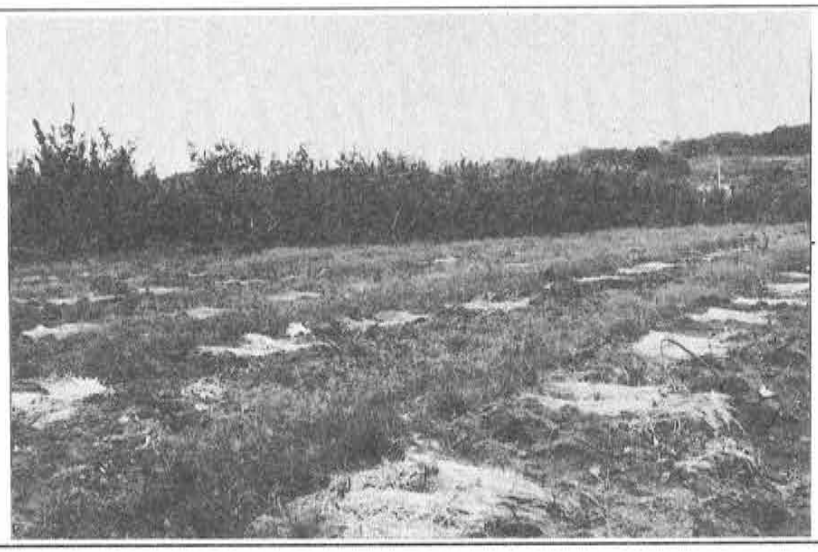


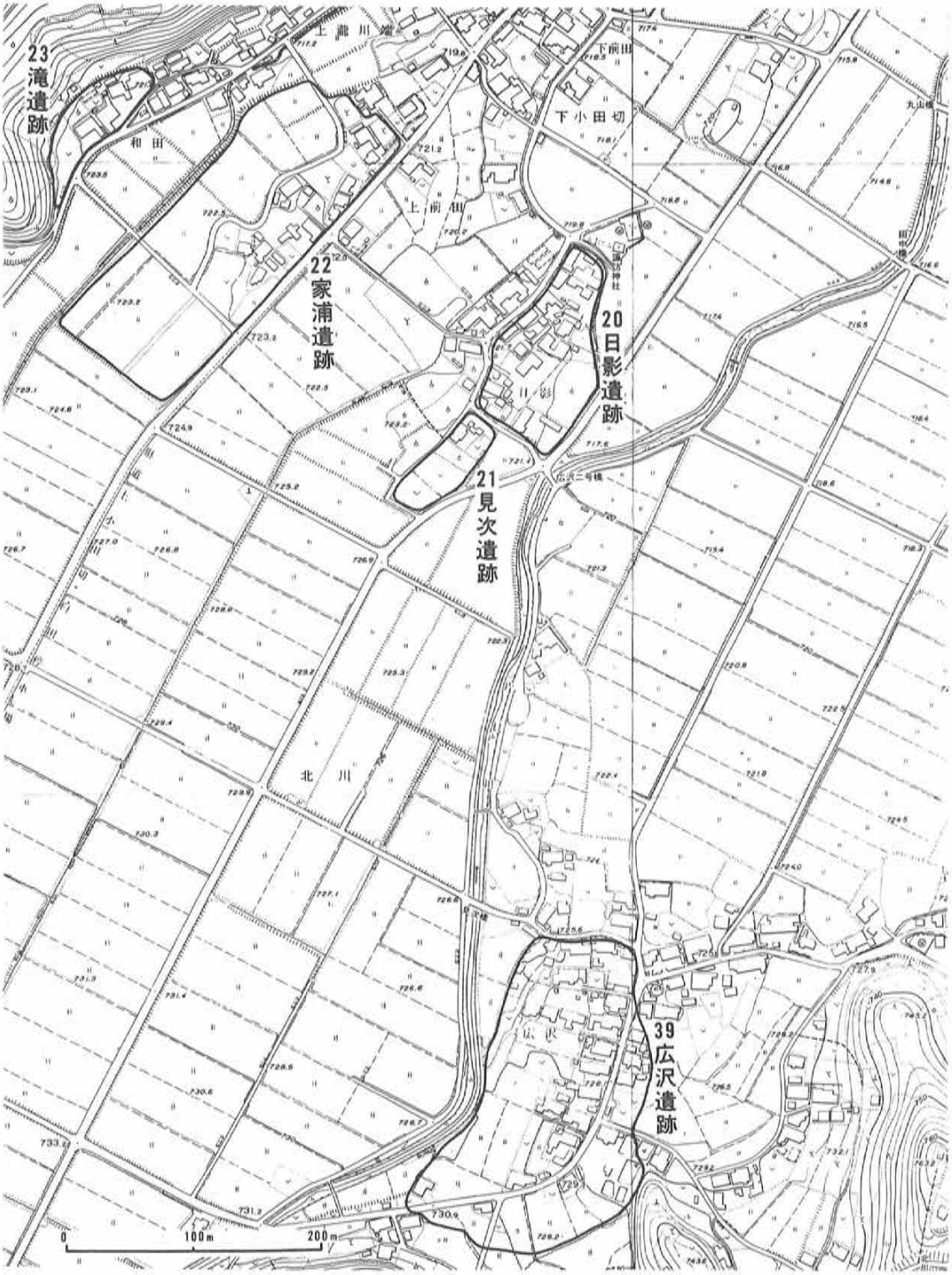
遺跡番号	20	遺跡名	日影	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	畑・水田 宅地	面積	20,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	日影	335	土屋　海司			
		337	富田　友祐			
		338	松本　文雄			
		339	松本　文雄			
		343	吉沢　未			
		347	土屋　正喜			
		347—1	富田　丑蔵			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器
	既出遺物	(古～平) 土師器、土錘

位置地形環境	
	片貝川左岸の丘陵状の低い台地に立地する遺跡で、日影部落を中心に畑地、水田を含み、東は中小田切に通じる道路を限り、北に小山遺跡があり南は見次遺跡に接する。



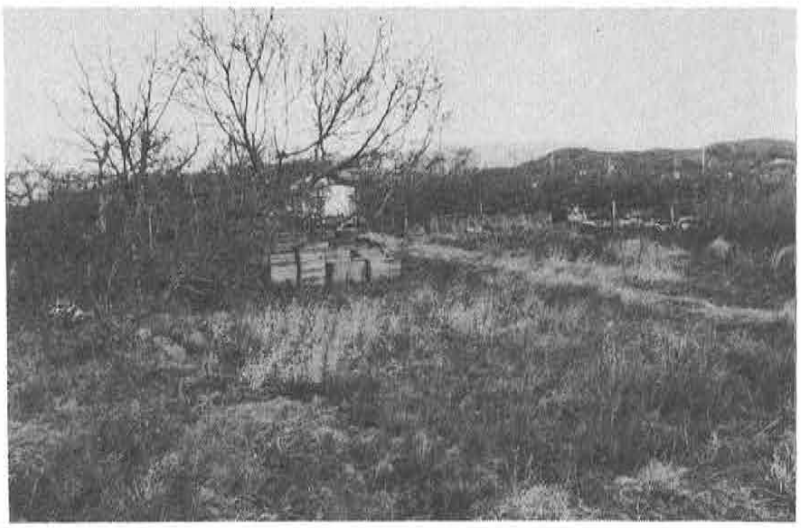

23
滝遺跡
22
家浦遺跡
20
日影遺跡
21
見次遺跡
39
広沢遺跡
上瀧川端
下前田
下小田切
和田
上前田
北川
広沢
0
100m
200m

遺跡番号	21	遺跡名	見次	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	畑・宅地 水田	面積	20,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	日影	289	土屋　海司			
		332—1	土屋しず子			
		332—2	高橋　義人			
		333	高見沢増平			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器、須恵器
	既出遺物	

位置地形環境	
	片貝川左岸の丘陵状の低い台地に立地する遺跡で、日影遺跡の南方に接して、見次部落と付近のリンゴ園等の畑地と水田の一部を包含する。東は中小田切に通じる農道を限界とする。西方に家浦遺跡がある。

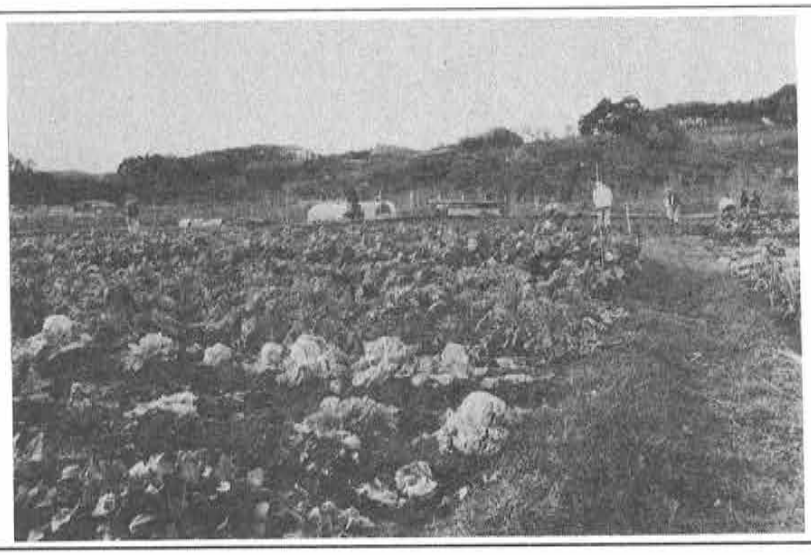


遺跡番号	22	遺跡名	家浦	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下小田切
地目	畑・水田 宅地	面積	12,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	家浦	224—1	茂木　重信			
		231—1	土屋　辰男			
		232	佐々木文彦			
		242—2	堀内　満			
		255	土屋　雅城			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器30 (内黒を含む) 、須恵器10
	既出遺物	(縄・中、後期) 加曽利E式、加曽利B式土器、石鏃、打製石斧、磨製石斧、石棒、(平) 土師器

位置 地形 環境	
	滝川右岸の平地に立地する遺跡で、中村部落を含み、東は県道切原線を限り、西は滝川までの間、南は湯原線道路を限界とする。主としてリンゴ園となっている。 東方微高地上に見次遺跡、日影遺跡があり、西方滝川の対岸には滝遺跡がある。



遺跡番号	23	遺跡名	滝	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯ノ原
地目	宅地・畑	面積	2,500㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	滝	966	黒沢 昭雄			
		967	茂木 幹夫			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器3
	既出遺物	

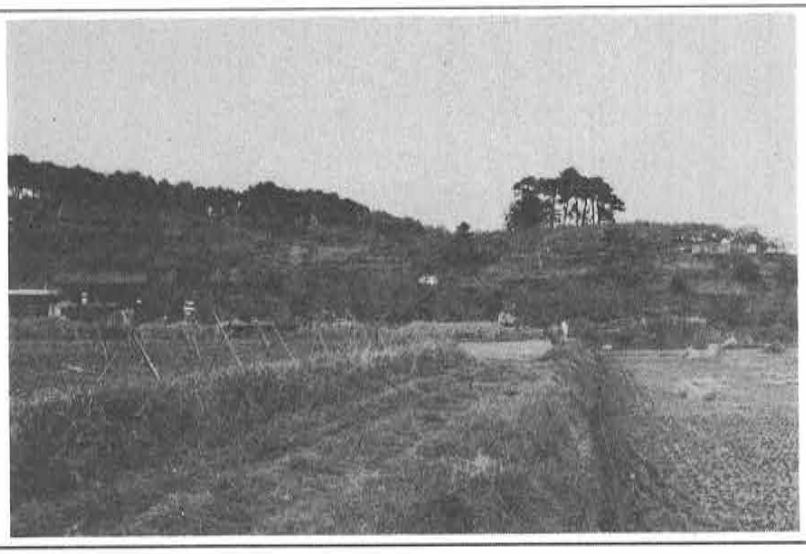
位置 地形 環境	
	滝川の支流左岸の山麓に立地する遺跡で、滝部落の西南端、黒沢昭雄氏の屋敷畑を中心に遺跡が分布する。「家を建てるとき畑の深いところから土器がかなりたくさん出た。」西方に尾根をこえれば和田遺跡がある。南東方の川の対岸は家浦遺跡である。

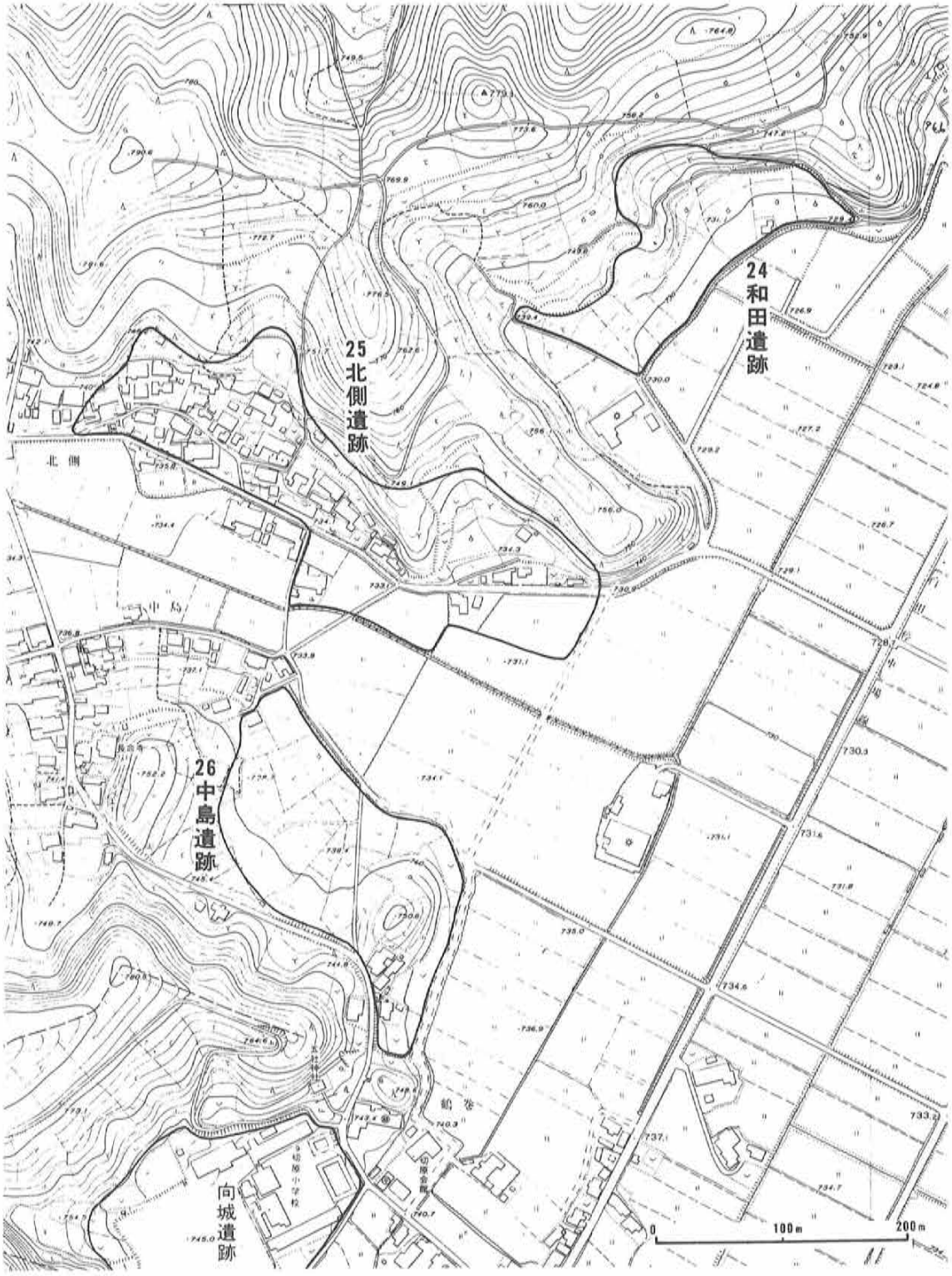
遺跡番号	24	遺跡名	和田	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	果樹園	面積	20,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	和田	926～7	黒澤　嘉			
		933	小松　栄			
		934～5	佐々木　弘			
		935	茂木　幹夫			
		944	茂木　幸男			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器4、須恵器1、灰釉1
	既出遺物	(縄) 石鏃、黒曜石片（三浦一夫氏所蔵）

位置地形環境	
	湯原北方から東に張りだした丘陵の東端の山麓傾斜面に立地する遺跡で、北東に滝遺跡南西に日向遺跡がそれぞれ尾根ざかいにある。東方前面は平坦な水田地帯で、滝川支流の対岸には家浦遺跡がある。遺跡の西南部に日本マルチ通信工場がある。




24
和田遺跡
25
北側遺跡
26
中島遺跡
向城遺跡
北側
中島
0
100m
200m

遺跡番号	25	遺跡名	北側	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑・水田 宅地	面積	20,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月22日

所在地・土地所有者

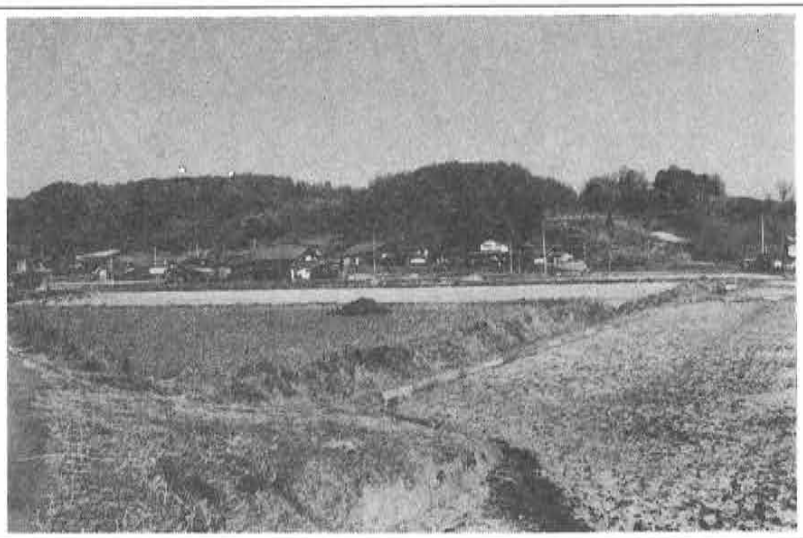
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
北側	830—1	沖浦　悦夫	北側	855	沖津　斉
	693	沖浦　進午			
	782	小林徳太郎			
	828	柳沢　元文			
	832	柳沢　清美			
	834	柳沢　文男			
	838	柳沢　保			
	853	三浦　益郎			

遺物

採集遺物	
既出遺物	(縄) 石鏃、打製石斧、磨製石斧、黒曜石片 (古～平) 土師器、須恵器

位置地形環境

湯原部落の東方部分から丘陵の東方先端部分まで、湯原川の左岸山麓斜面に分布する遺跡で、沖浦悦夫氏水田から土師器、須恵器が出土する。柳沢氏が家を建てるときに大量出土したという。



遺跡番号	26	遺跡名	中島	遺跡の種類	句蔵地	部落名	湯原
地目	畑	面積	25,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者

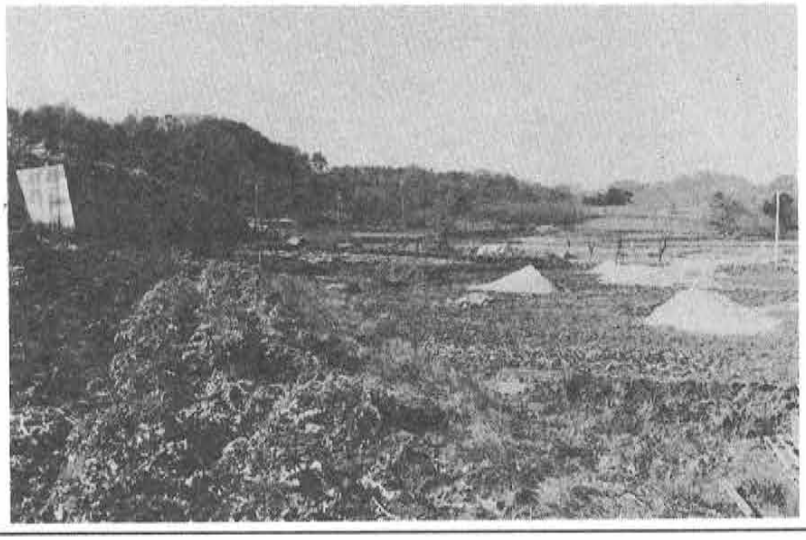
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
中島	38—3	本田　堅二	中島	87	本田　輝一
	40	新海　湊		88	三浦隆治郎
	43	柳沢　元文		89	三浦　知広
	64	三浦清太郎		104	三浦　明雄
	65	本田　輝一		105	三浦　昌雄
	66	三浦　明雄			
	84	依田　豊			
	86	三浦　明雄			

遺物

採集遺物	（古～平）土師器（内面黒色を含む）、須恵器
既出遺物	（古）勾玉1　（三浦一夫氏所蔵）

位置地形環境

湯原部落南東方面の山麓台地一帯に分布する遺跡である。小田切地区北方の山地の東端に位置し、北と東は湯原、中小田切地区の水田地帯に接し、東に緩傾斜する広い台地で、住宅化がみられる。北方は水田を隔てて北側遺跡と相対し、南方には向城遺跡がある。

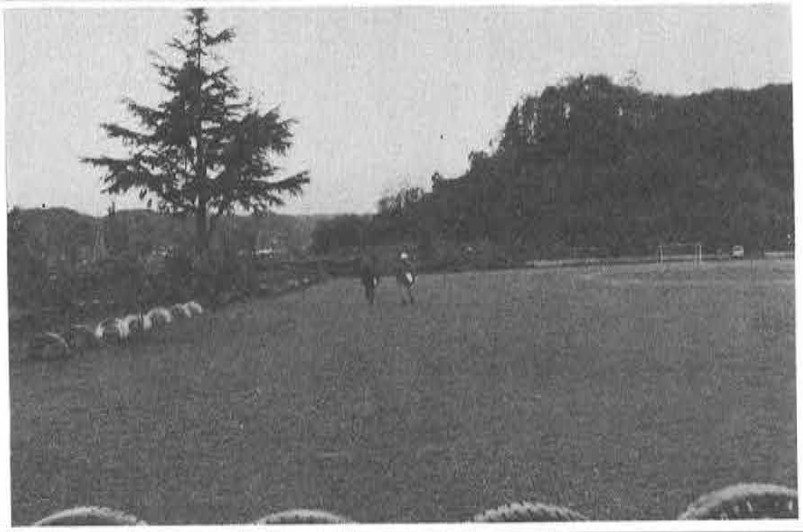


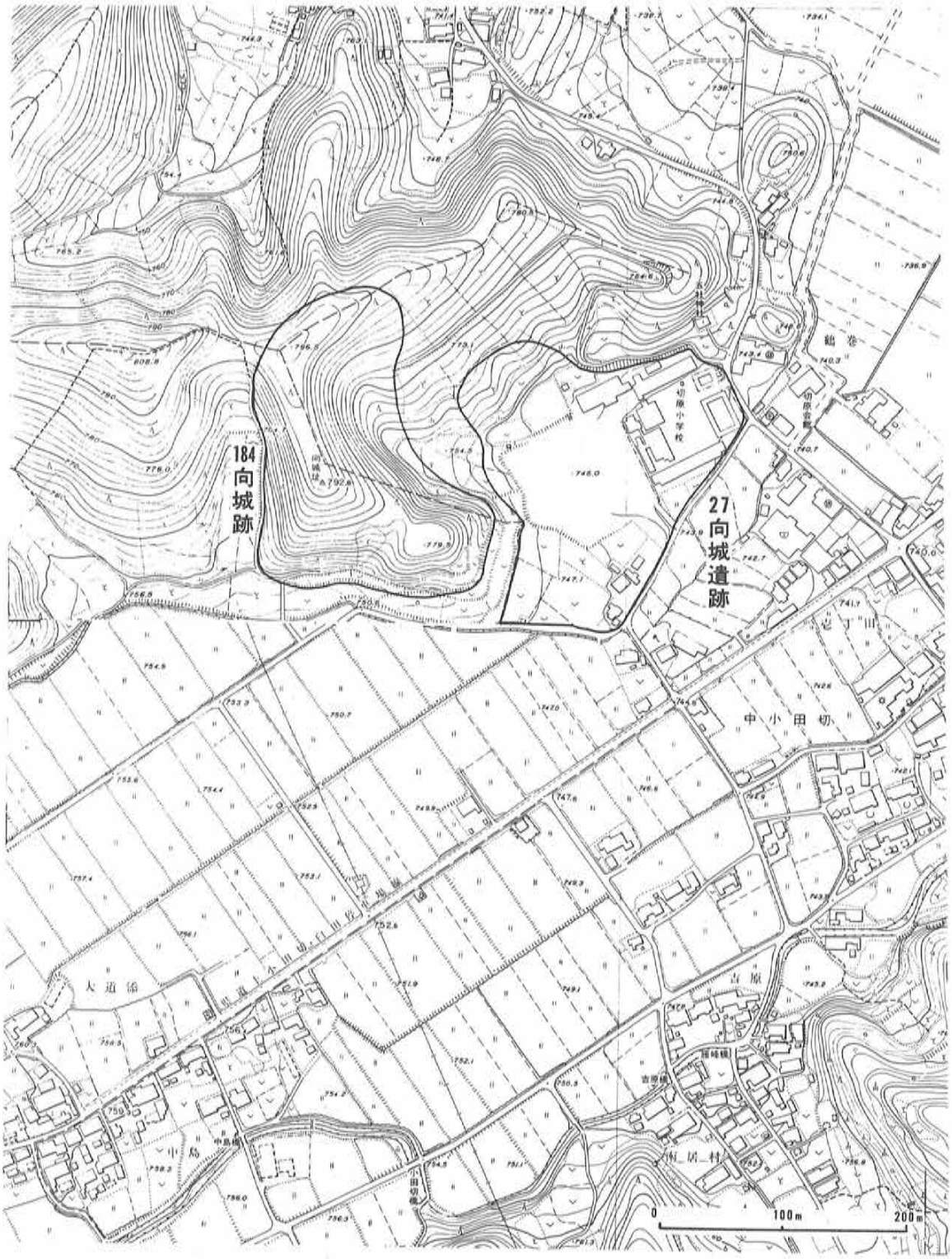
遺跡番号	27	遺跡名	向城	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	畑・校庭	面積	10,000㎡	時代	縄文 平安・中世	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	向城	96	切原小学校			
		99	切原小学校			
		100	切原小学校			
		〃	切原小学校			
		116	切原小学校			
		130	草間　徳光			
		144	油井　英蔵			

遺物		
	採集遺物	(縄) 中期土器　(平) 土師器、須恵器
	既出遺物	(縄・中期) 曽利式土器、打製石斧、磨製石斧

位置地形環境	
	片貝川左岸中小田切平野部の西方山ぎわに位置し、向城跡の東南麓の畑地と切原小学校庭を含む範囲、城山の西麓の沢から骨壷として用いられた中世の瓶子が出土している。



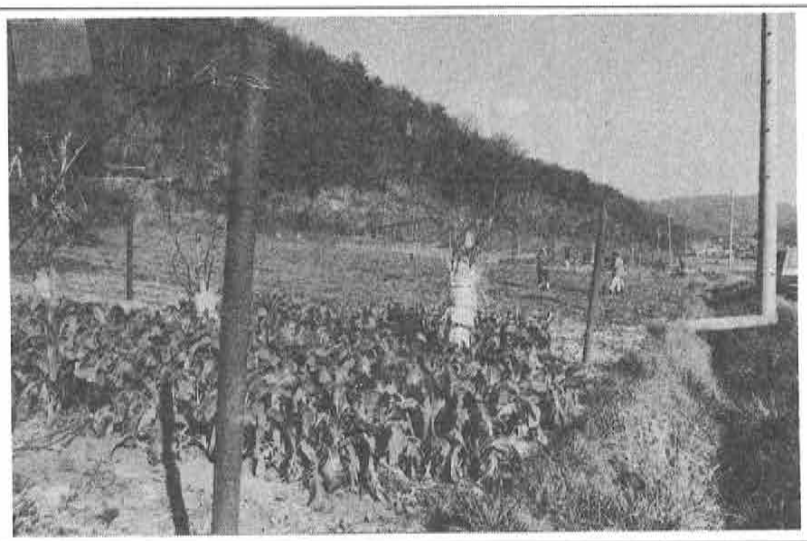

184
向城跡
27
向城遺跡
切原小学校
切原会館
中小田切
大道添
中島
吉原
南原村
0
100m
200m

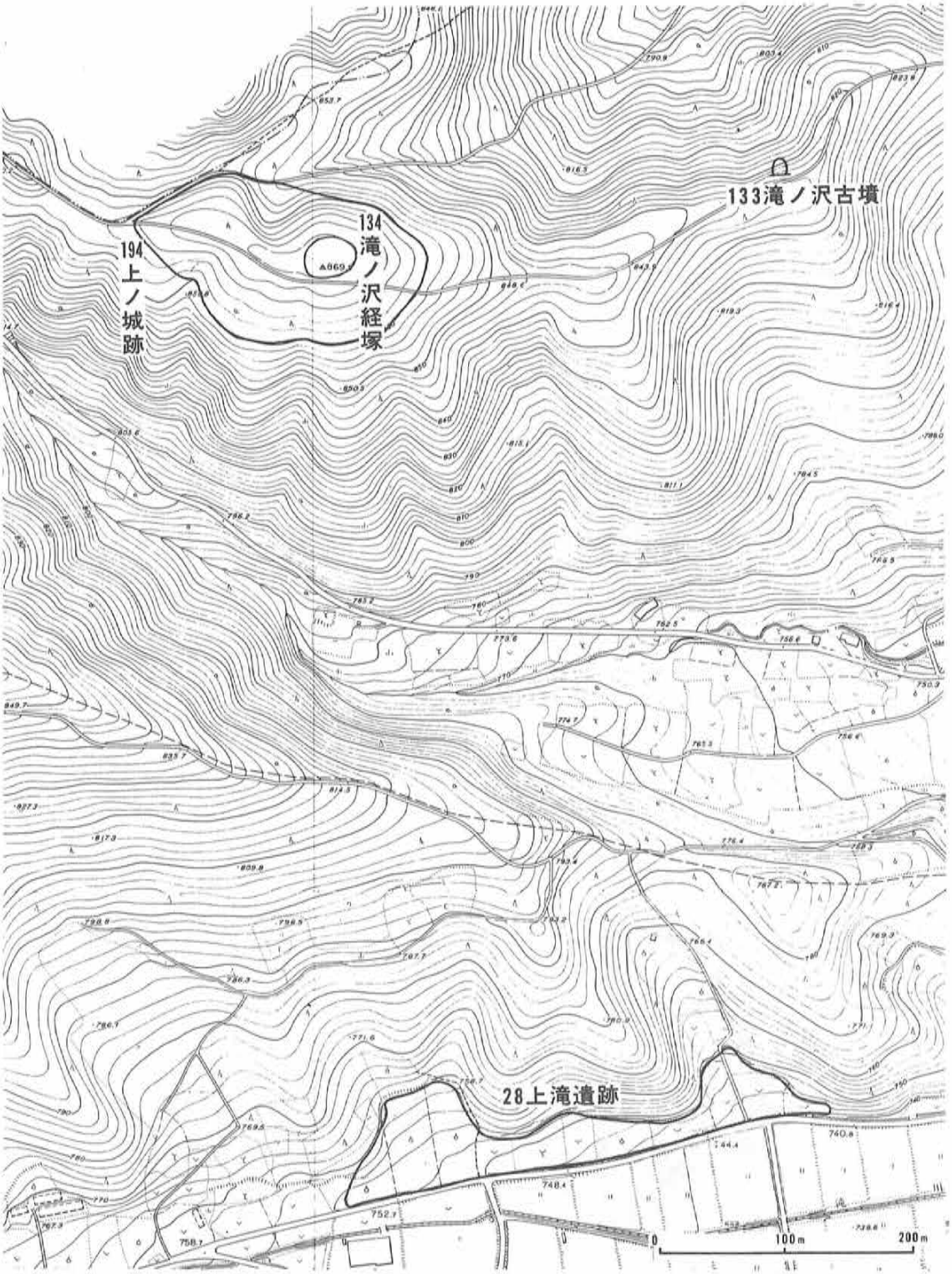
遺跡番号	28	遺跡名	上　滝	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	湯　原
地　目	畑	面　積	21,000㎡	時　代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
	上　滝	1364	小林徳太郎			
	〃	1365	沖浦　悦夫			
		1378	平林八千代			
		1396	黒沢　恒彦			
		1397	黒沢　恒彦			
		1398	黒沢　義雄			
		1403	本田　輝一			

遺物		
	採集遺物	(縄) 土器　(古～平) 土師器2 (内黒を含む)
	既出遺物	(縄・早期、中期) 山形、格子目、楕円押型文土器、撚糸文土器、田戸下層式、茅山式、有尾式、加曽利E式土器、石鏃、石皿 (平) 須恵器

位置地形環境	
	滝川上流左岸の南面する日当たりのよい山麓緩傾斜面に立地する。湯原新田に通じる道路から北方山ぎわまでの間に分布する。西端は湯原に通じる道路の分岐点から東へ約80m真栄建設の事業所建物付近とし、これより東方へ約300mの間を遺跡範囲とする。




133滝ノ沢古墳
134
滝ノ沢経塚
194
上ノ城跡
28上滝遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	29	遺跡名	児玉・大平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月19日

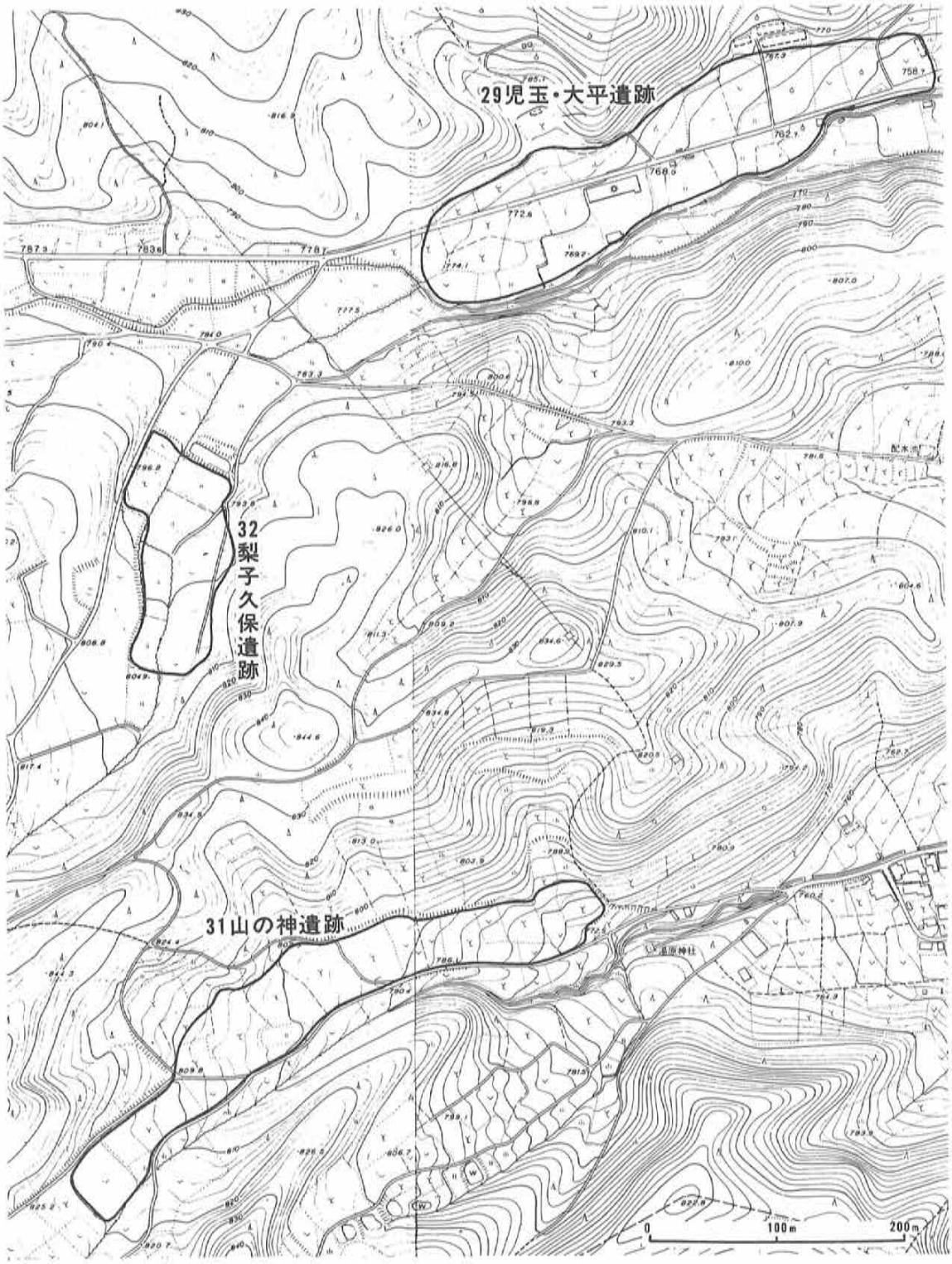
所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
大平	1554	平林まち子			
	1555	瀬下　昭			
児玉	1589	瀬川　清			
	1593-4	土屋　辰男			
	1713	土屋　敏包			
	1714	土屋　良助			
	1617	沖浦まり子			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器4 (糸切底を含む)、灰釉1
	既出遺物	

位置地形環境

滝川上流左岸の南面する日当たりのよい山麓緩傾斜面に立地する遺跡で湯原新田に通じる道路をはさんで東西に細長く分布する。東端は湯原方面への道路の分岐点とし、それより西へ約400mの間を遺跡範囲とする。

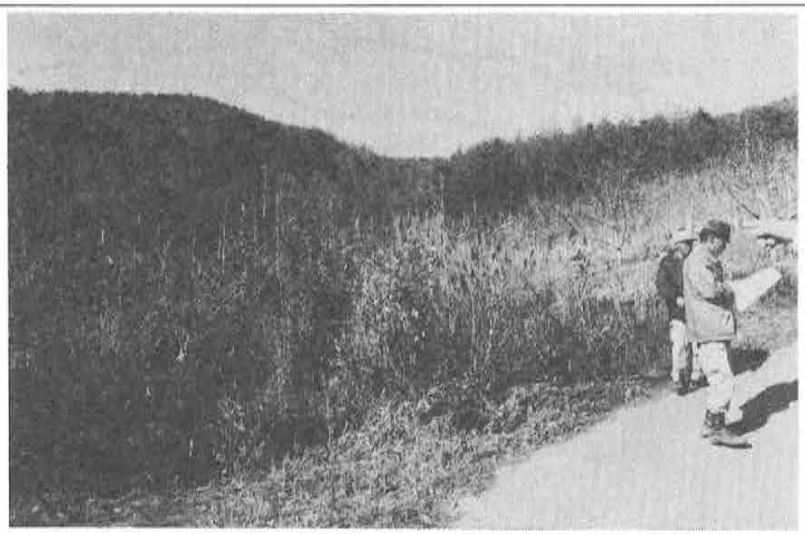

29児玉・大平遺跡
32梨子久保遺跡
31山の神遺跡
0
100m
200m

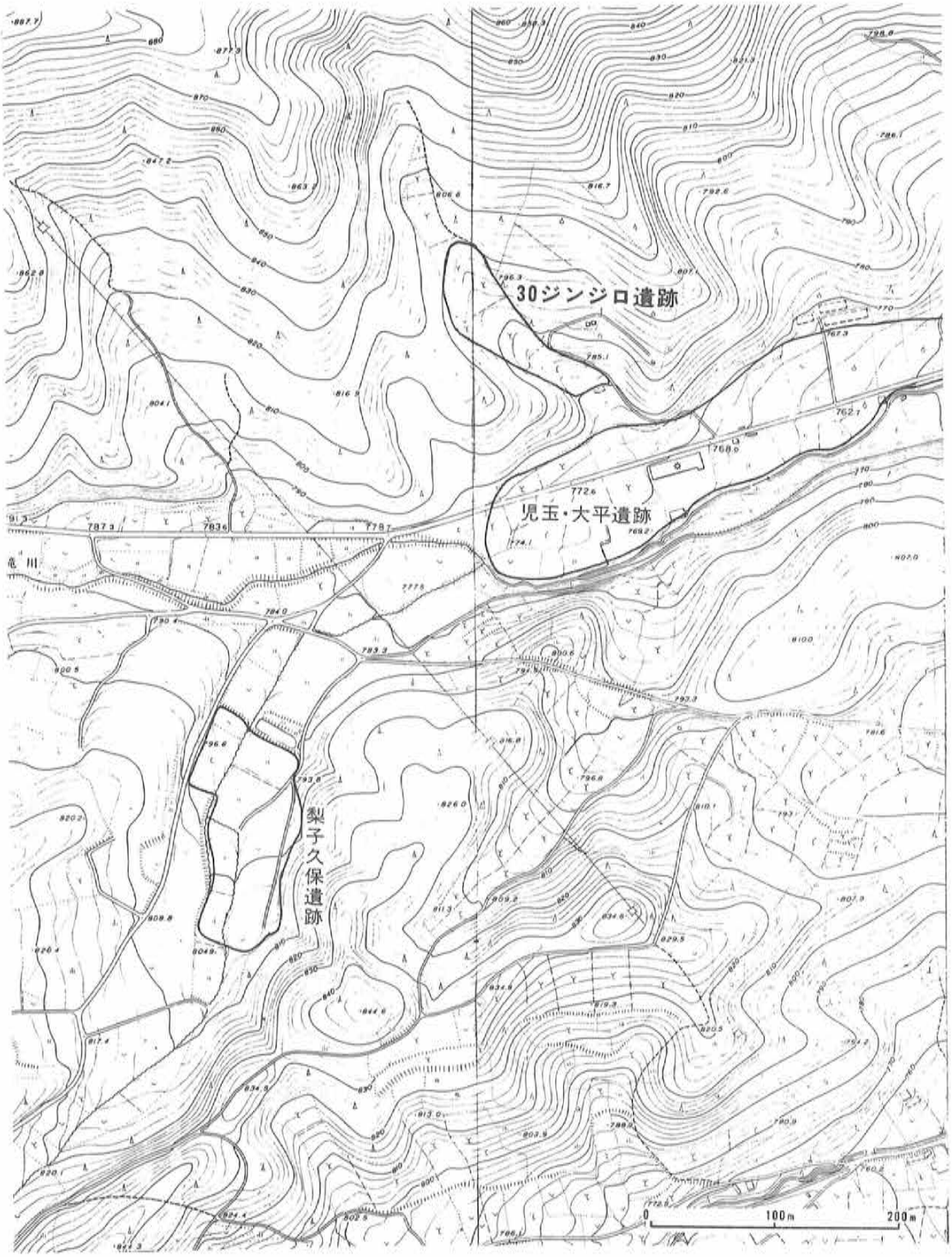
遺跡番号	30	遺跡名	ジンジロ	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑 畑荒地	面積	10,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	児玉	1654	沖浦 悦夫			
		1655	依田 豊			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器

位置 地形 環境	
	滝川上流左岸の南面する山麓台地から北方に入った南東に傾斜する狭い沢に立地する遺跡で、沢の入口付近一帯は児玉・大平遺跡である。全体がかなり急斜面をなし、現在は一部に畑地が残っているが、大部分は荒地となっている。




30ジンジロ遺跡
児玉・大平遺跡
梨子久保遺跡
亀川
0
100m
200m

遺跡番号	31	遺跡名	山の神	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	縄文 平安	調査年月日	61年11月11日

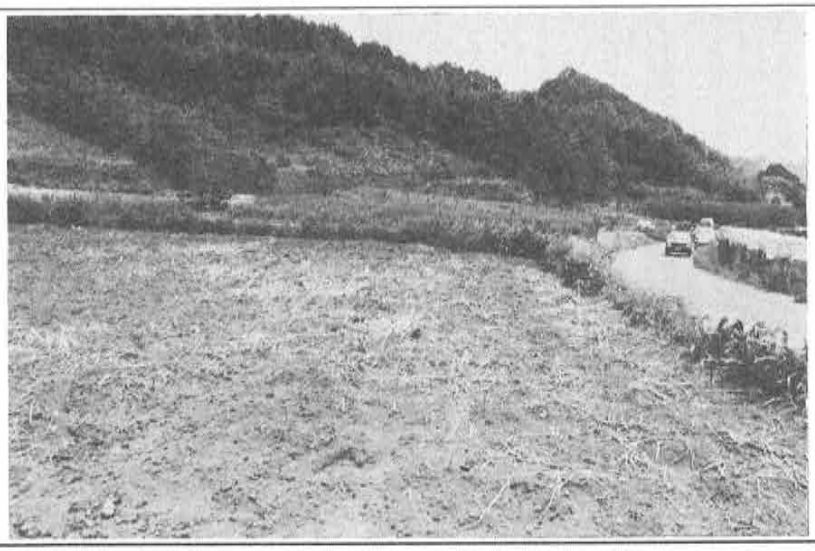
所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
山の神	421	三浦　知広	山の神	500	元木　豊雄
	434	木内　進		543	木内　千義
	435—2	平林　正義			平林　茂
	437	三浦清太郎			
	487	木内　義彦			
	489	小林　茂			
	492	原田　富雄			
	499	本田今朝信			

遺物		
	採集遺物	（縄）石鏃　（平）土師器6（糸切底を含む）、灰釉
	既出遺物	

位置・地形・環境

湯原部落の西方の沢で、湯原神社境内付近の畑地から西方農道にそって、主としてその北側の畑地に分布する。南面傾斜地で、沢ぞいに細流が東に流れている。

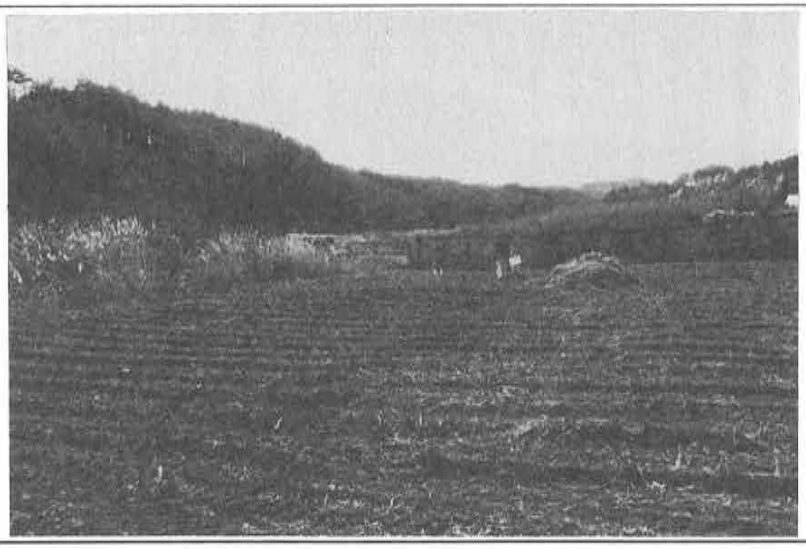


遺跡番号	32	遺跡名	梨子久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	水田・畑	面積	5,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	梨子久保	1786	土屋 秀信			
		1798	元木 典雄			
		1829	林 東次郎			
		1830	小松 栄			
		1910	沖津 藤一			
		1956	小林 茂			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄・前期) 柱穴2、上原式、下島式土器、打製石斧、石匙、敲石、石皿、凹石

位置地形環境	
	滝川上流右岸を南に入った沢に立地する遺跡で、上方に湧水があり、沢の中央は水田化されている。この沢の出口から東方約200mに児玉・大平遺跡、ジンジロ遺跡がある。またこの沢の奥から南方に尾根をこえると湯原の山の神遺跡である。



遺跡番号	33	遺跡名	五里久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	弥生・平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者

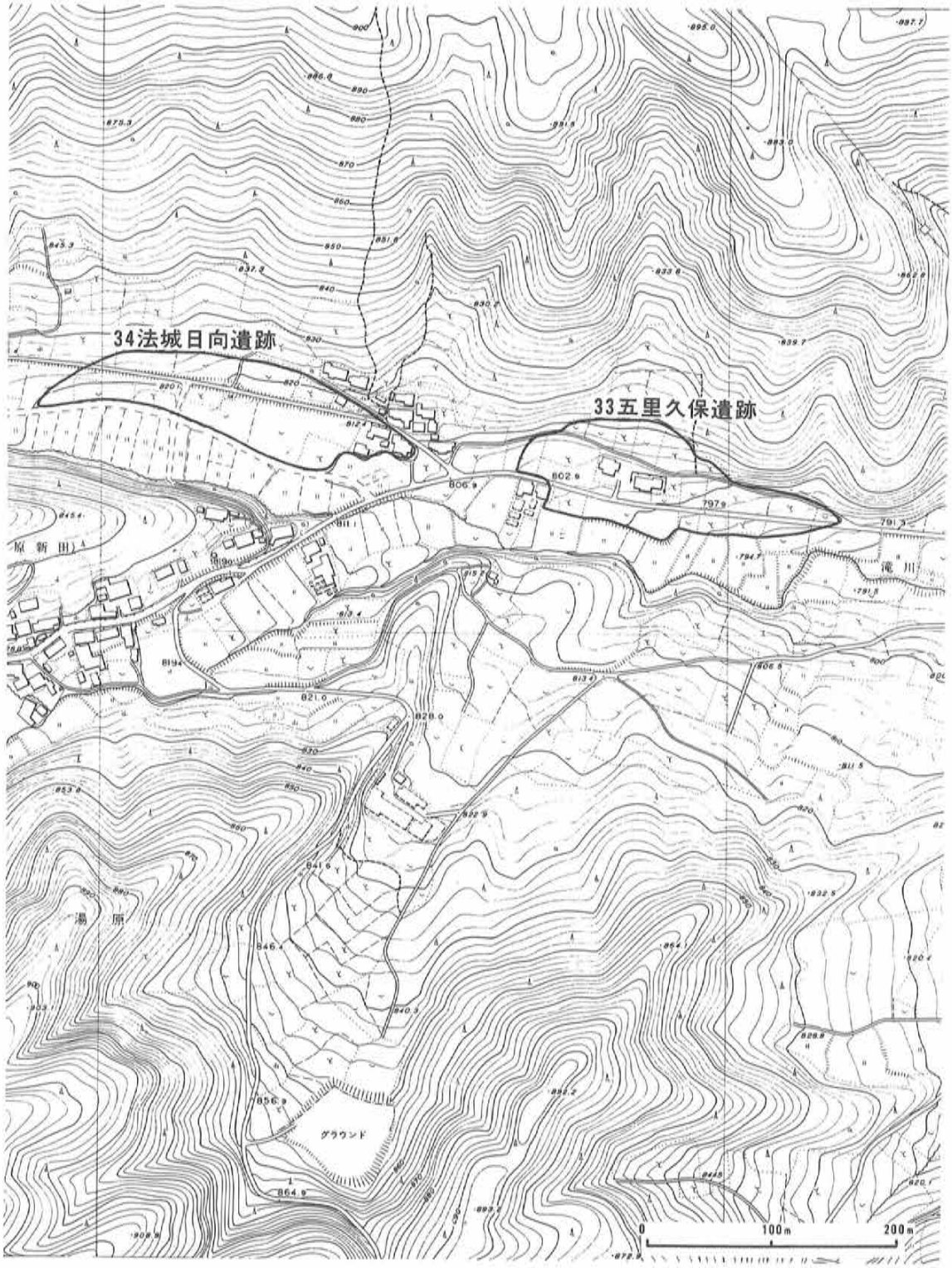
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
五里久保	2139	土屋　正夫	五里久保	2177	高柳　正人
	2143	高柳　寛		2204	土屋　武人
	2145	土屋　五助		2215	藤井　保雄
	2147	土屋　志年			
	2148	土屋　治平			
	2149	土屋　敏包			
	2150	土屋　武人			
	2155	土屋さち子			

遺物

採集遺物	（弥・後期）箱清水式土器1（平）土師器5（内黒を含む）
既出遺物	

位置地形環境

湯原新田部落の手前、滝川左岸の南面する山麓緩傾斜面に立地する。湯原新田へいく道路が滝川を渡るより約100m手前から東へ約200mの間、道路より北側の畑地一帯に分布する。土屋敏包、土屋治平両氏宅が中央部にある。


34法城日向遺跡
33五里久保遺跡
湯原
グラウンド
0
100m
200m

遺跡番号	34	遺跡名	法城日向	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	法城日向	2218—4	土屋甲子郎			
		2268	土屋　五助			
		2269	土屋　正平			
		2270	土屋　勝夫			
		2271	土屋　正平			
		2272	土屋　敏包			
		2273	臼田廣太郎			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器、須恵器、灰釉
	既出遺物	

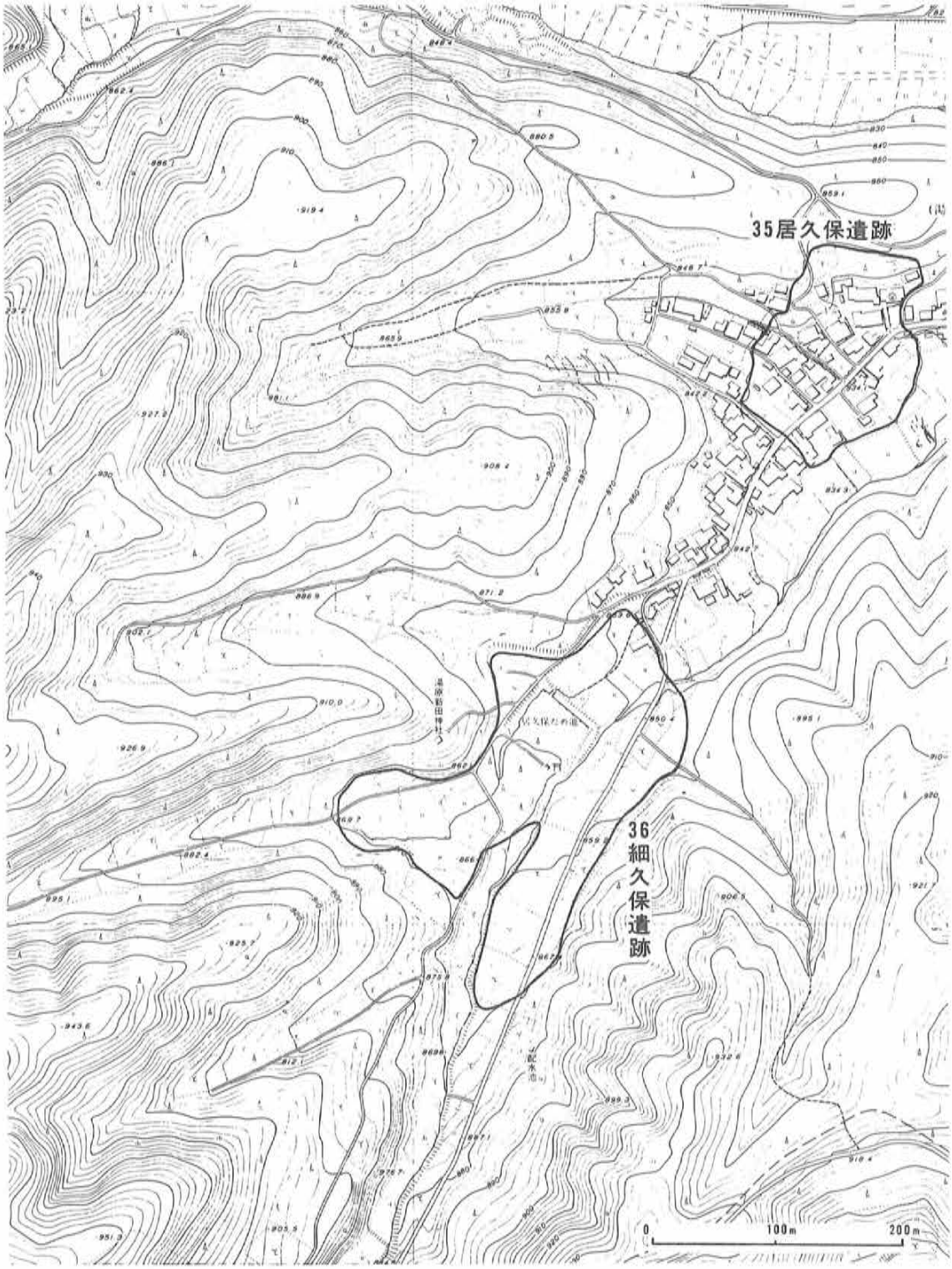
位置 地形 環境	
	湯原新田部落の北方、滝川の上流にそってまっすぐ西に入る沢に立地し、湯原新田に通じる道路の分岐点から、農道にそってまっすぐ西に約400mの間道路の北側の山麓の畑地に細長く分布する。 沢の中央から南側は水田がつづいている。 東方約100mに五里久保遺跡がある。

遺跡番号	35	遺跡名	居久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	宅地・畑	面積	20,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	居久保	2647	臼田　昭三			
		2655	土屋左右助			
		2659	藤井　保雄			
		2675	土屋　喜一			
		2680	土屋　源一			
		2685	土屋　安春			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器、須恵器
	既出遺物	

位置地形環境	
	滝川の上流、東北面する山麓の平地に立地し、湯原部落全体を含む遺跡で、標高850m上流約100mに細久保遺跡があり、湧水が豊富。北方約300mには法城日向遺跡がある。

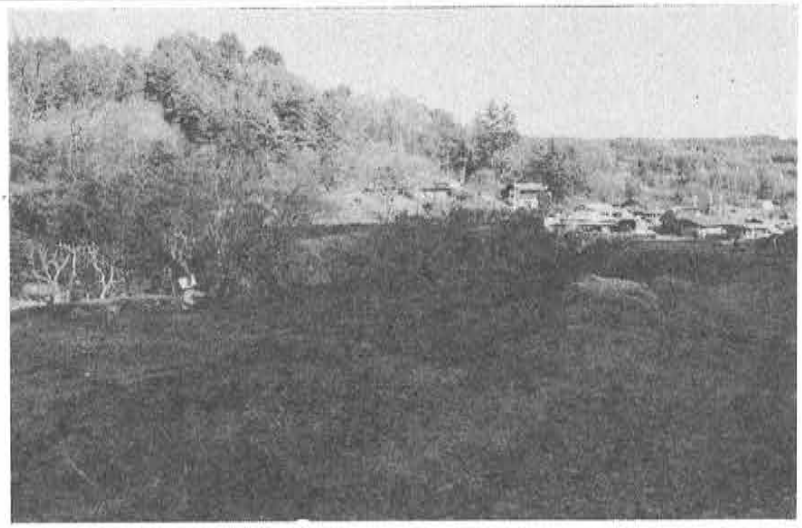

35居久保遺跡
36細久保遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	36	遺跡名	細久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	畑・水田	面積	10,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月19日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	細久保	2996	小林　一男			
		2997	臼田　昭三			
		2999	臼田　俊子			
		2999	臼田クミ子			
		3004	臼田　鉄太			
		3008	土屋　　親			

遺物		
	採集遺物	（平）土師器（内黒、糸切底を含む）
	既出遺物	

位置地形環境	
	湯原新田部落の南方の沢で、湧水豊富で、ため池と湯原神社がある。水田と畑地を含む東面する緩傾斜面を中心に遺物が分布する。

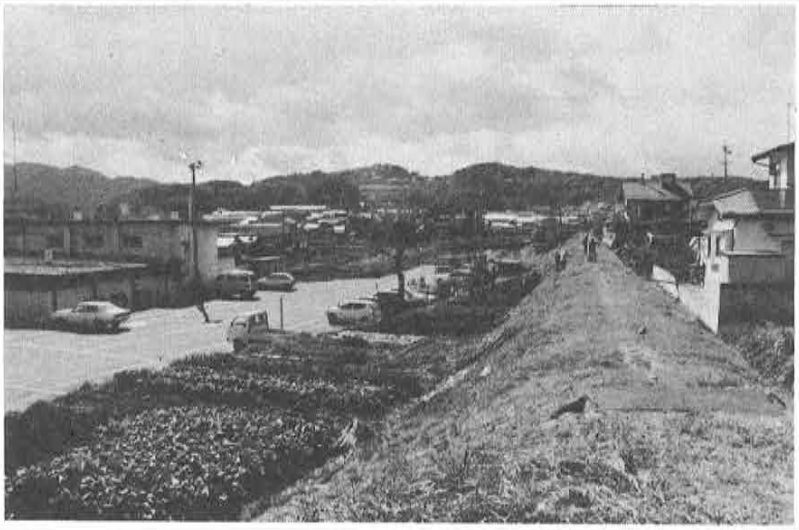


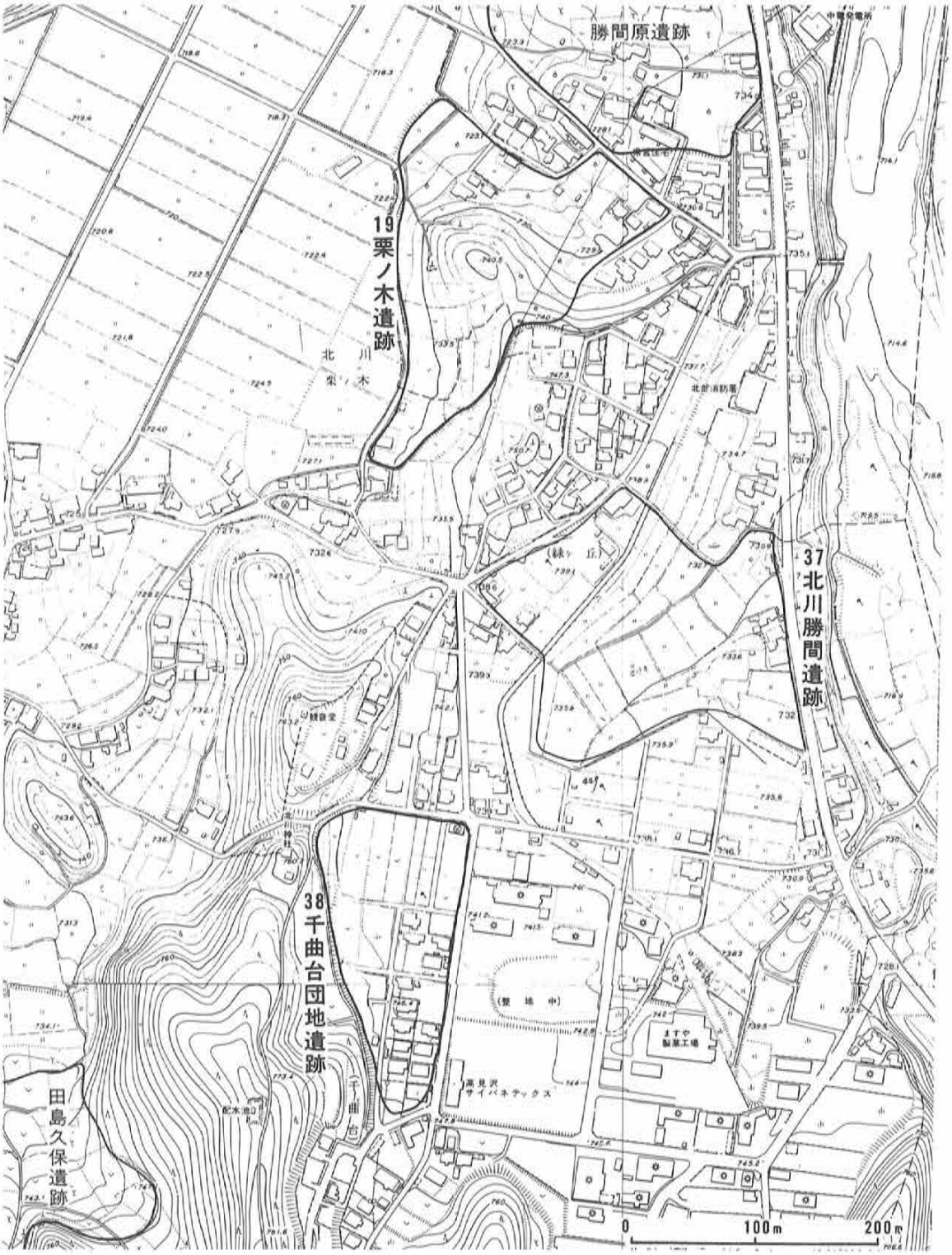
遺跡番号	37	遺跡名	北川勝間	遺跡の種類	包蔵地	部落名	北川
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	勝間	412	新海 正信			
		413	高柳 勉			
		417	高柳 勉			
		471	川村 茂司			
		472	高柳 祐一			
		475	新海 義雄			
		492	新海牧之助			
		493	新海 公太			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器、須恵器
	既出遺物	

位置 地形 環境	
	千曲川左岸段丘上、比高約10m勝間原の南端に立地する遺跡で、北川地籍の丘陵の東南傾斜面に位置し、国道141号線を東限とする。北部消防署の敷地から緑ケ丘団地を含む。




勝間原遺跡
19栗ノ木遺跡
北川栗ノ木
37北川勝間遺跡
38千曲台団地遺跡
田島久保遺跡
(整地中)
0
100m
200m

遺跡番号	38	遺跡名	千曲台団地	遺跡の種類	包蔵地	部落名	北川
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11年13日

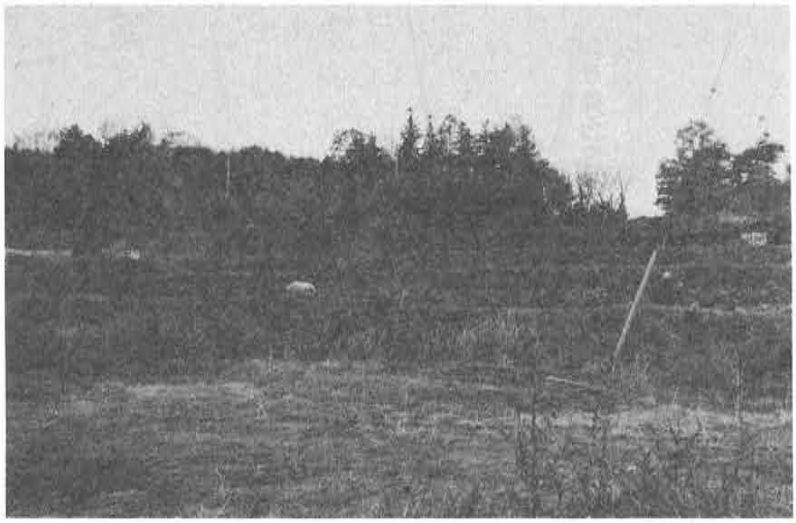
所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
原	596—4	酒井　豊次	原	603—15	新海半次郎
	597	高柳　猶助		615—11	菊池　清人
	598	酒井　幸吉			
	599	高見沢　寛			
	600	高見沢　寛			
	601	高見沢　寛			
	603—1	川村　房太			
	603—13	小沢　安雄			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器 4
	既出遺物	

位置 地形 環境

勝間段丘の南につづく山麓台地で、東南面する緩傾斜面、周辺は住宅団地の造成がすすんでいる。



遺跡番号	39	遺跡名	広沢	遺跡の種類	包蔵地	部落名	北川
地目	畑・宅地	面積	3,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	広沢	188	菊池 佐七			
		191—1	小沢 信			
		194	高見沢 寛			
		202—1	小沢 善市			
		203	高柳 博			
		204	川村 朋一			
		205	小沢 安雄			

遺物		
	採集遺物	(弥・後期) 箱清水式土器 (古～平) 土師器、須恵器
	既出遺物	(縄・中期) 勝坂式土器 (弥・後期) 箱清水式土器

位置地形環境	
	片貝川右岸の低い段丘上に立地する遺跡で、東は北川部落の中央部に接する。片貝川の下流300～500mには見次、日影等の遺跡があり、同じような立地条件をもつ遺跡と考えられる。

遺跡番号	40	遺跡名	田島窪	遺跡の種類	包蔵地	部落名	北川
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

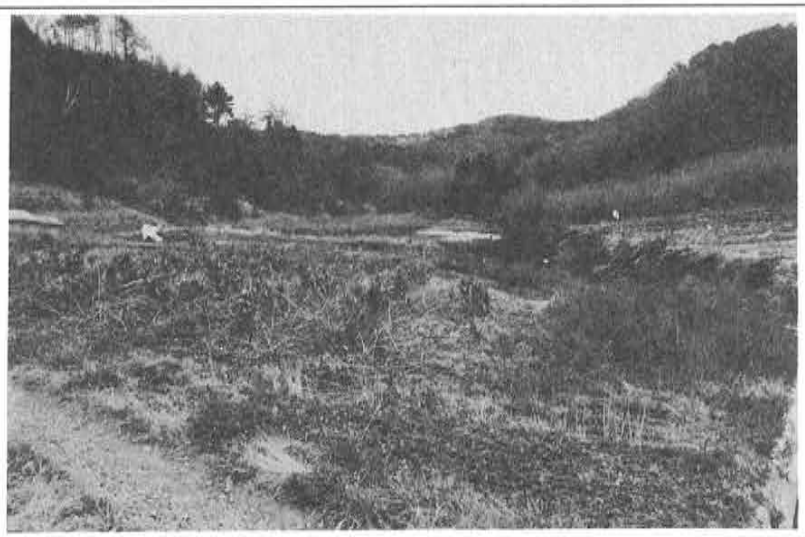
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
田島	63	酒井 豊次			
	73	小沢 兵一			
	80	菊池 佐七			
	83	酒井 忠知			
	85	酒井 豊次			
	88	高柳 勉			
	101	酒井 幸吉			
	130	酒井 武幸			

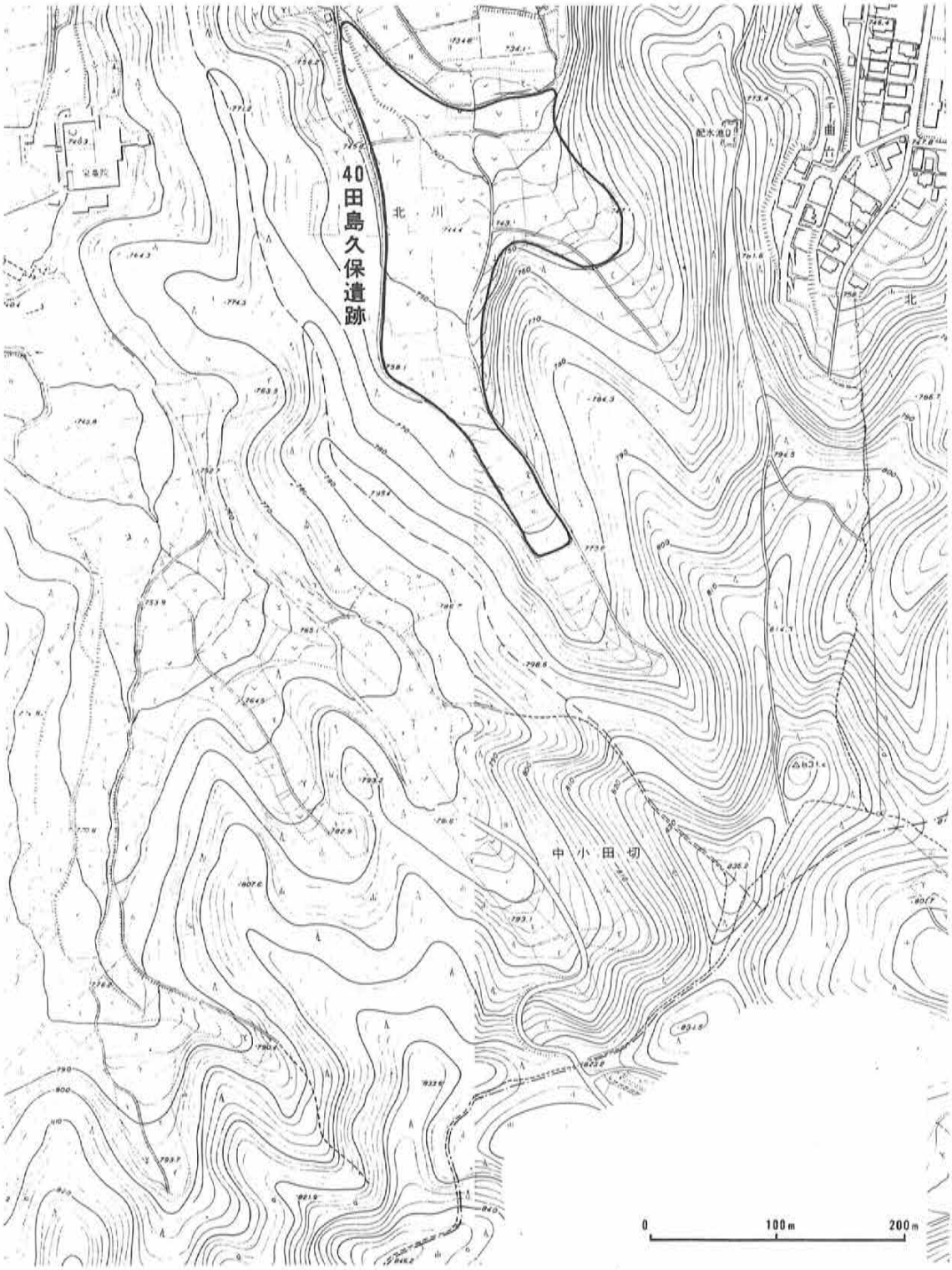
遺物

採集遺物	(縄) 土器 打製石斧 黒曜石片 (平) 土師器5
既出遺物	

位置 地形 環境

北川の集落から南方に入った沢で、かなり広く北方に緩傾斜する。前面北方の片貝川畔には広沢遺跡があり、東方に尾根をこえれば、千曲台団地遺跡がある。北方は田島集落に接している。




40 田島久保遺跡
北 川
中 小 田 切
0
100m
200m

遺跡番号	41	遺跡名	城影	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	畑	面積	8,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

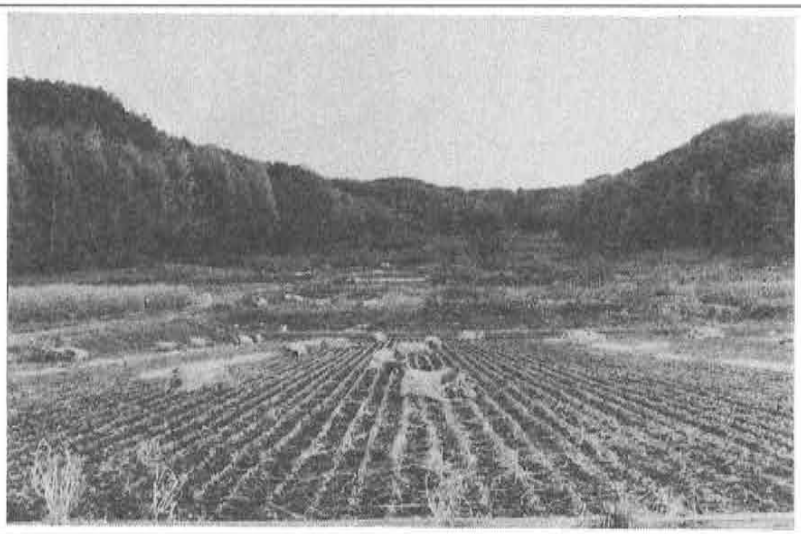
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
城影	662	草間 政男			
	663	桜井 繁			
	666—1	草間 徳治			
	667	清水 貞夫			
水堀	922	草間 善雄			
	941	大工原広美			
	948	大工原宗次			

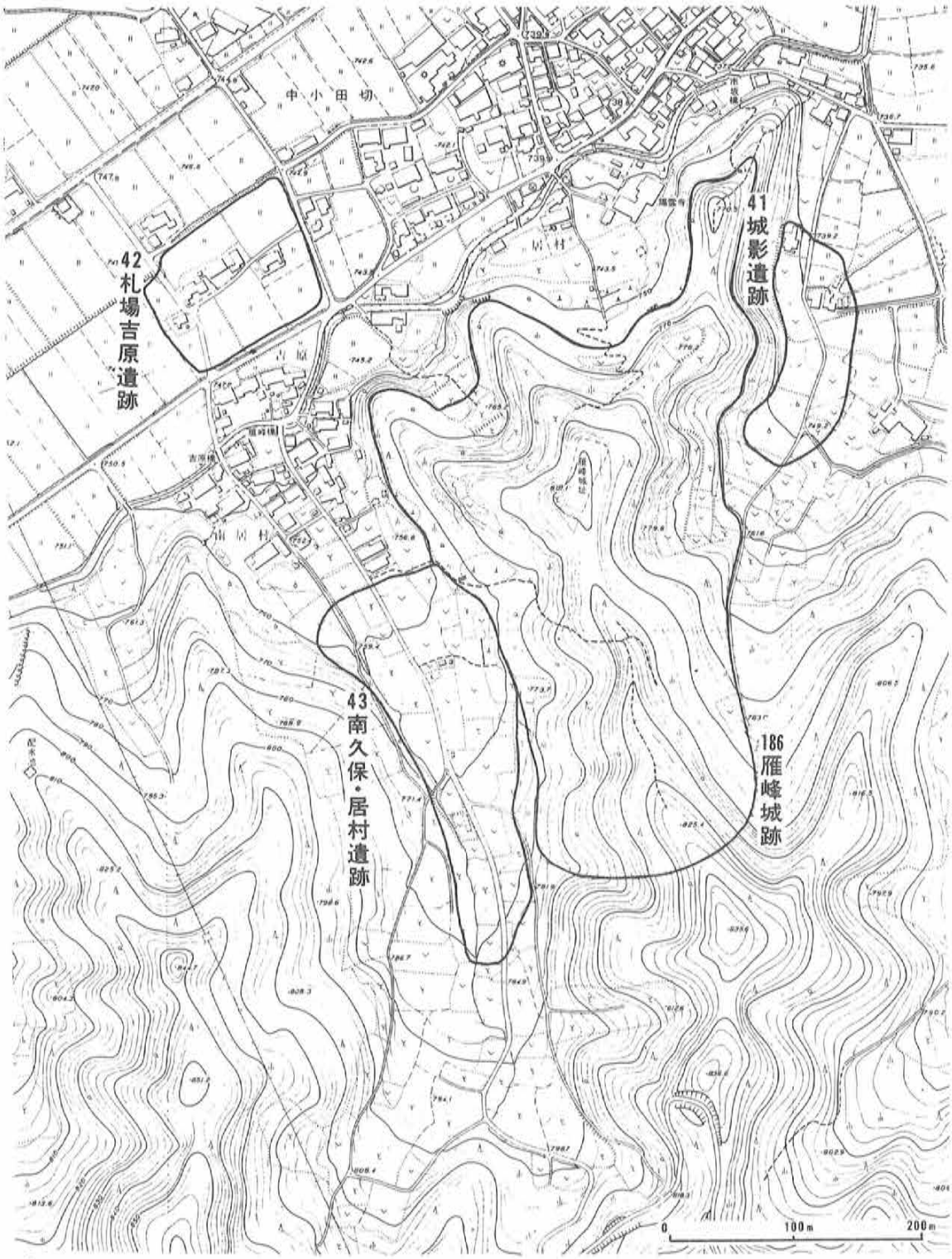
遺物

採集遺物	(平) 土師器、須恵器
既出遺物	(縄・前、中期) 有尾式、勝坂式、加曽利E式土器、打製石斧、磨製石斧、凹石 (古～平) 土師器、須恵器

位置地形環境

雁峰城東麓のゆるやかな北東傾斜面で湧水が豊富、北傾斜する東西巾約200mの畑地のうち遺跡は西の山際の湧水付近に限られると思われる。東北方200mに泉竜院がある。




42 札場吉原遺跡
41 城影遺跡
43 南久保・居村遺跡
186 雁峰城跡
中小田切
居村
吉原
雁峰城址
0
100m
200m

遺跡番号	42	遺跡名	札場吉原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	水田・宅地	面積	10,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

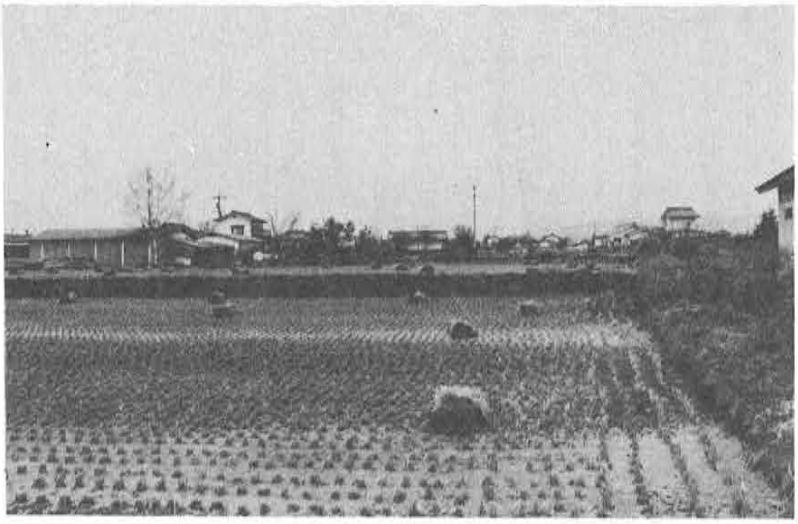
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
吉原	187	草間 友義			
	189	草間 武一			
	190	油井弥八郎			
	219—3	油井 孝一			
	219—4	油井孝太郎			

遺物

採集遺物	(縄) 黒曜石1
既出遺物	(縄・中期) 曽利式土器、打製石斧、磨製石斧、石匙、黒曜石 (古～平) 土師器、須恵器　(油井孝一氏所蔵)

位置 地形 環境

片貝川左岸の平坦面だが微高地をなし、集落が形成されている。圃場整備の際多くの土器が出土した。南方片貝川の対岸には南久保遺跡がある。



遺跡番号	43	遺跡名	南久保・居村	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

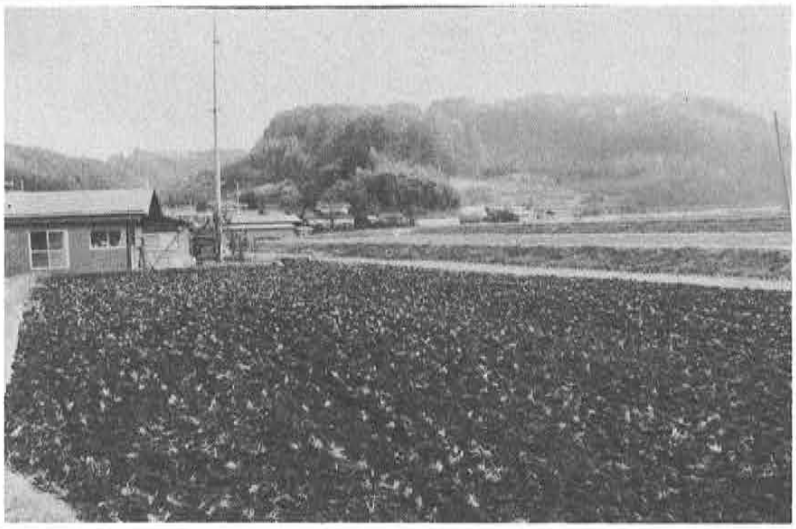
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
南久保	424	油井和太郎			
	429	油井　福造			
	436	油井　利夫			
	437	油井　嘉治			
	441	油井庄三郎			
	447	油井弥之助			
	452	丸山　正俊			

遺物

採集遺物	(平) 土師器2
既出遺物	

位置 地形 環境

片貝川の右岸、中小田切部落を南に入った沢で雁峰城の西南麓にあたる。南から北に緩傾斜する沢で、巾約150mで中央に細流があり小田切部落内を流れて片貝川に注ぐ、沢の下方左岸と上方右岸の畑地で土師器片を採集する。

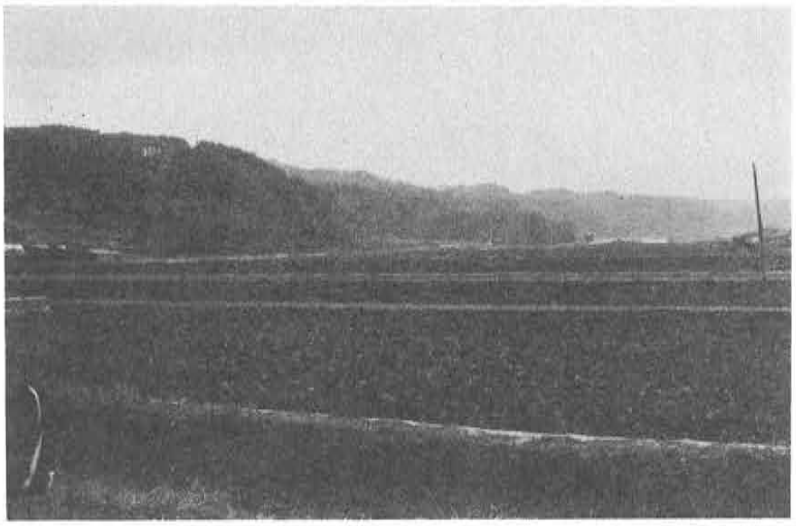


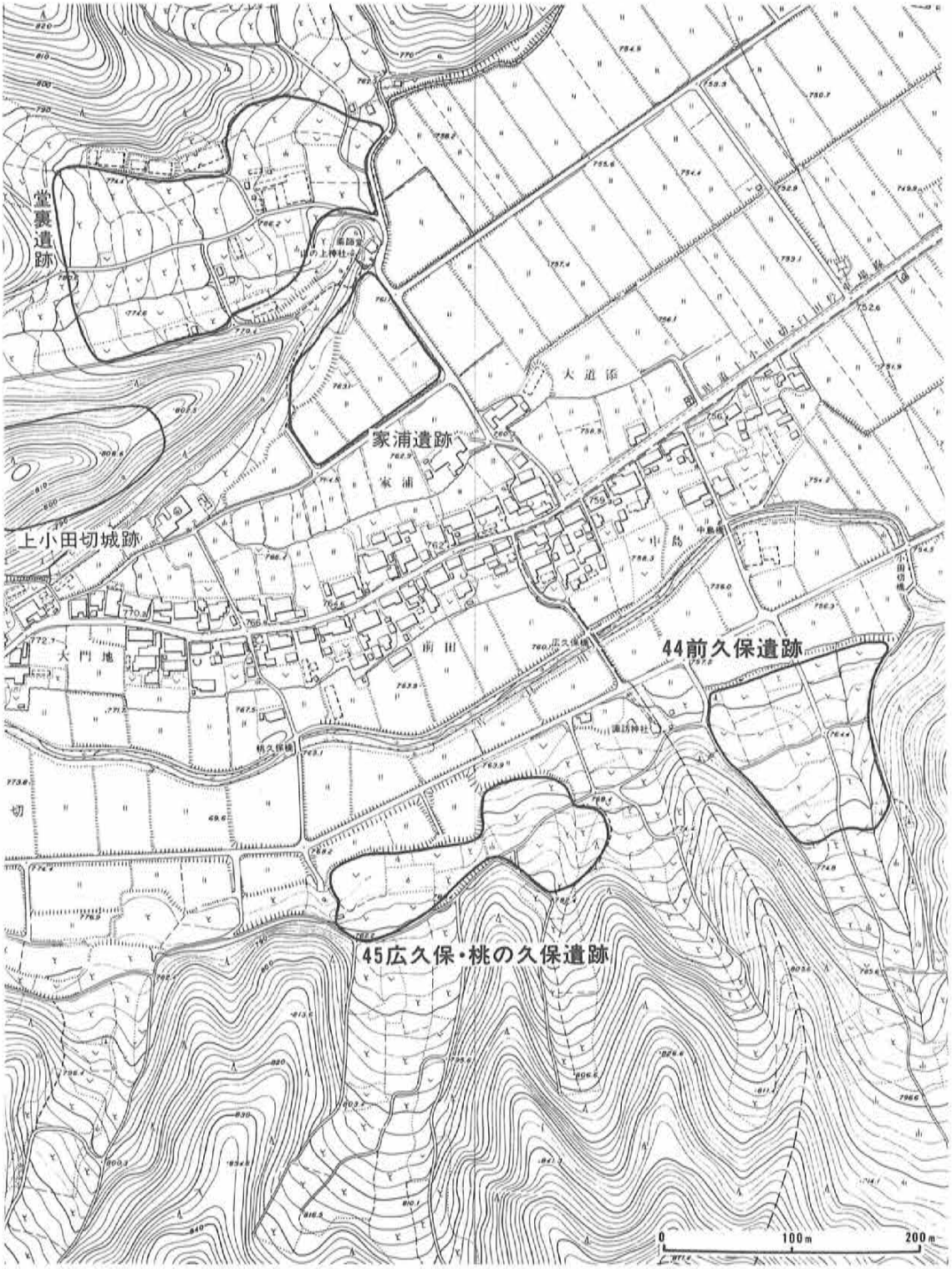
遺跡番号	44	遺跡名	前久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上小田切
地目	畑	面積	4,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	前久保	320	草間　密			
		322	小平　武朋			
		325—1	鷹野　秀司			
		327—1	鷹野　秀司			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄・中、後期）加曽利E式、加曽利B式土器、石鏃、打製石斧、凹石 （平）土師器、須恵器

位置地形環境	
	上小田切部落の南方片貝川右岸の山麓、北西に傾斜する沢で、西方諏訪神社の尾根をへだてて広久保・桃の久保遺跡がある。東方の尾根をへだて、約300mに南久保遺跡がある。




堂裏遺跡
家浦遺跡
上小田切城跡
44前久保遺跡
45広久保・桃の久保遺跡
大道添
家浦
中島
南田
大門地
0
100m
200m

遺跡番号	45	遺跡名	広久保・桃の久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上小田切
地目	畑	面積	24,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

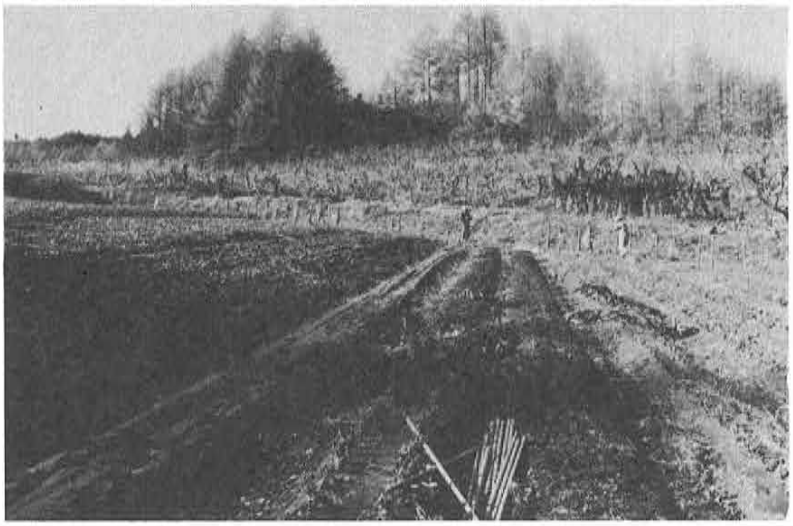
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
広久保	425	鷹野　敏彦			
	426	土屋　伸代			
	428	土屋　巽			
	429	鷹野　利二			
桃の久保	471	市川　英武			
	482	小金沢英一			

遺物

採集遺物	（平）土師器4
既出遺物	

位置地形環境

上小田切部落の南方の山麓の畑地で、南北1200mに及ぶ細長い地形で、前面の低地を片貝川が流れている。西端に清水畑の湧水がある。

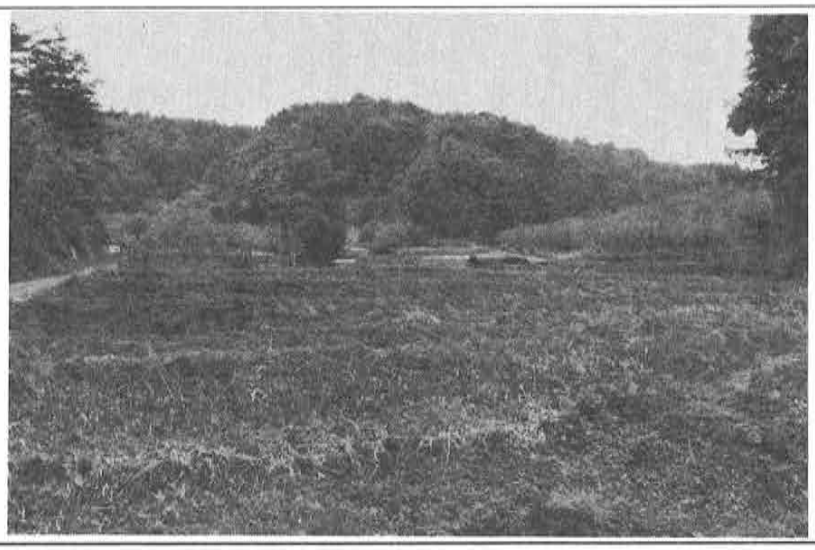


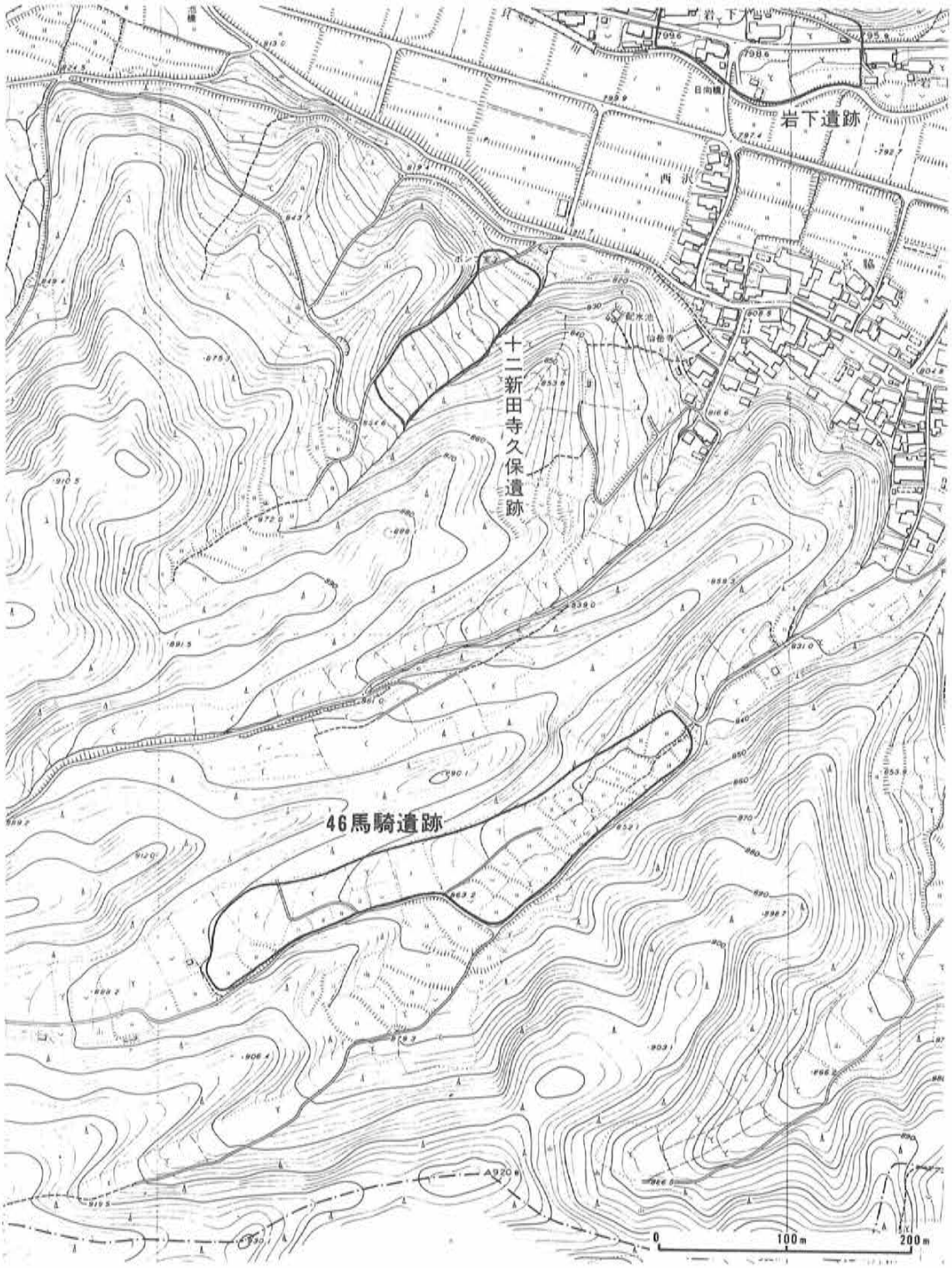
遺跡番号	46	遺跡名	馬　騎	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	十二新田
地　目	畑・水田	面　積	17,000㎡	時　代	縄文・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
	馬　騎	1008	日向　安義			
		1009	井出　栄蔵			
		1010	井出　貞雄			
		1015	井出　貞雄			
		1021	日向　熊吉			
		1025—1	内藤　次郎			

遺物		
	採集遺物	（平）土師器
	既出遺物	（縄）打製石斧

位置地形環境	
	十二新田部落の南方の山麓を南西に入る細長い沢で、北東面に傾斜する沢の中央を細流が流れ階段状の水田も開かれている。谷の出口の東方には広久保・桃の久保遺跡がある。



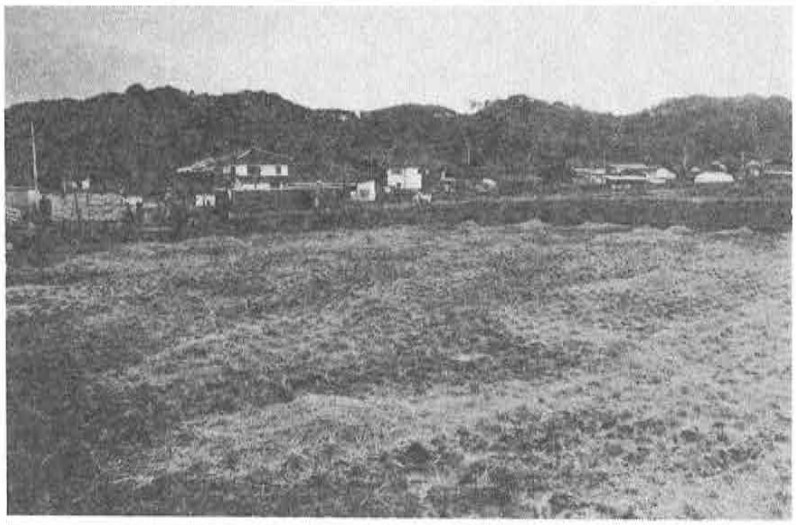

岩下遺跡
十二新田寺久保遺跡
46馬騎遺跡
0
100m
200m

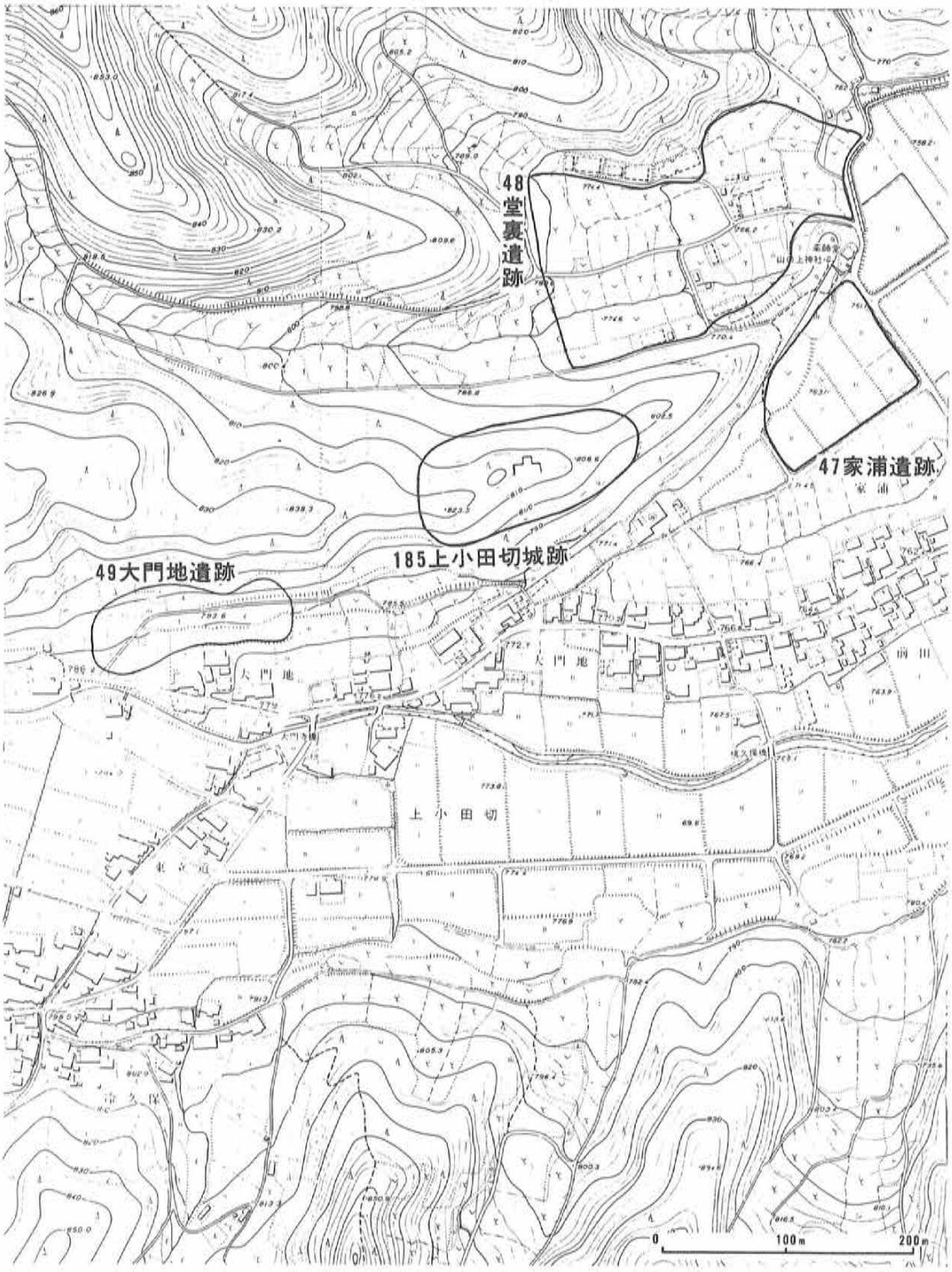
遺跡番号	47	遺跡名	家浦	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上小田切
地目	水田	面積	6,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	家浦	274	井出 竜蔵			
		275	小金沢巻太郎			
		276—1	小林 茂夫			
		277	市川 利一			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄) 中期後半の土器、石鏃8、打製石斧、黒曜石 (平) 土師器 (内黒) (井出竜蔵氏所蔵)

位置 地形 環境	
	片貝川左岸の上小田切部落北方の水田のうち、薬師堂のある山の尾根先端部の南麓の水田4枚にわたって、開田の際に土器、石器がたくさん出土した。




48
堂裏遺跡
47家浦遺跡
49大門地遺跡
185上小田切城跡
大門地
上小田切
0
100m
200m

遺跡番号	48	遺跡名	堂裏	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上小田切
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者

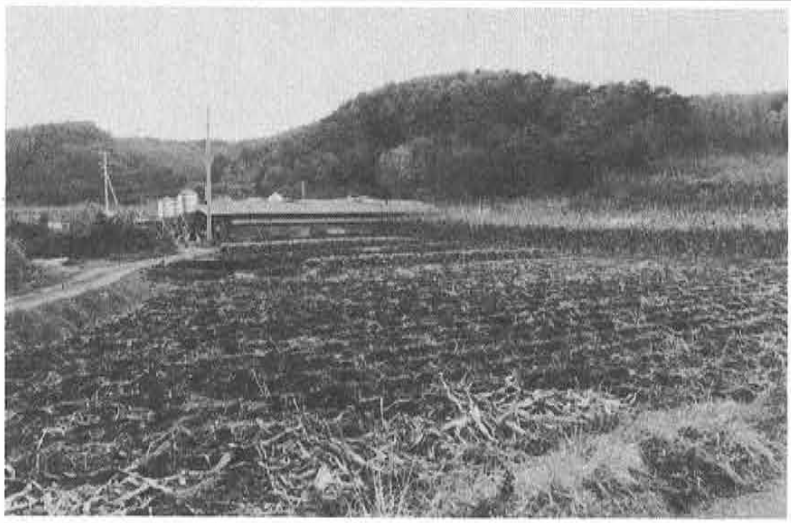
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
堂裏	210	市川　和一			
	212	市川　宣角			
	213	芦沢　由武			
	215	小林　仙助			
	216	小林　茂夫			
	220	小金沢巻太郎			
	222	鷹野　秀司			

遺物

採集遺物	(縄) 土器2　(古～平) 須恵器2
既出遺物	(縄) 石鏃　(古～平) 須恵器

位置地形環境

上小田切城跡の尾根の北方山麓にそって西から東に緩傾斜する沢で、東方は水田地帯が開ける。沢の出口の南側の尾根の東端に薬師堂がある。西の入ともいう。現在養豚団地があり、その付近から東方、薬師堂と相対した山麓にかけて出土が多い。

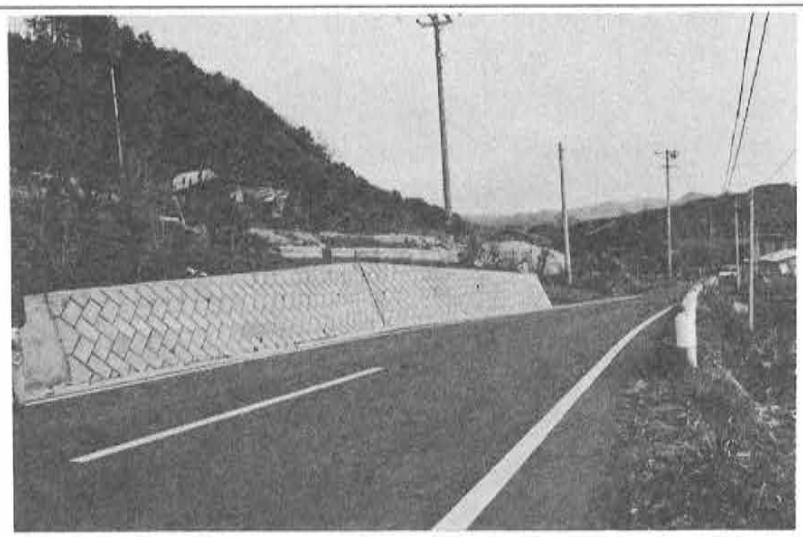


遺跡番号	49	遺跡名	大門地	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	2,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	大門地	590	井出　勝一			
		595	篠原　幸雄			
		596	篠原　幸太			
		600	畠山袈裟一郎			
		602	小金沢勝助			

遺物		
	採集遺物	（縄）石鏃
	既出遺物	（縄・前期）繊維入土器（花積下層式）多数、石鏃2、黒曜石 （縄・後期）堀の内式土器（平）土師器　　（井出竜蔵氏所蔵）

位置地形環境	
	片貝川左岸十二新田部落の北方丘陵の山麓東西約200mにわたる細長い畑地に分布する。県道より北方の狭長な南面する段丘斜面に立地し、後方の山腹には岩下洞窟がある。

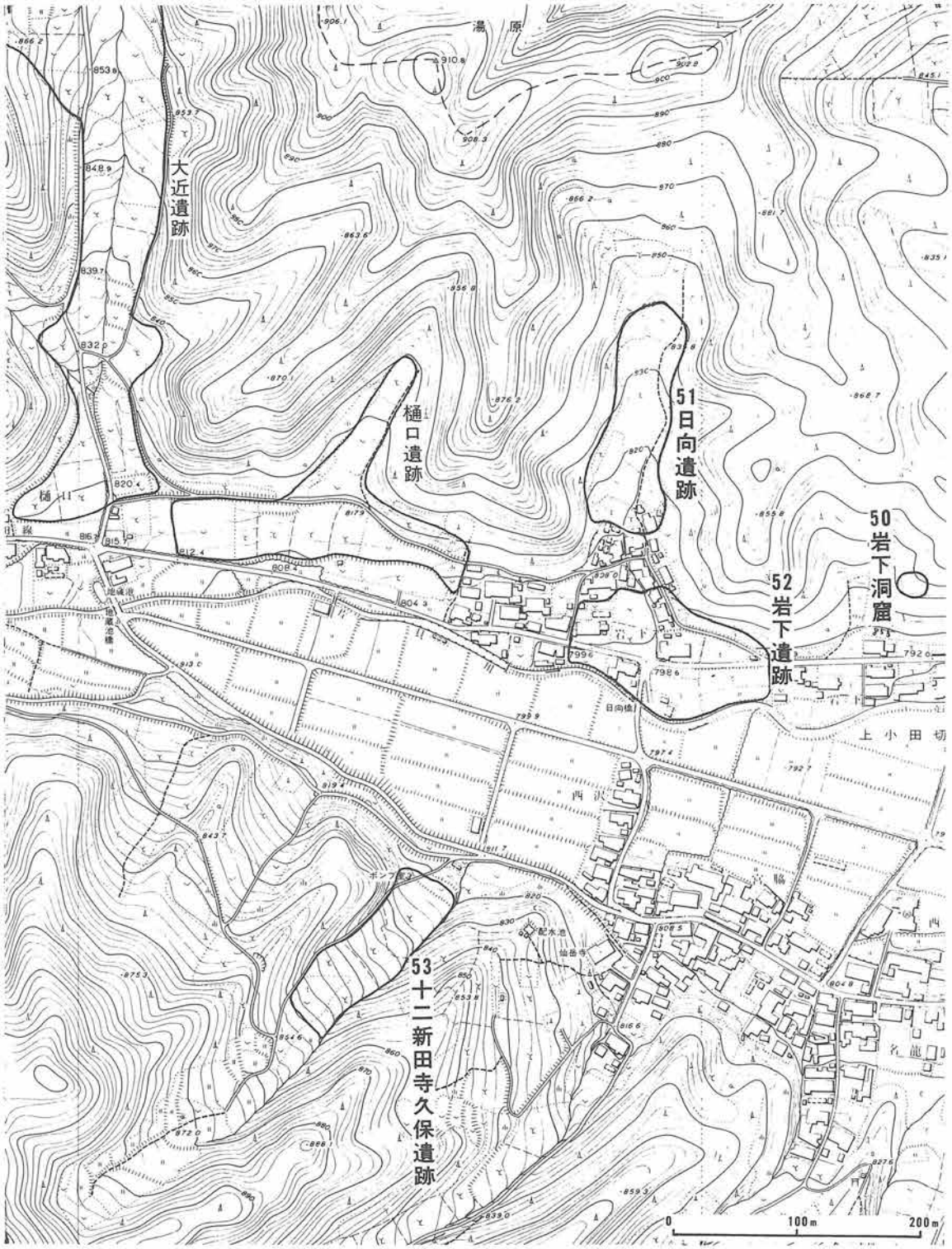


遺跡番号	50	遺跡名	岩下洞窟	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	山林	面積	300㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	岩下	852	高橋 徳秀			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器
	既出遺物	(平) 土師器(ロクロ痕あり) 土師埦形土器1、骨(大動物) (井出竜蔵氏所蔵)

位置 地形 環境	
	十二新田部落の北方50m、比高50mの山腹、急傾斜の山林の中にある。集塊岩の洞窟で、奥行2,5m、高1,7m、間口7m、南面している。東側の隅に窟内から垂直に高さ2m、径約35㎝の孔が窟外に貫通していて、窟内には火をたいたと思われる煤が付着している。

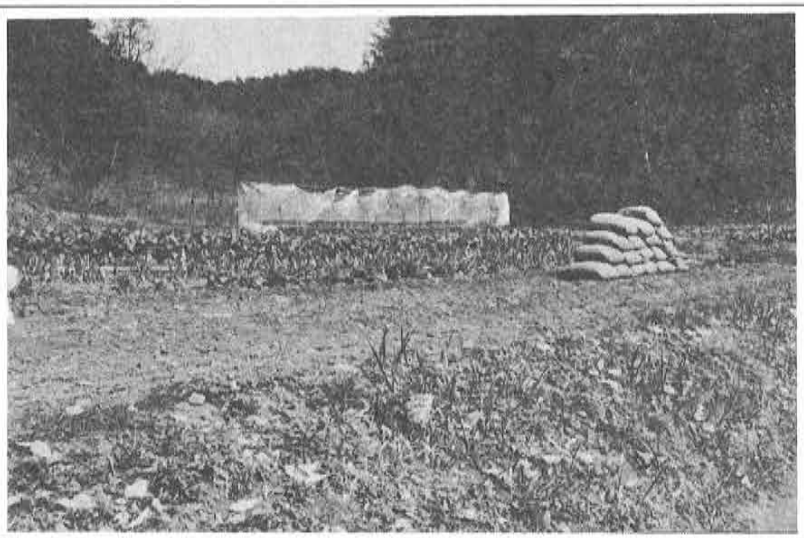

湯原
大近遺跡
樋口遺跡
51日向遺跡
52岩下遺跡
50岩下洞窟
53十二新田寺久保遺跡
日向橋
上小田切
西川
配水池
仙岳寺
名籠
0
100m
200m

遺跡番号	51	遺跡名	日向	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	2,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	日向	1276	小池己喜松			
		1278	小池　文人			
		1280	小林　雅人			
		1281	小林宣之助			
		1282	篠原　四郎			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄・後期)堀ノ内式土器　(井出竜蔵氏所蔵)

位置地形環境	
	十二新田部落の北方に入った沢で、普通畑、桑畑、荒地等になっている。東方の尾根の山腹には岩下洞窟があり、沢の出口の南方、県道の下には岩下遺跡がある。

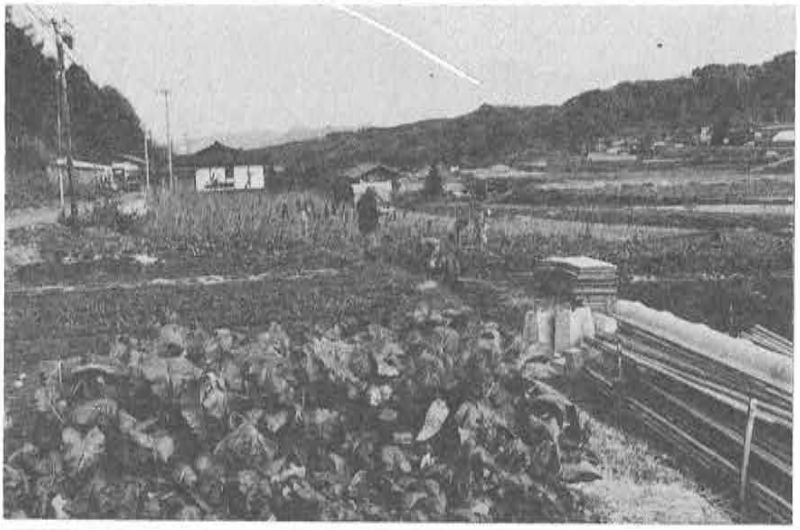


遺跡番号	52	遺跡名	岩下	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	5,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	岩下	867	㈲ 八千代機電製作所			
		869	篠原 安雄			
		870	井出 昭蔵			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄) 石鏃2、黒曜石 (平) 土師器4 (井出竜蔵氏所蔵)

位置 地形 環境	
	十二新田部落のほぼ中央、県道をまたいで片貝川までの間の南傾斜の段丘面に所在する県道を越えた北方には日向、岩下洞窟、大門地等の遺跡がならんでいる。



遺跡番号	53	遺跡名	十二新田寺久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	15,000㎡	時代	縄文・古墳 平安・中世	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	寺久保	1139	小金沢幹男			
		1140	小金沢幹男			
		1146	樋田　郁夫			
		1150	小金沢一利			

遺物		
	採集遺物	(中) 内耳土器
	既出遺物	(縄・中期) 加曽利E式土器、打製石斧 (古～平) 土師器、須恵器

位置 地形 環境

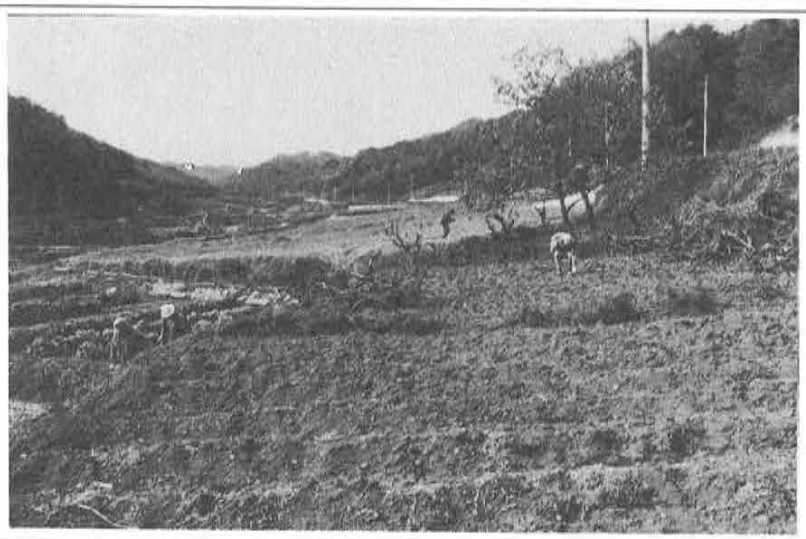
十二新田部落の西端付近から、南方山麓を南西に入った沢で、沢の奥に泉があり細流が流れ、階段状の水田が開かれているが、現在は休耕してほとんどが荒廃畑となっている。北西端の水道配水池の下方の小金沢守氏の畑から内耳土器を表面採集した。

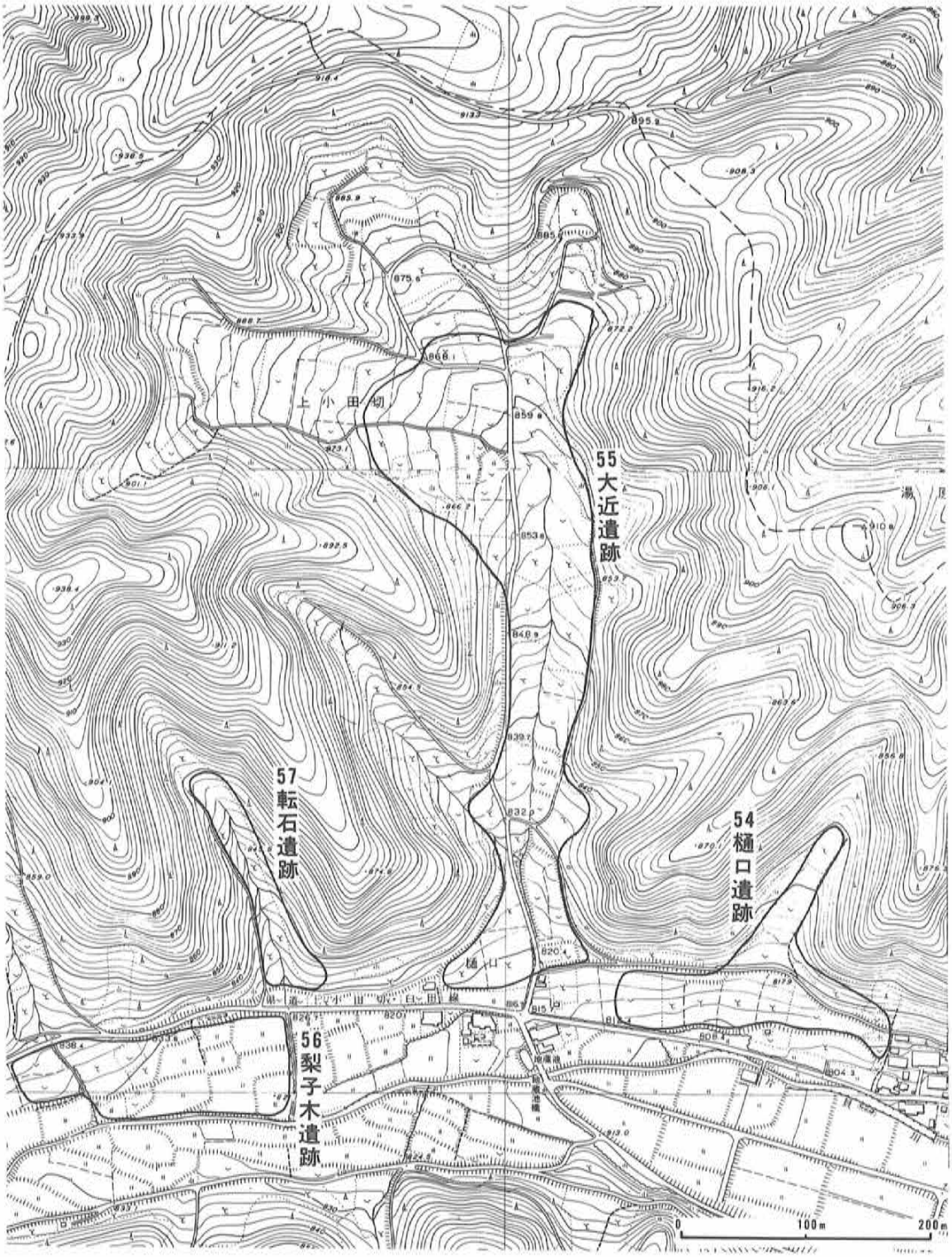
遺跡番号	54	遺跡名	樋口	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑・水田	面積	5,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	樋口	1232	小林寅之助			
		1233	小金沢一利			
		1234	日向　ゆう			
		1235	篠原　定市			
		1237	篠原　四郎			
		1239	篠原　基			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器、須恵器
	既出遺物	

位置地形環境	
	片貝川左岸十二新田部落西端の北方にある小さな沢で、日向と大近両遺跡の間にあり南は県道をもって限る。南に緩傾斜し、沢の中央東よりには湧水があり、県道にそって沢の入口には水田があり、上方は畑地となっている。




55
大近遺跡
54
樋口遺跡
57
転石遺跡
56
梨子木遺跡
上小田切
樋口
0
100m
200m

遺跡番号	55	遺跡名	大近	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	20,000	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
大近	1370	篠原　四郎	大近	1407	日向　平吾
	1380	樋田　証			
	1401	篠原　正史			
	1402	林　東次郎			
	1403	井出　佳三			
	1404	小金沢未治郎			
	1405	小金沢喜蔵			
	1406	井出とよじ			

遺物

採集遺物	(縄) 黒曜石　(平) 土師器2
既出遺物	(平) 土師器

位置地形環境

片貝川の左岸十二新田部落の東端から北方に入った大きな沢で、北方に尾根を越えて湯原新田に農道が通じている。普通畑、桑畑、薬用人蔘畑があり、道路にそう西側の畑から遺物を採集する。

遺跡番号	56	遺跡名	梨子木	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	5,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	梨子木	1485	日向　安義			
		1486	日向　平吾			
		1488	布施　菊男			
		1489	樋田　正美			
		1501	小金沢一利			

遺物		
	採集遺物	（縄）チャート1（平）土師器4、灰釉1
	既出遺物	（縄）中期後半の土器、黒曜石 （古～平）土師器（糸切・内黒）20、須恵器　（井出竜蔵氏所蔵）

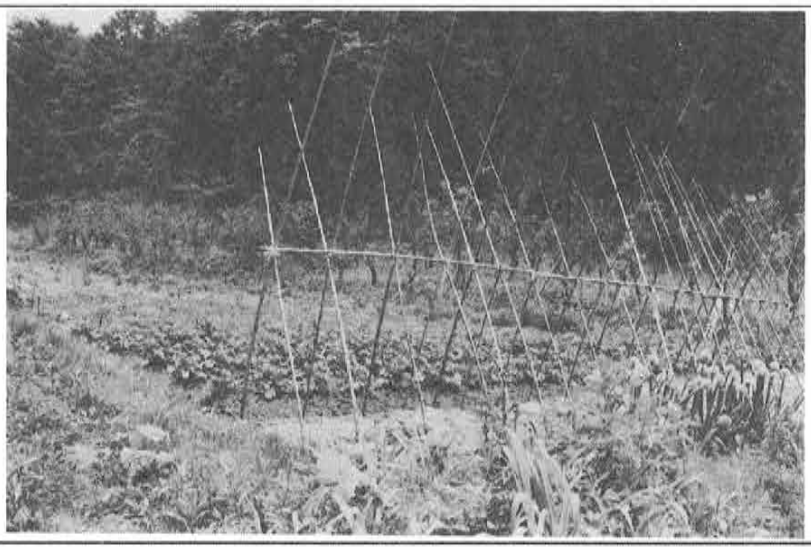
位置地形環境	
	片貝川左岸の山麓の狭い段丘上に立地し、芋地屋の沢の出口から東へ三本松（神明松）手前付近までの間、県道を北限として段丘斜面の畑地を分布範囲とする。梨子木、きびが久保の二つの字にまたがる。県道の北側には転石遺跡がある。

遺跡番号	57	遺跡名	転石	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	1,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	転石	1452	井出和文治			
		1453	篠原　正門			
		1454	篠原　四郎			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器1 (ロクロ使用)
	既出遺物	

位置地形環境	
	片貝川左岸、大近遺跡の西方300m、県道北側の山麓に入った南面する小さな沢で県道西南方の下には梨子木遺跡がある。小規模な遺跡と思われる。



遺跡番号	58	遺跡名	金ケ崎	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月15日

所在地・土地所有者

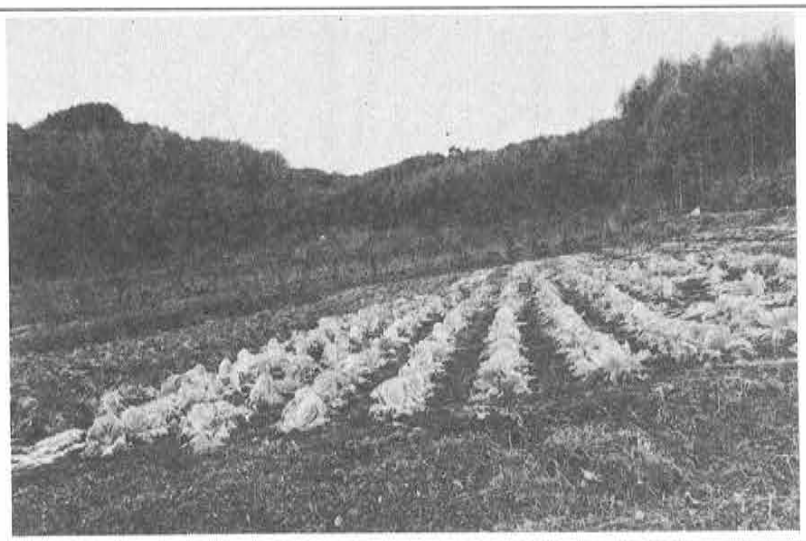
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
金ケ崎	1641	小林　雅雄	金ケ崎	1674	小林　雅雄
	1643	小林　好和		1677	小金沢富美江
	1645	井出　佳三		1678	鷹野平八郎
	1653	林　東次郎			
	1657	小林　好和			
	1667	小金沢藤吉			
	1669	畠山　政明			
	1672	小金沢公夫			

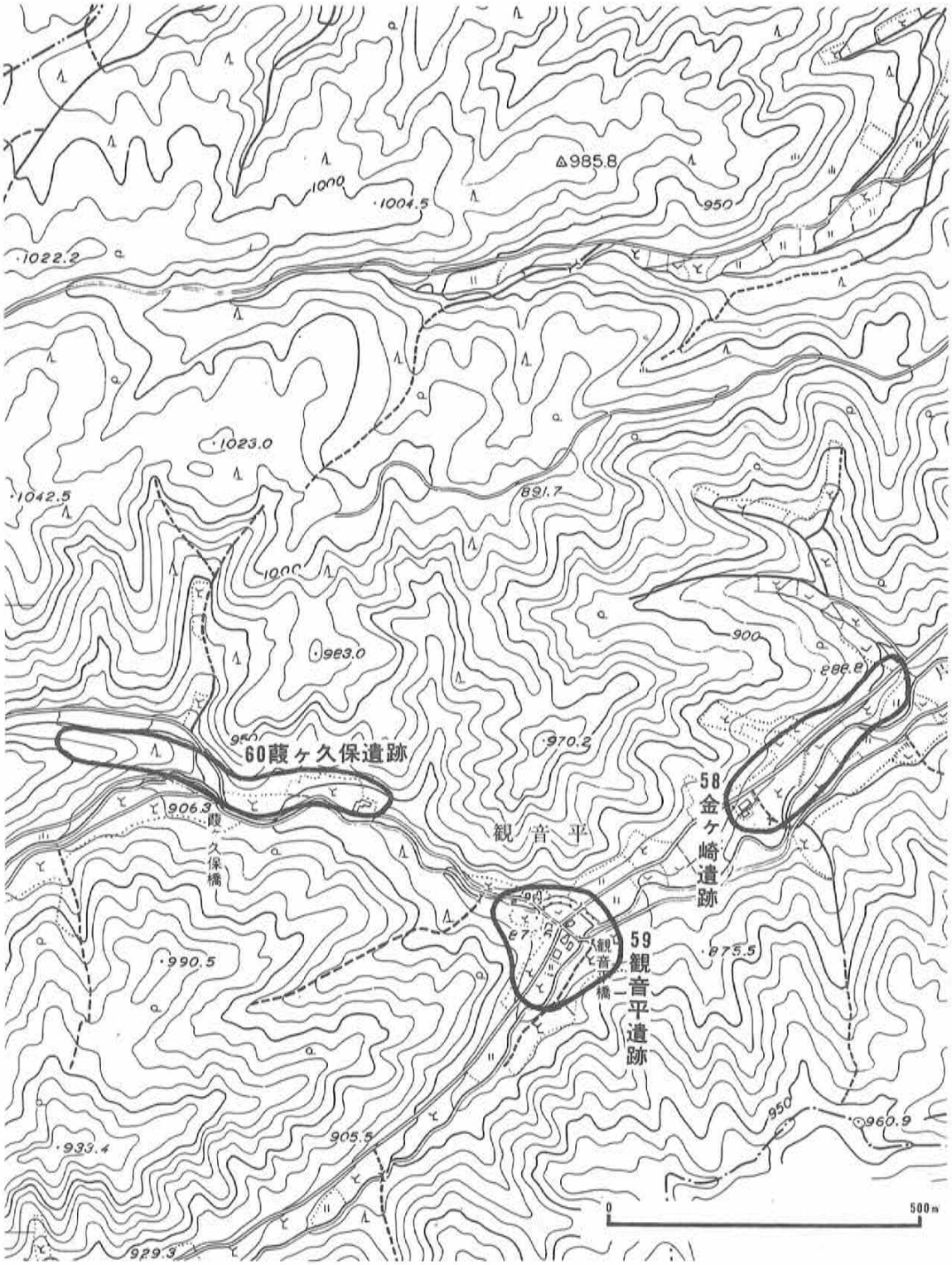
遺物

採集遺物	（縄・早期）縄文土器　黒曜石　（平）土師器、須恵器
既出遺物	（縄）繊維入り土器２、石鏃、黒曜石 （平）土師器（内黒、高台付）　（井出竜蔵氏所蔵）

位置地形環境

片貝川左岸の山麓台地の南面する段丘斜面に立地し、観音平の東方約300m付近の県道にそってその下方に位置するが、一部は県道の上方の畑も含む。




△985.8
1000
1004.5
950
1022.2
1023.0
1042.5
891.7
1000
983.0
900
882.2
950
970.2
60葭ヶ久保遺跡
906.3
葭ヶ久保橋
観音平
58
金ヶ崎遺跡
59
観音平遺跡
観音平橋
990.5
875.5
950
960.9
933.4
905.5
929.3
0
500m

遺跡番号	59	遺跡名	観音平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	6,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者

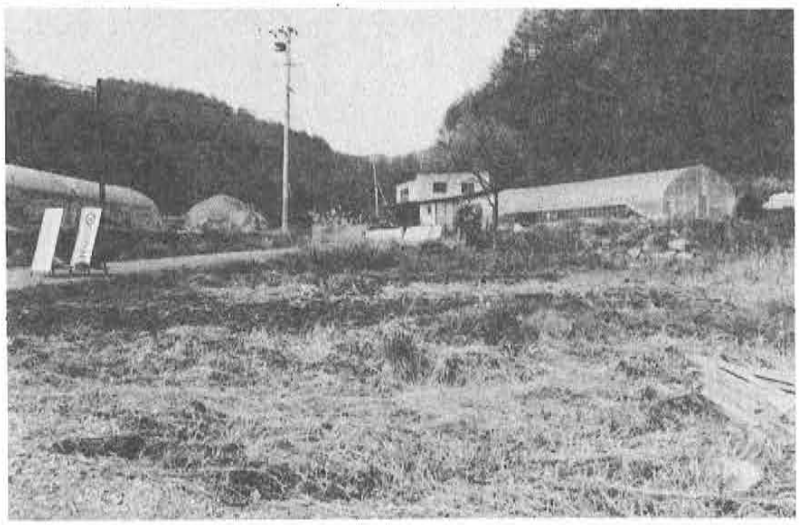
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
本久保	1750	井出　保三	本久保	1774	井出　五六
	1757	山口　辰雄		1778	南茂　定雄
	1767	畠山一太郎			
	1768	諏訪社（西立道）			
	1770	日向　安義			
	1772	小金沢勝助			
	1773	市川佐太郎			

遺物

採集遺物	（縄）土器3　黒曜石33
既出遺物	（縄・早、中期）楕円押型文、無文尖底部（繊維入）、中期土器、打製石斧、石鏃29、黒曜石剝片多数　（井出竜蔵氏所蔵）

位置地形環境

片貝川上流で大曲川と観音平川の合流点付近で、両川にはさまれた山麓の狭い平地に分布し、一部は観音平川の右岸台地にまで及ぶ。



遺跡番号	60	遺跡名	葭ケ久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	15,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	葭ケ久保	1809	篠原　千秋			
		1809	篠原　唯七			
		1809	篠原　幸雄			
		1811	鷹野平八郎			

遺物		
	採集遺物	（縄・早期）繊維入り土器1
	既出遺物	（古～平）須恵器　（井出竜蔵氏所蔵）

位置地形環境	
	観音平から大曲川の約700m上流を北西に入った葭ケ久保と、その入口から東方へ大曲林道にそって約200m、大曲林道の北側の畑地一帯に分布する遺跡である。葭ケ久保奥には湧水があり水田もつくられているが、現在は休耕して荒地となっている。

遺跡番号	61	遺跡名	町屋形	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	50,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	町屋形	1783	小池袈裟松			
		1786	小金沢保重			
		1787	小金沢巻太郎			
		1790	小金沢淳之進			
		1791	井出とよじ			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄) 石鏃3、石匙1 (平) 土師器 (内黒) 20　　(井出竜蔵氏所蔵)

位置地形環境	
	大曲川の中流域、葭ケ久保入口より西方100m付近から西へ大曲川の両岸の野菜団地一帯に延長約1,000mにわたって分布する。巾80〜100mのほぼ平坦な沢の中央を大曲川が東に流れている。一帯は野菜団地として開かれている山間の小平地である。

61町屋形遺跡
62坂さ帰り遺跡
63大岩穴洞窟
大岩穴
林道西山線
大曲川
観音平川
1136.3
1115.8
1072.1
1032.1
968.7
953.0
1000
980.8
1000
1050.0
1073.0
1050
1092.1
980.3
1000
1100
1127.2
1091.8
0
500m

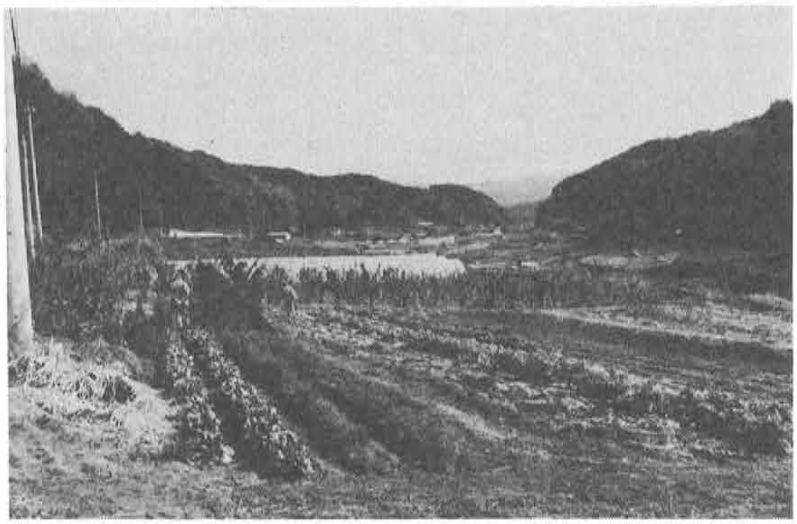
遺跡番号	62	遺跡名	坂さ帰り	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	畑	面積	3,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	坂さ帰り	1823	臼田町			
		1823	畠山一太郎			
		1823	鷹野　博			
		1823	鷹野　正信			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器3 (糸切、内黒)
	既出遺物	(縄) 土器数点、石鏃2 (平) 土師器 (内黒、糸切、暗文)、灰釉　(井出竜蔵氏所蔵)

位置地形環境

町屋形遺跡の西方100m、大曲川左岸の山麓畑地に分布し、西に広域林道の分岐点があり、その東に大岩穴洞窟がある。本遺跡は広域林道分岐点から東へ約150mの間にあり、その中心部の山麓に大きな集塊岩の洞窟がある。大曲川の氾濫や畑の整地等によって、入口が埋まりわずかに身を屈して中に入ることができる程度であるが、付近の畑には土師器糸切底、内面黒色土器等の破片がたくさん採集されている。



遺跡番号	63	遺跡名	大岩穴洞窟	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	山林	面積	500㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	坂さ帰り	1823	臼田町			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器、鹿角片　(井出竜蔵氏所蔵)

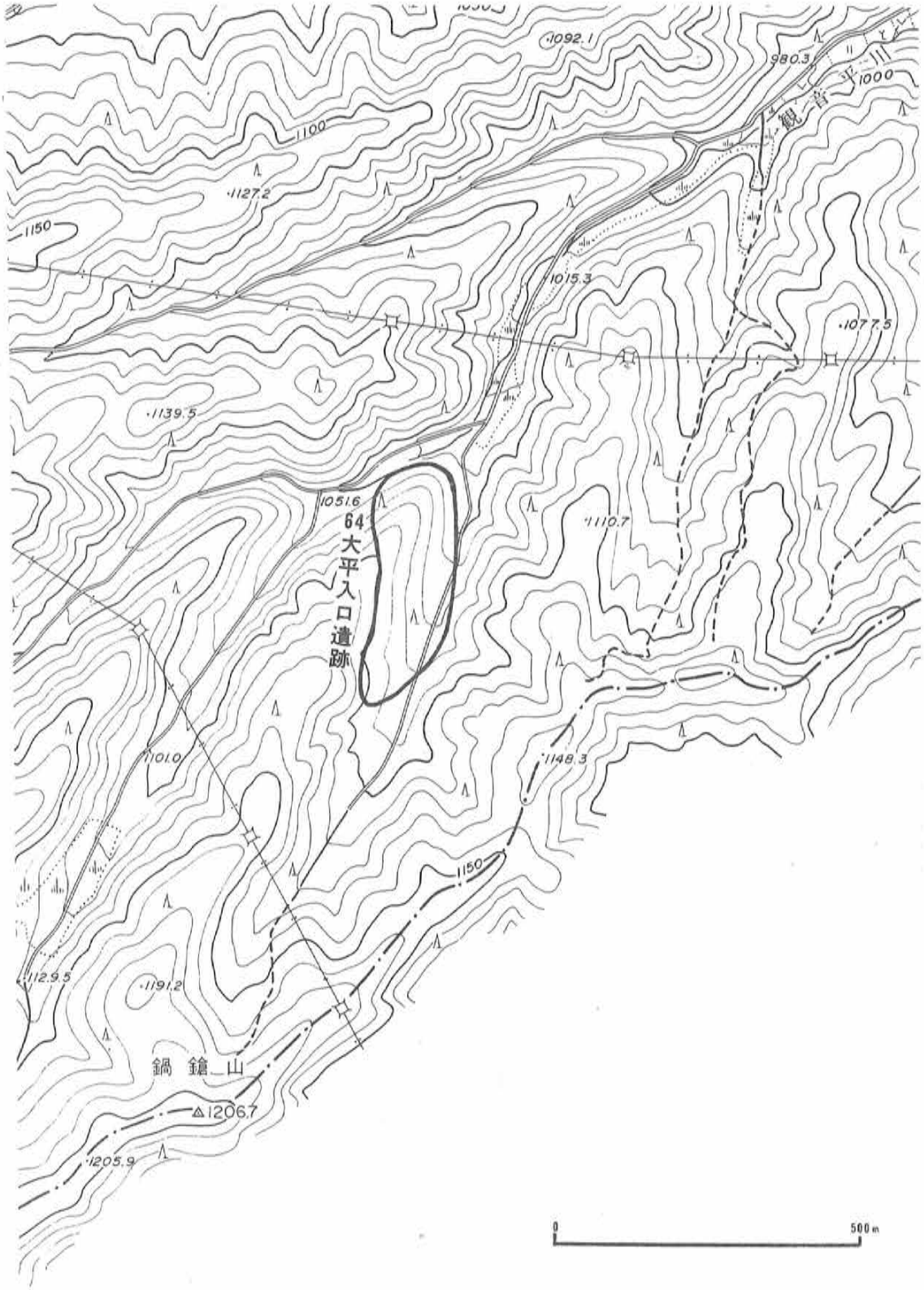
位置地形環境	
	坂さ帰り遺跡の東方、大曲川左岸の山麓、大曲林道の道路ぎわに開口している集塊岩の大洞窟であるが、大曲川の氾濫や道路改修で路面が高くなり、洞窟入口はほとんど閉塞され、わずかに身を屈して洞内に入ることができる。間口11m、奥行9m、洞内巾14m、同天井高2.3m。

遺跡番号	64	遺跡名	大平入口	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	山林	面積	3,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	大平		国有林			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄・前期) 黒浜式土器　(三石延雄氏所蔵)

位置地形環境	
	観音平川の最上流部、大曲国有林の山間に隔絶された遺跡である。通手の開拓部落より観音平川をさかのぼり、大平開墾地の入口、標高1047mの国有林標識付近に所在する。旧大曲遺跡を大平入口遺跡と改称する。


1092.1
980.3
1000
観音平
1100
1127.2
1150
1015.3
1077.5
1139.5
1051.6
64
大平入口遺跡
1110.7
1101.0
1148.3
1150
1129.5
1191.2
鍋鎗山
△1206.7
1205.9
0
500m

遺跡番号	65	遺跡名	大曲	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十二新田
地目	山林	面積	10,000㎡	時代	先土器	調査年月日	61年11月14日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	大曲		国有林			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(先) 黒曜石 (石核) (井出竜蔵氏所蔵)

位置 地形 環境	
	大岩穴洞遺跡からさらに大曲川を3㎞余さかのぼった国有林内、標高1240m、大曲川が南に屈曲する付近の右岸にある。井戸端の上の橋で道路工事の際にローム層の中から黒曜石の石核が発見された。

久　市
佐　久
臼　田
大　松
65 大曲遺跡
大曲併用林道
井戸端造林小屋
1269.9
1147.0
1279.9
1200
1298.2
1187.7
1250
1250.3
1330.8
1280.3
1300
236.2
1288.0
1348.2
1350
1279.0
1398.0
1335.2
1307.4
0
500m

遺跡番号	66	遺跡名	離山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上中込
地目	畑・山林 宅地	面積	73,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者

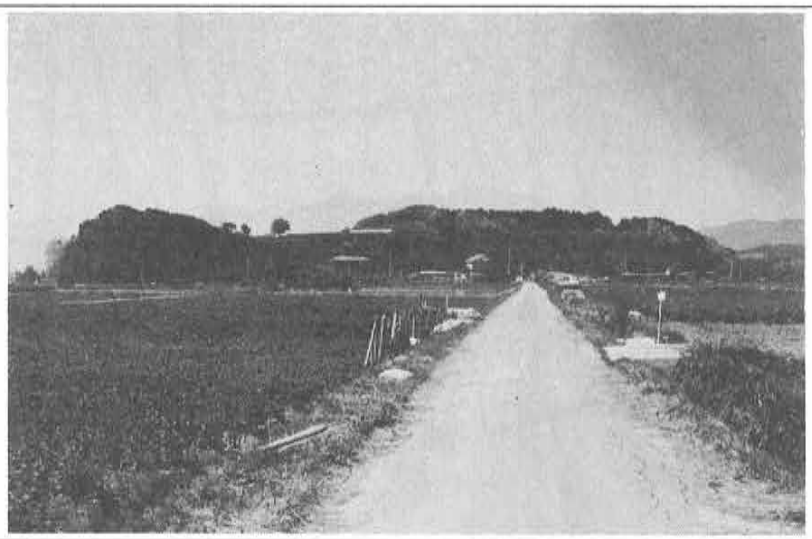
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
離山	5834	佐藤　保	離山	5908	青木　健夫
	5835	池田ちくさ		5910	秦　一二
	5839	小林　盈		5929	池田　うめ
	5857	有賀　光治		5991	宮沢　繁男
	5860	坂本　広次			
	5861	池田ヨシエ			
	5876	足立　洋子			
	5885	志摩　寿一			

遺物

採集遺物	(縄) 黒曜石　(弥) 後期土器5 (古～平) 土師器片6
既出遺物	(弥・後期) 箱清水式土器、銅釧3

位置 地形 環境

千曲川右岸の平地に孤立する台地状の独立した山、山腹から山頂には畑地がかなり開かれているが大部分は山林となっている。畑地では、黒曜石、弥生後期、土師器等の土器片が採集できる。山麓には3基の古墳が存在する。南麓ではかつて農道建設工事の際銅釧3ケ、金環2ケが出土した。



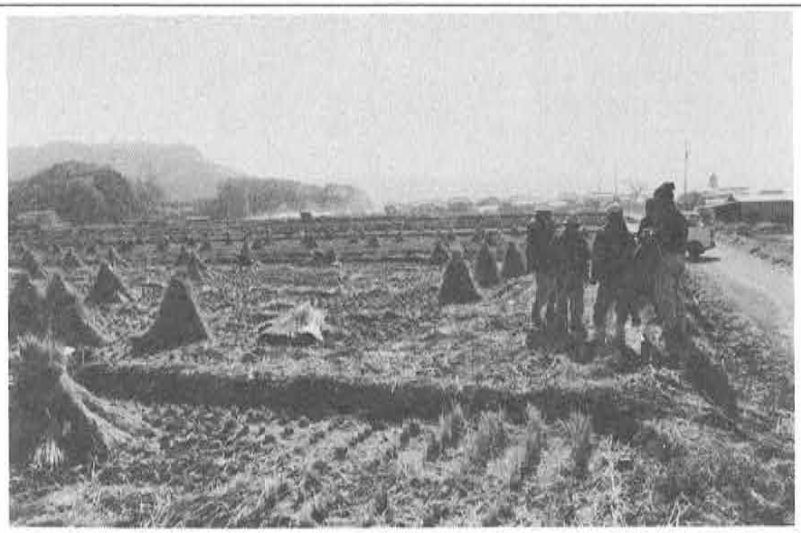
(大田部)
137離山3号古墳
66離山遺跡
離山
136離山2号古墳
135離山1号古墳
銅釧出土地点
67中反田遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	67	遺跡名	中反田	遺跡の種類	包蔵地	部落名	大奈良
地目	水田	面積	1,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中反田	4－182	堀内 重雄			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	土器

位置地形環境	離山と大奈良部落の中間、小海線線路の東側に位置し、千曲川右岸の低い段丘上の平坦な水田地帯に立地する。昭27～29年開田の際堀内重雄氏の水田から出土した。もと一段高い畑地であった。



遺跡番号	68	遺跡名	大奈良	遺跡の種類	包蔵地	部落名	大奈良
地目	宅地 水田・畑	面積	55,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者

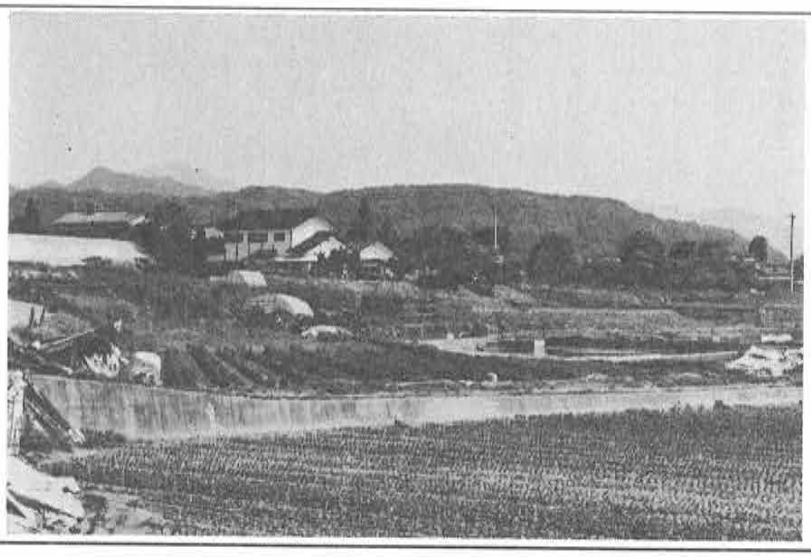
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
金石	3878	加藤　一夫		4458—1	秦　一二
	3879	加藤　米司		4462—1	小林　悦雄
	3883	加藤　嘉一		4486	塩谷　貢平
	3891	柳沢惣三郎		4500—3	佐々木丈夫
	3895	小林　悦雄		4500—4	小林　耕助
大奈良	4446—1～2	佐藤　保		4501—1	小林　嵩
	4450-2～3	加藤　一夫		4511	秦　俊七郎
	4451-1～2	加藤　一夫		4549—1	佐藤　八郎
	4452—1	塩谷　邦彦		4652	柳沢　高作
	4457	塩谷　寅雄	郷士ケ井	4577	加藤　はぎ
				5001—2	柳沢　善一

遺物

採集遺物	（縄）打製石斧（弥・後期）箱清水式土器（平）須恵器片
既出遺物	（縄・中期）勝坂式・加曽利E式土器、打製石斧、磨製石斧、石棒、石皿、多孔石、石鏃、中期後半敷石（弥・後期）高坏2（古）鬼高式長胴甕、瓮　（小林耕助、佐藤八郎、佐藤保氏所蔵）

位置地形環境

千曲川右岸の河岸段丘上に立地し、段丘下の冲積地を小海線が通じ、東方水田地帯の中に脇平山の丘陵端が張り出してきている。集落全体が遺跡である。屋敷内から至るところで遺物が発見されている。昭和27年開田の際には大量に出土している。



田口
芝添遺跡
68
大奈良遺跡
山崎遺跡
山崎古墳
原遺跡
幸神古墳群
3号
5号
6号
1号
2号
4号
外九間
2号
0
100m
200m

遺跡番号	69	遺跡名	原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑・宅地	面積	150,000㎡	時代	弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

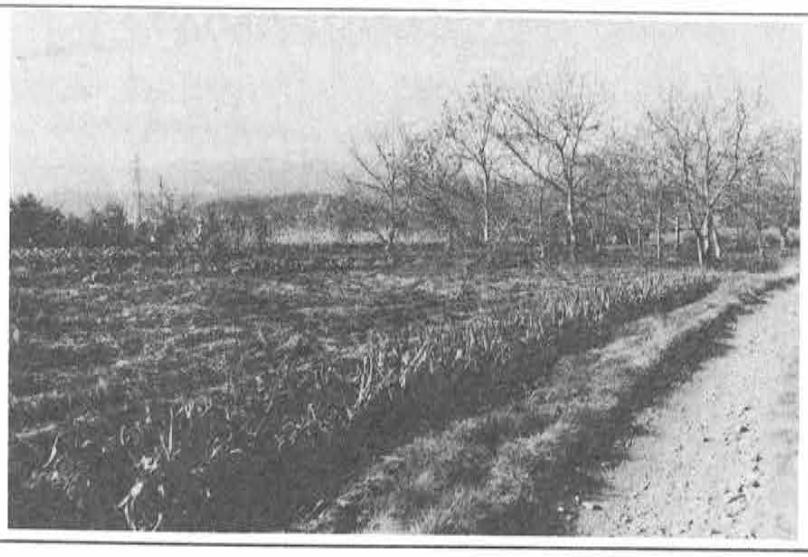
所在地・土地所有者

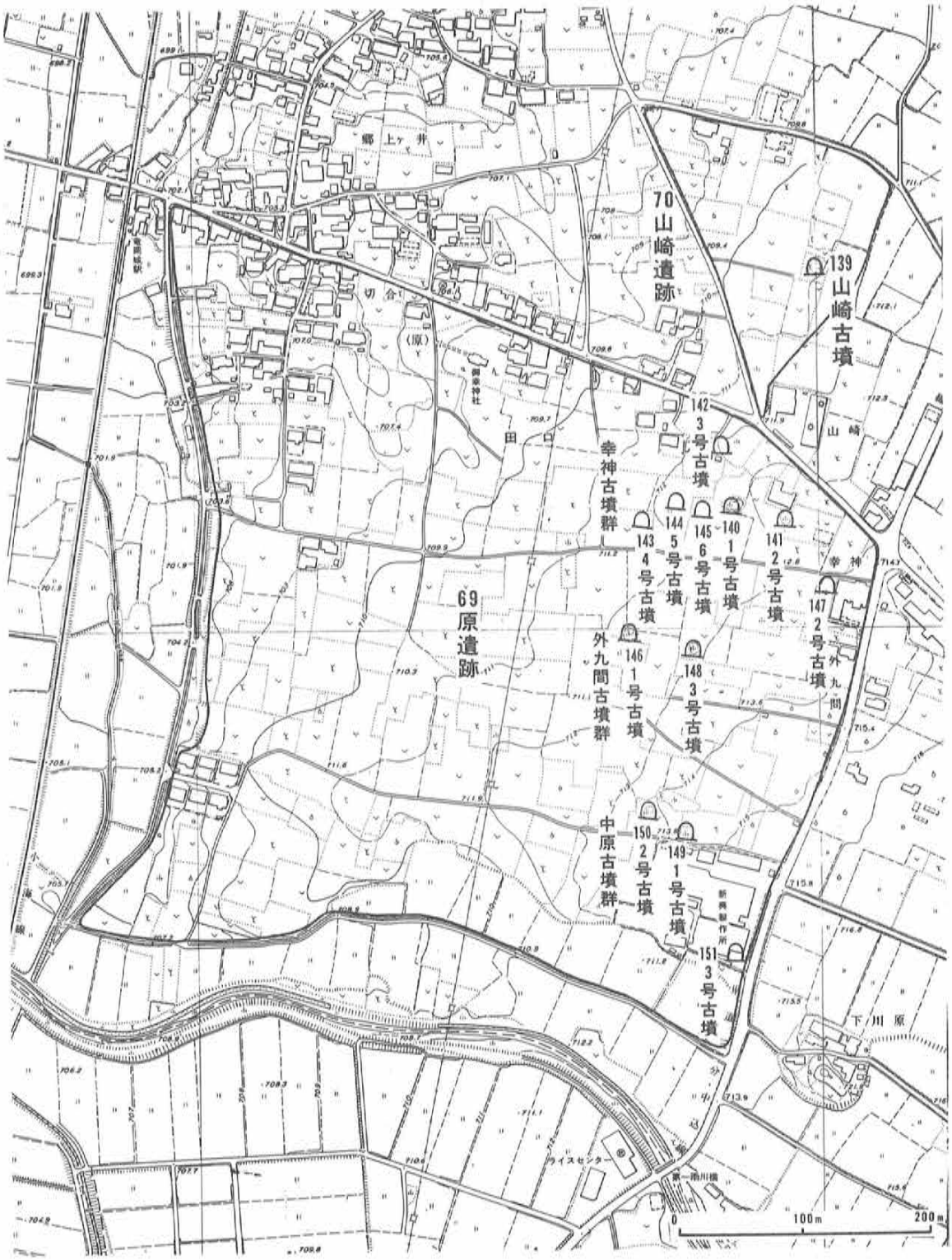
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
幸神	4789－1	中沢　繁	切合	4876	柳沢　助重
	4791－1	小林　一秋		4884－1	羽毛田　均
	4795－6	上原　藤平	外九間	5021	佐藤邦三郎
	4798	半田　國男		5024－2	宮沢啓次郎
	4803－1	田中喜久雄		5028－1	森泉　勇
	4840－11	三浦　五郎		5030	佐藤　正三
切合	4843－1	柳沢　茂夫		5051－1	小林　伊作
	4850－3	柳沢伝太郎	中原	5079－1	柳沢　高美
	4853－1	井出　幸治		5085	小林　虎雄
	4856	清水　賢治		5090－1	小林　宗次
	4875－1	柳沢　幸男		5093－1	宮沢　新一
			羽毛田端	4681	井出　泰輔

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	（弥）後期土器 （古）須恵器

位置地形環境

千曲川右岸、支流雨川との合流点付近の比高約５ｍの河岸段丘上に立地する。段丘崖下を小海線が通じている。県道臼田平賀線を東限とする一帯の平坦な畑地で、この遺跡内に幸神、中原、外九間の三古墳群があり、合わせて12基の古墳があるが、最近工場、宅地の建設が目立ち古墳２基が工場と個人の宅地にとりこまれてしまった。




70 山崎遺跡
139 山崎古墳
142 3号古墳
幸神古墳群
143 4号古墳
144 5号古墳
145 6号古墳
140 1号古墳
141 2号古墳
147 2号古墳
69 原遺跡
外九間古墳群
146 1号古墳
148 3号古墳
150 2号古墳
149 1号古墳
151 3号古墳
中原古墳群
郷上ヶ井
切合
(原)
田
山崎
幸神
外九間
下川原
0
100m
200m

遺跡番号	70	遺跡名	山崎	遺跡の種類	包蔵地	部落名	大奈良
地目	畑・宅地	面積	8,000㎡	時代	弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者

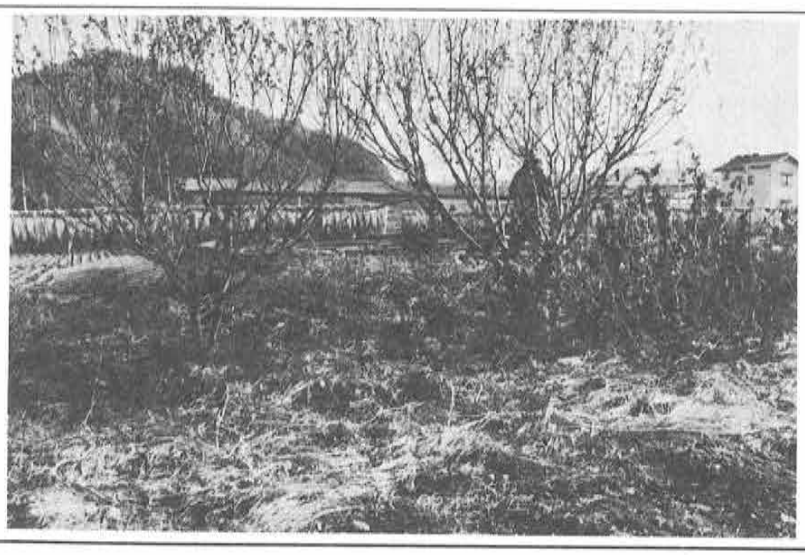
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
山崎	4742—1	塩谷　進一	山崎	4760	佐藤　弘
	4747—1	茶谷　欣治		4764	中沢　清
	4749—1	柳沢　平一			
	4750—1	佐藤　和雄			
	4751	加藤牛之助			
	4755	加藤　新五			
	4756	上原　藤平			
	4757	大工原典夫			

遺物

採集遺物	（弥・後期）箱清水式土器 （古～平）土師器、須恵器
既出遺物	（古）金環

位置地形環境

千曲川右岸段丘上に立地し、西北に大奈良遺跡、南に原遺跡と幸神古墳群等がある。北西部の柳沢平一氏畑から金環が出土している。中央部東端の加藤武雄氏畑にはもと古墳があって勾玉も出土したという。

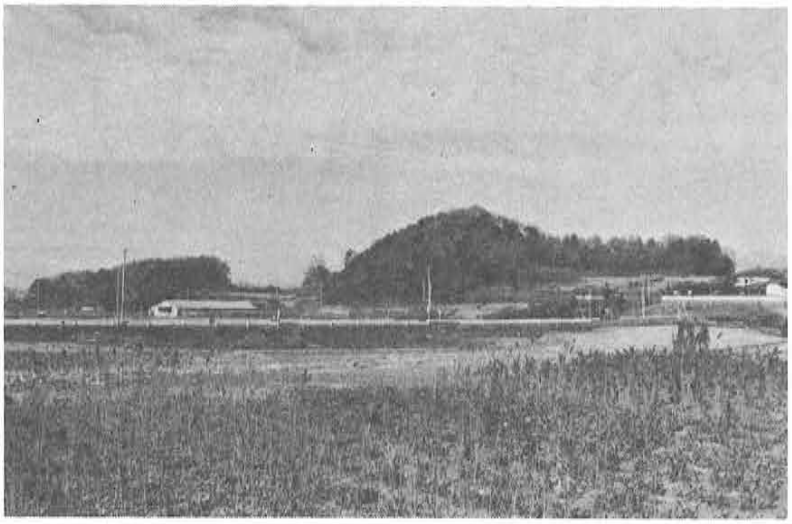


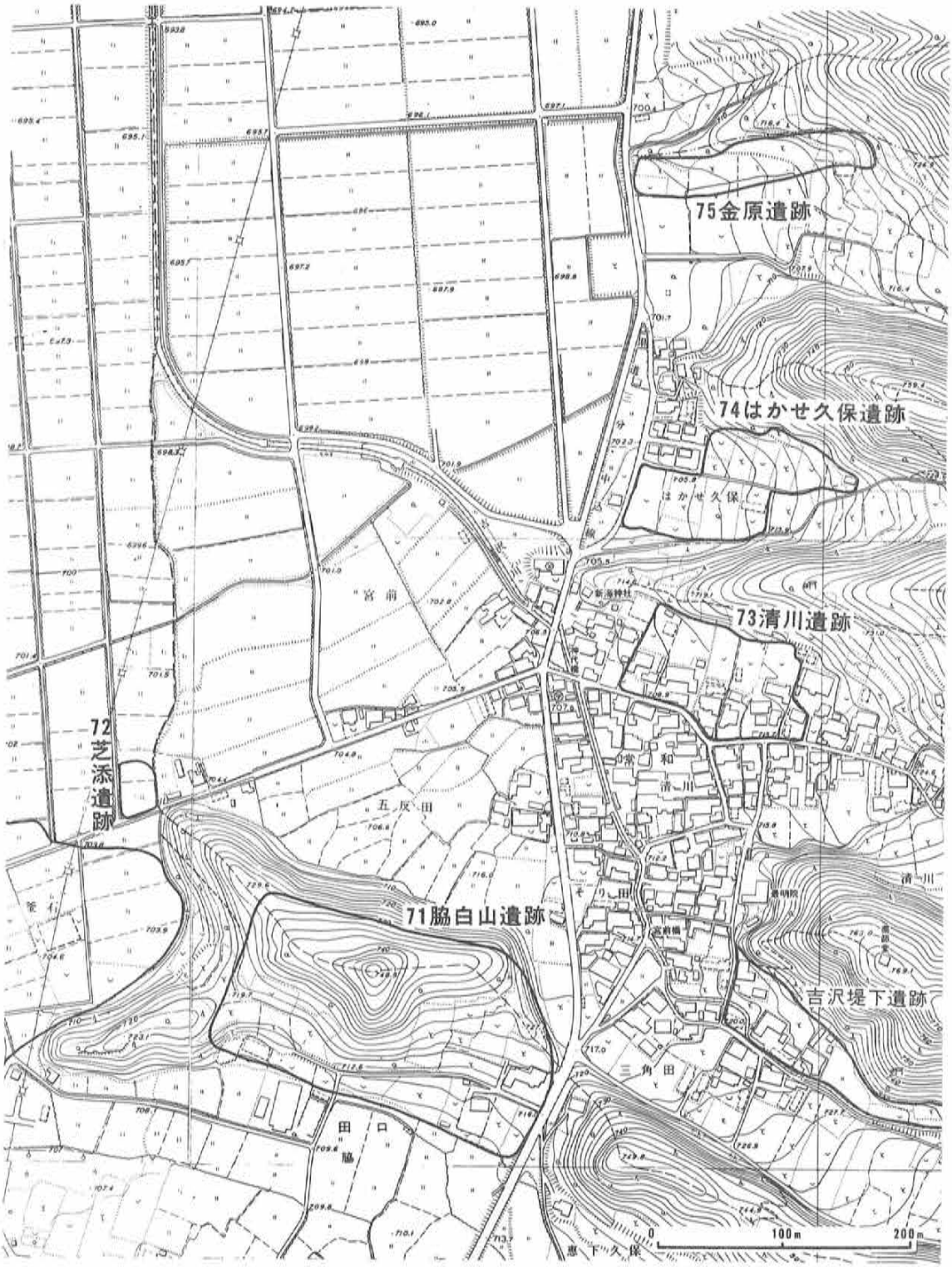
遺跡番号	71	遺跡名	脇白山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	大奈良
地目	畑・宅地	面積	25,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	己き	3785—1	大工原勝衛	己き	3860—1	加藤　保
		3831—1	大塚　献三			
		3823	松井　寿市			
		3835	志摩　喜則			
		3838	千野　徳治			
		3843	川手　幸雄			
		3851	加藤　甲一			
		3856—1	志摩　米市			

遺物		
	採集遺物	(縄) 石匙、黒曜石10、大形打製石斧　(弥) 後期土器 (古～平) 土師器
	既出遺物	

位置地形環境	
	芦内の沢が大奈良部落の東方の平地に突出した丘陵状の台地で、東側の基部には県道が通じ、遺跡範囲はそれより西方で、山頂を含んでそれより南面に分布する。住宅建設工事中の土砂切取面に住居址と思われる落ち込みと土師器片、木炭がみられ、遺跡であることが判明した。



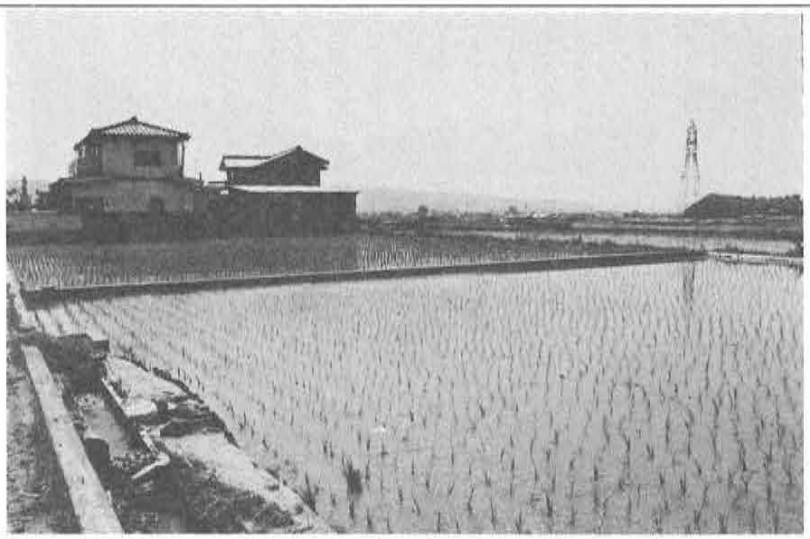

75金原遺跡
74はかせ久保遺跡
73清川遺跡
72芝添遺跡
71脇白山遺跡
吉沢堤下遺跡
はかせ久保
宮前
五反田
常和
清川
そりこ田
三角田
田口
脇
恵下久保
0
100m
200m

遺跡番号	72	遺跡名	芝添	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	水田	面積	1,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	芝添	337	松井 寛 上原 正三			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄・中期）藤内式土器、曽利式深鉢 （野沢南高等学校所蔵）

位置地形環境	
	大奈良部落の北東端、清川へ通じる道路の北側の水田で、南東に脇白山の丘尾が迫っている。上原正三氏が畑を水田化したとき縄文中期（曽利式）深鉢土器が出土し、野沢南高校に保管している。

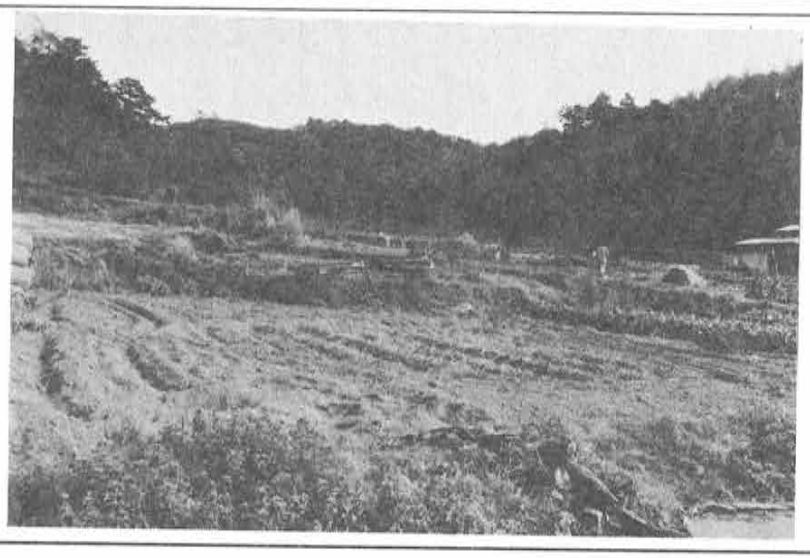


遺跡番号	73	遺跡名	清　川	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	清　川
地　目	畑・宅地	面　積	5,000㎡	時　代	縄文・平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
	清　川	398	松井　利雄			
		404	高橋　章正			
		449	大塚　文雄			
		453	上原　藤平			
		457	上原　太郎			
		463	高橋浅二郎			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄）小形石皿、多孔石　（平）銅印 （平）土師器（糸切底）、須恵器、灰釉

位置地形環境	
	吉沢川の右岸、山麓に立地する清川部落のほぼ中央部で、神代橋から清川入に通じる道路の北側を分布範囲とする。

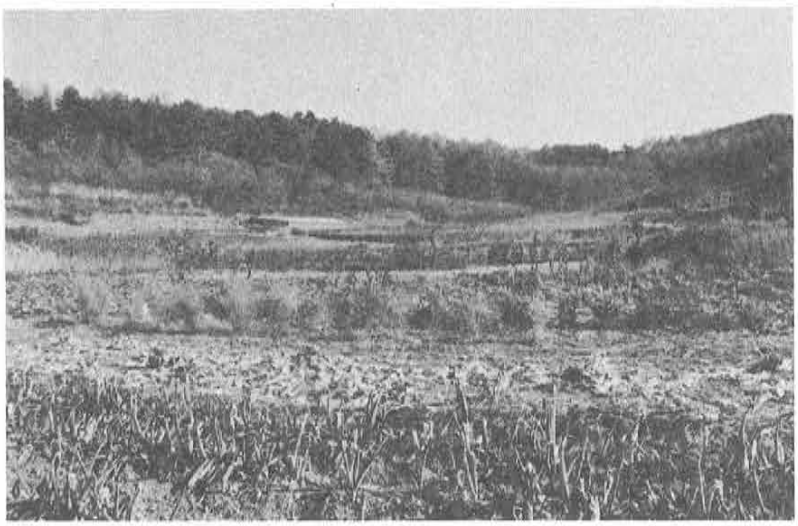


遺跡番号	74	遺跡名	はかせ久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	畑	面積	5,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	はかせ久保	719—イ号	高橋　紀夫			
		722—ロ号	川手　喜一			
		723—ニ	佐々木高明			
		740—1	大塚　昇			
		747	松井　龍衛			
		752—ロ	美濃たか子			
		754	橋脇　新一			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器2
	既出遺物	

位置地形環境	
	清川部落の北方、金原遺跡の南、県道から東側の山麓の浅い沢西南面の緩傾斜地で、薬用人蔘畑、リンゴ園、菊畑などとなる。

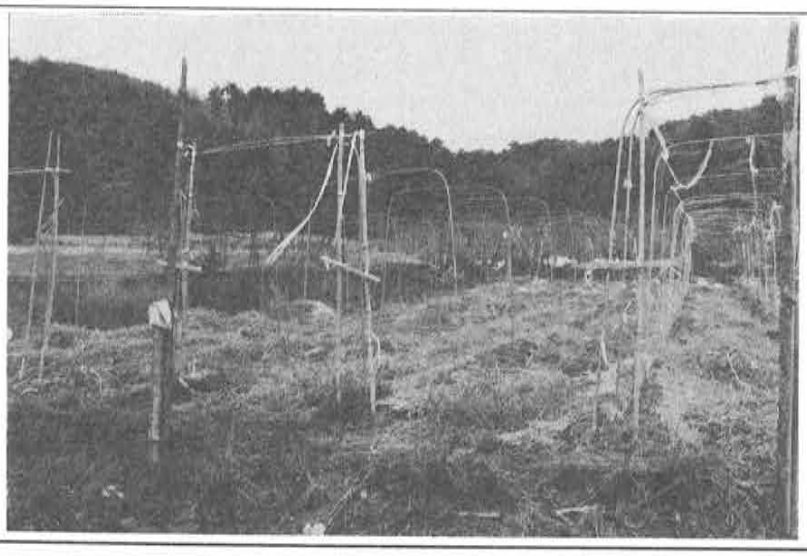


遺跡番号	75	遺跡名	金原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	弥生・平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	金原入	783	大塚清太郎	金原入	801	大塚　文雄
		784	大塚清太郎		802	高橋　健一
		788	佐々木弐市		803	大塚清太郎
		789	松井昇三郎			
		798	松井藤吉郎			
		799	大塚　文雄			
		800	〃			

遺物		
	採集遺物	（弥）後期土器1（平）土師器20（内黒を含む）
	既出遺物	

位置地形環境	
	清川部落の北方、蛇石神社裏山から西方にのびる尾根の末端の南側に立地し、清川から平賀に通じる県道を西限として東方の沢の畑地全体に分布する。北方は佐久市との境界線。



遺跡番号	76	遺跡名	清川入	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	畑	面積	4,000㎡	時代	弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者

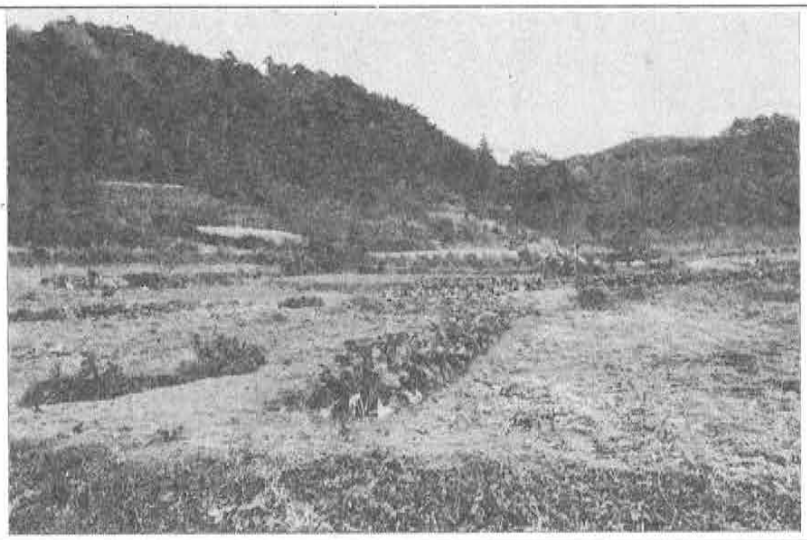
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
清川入	584	上原　太郎	清川入	593—1	上原　藤平
	585	志摩一二三		594—1	上原　茂雄
	586	千野米三郎		594—2	高橋　治水
	587	志摩一二三			
	588	志摩一二三			
	590	志摩一二三			
	591—1	上原　秀明			
	592—1	千野　徳治			

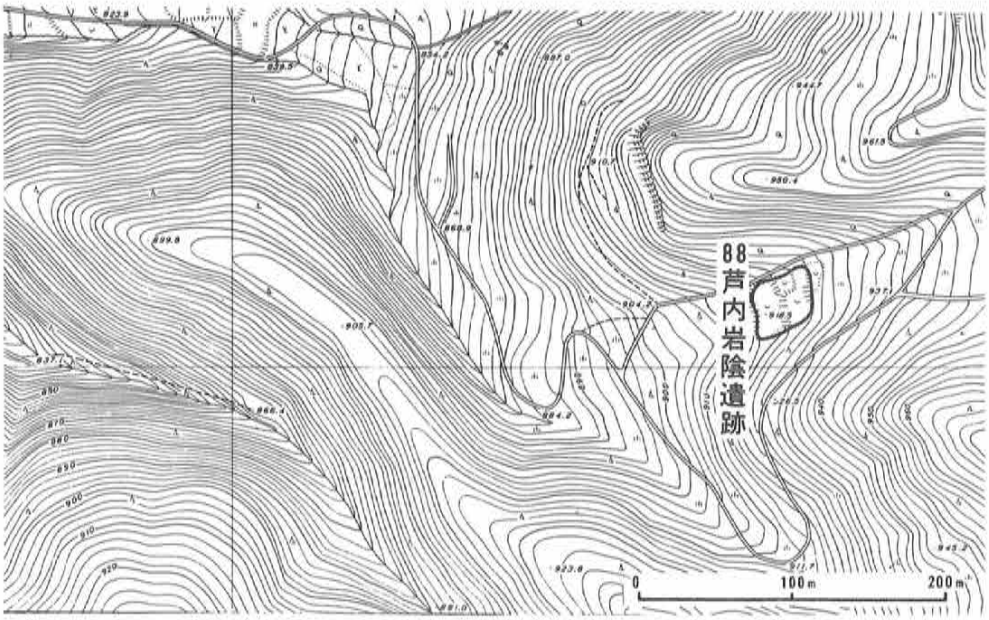
遺物

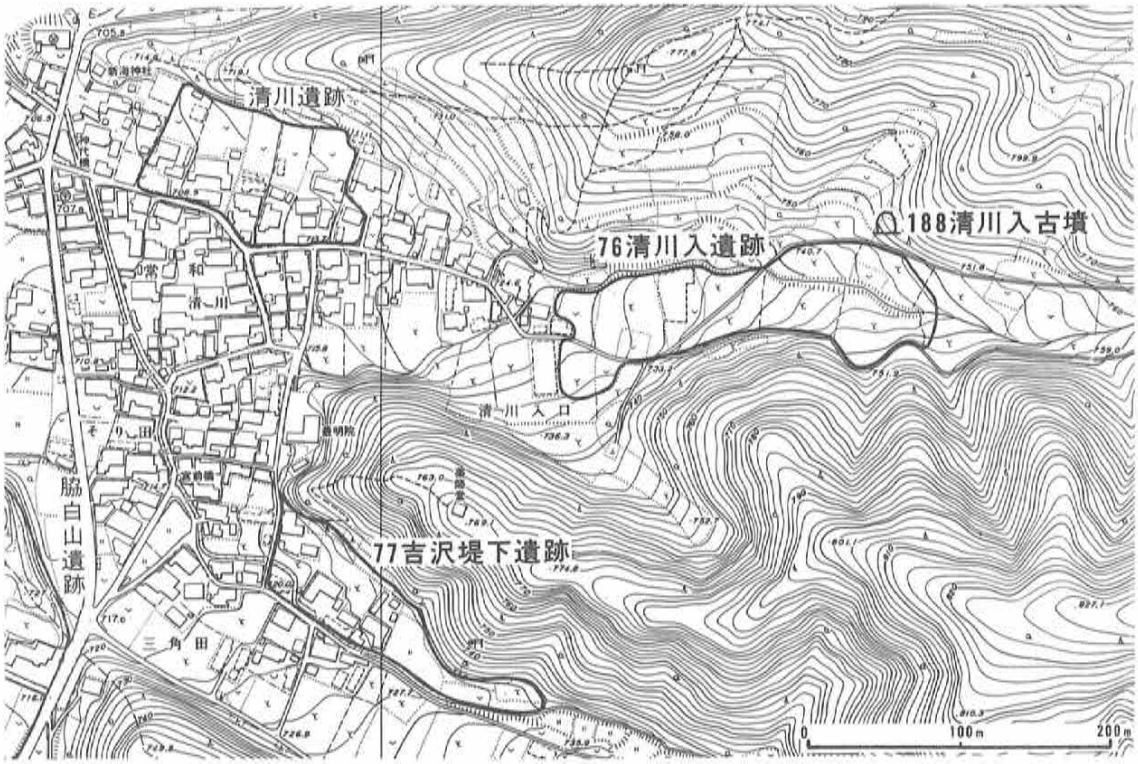
採集遺物	(弥・後期) 箱清水式土器1 (古～平) 土師器 (糸切底1、胴部3、口縁1)
既出遺物	

位置 地形 環境

清川部落から山麓を東に入った沢で、西面するかなり傾斜の強い細長い沢である。沢の上方には清川入古墳が確認され、下方の清川部落内は、縄文・平安にわたる遺跡である。




88
芦内岩陰遺跡
0
100m
200m


清川遺跡
188清川入古墳
76清川入遺跡
清川入口
77吉沢堤下遺跡
脇白山遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	77	遺跡名	吉沢提下	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	畑・宅地	面積	11,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	吉沢提下	137	大塚　森政			
		140	大塚　吉信			
		147	上原　茂雄			
		148	田中　稔			
		150	田中　稔			
		160—2・3	上原　貢			
		162	志摩　真			
		163—4	大塚　英和			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	

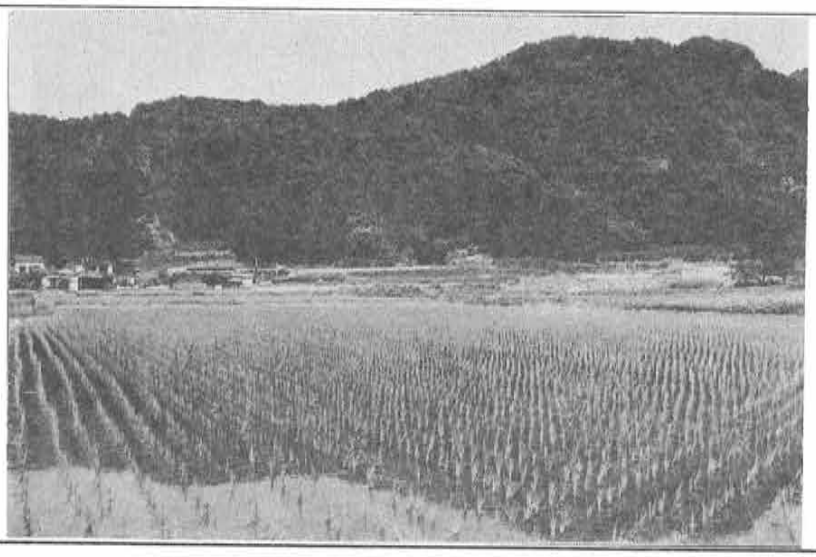
位置地形環境	
	清川部落の南東、吉沢川左岸の緩傾斜の畑地のうち池の下方一帯に分布する。西南面する緩傾斜面で、県道を越えた西方には脇白山遺跡がある。

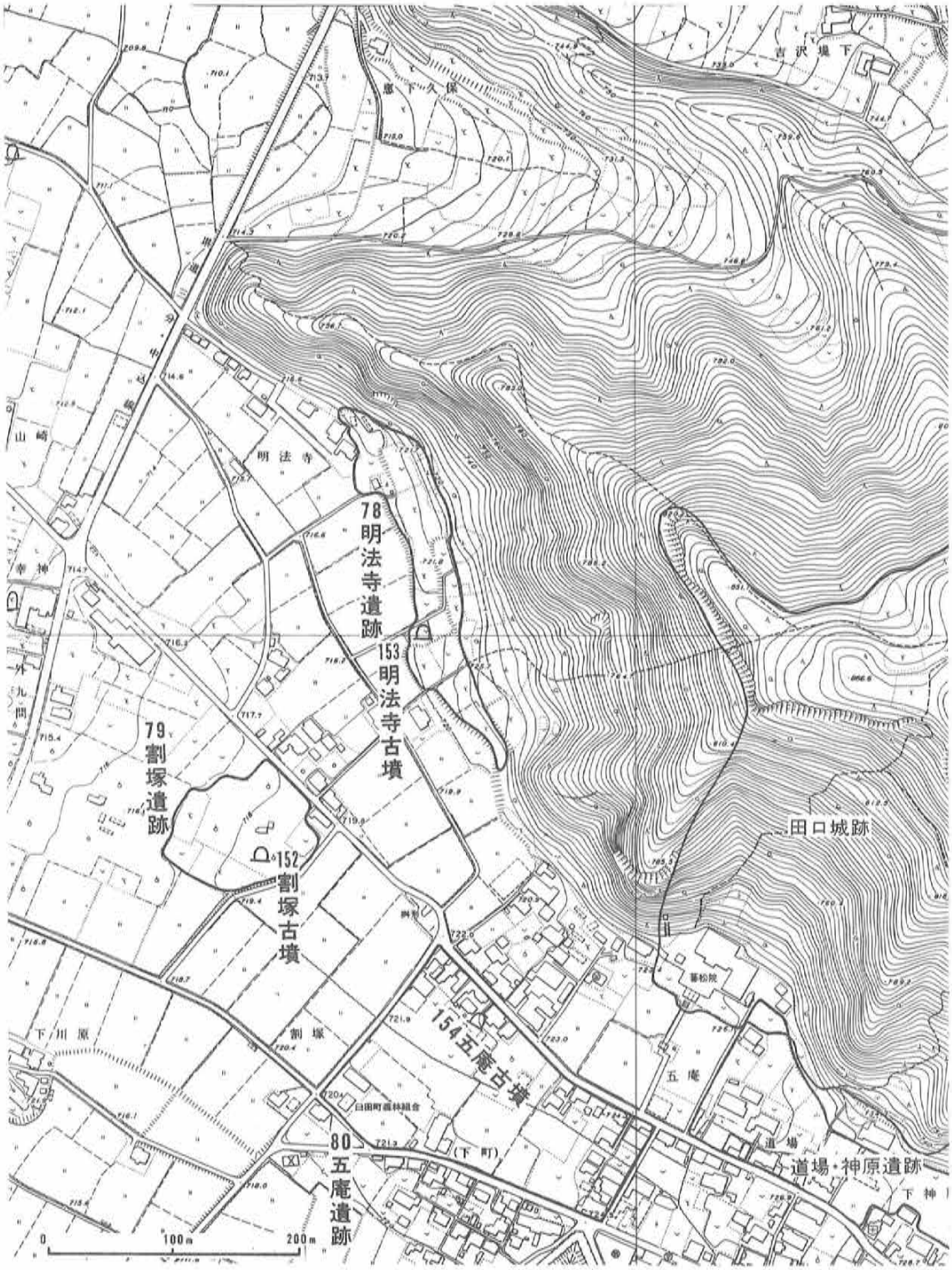
遺跡番号	78	遺跡名	明法寺	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	明法寺	3347	東信石材工業㈱			
		3350—1	大工原重弥			
		3356	中條　衛次			
		3381	篠原　舛吉			
		3382	大工原純夫			

遺物		
	採集遺物	（縄）打製石斧（分胴形）1（古～平）土師器1、須恵器1
	既出遺物	（弥・後期）箱清水式土器

位置地形環境	
	田口城山の西方の山麓台地で、前面は雨川右岸扇状地の平坦地である。遺跡内に妙法寺古墳がある。その山ぎわには五輪塔14基がある。



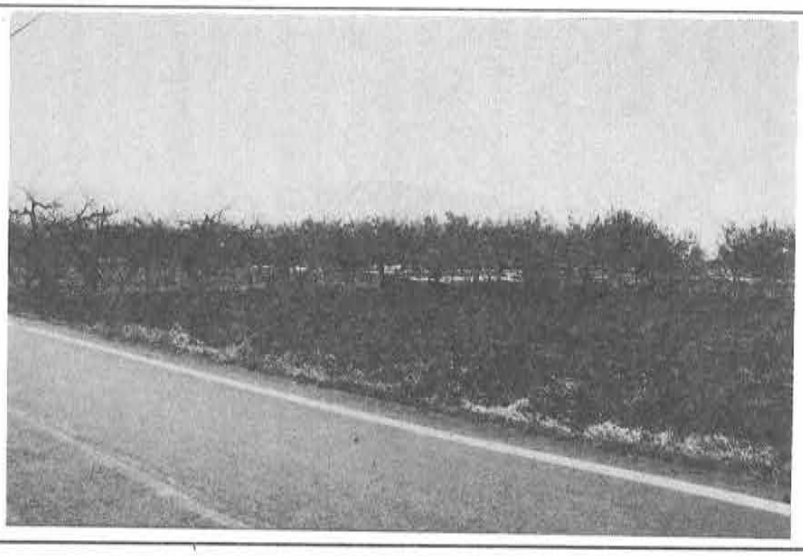

78 明法寺遺跡
153 明法寺古墳
79 割塚遺跡
152 割塚古墳
154 五庵古墳
80 五庵遺跡
田口城跡
道場・神原遺跡
明法寺
割塚
五庵
(下町)
下川原
山崎
吉沢場下
0
100m
200m

遺跡番号	79	遺跡名	割塚	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	畑・果樹園	面積	5,000㎡	時代	弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	割塚	3236—1	大工原七郎			
		3236—3～7	大工原英夫			
		3236—8	丸山　要			
		3236—11	大工原栄重			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	（弥）太形蛤刃石斧

位置地形環境	
	雨川右岸の扇状地に立地し、龍岡城駅—田口線道路の西側に位置し、明法寺遺跡と相対している。遺跡内に割塚古墳がある。一帯は平坦地で、畑、果樹園、水田の中に住宅が点在する。



遺跡番号	80	遺跡名	五　庵	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	田口下町
地　目	畑・水田 宅　地	面　積	10,000㎡	時　代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者

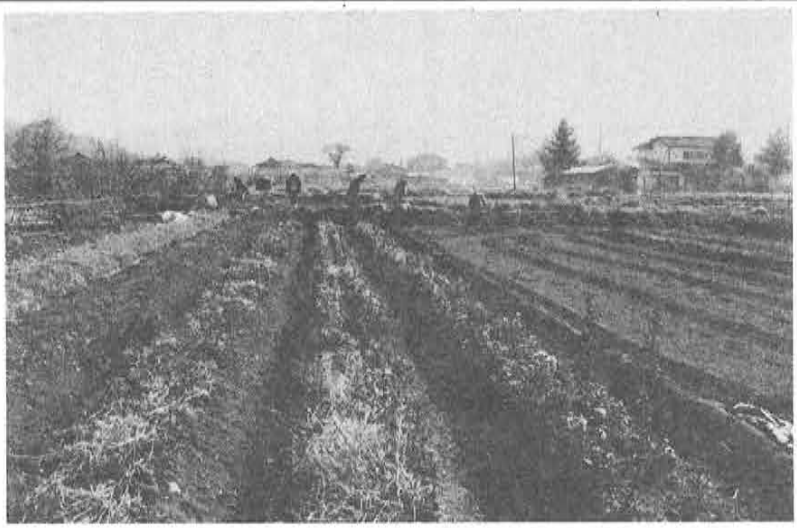
字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
五　庵	2910	堀込　雄市	五　庵	2867	中条　衛次
	2913	細谷　良信		2881	中条　義近
	2914	大井　政男			
	2924	大工原　勲			
	2935—1	大工原昭二郎			
	2936—1	大工原七郎			
	2955	臼田町森林組合			

遺物

採集遺物	
既出遺物	（縄）打製石斧（古～平）須恵器

位置地形環境

雨川右岸扇状地に立地し、南に龍岡城跡があり、東北方田口城山の山麓の蕃松院と相対し、龍岡城駅—田口線道路の西側に位置する。西北方100mに割塚遺跡がある。畑、水田、宅地が混在している。遺跡内東北部に五庵古墳がある。



遺跡番号	81	遺跡名	神原道場	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	畑	面積	7,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月8日

所在地・土地所有者

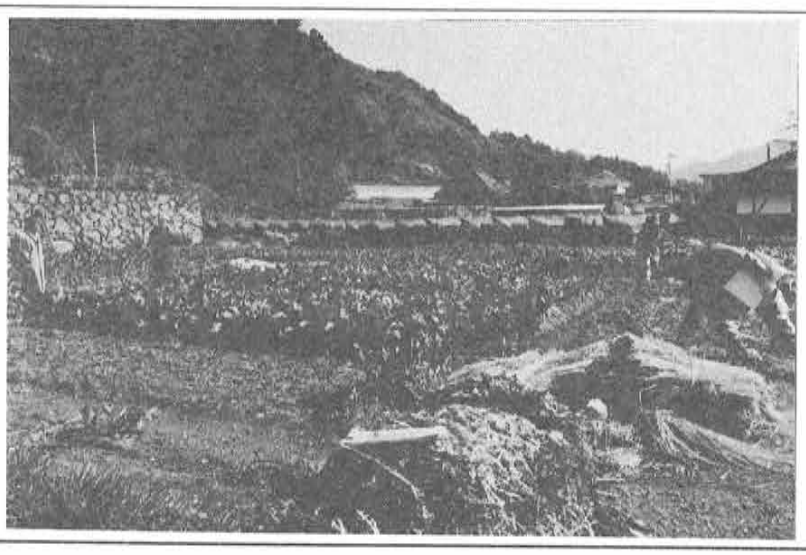
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
下神原	2705	小林　昭治	道場	2895	祥雲とし
	2709	中沢　繁			
	2714—1	細谷英吉郎			
	2731	土屋　豊二			
道場	2853	大工原純夫			
	2854—1	中条　衛次			
	2860	中条徳之助			
	2863	小林今朝一			

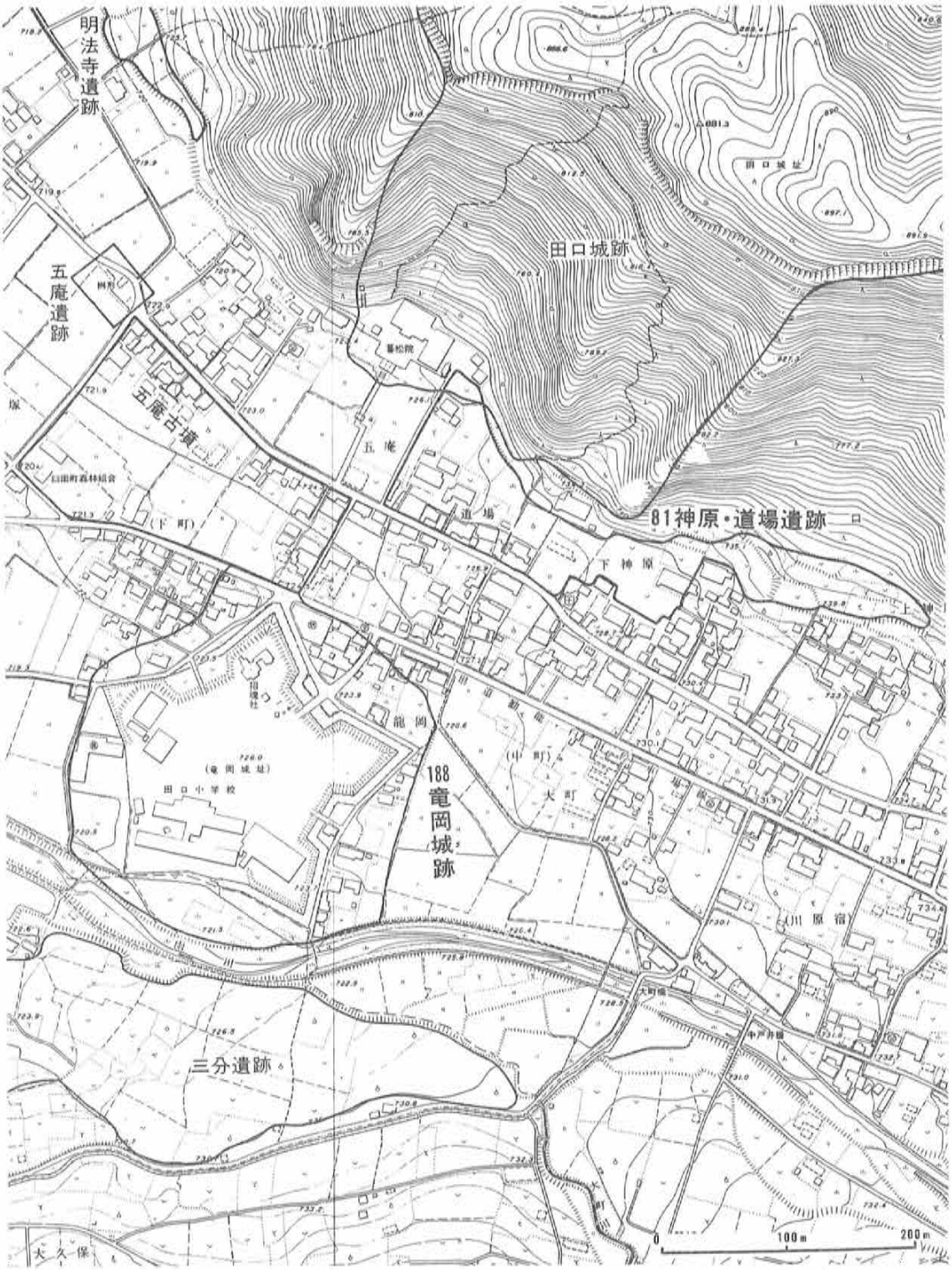
遺物

採集遺物	（古～平）土師器5、須恵器1
既出遺物	（縄）打製石斧（弥・後期）箱清水式土器（平）土師器、須恵器

位置地形環境

田口集落、中央部の北方、田口城山麓台地の東西300mにわたる狭長な畑地に分布している。前面は雨川右岸の扇状地平坦面で田口集落が立地している。




明法寺遺跡
五庵遺跡
五庵古墳
田口城跡
81神原・道場遺跡
188
竜岡城跡
三分遺跡
(竜岡城址)
田口小学校
(下町)
(中町)
(川原宿)
0
100m
200m

遺跡番号	82	遺跡名	英田地畑	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月18日

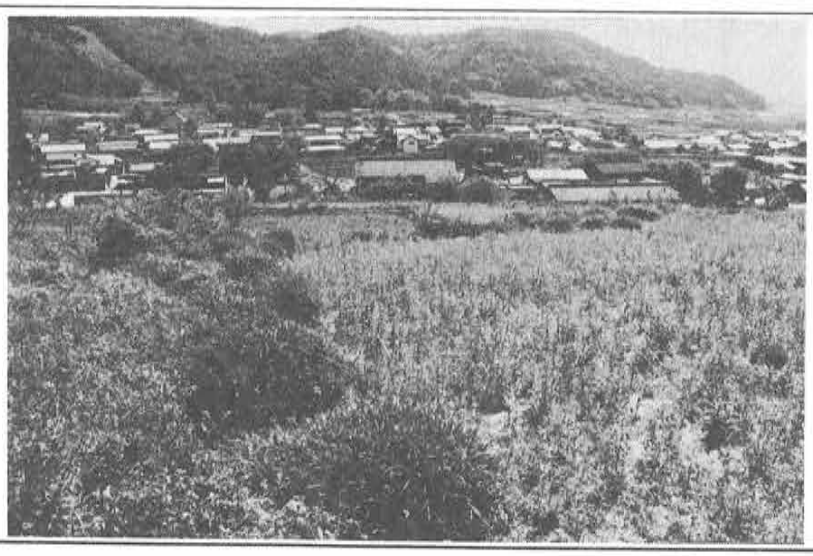
所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	英田地畑	2411—1	森泉　雅夫			
		2411—2	高橋重二郎			
		2412	小林　伊作			
		2413	丸山　唯衛			
		2414—5	鷲見　達			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	（古～平）須恵器

位置地形環境

新海神社参道西側の南面傾斜の畑地で上方（北方）の新海神社地には新海神社西御陵古墳がある。遺跡地内に英田地畑古墳があったが昭和40年発掘調査（蕨手刀出土）の後徹去された。

付近の英田地畑2451（伴野慎一郎所有地）の畑から、昭和54年刀（長さ90cm）が出土している。



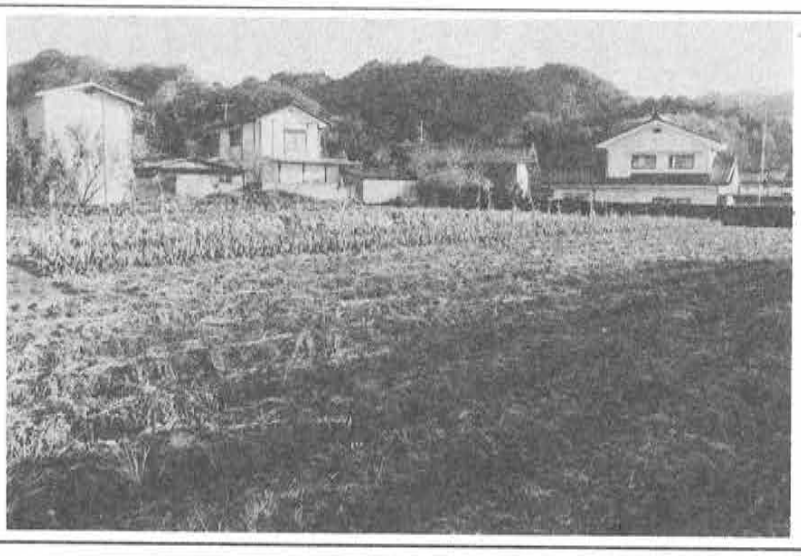
156
新海神社西御陵古墳
157
新海神社中御陵古墳
158
新海神社東御陵古墳
155
英田地畑古墳
82
英田地畑遺跡
83宮東遺跡
160上宮代2号古墳
159上宮代1号古墳
84大工原遺跡
岩渕遺跡
宮東
英田地畑
下宮代
上宮代
(宮代)
0
100m
200m

遺跡番号	83	遺跡名	宮東	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	畑・果樹園	面積	10,000㎡	時代	縄文・古墳 平安・中世	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	宮東	2361	長坂なかじ			
		2364	丸山佐代子			
		2365—1	丸山　好雄			
		2365—2	丸山　安夫			

遺物		
	採集遺物	（縄）凹石　（古～平）土師器8（甕、高台付坏）、須恵器2（中）茶臼
	既出遺物	

位置地形環境	
	新海神社東方の南面する山麓緩傾斜の日当たりのよい段丘上に立地し、段丘下の平地の集落間には宮代1号古墳と2号古墳がある。

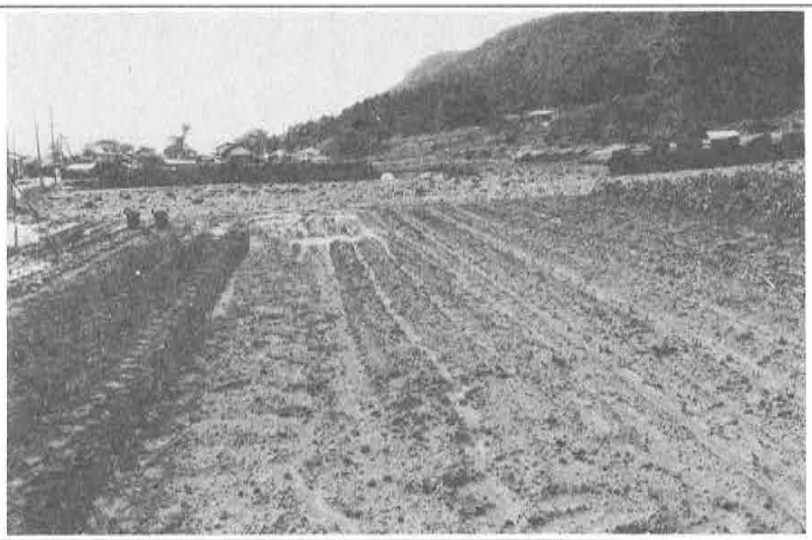


遺跡番号	84	遺跡名	大工原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口
地目	畑	面積	18,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上ノ平	1290	丸山　光蔵			他
		1292	長坂　英明			
		1326	丸山　久吾			
		1328	内藤　順次			
		1335	井出　安人			
		1336	梅香　栄司			
		1337	梅香　一慈			
		1338	井出　安人			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器1、須恵器1
	既出遺物	

位置地形環境	
	雨川右岸、県道より北側、新海神社東方の山麓台地に立地する遺跡で、宮代部落の東端宮代2号古墳付近から東方へ約350mの間に分布する。東方上位段丘に明躰遺跡があり、西方上位段丘に宮東遺跡がある。南面する緩傾斜の畑地一帯に分布する。



遺跡番号	85	遺跡名	山口	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口河原宿
地目	畑	面積	27,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者

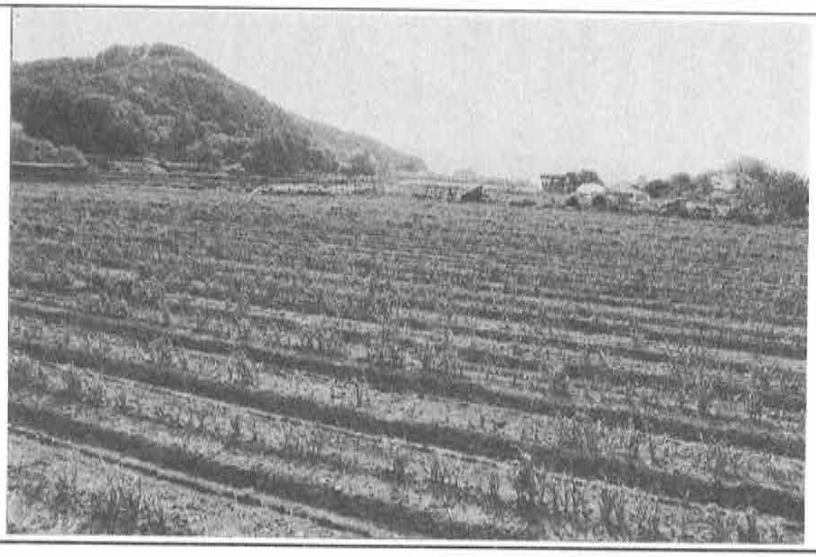
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
山口	1753	井山　清人	山口	1838—1	友野裕三郎
	1800	太田勘之助		1839	友野裕三郎
	1808	山崎　良一	岩淵	2199	小林　伊作
	1812	高橋喜久男		2201	山崎　良一
	1820	高橋志でよ		2202—2	小林　孝雄
	1826	山崎　三吉		2213	梅香　芳和
	1830	山口　雄司			
	1832	羽毛田正直			

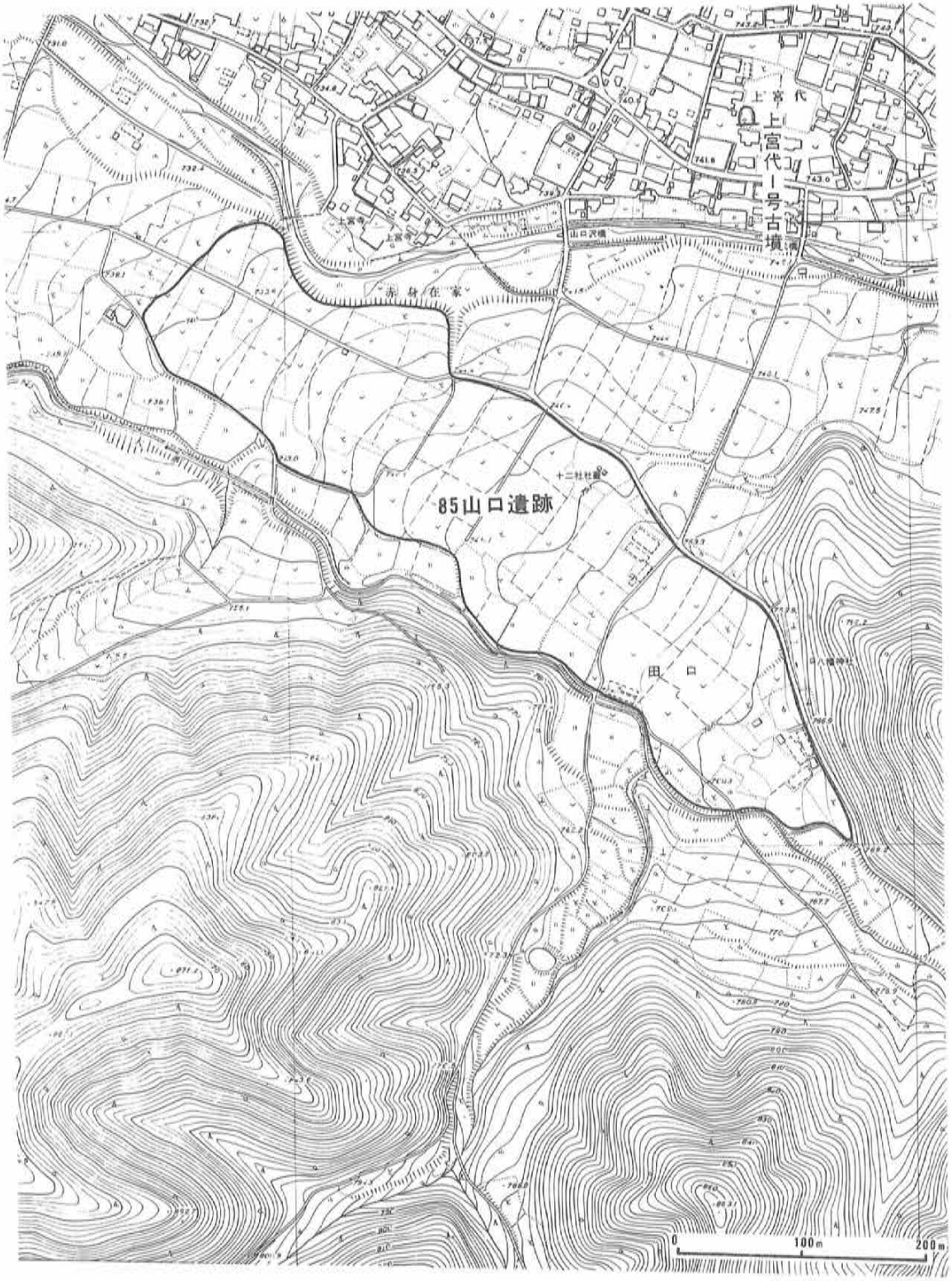
遺物

採集遺物	（縄）黒曜石　（古～平）土師器3
既出遺物	（縄・後期）加曽利B式土器、凹石（古～平）須恵器

位置地形環境

雨川左岸で、支流山口沢川との間に東方からのびてきた尾根の末端部の南面する緩傾斜面の台地に立地する。遺跡全体は南方の山ぎわを流れる山口沢川に向かって緩傾斜する。遺跡の中心に十二社がある。薬用人蔘畑が多い。



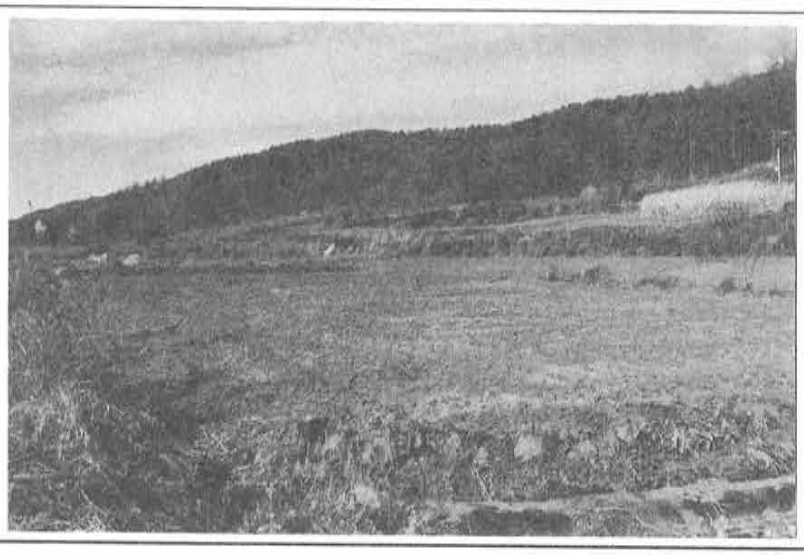

上宮代
上宮代1号古墳
上宮寺
赤身在家
山口沢橋
十二社社
85山口遺跡
田口
日八幡神社
0
100m
200m

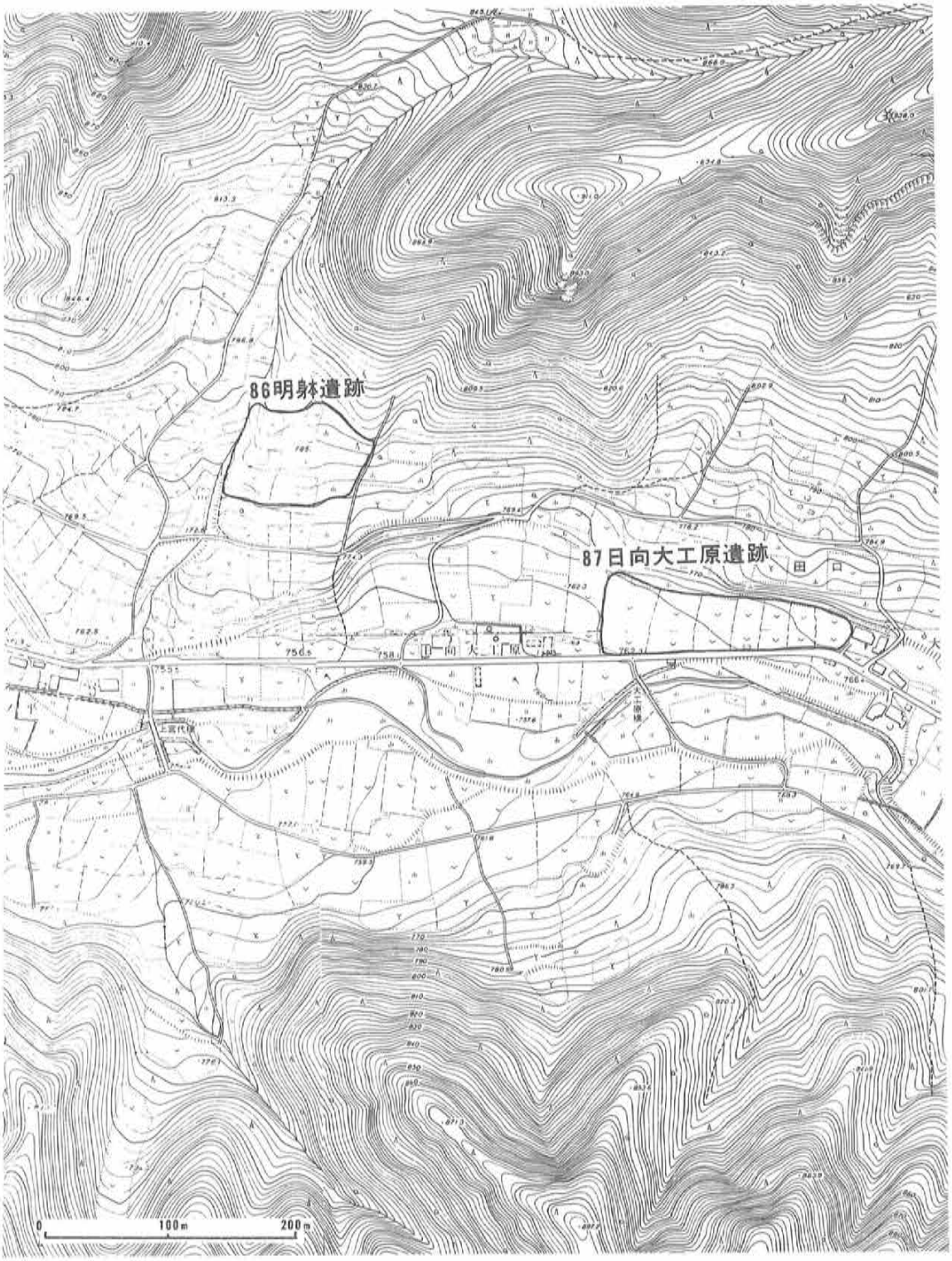
遺跡番号	86	遺跡名	明　躰	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	田口宮代
地　目	畑	面　積	5,000㎡	時　代	古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
	明　躰	1108	友野祐三郎			
		1109	高橋　勝			
		1131	丸山　久吾			
		1132―イ号	梅香延次郎			
		1143	依田　栄一			
		1144	井出金之助			
		1145	井出　衛			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器（甕胴）
	既出遺物	

位置 地形 環境	
	雨川右岸の山麓台地に立地する遺跡で、西山沢に通じる道路より東方で、丸山に通じる県道の上方をこれに平行して段丘を東に通じる農道を下限として分布する。南面する日当たりのよい緩傾斜面の畑地で、県道からの比高10mである。



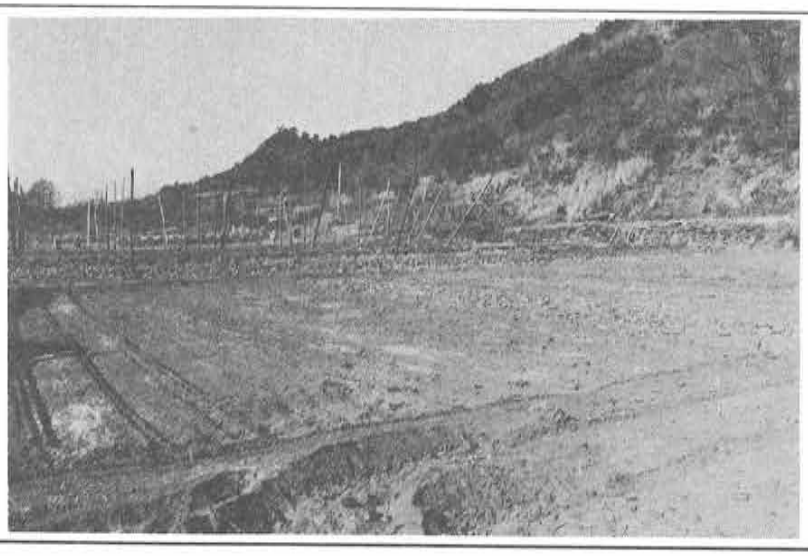

86明躰遺跡
87日向大工原遺跡
田口
日向大工原
0
100m
200m

遺跡番号	87	遺跡名	日向大工原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	畑	面積	10,000	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	日向大工原	1066—1	市川　厚			
		1067—1	市川市之丞			
		1068—1	樫山　計雄			
		1069—1	小林喜之助			
		1071	小林　重登			
		1072—1	竹内　正春			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	

位置地形環境	
	雨川右岸の県道の北側にそう山麓台地で、日当りのよい微高地に分布する遺跡で、市川一馬氏の畑から数十年前に土器がたくさん出土した。



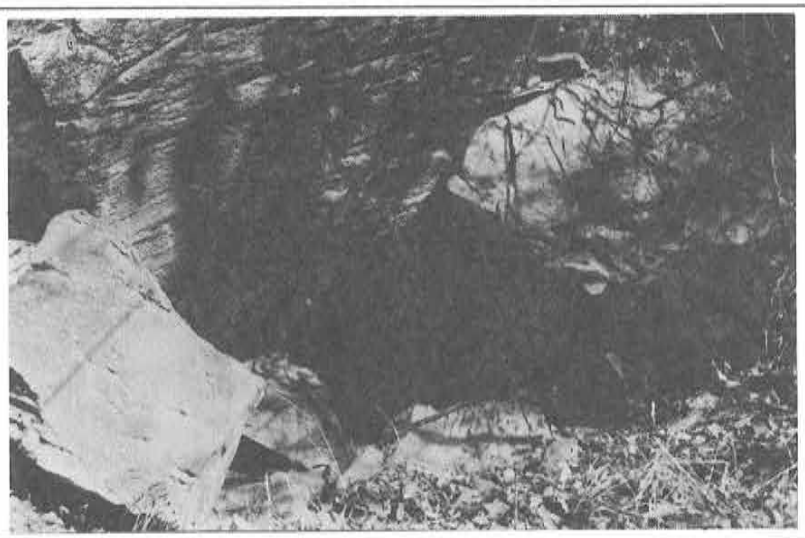
遺跡番号	88	遺跡名	芦内岩陰	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	山林	面積	500㎡	時代	縄文・弥生	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	高戸や	3535	田口区			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄・前期) 木島式、関山式、黒浜式、諸磯A式土器、石鏃、石匙、小形掻器、礫器、敲石、磨石、凹石、シカ、イノシシ骨 (弥) 後期土器 (野沢南高等学校所蔵)

位置 地形 環境

清川部落から東南方に吉沢川を約2㎞さかのぼった沢の奥の急傾斜の南面する山麓に立地する荒船熔岩の柱状節理の岩陰で、沢底を小流が流れている。
昭和39年に「県内洞穴遺跡の研究」で長野県学校科学教育奨励金をうけ、樋口昇一・藤沢平治氏が発掘調査を行なった。上方200mに芦内遺跡がある。
開口部巾1.75m、奥行2.5m、高さ2.4m、天井石約45度の傾斜、テラスは開口部を中心に東西5m。

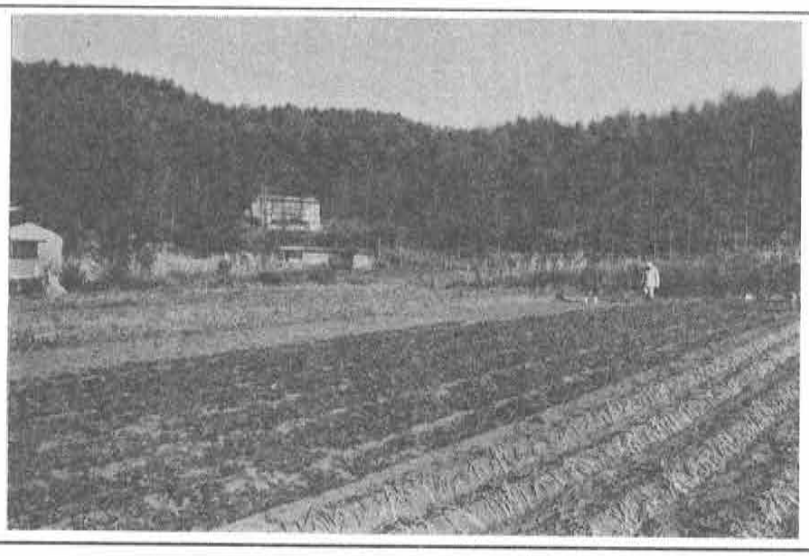


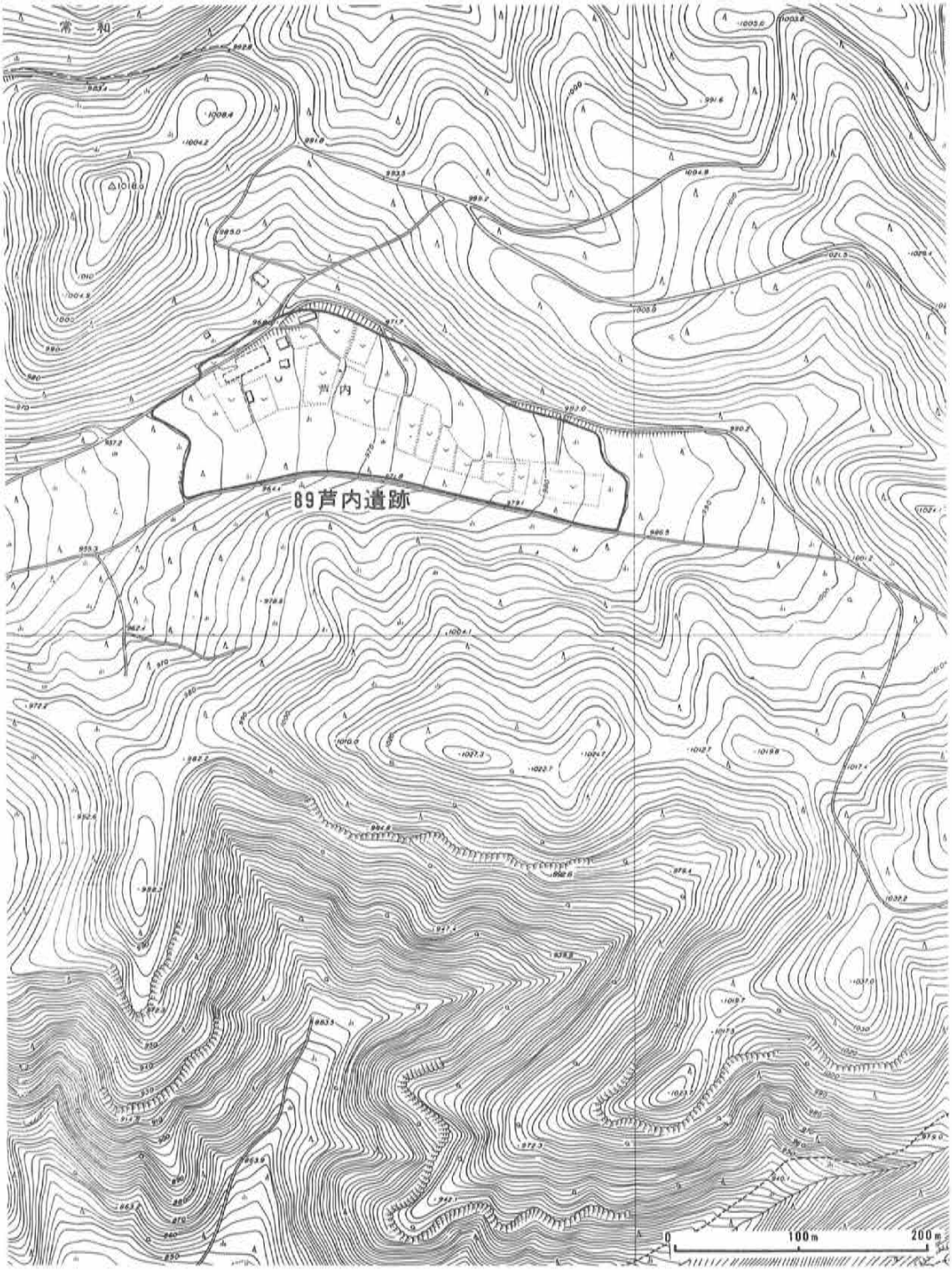
遺跡番号	89	遺跡名	芦内	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	阿しない	3486	大塚　献三			
		3486—6	大塚清太郎			
		3504—1	志摩　嘉一			
		3506	志摩　嘉一			
		3507	大塚　献三			
		3508	志摩　嘉一			

遺物		
	採集遺物	（縄）黒曜石
	既出遺物	

位置 地形 環境	
	清川部落の東南方吉沢川にそって芦内の沢を約2㎞上りつめた標高890mの高原盆地状の地形で湧水も豊富である。畜舎を中心に農場がひらかれていて、畑地に遺物の分布がみられる。200m下方に縄文前期の芦内岩陰遺跡がある。



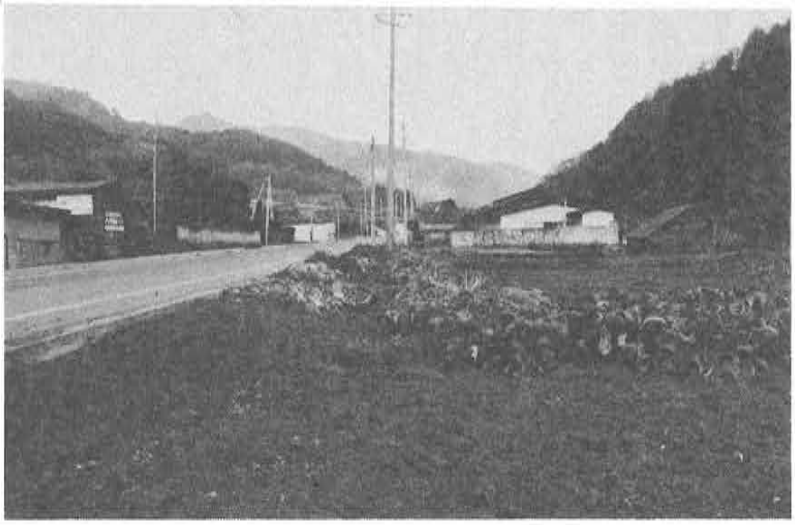

89芦内遺跡
芦内
0
100m
200m

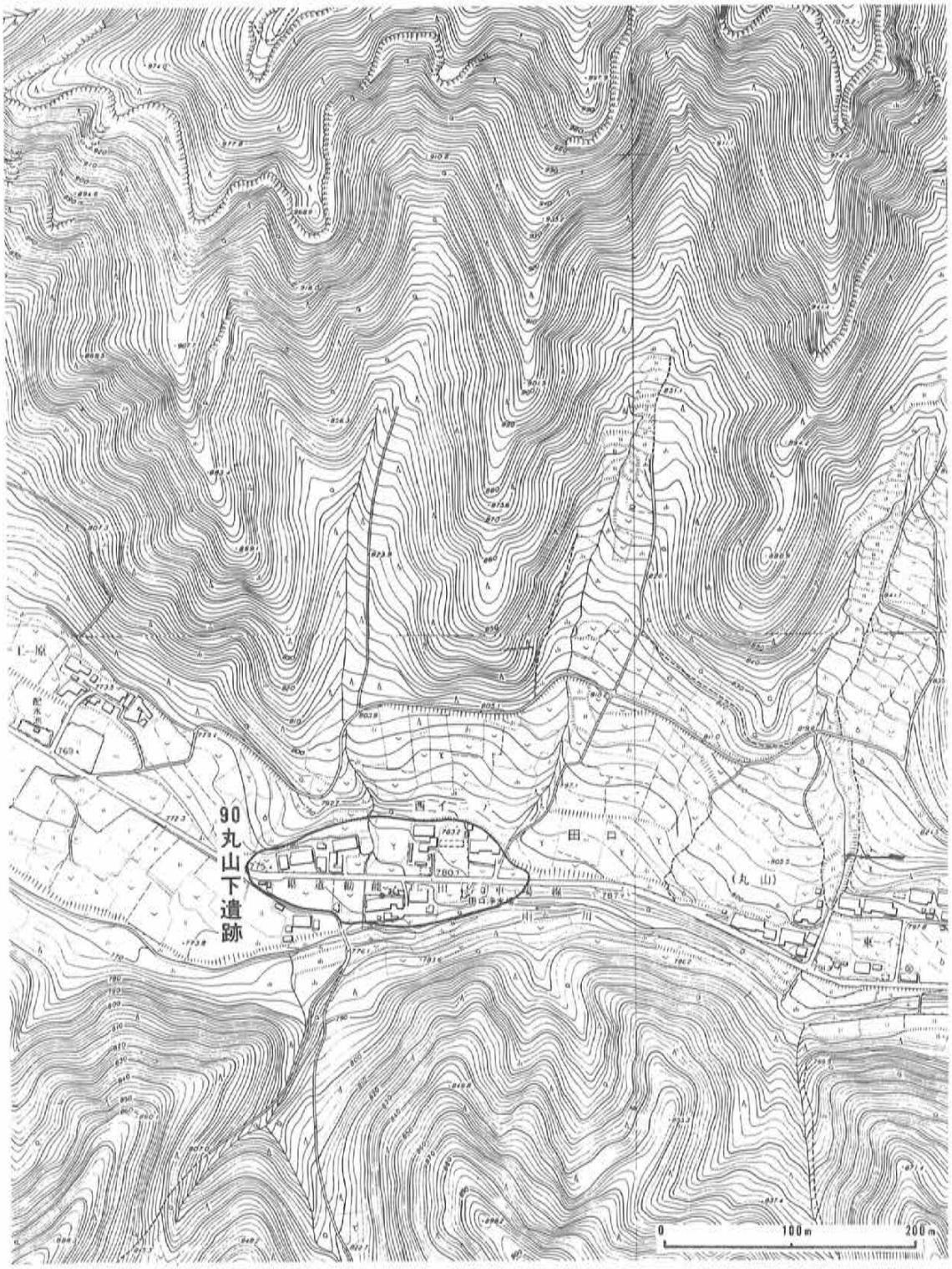
遺跡番号	90	遺跡名	丸山下	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	畑・宅地	面積	5,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	東大工原	949—1	竹内雄太郎			
		850—2	市川　栄美			
		850—3・5	市川嘉八郎			
		851-1・2・4	市川　栄美			
		857	長坂　房夫			
		861—1	竹内　鉄男			
		863	竹内　光平			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（古～平）土師器

位置 地形 環境	
	丸山部落の西端雨川右岸の低位段丘で、県道をはさんだ狭長な平地に分布する。 市川栄美氏が屋敷に土むろを掘った際地下6尺から土器がでたので、公民館に届け、現在龍岡城お台所の資料館に保存されているはず。




90
丸山下遺跡
田口
(丸山)
0
100m
200m

遺跡番号	91	遺跡名	丸山上	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	畑・宅地	面積	20,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月17日

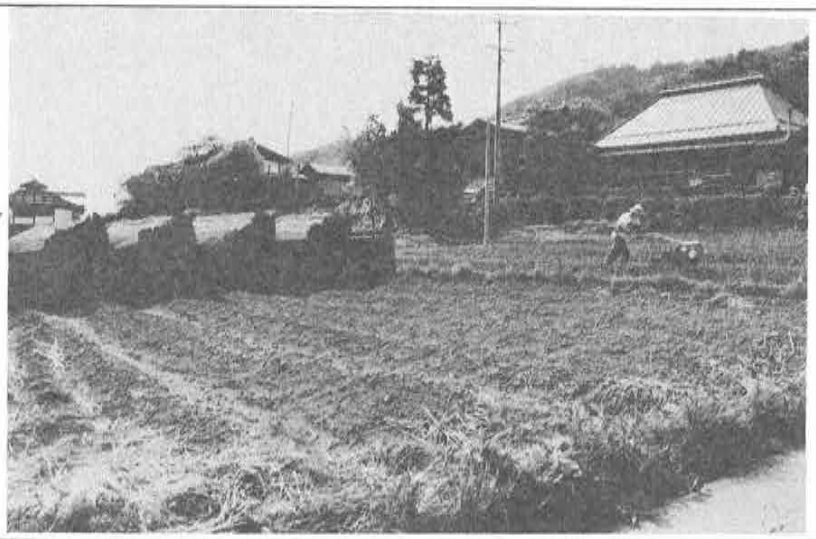
所在地・土地所有者

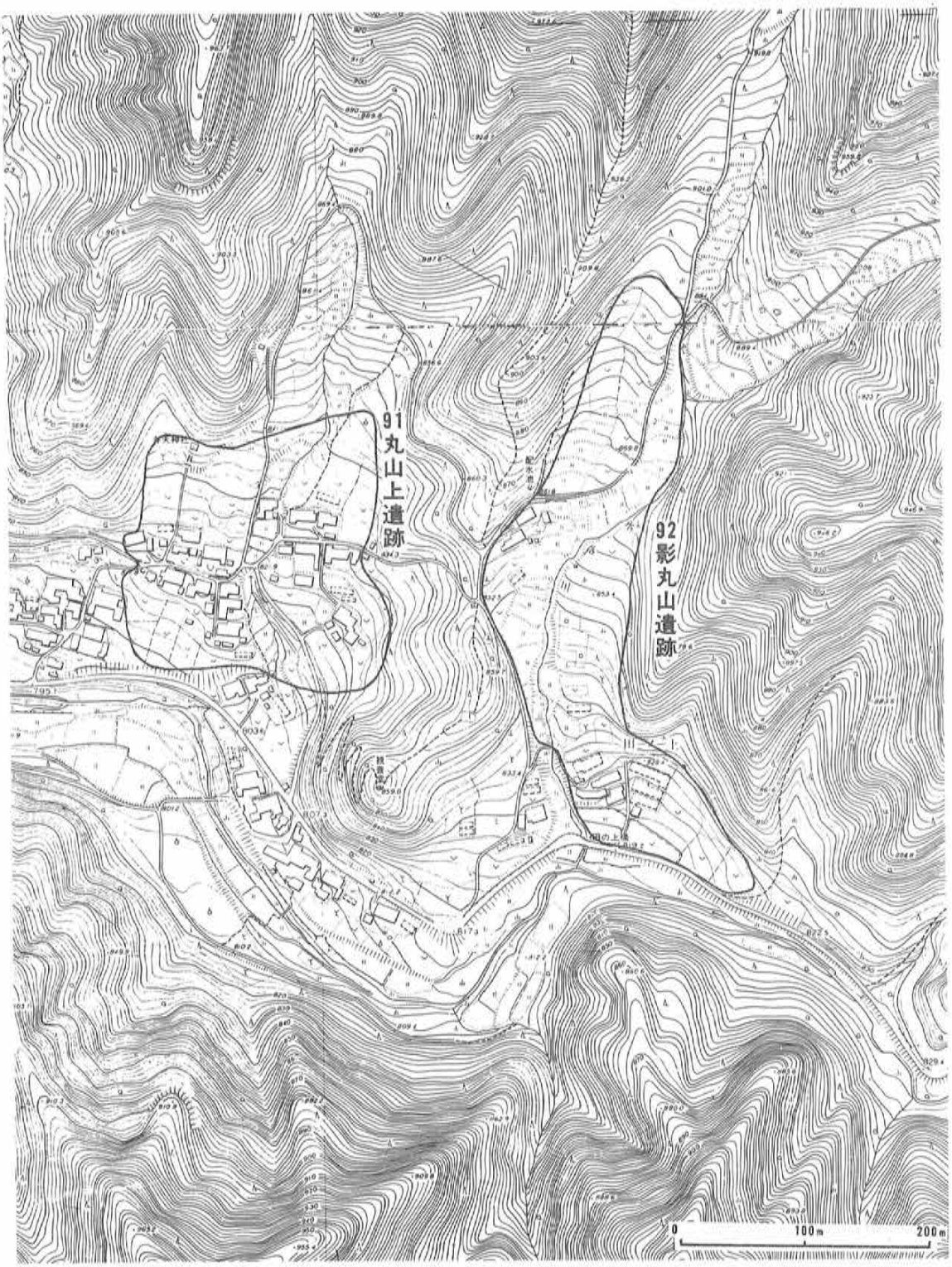
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
丸山	542	竹内 武一	東イニテ	701—1	長坂 房夫
	543—2	竹内 主計		712—1	長坂 和義
	544	竹内 久遠		712—4	長坂 悦夫
	456—1	市川 康彦		713—3	竹内 貞男
四ノ久保	560—1	竹内 晴雄	西イニテ	770—1	浅川今朝雄
	561	市川嘉八郎		772—1	竹内 正春
東イニテ	654	市川 芳雄			
	699	長坂 房夫			

遺物		
	採集遺物	(古〜平) 土師器4、須恵器1
	既出遺物	

位置 地形 環境

雨川右岸の南面傾斜の山麓台地で、丸山部落の屋敷地と畑地を含む。部落の中を東西に通じる道路を中心として、上下の畑地にわたって分布するが、道下の市川康彦氏の屋敷畑を中心にやや密度がこい。




91丸山上遺跡
92影丸山遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	92	遺跡名	影丸山	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者

字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
田ノ上	331—イ	石井　信夫	水落	375	石井　春雄
	336—1	石井　義利			
	337—1	石井　義利			
	345	竹内　幸男			
	347—1	竹内　徳一			
水落	361	市川三千男			
	366—ロ	市川三千男			
	372	竹内　晴雄			

遺物

採集遺物	（平）土師器
既出遺物	

位置地形環境

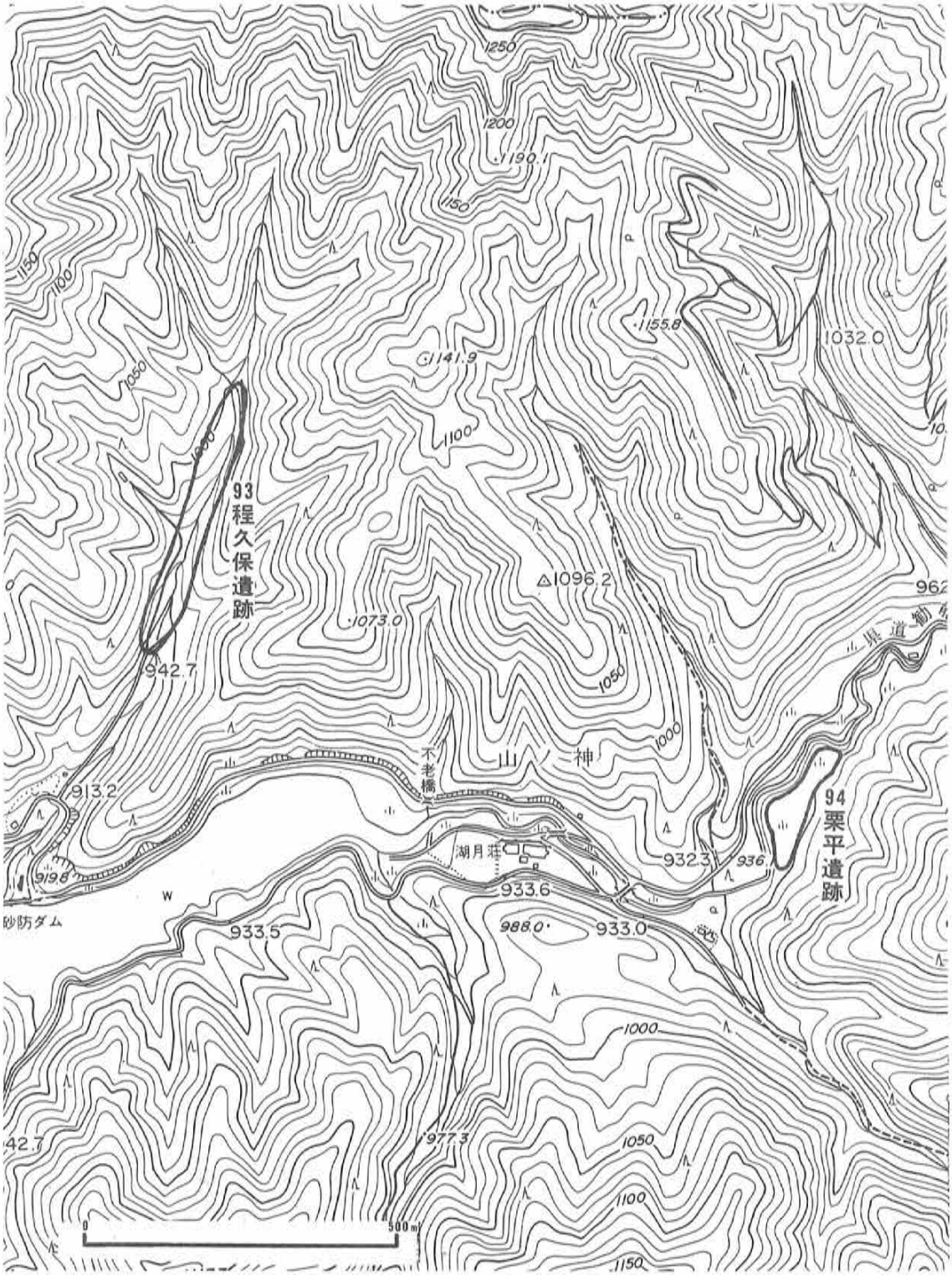
雨川右岸の山麓台地で、丸山部落の東南方を水落観音の方向に入った沢の東南面する斜面に分布し、竹内徳一氏宅から上方約250mにわたる間である。

遺跡番号	93	遺跡名	程久保	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	山林	面積	15,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	程久保	267—13	佐藤 清見			
		267—20	石井 義利			
		267—21	佐藤 清見			
	267—30	267—30	佐藤 清見			
		267—31	高見沢孝雄			
		267—42	長野県			

遺物		
	採集遺物	(縄) 黒曜石　　(三石延雄氏所蔵)
	既出遺物	

位置地形環境	
	雨川ダムの堰提の下、右岸の支流を北東に約700mさかのぼった程久保の奥、南東面する山麓斜面に立地する。この沢に鉱泉が湧出し、これを湖月荘に引湯する導管を敷設する工事の際に縄文土器が出土したという。　(井出竜蔵氏談)


93
程久保遺跡
94
栗平遺跡
山ノ神
不老橋
湖月荘
砂防ダム
1250
1200
1190.1
1150
1155.8
1141.9
1032.0
1100
1050
1000
1096.2
1073.0
942.7
913.2
919.8
932.3
936.
933.6
933.5
988.0
933.0
977.3
0
500m

遺跡番号	94	遺跡名	栗平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	原野	面積	1,500㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	栗平	240	官有地			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄）打製石斧（大形）1　（小須田一雄氏所蔵）

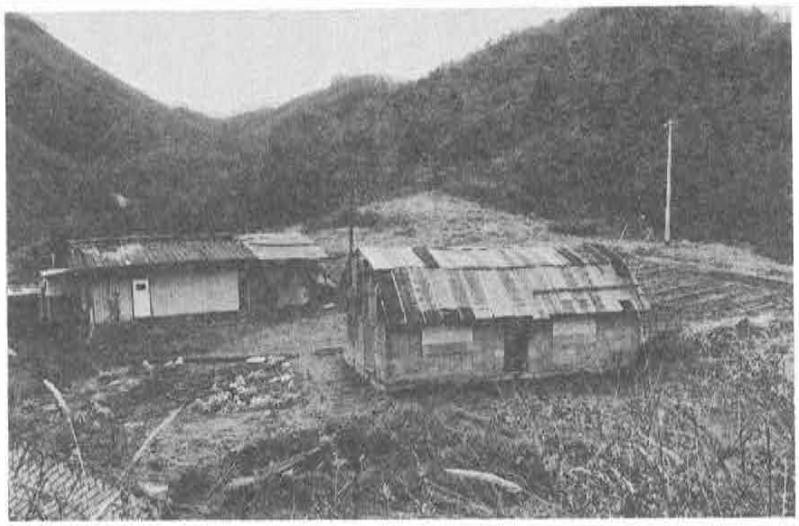
位置 地形 環境	雨川上流湖月荘から上流約700m、左岸の山麓小台地に立地する遺跡で、もと畑だったが現在は荒地となっている。

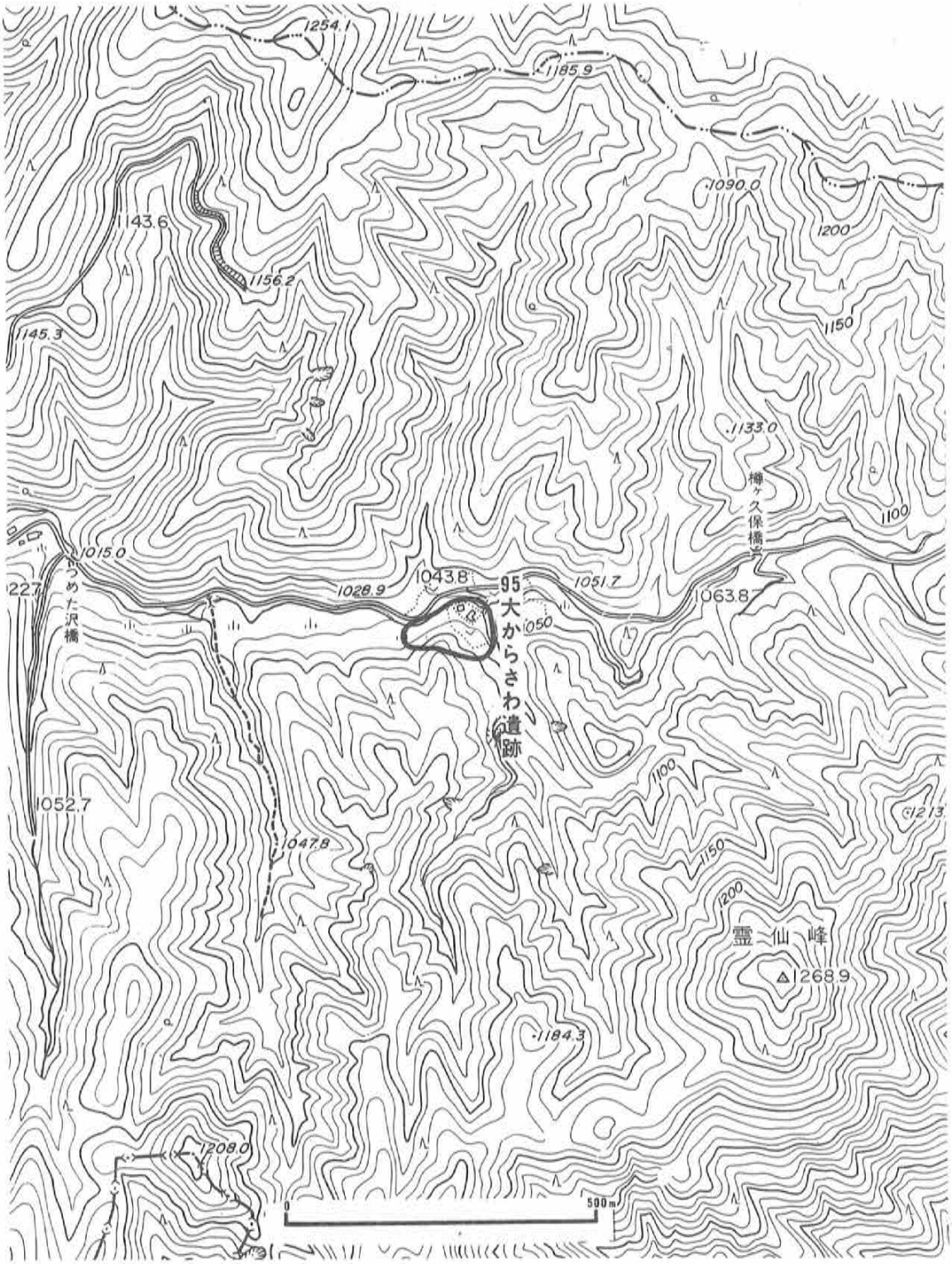
遺跡番号	95	遺跡名	大から沢	遺跡の種類	包蔵地	部落名	丸山
地目	畑・宅地	面積	1,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	から沢	247	油井幸太郎			

遺物		
	採集遺物	(縄)前期土器片2　横刃形石器2
	既出遺物	

位置地形環境	
	雨川最上流、田口峠下の開拓地にあり、雨川左岸の山麓小台地に立地する。油井幸太郎氏の家の周辺の畑地に遺物が散布している。



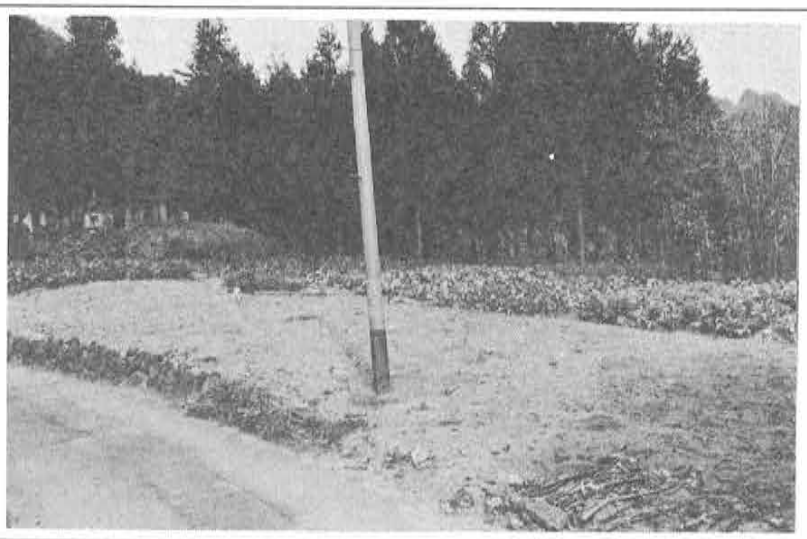

1254.1
1185.9
1090.0
1200
1143.6
1156.2
1150
1145.3
1133.0
樽ヶ久保橋
1100
1015.0
227
つめた沢橋
1028.9
1043.8
95
大からさわ遺跡
1051.7
1063.8
1050
1052.7
1047.8
1100
1213
1150
1200
霊仙峰
△1268.9
1184.3
1208.0
0
500m

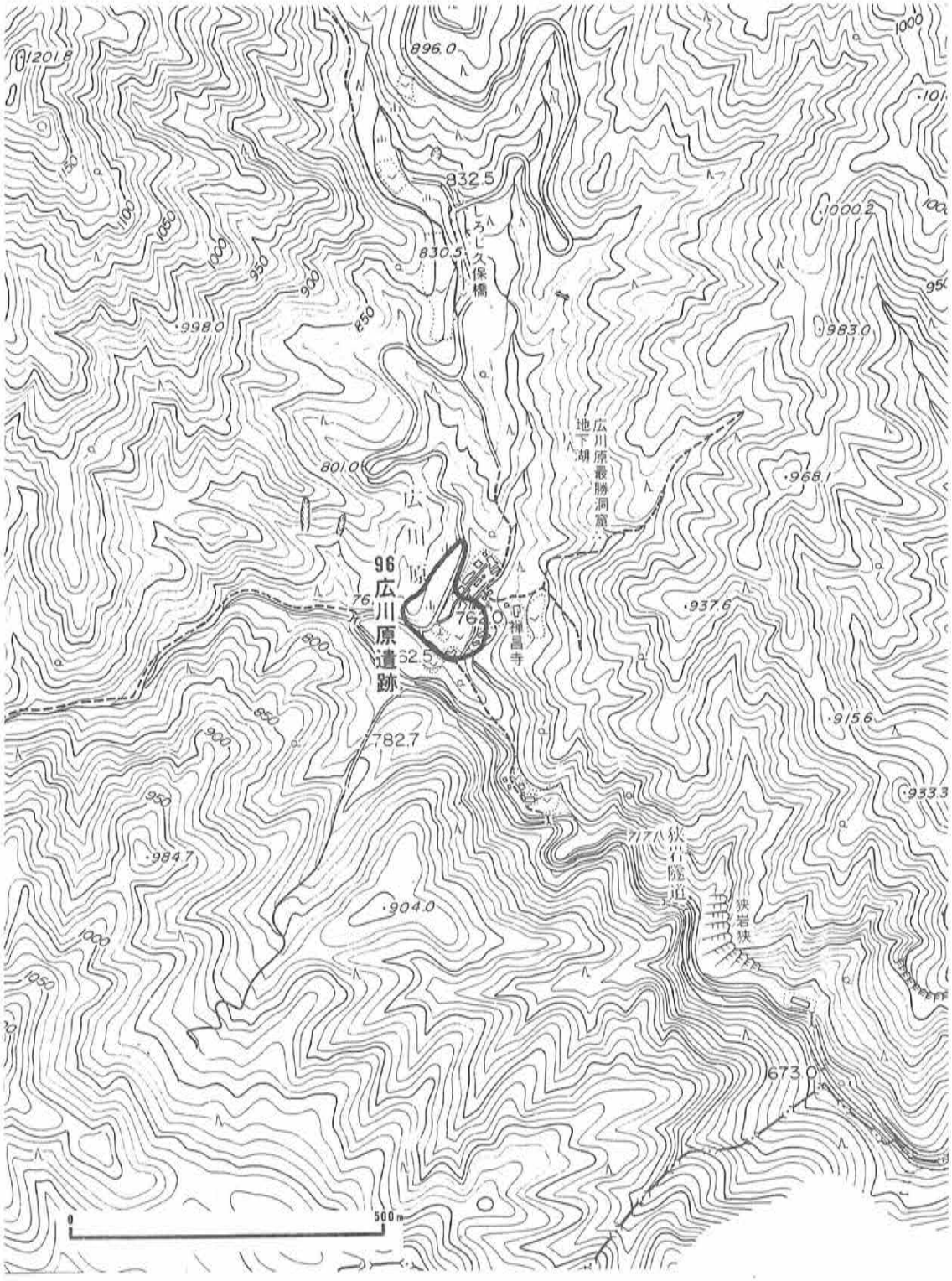
遺跡番号	96	遺跡名	広川原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	広川原
地目	畑・宅地	面積	2,000㎡	時代	平安	調査年月日	61年11月17日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	広川原	147—1	市川　つね			
		147—2	市川　英雄			
		148—1	市川　利雄			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器30 (内黒、糸切底を含む)、須恵器
	既出遺物	

位置地形環境	
	馬坂川の上流右岸、広川原部落の入口の小台地に立地する。公民館付近市川英雄氏の畑を中心として、県道にまたがる畑の間に分布する。




896.0
832.5
830.5
しろじ久保橋
1201.8
998.0
983.0
1000.2
801.0
広川原最勝洞窟
地下湖
968.1
広川原
96
広川原遺跡
762.0
782.7
937.6
915.6
933.3
717
狭岩隧道
狭岩狭
984.7
904.0
673.0
0
500m

遺跡番号	97	遺跡名	西塚田	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	畑・水田 宅地	面積	20,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者

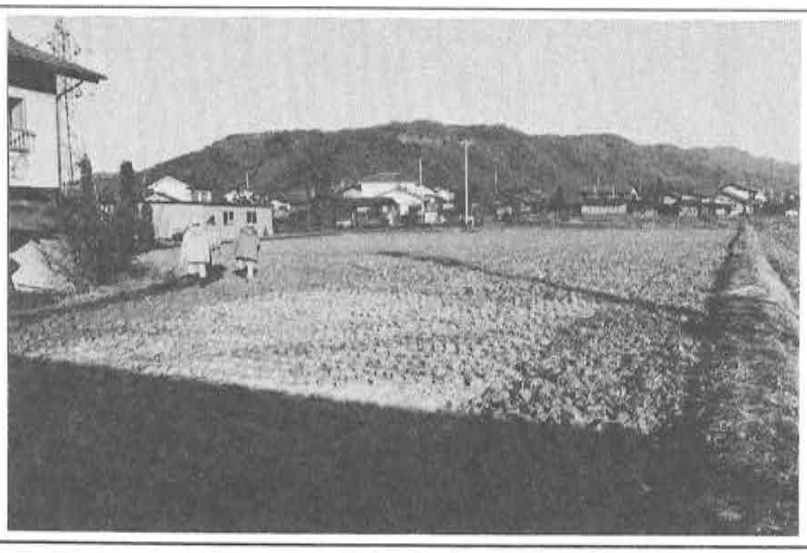
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
東塚田	24	竹内　金三			
	26	小須田　清			
	27—1	小須田建三			
	30	横山きよ子			
西塚田	58	依田栄太郎			
	59	依田九一郎			
	60	田中　政利			

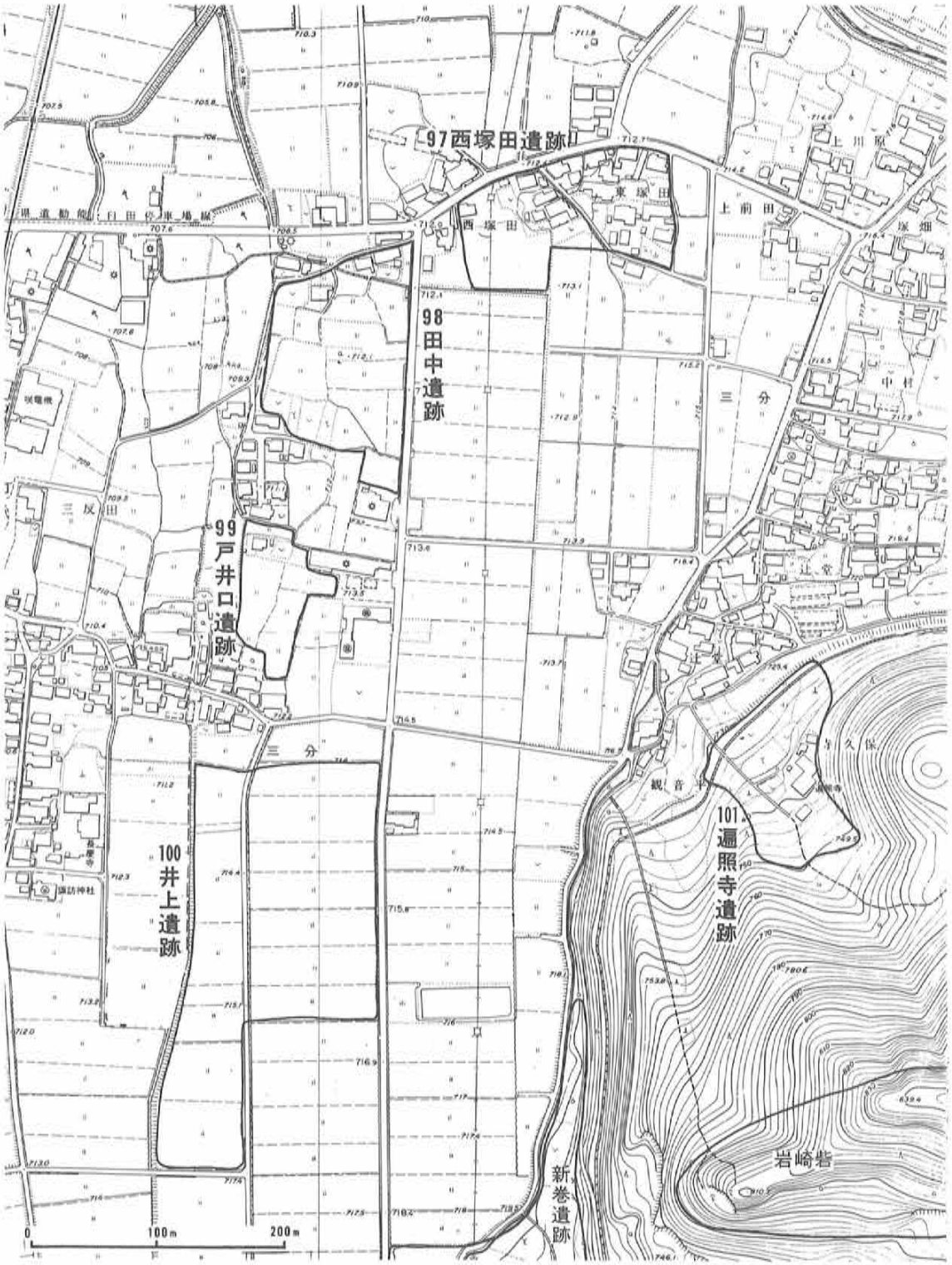
遺物

採集遺物	（古～平）土師器
既出遺物	（古～平）須恵器

位置地形環境

三分部落の西方、県道と田口下町方面に通じる道路の分岐点の交通信号灯の南方一帯で、平坦地の中のわずかな微高地となっている。



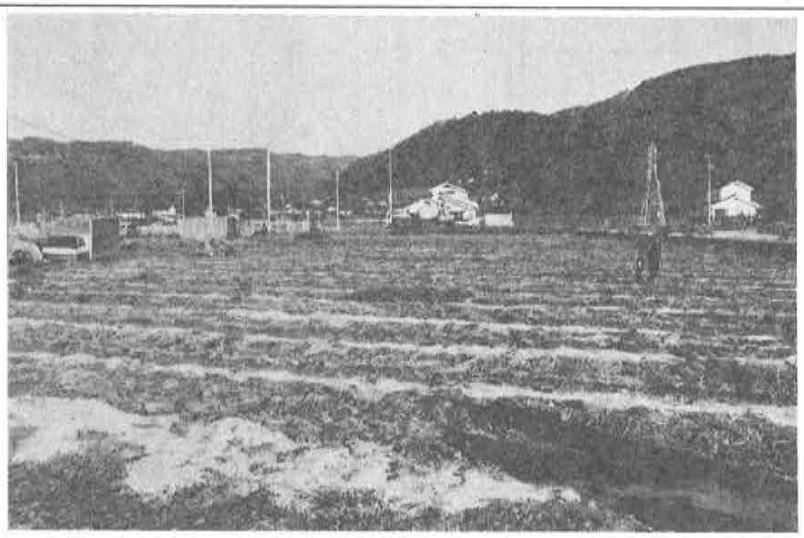

97西塚田遺跡
98田中遺跡
99戸井口遺跡
100井上遺跡
101遍照寺遺跡
新巻遺跡
岩崎砦
西塚田
東塚田
上前田
上川原
塚畑
中村
三分
辻堂
観音寺
寺久保
諏訪神社
0
100m
200m

遺跡番号	98	遺跡名	田中	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	水田・畑 宅地	面積	4,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中川原	261	臼田町			
		265	臼田町			
		285	臼田町			
		286	臼田町			
		288	臼田町			
		291	臼田町			

遺物		
	採集遺物	（古～平）土師器、須恵器
	既出遺物	（縄）打製石斧 （弥・中、後期）栗林式、箱清水式土器、石包丁、太形蛤刃石斧 （小林秀人氏採集臼田町文化センター展示）

位置地形環境	
	県道と入沢広域農道の分岐点から、広域農道にそって南へ約200mの間、農道の西側、東西巾約70mの間に分布する。東側は広域農道、西は低い段丘状をなして低地に接している。

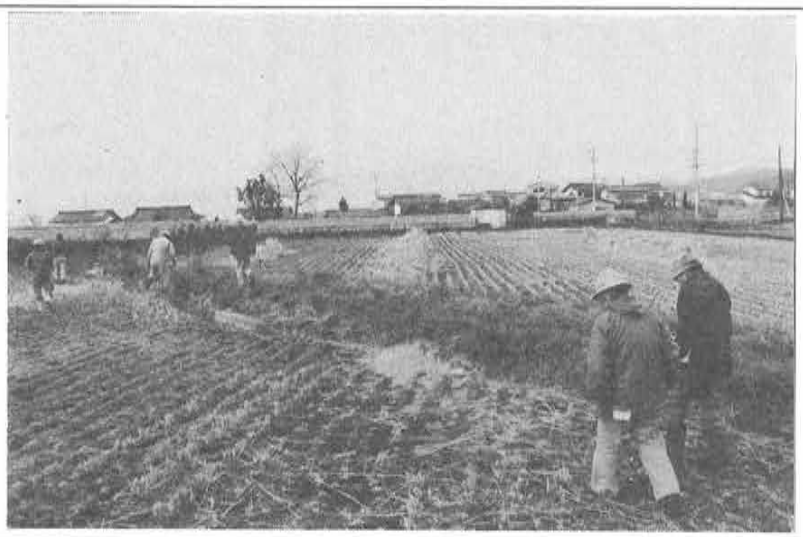


遺跡番号	99	遺跡名	戸井口	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	水田・畑	面積	5,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上川原	240—1	佐々木宗雄			
		240—2	佐藤　英人			
		242	高橋　　武			
	下川原	248	佐々木利雄			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄）打製石斧、凹石（古～平）須恵器

位置地形環境	
	臼田駅の南方から三分に通じる道路の北方で、田中遺跡の西南方に位置する。下越本郷部落の三分線道路の北側の平坦地で、宅地と水田を含む。



遺跡番号	100	遺跡名	井上	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	水田	面積	10,000㎡	時代	縄文・弥生 古墳・平安	調査年月日	61年11月26日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上の田	42	佐藤　竹雄			
		45	高橋　達夫			
		50	岩田　節			
		51	岩田　静男			
		54	宮沢　せん			
		62	高橋藤太郎			
		66	宮沢信太郎			

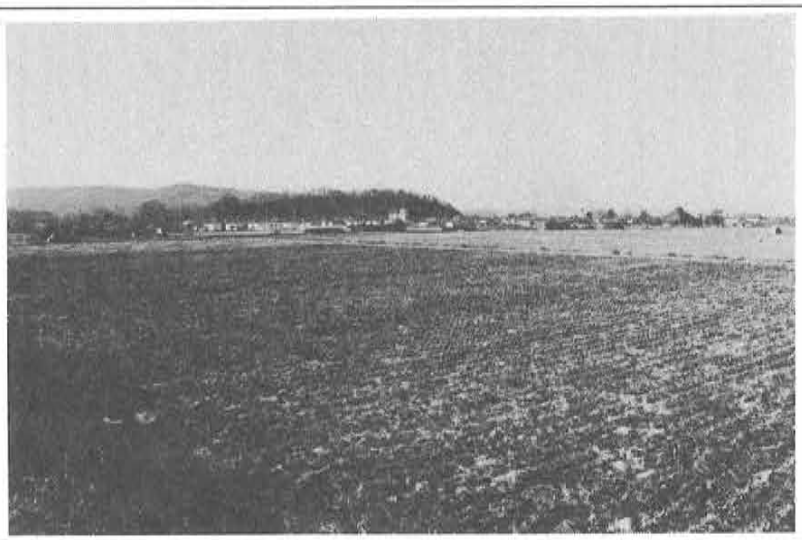
遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄) 前期初頭　花積下層式土器・後期　堀の内式土器、石鏃、石匙、打製石斧、横刃型石器（弥）後期土器、磨製石鏃（古）和泉式・鬼高式（甕・甑・壺・坏・手捏・高坏）臼玉（平）土師器・須恵器（昭和48年発掘調査、臼田町文化センターに展示）

位置地形環境

下越本郷部落長慶寺の東方段丘上に位置する。戸井口遺跡南方100m、平坦な水田地帯の中の微高地であったが、圃場整備事業によって水田化された。昭和48年臼田町教育委員会が発掘調査した。

和泉期住居址1棟、鬼高前葉住居址3棟、土拡4基、溝状遺構1基等を検出する。

昭和55年報告書刊行

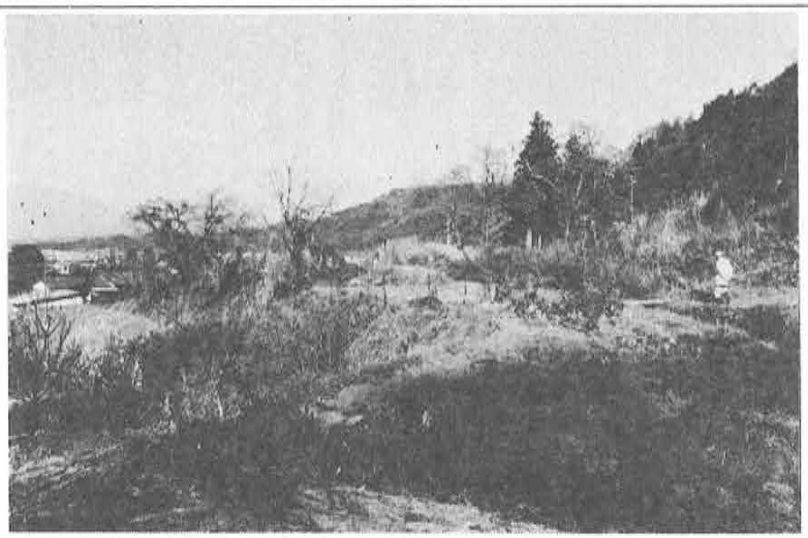


遺跡番号	101	遺跡名	遍照寺	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	畑 寺院境内	面積	10,000㎡	時代	縄文・弥生 中世	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	寺久保	1056	岩岡　盛人			
		1056-2	臼田　沖三			
		1056-3	依田　英智			
		1058	遍　照　寺			
		1060	秋山　英順			
		1064	清水　忠雄			

遺物		
	採集遺物	（中）土師質土器
	既出遺物	（縄）打製石斧（弥・後期）箱清水式土器

位置 地形 環境	
	三分部落の南方、岩崎山の北西山麓台地に立地する遺跡で段丘端をめぐる田口用水を北西の限界とし、遍照寺を含む緩傾斜面の畑地に分布する。西方水田地帯のなかに井上遺跡がある。

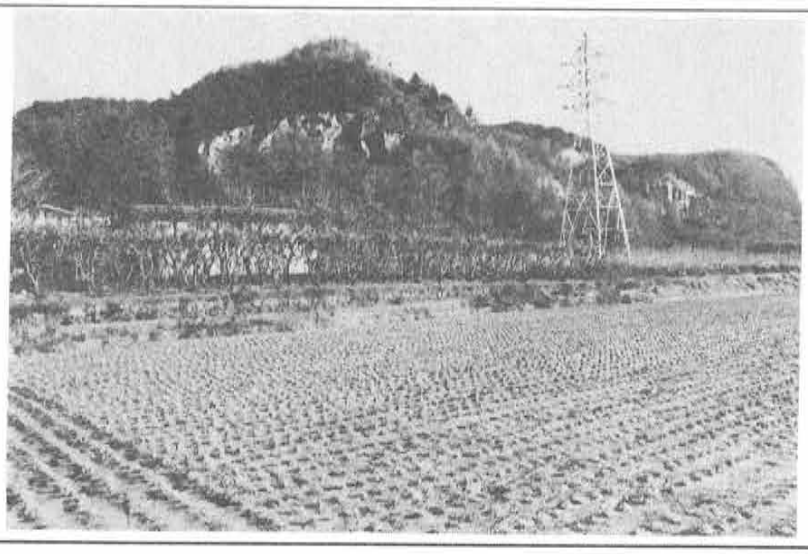


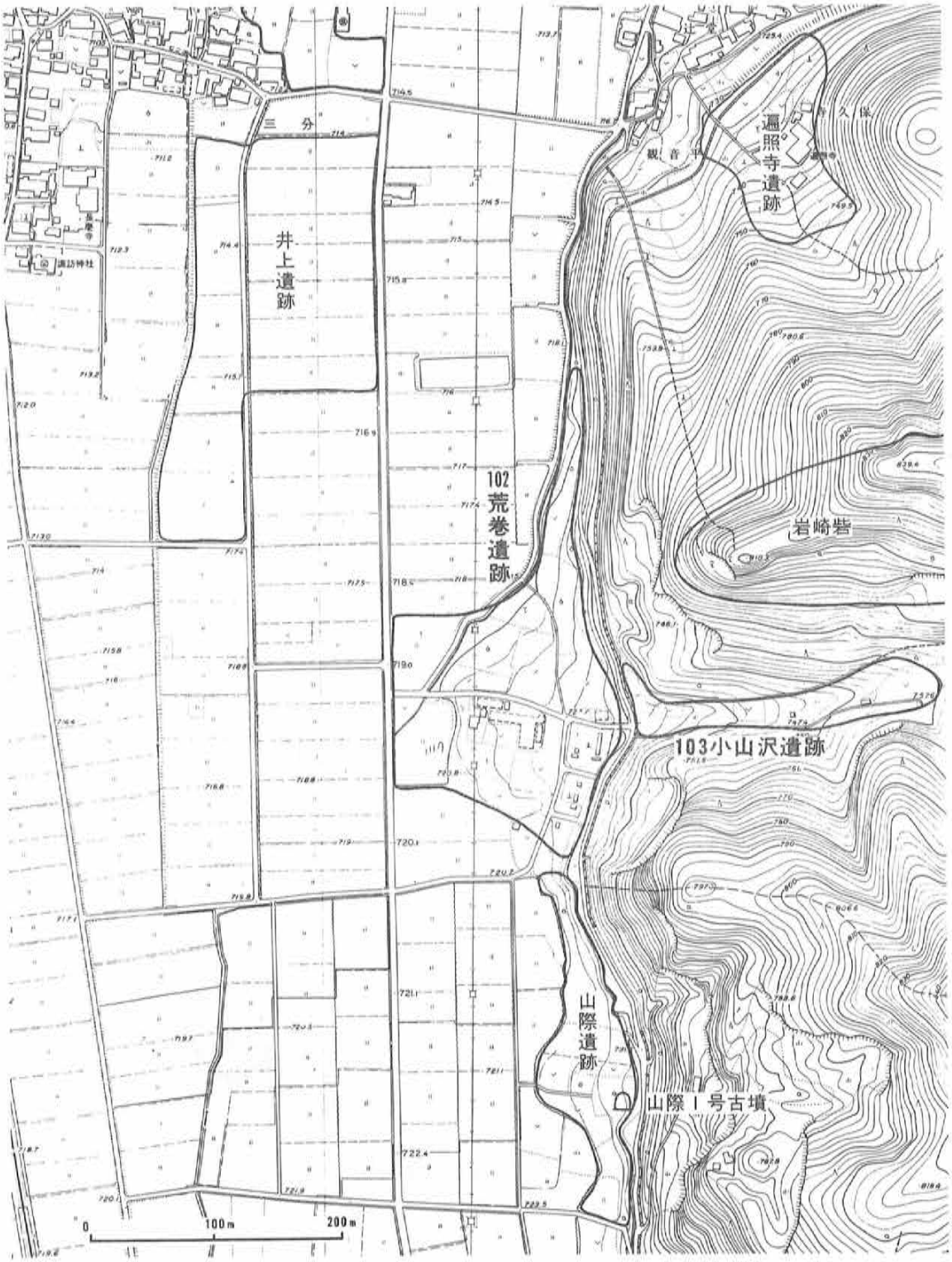
遺跡番号	102	遺跡名	荒巻	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	畑・果樹園 墓地	面積	20,000㎡	時代	弥生・古墳 平安・中世	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	新巻	1109	横山　順一	新巻	1126	油井　真治
		1110	横山　順一			
		1111	横山　順一			
		1113	横山　順一			
		1114	横山　順一			
		1115	清水毛佐美			
		1116	佐々木保人			
		1117	清水　俊佐			

遺物		
	採集遺物	（弥・後期）箱清水式土器・（古～平）土師器
	既出遺物	（弥・後期）箱清水式土器・（中）陶器、内耳土器（臼田中学校所蔵）

位置地形環境	
	千曲川右岸平地の東方山麓の台地状微高地に立地する遺跡で、岩崎山南東の小山沢の西方出口で、田口用水の西方の畑地に分布する。南に山際、北方に遍照寺、東に小山沢の諸遺跡が近接している。西方は水田地帯で井上遺跡がある。




三分
井上遺跡
102
荒巻遺跡
遍照寺遺跡
観音平
岩崎砦
103小山沢遺跡
山際遺跡
山際1号古墳
0
100m
200m

遺跡番号	103	遺跡名	小山沢	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	畑	面積	2,000㎡	時代	縄文	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	小山沢	1131	篠原　輝治			
		1132	浅川定五郎			
		1136	佐藤　竹雄			
		1137	佐々木龍雄			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄）石鏃

位置地形環境	千曲川右岸平地の東方山麓を東に入った小さな谷に立地する遺跡で、北東は岩崎山、南は入沢の採石場に囲まれた西に緩傾斜する沢の畑地に分布する。沢の南方出口には荒巻遺跡がある。

遺跡番号	104	遺跡名	三　分	遺跡の種類	包　蔵　地	部落名	三　分
地　目	畑	面　積	30,000㎡	時　代	縄文 古墳・平安	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者

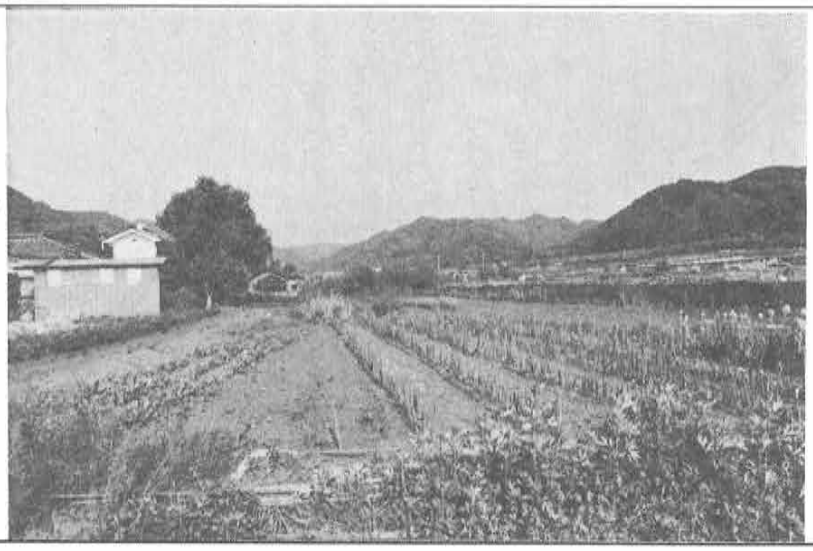
字　名	地　番	氏　名	字　名	地　番	氏　名
塚　畑	459	柏原　寛他	谷　地	634	田中　秀一
	461	青木　太司		640	菊地平八郎
	465	清水嘉忠次		645	清水てるじ
	467	横山　清		654	白　田　町
	473	岩岡　徳	北手塚	688	田中　次男
	475	〃		709	小林小一郎
	480	清水　正弘		711	細谷英吉郎
芝　宮	599	臼田　要三		715	〃
谷　地	619	田中　升一		716	〃
	622	〃	厄入海道	717	〃
	626	田中　昭雄		721	〃
	629	横山　村雄		722	〃

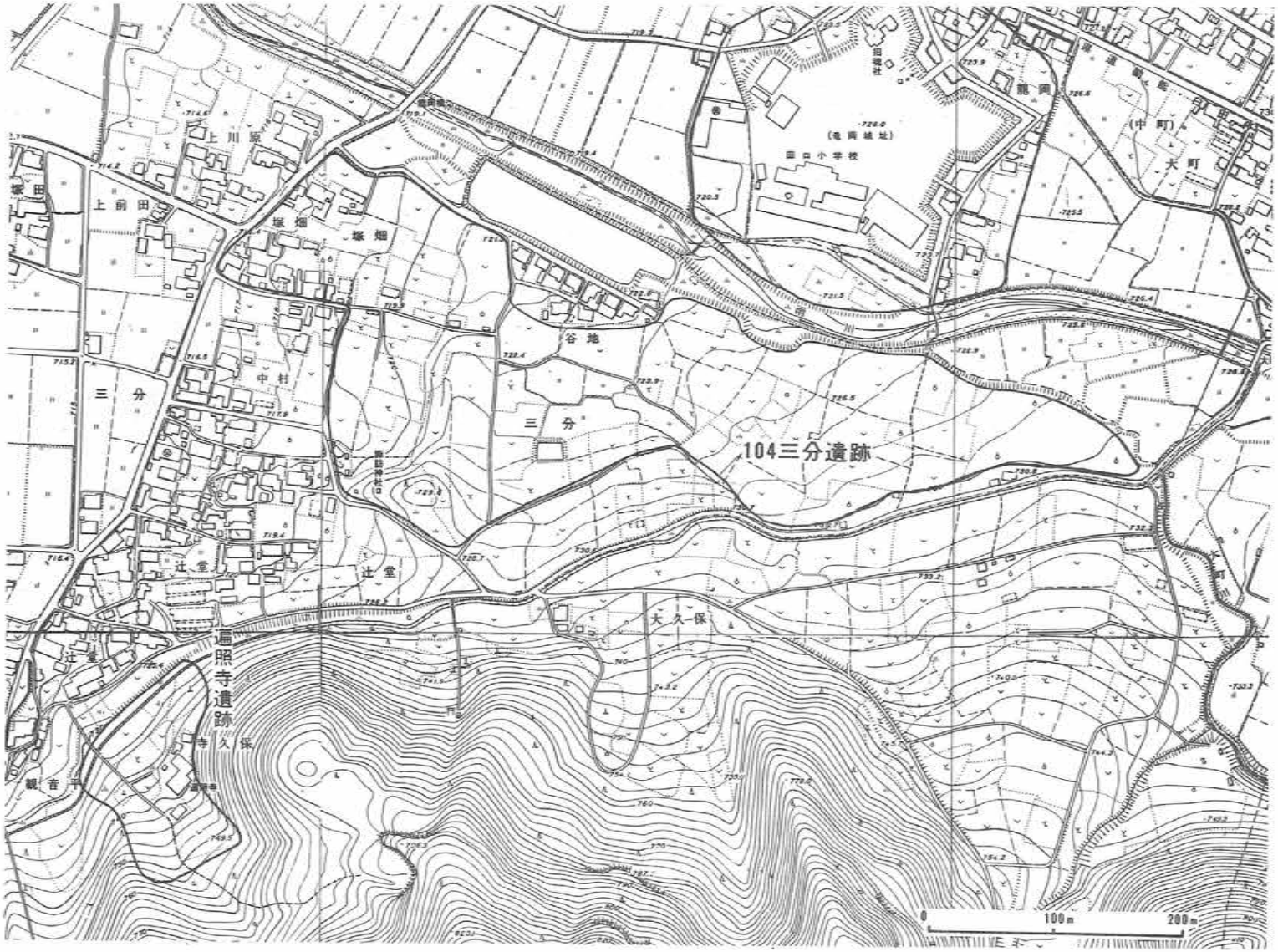
遺物

採集遺物	(古～平) 土師器
既出遺物	(縄) 中期土器、打製石斧5　(古～平) 須恵器、土師器 (小林秀人氏採集　臼田町文化センター展示)

位置 地形 環境

雨川左岸の山麓台地に立地し、三分から田口下町に通じる道路の東方、訪諏神社北方、田口小学校スケート場の南辺までの間の畑地に分布する。段丘上東南方山口沢川右岸には山口遺跡があり、三分部落を越えた西方には西塚田遺跡がある。



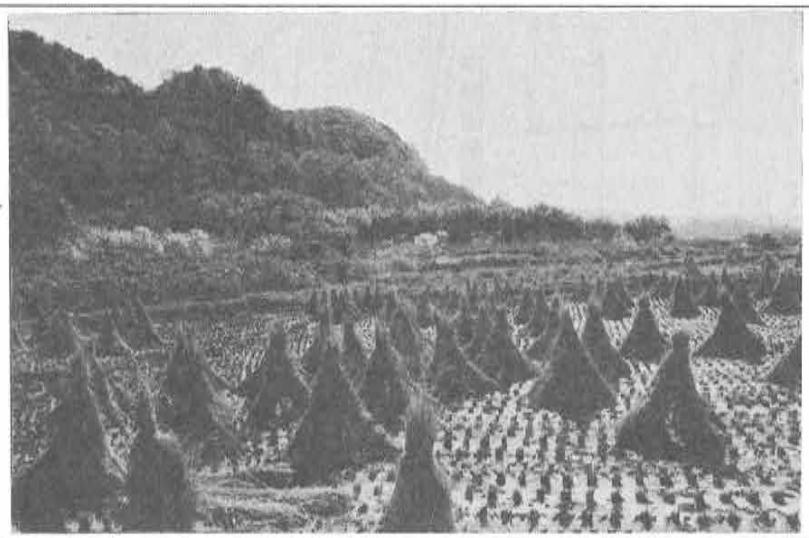

104三分遺跡
上川原
上前田
塚畑
三分
中村
谷地
辻堂
大久保
遍照寺遺跡
寺久保
観音寺
田口小学校
(竜興城址)
竜岡
(中町)
大町
0
100m
200m

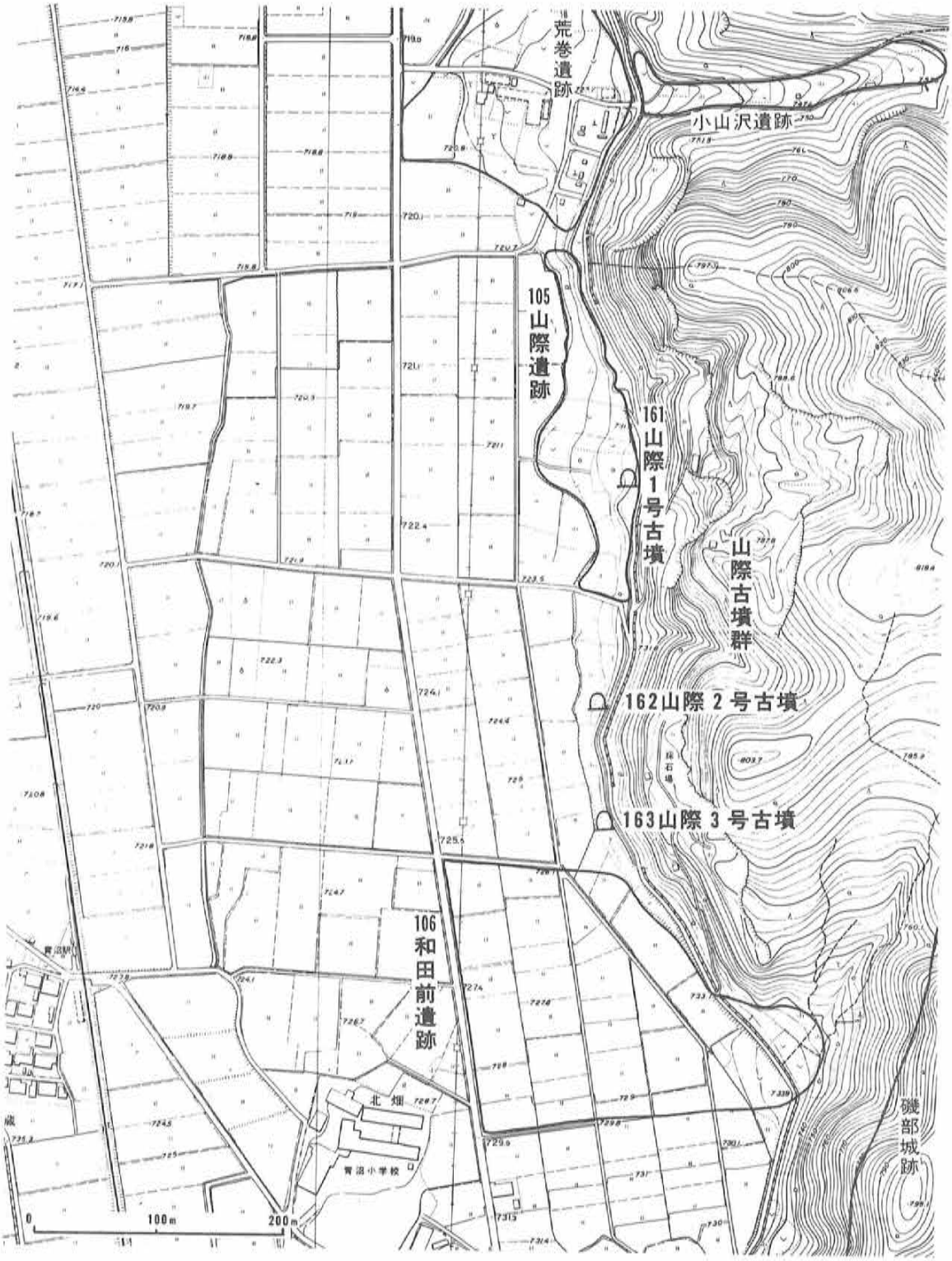
遺跡番号	105	遺跡名	山際	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・荒地	面積	6,000㎡	時代	弥生・古墳 平安・中世	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	山際	3～5	新津 長人			
		8	新津 保一			
		11	日向 勇			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(弥・後期) 箱清水式土器 (古～平) 土師器、須恵器、土錘 (中) 陶器片

位置 地形 環境	
	入沢北方千曲川右岸平地の東方山ぎわに立地する遺跡で、田口用水路の西方に沿う台地状微高地に所在する。畑地、畑荒地で、西方は水田地帯に接する。遺跡内に山際1号古墳がある。北方に接して荒巻遺跡がある。南方田口用水ぞいに山際2号古墳、3号古墳がある。




荒巻遺跡
小山沢遺跡
105
山際遺跡
161
山際1号古墳
山際古墳群
162山際2号古墳
163山際3号古墳
106
和田前遺跡
北畑
青沼小学校
磯部城跡
0
100m
200m

遺跡番号	106	遺跡名	和田前	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	水田 畑	面積	30,000㎡	時代	古墳・平安	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者

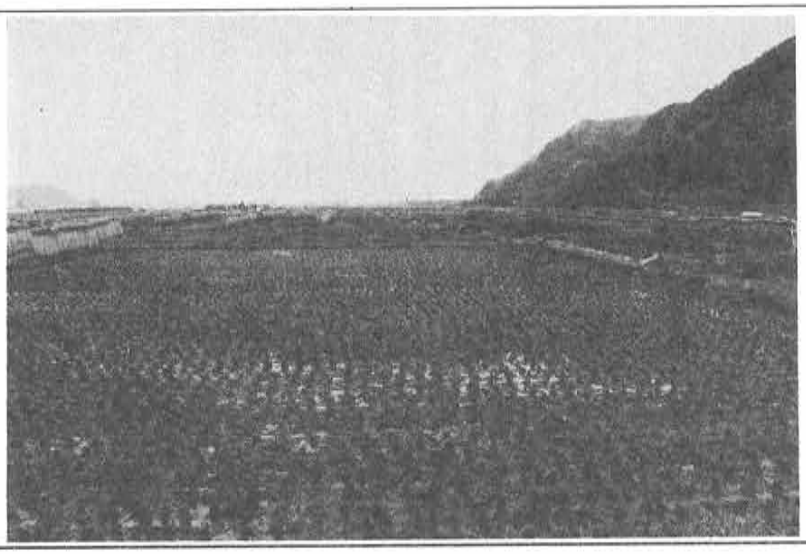
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
池ノ端	163	三石　要			
	169	三石　富太			
和田前	193	三石　邦夫			
	174	三石　清吾			

遺物

採集遺物	
既出遺物	(古～平) 土師器

位置地形環境

千曲川右岸平地の東方山麓の平地から斜面に立地する遺跡で、南方250mを谷川が西流して千曲川に注ぎ、谷川扇状地を形成している。青沼小学校の東を南北に通じる広域農道から山ぎわまでの水田と田口用水をこえた和田前の畑地を含む。田口用水堰にそって北方には山際3号、2号、1号古墳がある。

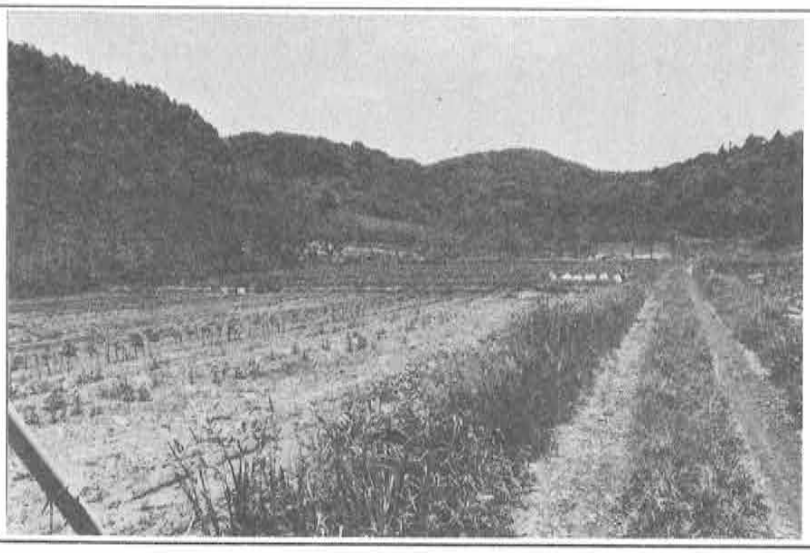


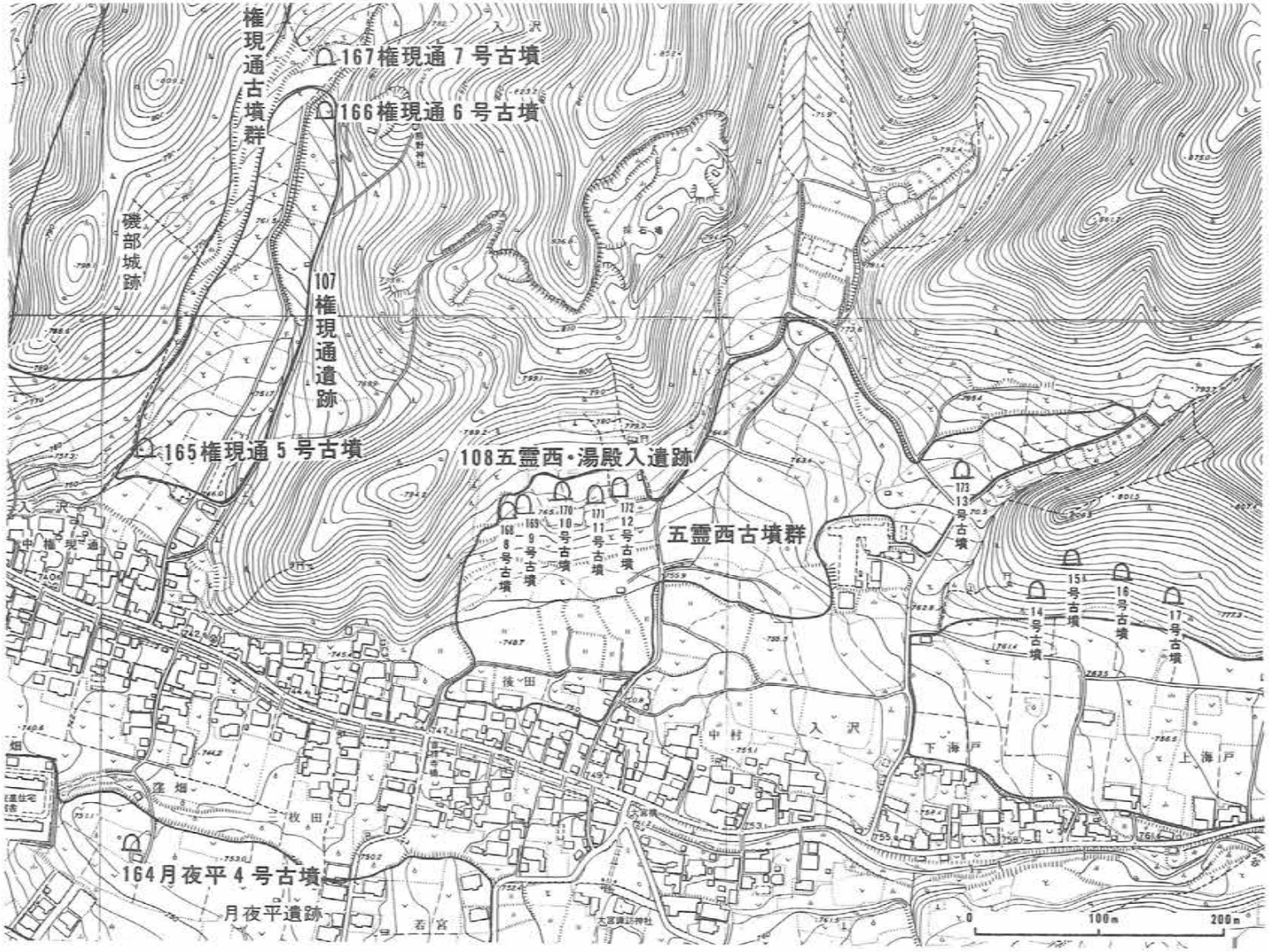
遺跡番号	107	遺跡名	権現通	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	20,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	細久保	1487	三石 和人			
	〃	1488	日向 長			
	中権現	1528	三石 正之			
	〃	1529	新海 和雄			
	〃	1530	三石 吉治			

遺物		
	採集遺物	(古～平) 土師器、須恵器、灰釉
	既出遺物	(縄) 打製石斧、(古～平) 土錘 (採集者 日向長 臼田町文化センター展示)

位置地形環境	
	入沢の部落内谷川右岸権現通を北に入った沢で、南面緩傾斜の山麓の畑地に分布する。この沢の西方山麓には権現通古墳群の5号、6号、7号古墳がある。




権現通古墳群
167権現通7号古墳
166権現通6号古墳
磯部城跡
107権現通遺跡
165権現通5号古墳
108五霊西・湯殿入遺跡
五霊西古墳群
168 8号古墳
169 9号古墳
170 10号古墳
171 11号古墳
172 12号古墳
173 13号古墳
14号古墳
15号古墳
16号古墳
17号古墳
164月夜平4号古墳
月夜平遺跡
入沢
中権現通
後田
畑
枚田
若宮
中村
入沢
下海戸
上海戸
0
100m
200m

遺跡番号	108	遺跡名	五霊西・湯殿入	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑 果樹園	面積	80,000㎡	時代	縄文・古墳 奈良・平安	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者

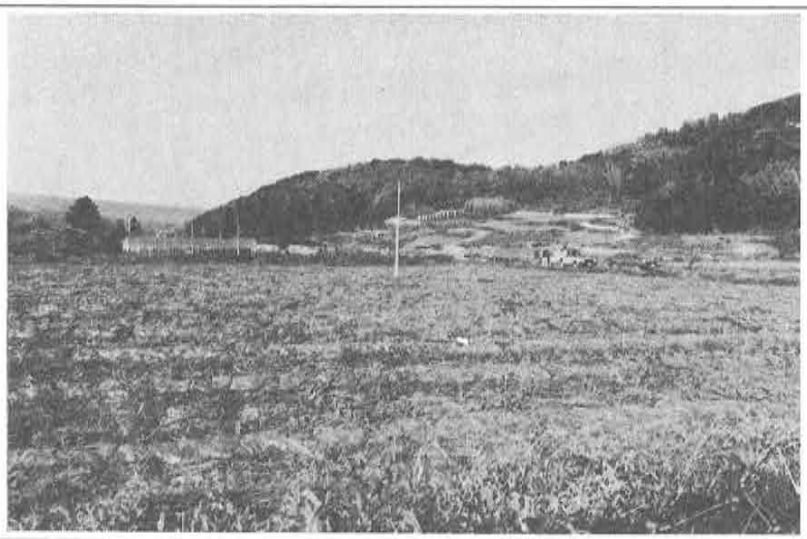
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
後田	1592—1	岩松今朝市			
中村	1618	岩松　昭二			
梨ノ木	1657	岩松今朝市			
五霊西	1692	岩松　昭			
〃	1693	日向　潔			
〃	1694	長田俊一郎			

遺物

採集遺物	(縄) 石鏃、打製石斧 (古～平) 土師器、須恵器、灰釉 (中) 陶器
既出遺物	(縄) 石剣、打製石斧、(弥) 後期土器 (古) 鬼高式 (甕、高坏、蓋、土製勾玉) (平) 土師器、須恵器 (所蔵者 長田慶之助、三石延雄、青沼郷土館)

位置 地形 環境

谷川右岸入沢部落中央から北に入った広い沢で、南面する畑地に分布する。東は五霊西古墳群の所在する山麓から西は湯殿入の沢を含め、南は入沢部落北方の畑地から北は山林に接するまでの全域にわたる。五霊西古墳群5基と湯殿入古墳1基が遺跡地内に存在する。



遺跡番号	109	遺跡名	下海戸・山の前	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑 果樹園	面積	20,000㎡	時代	縄文 古墳・平安	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者

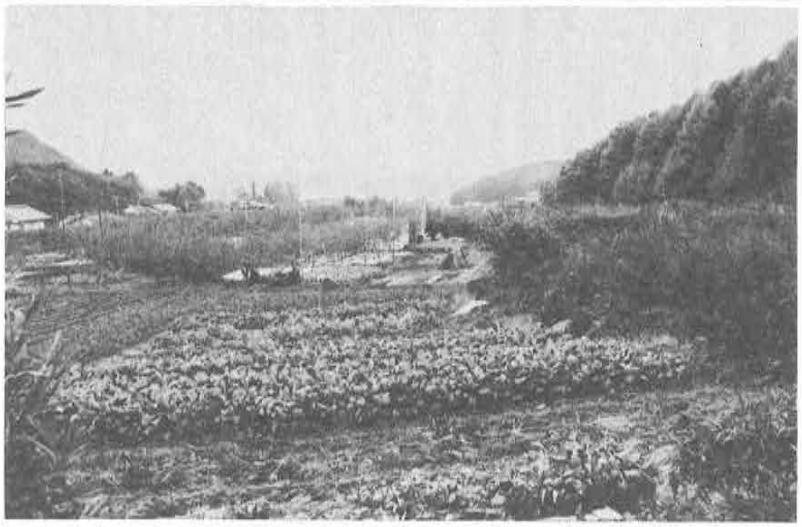
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
下海戸	1889	石井　貞治	山の前	2027	星野　道弘
四分一	1890	三石　清吾	〃	2116	岩松　久嘉
三窪出口	1943	三石　忠			
〃	1944	三石　平			
〃	1945	三石　裕士			
山の前	2008	三石　甲			
〃	2026	石井　文男			
宮林	2026	横森　永司			

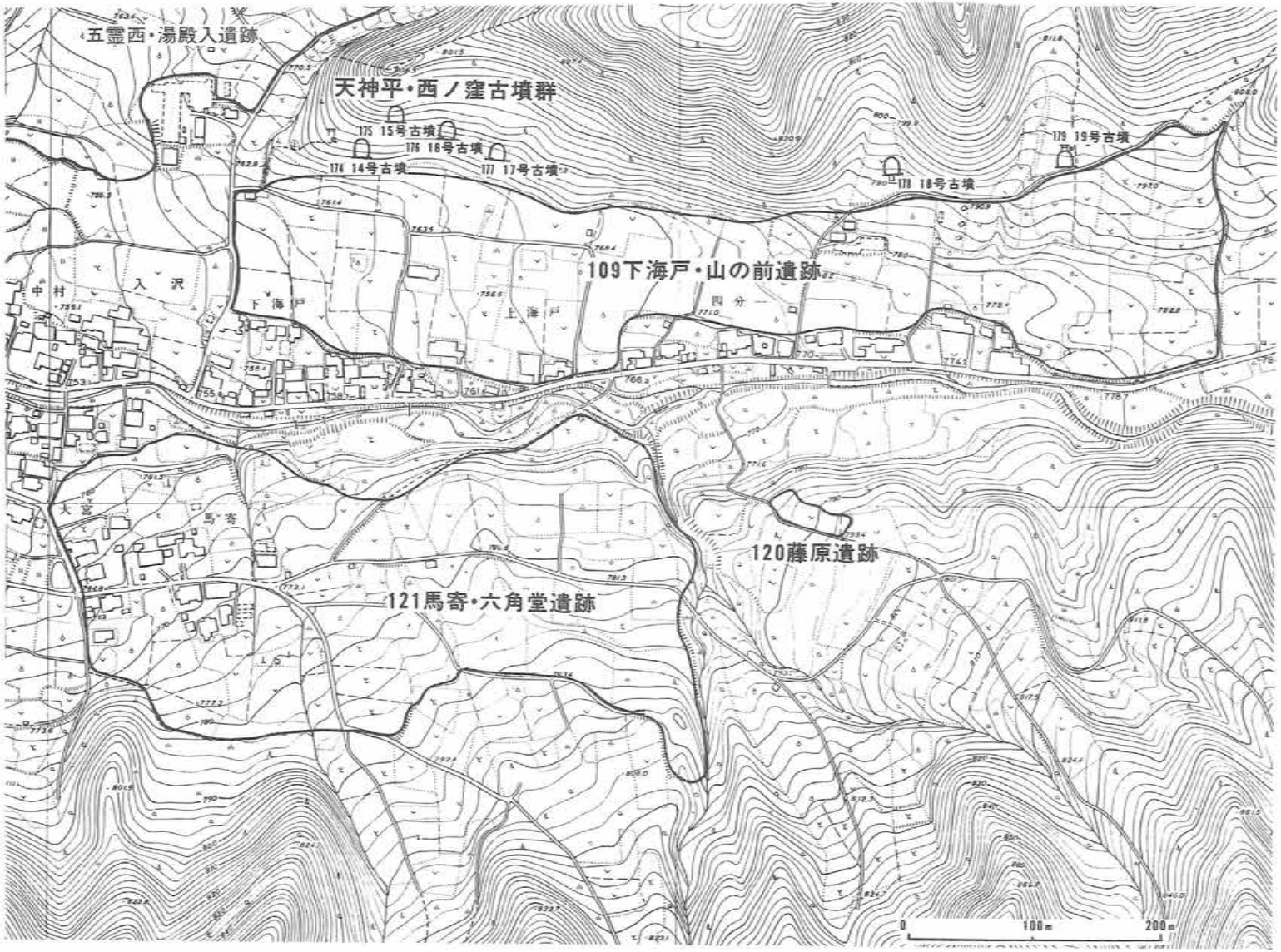
遺物

採集遺物	
既出遺物	（縄・後期）土器、打製石斧、横刃型石器（弥・後期）箱清水式土器 （古～平）土師器　　（三石延雄氏所蔵）

位置地形環境

谷川右岸の山麓台地に立地する遺跡で、入沢上部落の北方一帯の畑地に分布し西は湯殿入に通じる農道を限り、東は山の前の沢を限る範囲を包含する。




五霊西・湯殿入遺跡
天神平・西ノ窪古墳群
175 15号古墳
176 16号古墳
174 14号古墳
177 17号古墳
179 19号古墳
178 18号古墳
109下海戸・山の前遺跡
中村
入沢
下海戸
上海戸
四分
大宮
馬寄
120藤原遺跡
121馬寄・六角堂遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	110	遺跡名	月通沢・水石	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・水田	面積	50,000㎡	時代	先土器・縄文・弥生 古墳・平安・中世	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者

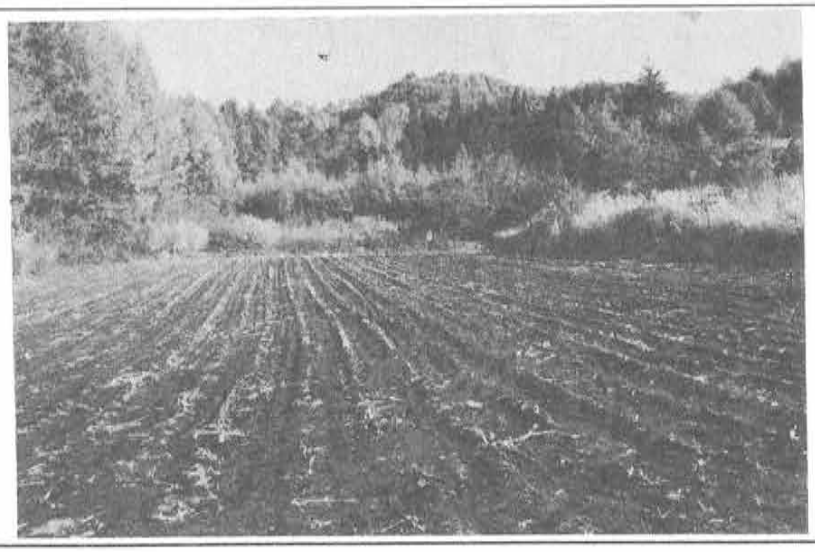
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
月通沢	2214	岩松　武人			
	2216	伴野　好勝			
	2225	三石　よし			
	2228	三石　むら			
水石	2268	日向　佳紀			
	2277	日向　長			

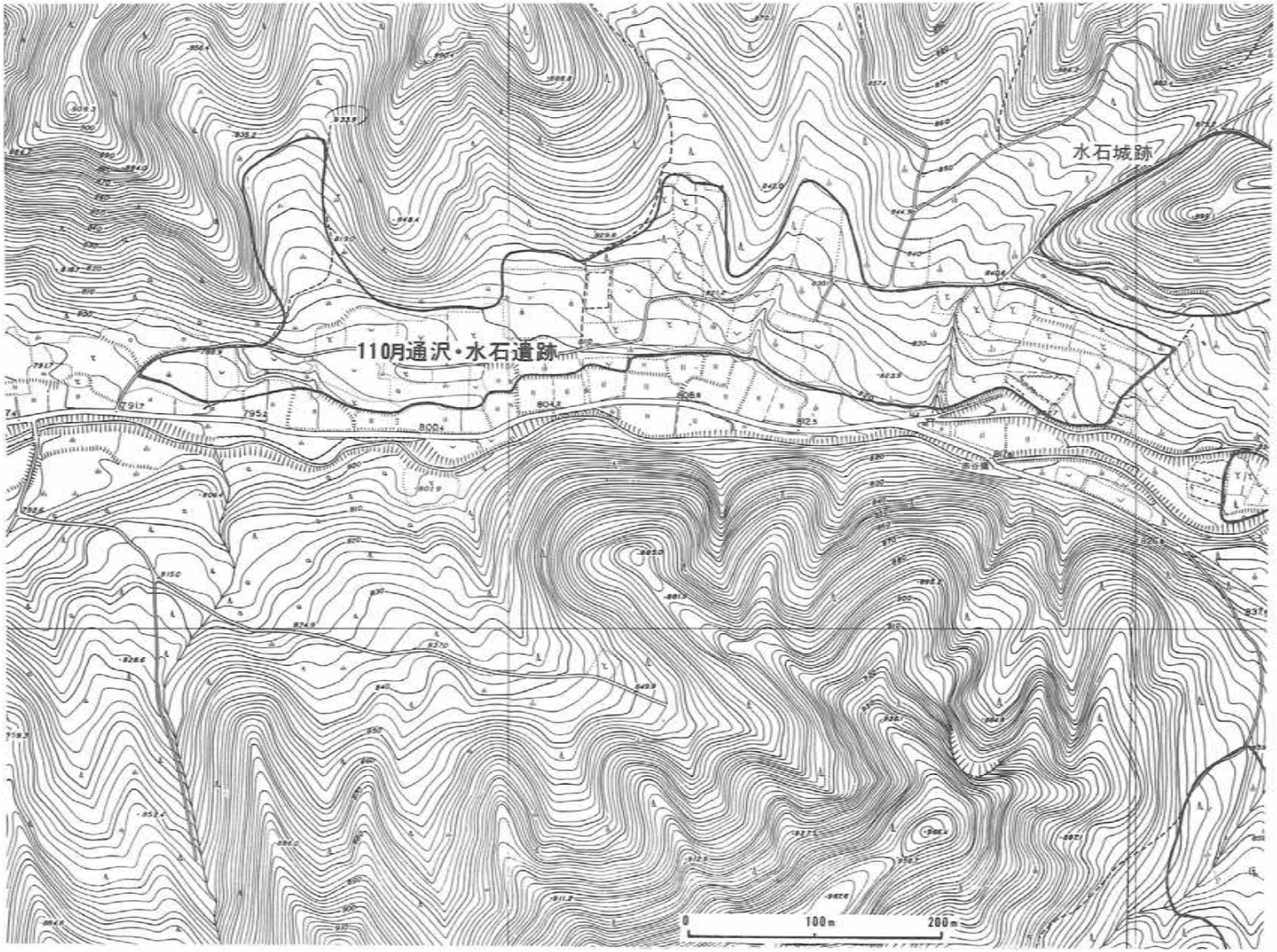
遺物

採集遺物	
既出遺物	(先) ナイフ形石器、翼状剥片、石核　(縄) 黒曜石、打製石斧 (古～平) 土師器、須恵器、灰釉、土鈴 (中) 中世陶器天目破片 (弥・後期) 箱清水式土器　(三石延雄氏所蔵)

位置地形環境

谷川の上流、赤谷方面と荷通り方面の道路の分岐点付近で、谷川右岸の山麓台地状の南傾斜面に立地する。西はこの台地に上る農道を限り東は水石の沢を限る。南はほぼ農道を下限とし、北は畑地全体を包含し、一部植林地内に及ぶ、北方の尾根上に水石城跡があり、東方谷川右岸には西墓地堂、東墓地堂遺跡がある。



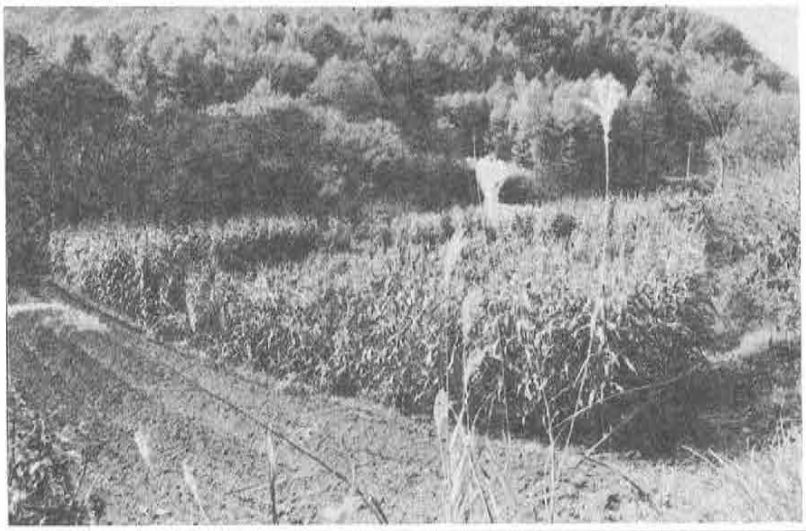

110月通沢・水石遺跡
水石城跡
0
100m
200m

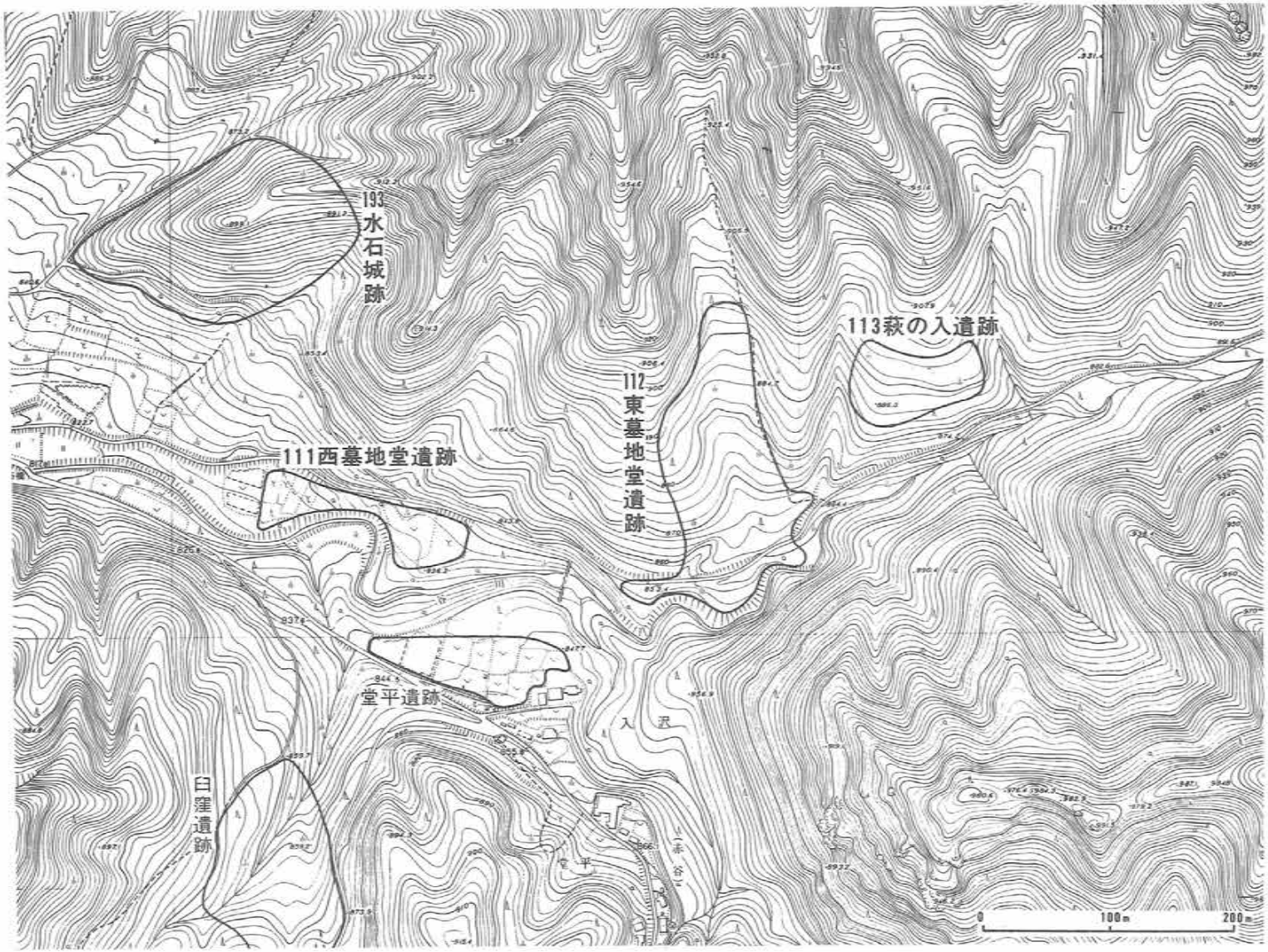
遺跡番号	111	遺跡名	西墓地堂	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・植林	面積	10,000㎡	時代	平安	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	西墓地堂	2306	桜井 徳政			
	〃	2307	三石 昌義			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器

位置地形環境	谷川と荷通川の合流点の下方300m、荷通り線路と谷川の間の狭長な緩斜面に立地する。



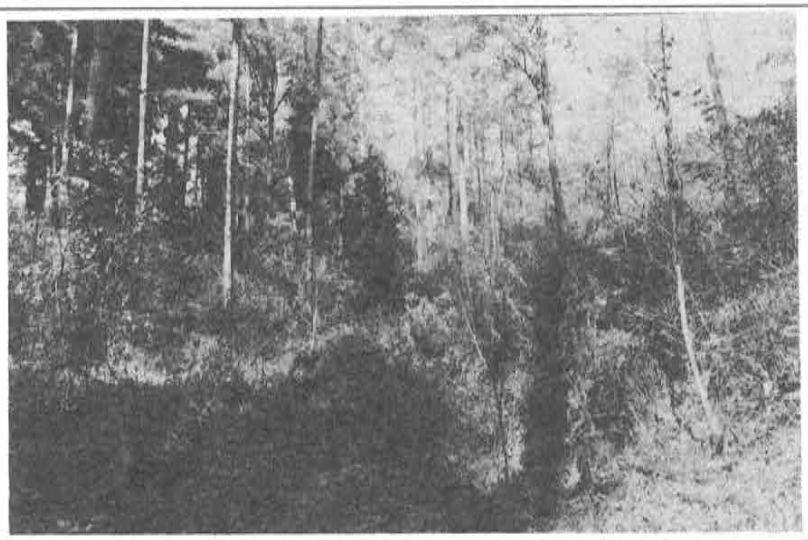

193
水石城跡
111西墓地堂遺跡
112
東墓地堂遺跡
113萩の入遺跡
堂平遺跡
臼窪遺跡
入沢
0
100m
200m

遺跡番号	112	遺跡名	東墓地堂	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・植林	面積	15,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	東墓地堂	2316	青沼財産区			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(縄)後期土器　(平)土師器、須恵器　(三石延雄氏所蔵)

位置地形環境	
	赤谷川と荷通川の合流点付近で荷通川の右岸から、荷通線道路を越えて北方山麓の沢の山林(青沼財産区有林)内に及んで分布している。西墓地堂遺跡の東150mにあり、谷川の対岸には堂平遺跡、東方100mには荻の入遺跡がある。



遺跡番号	113	遺跡名	荻の入	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・山林	面積	5,000㎡	時代	平安	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	荻の入	2342	青沼財産区			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器 (内黒)

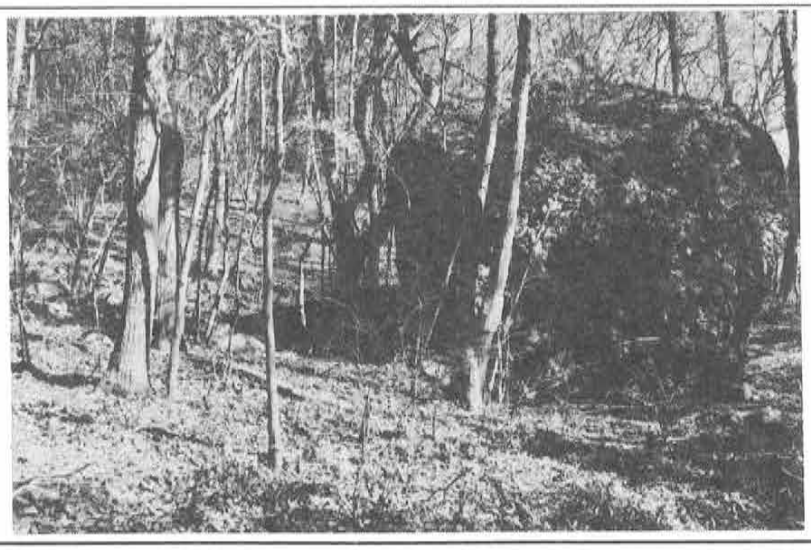
位置地形環境	谷川上流荷通川と赤谷川の合流点から荷通川を約400mさかのぼった右岸山麓に立地する。荷通線道路から北方山麓の狭い台地状斜面にあって、かって桑畑とされていたが、現状は山林（青沼財産区有林）である。標高890m。

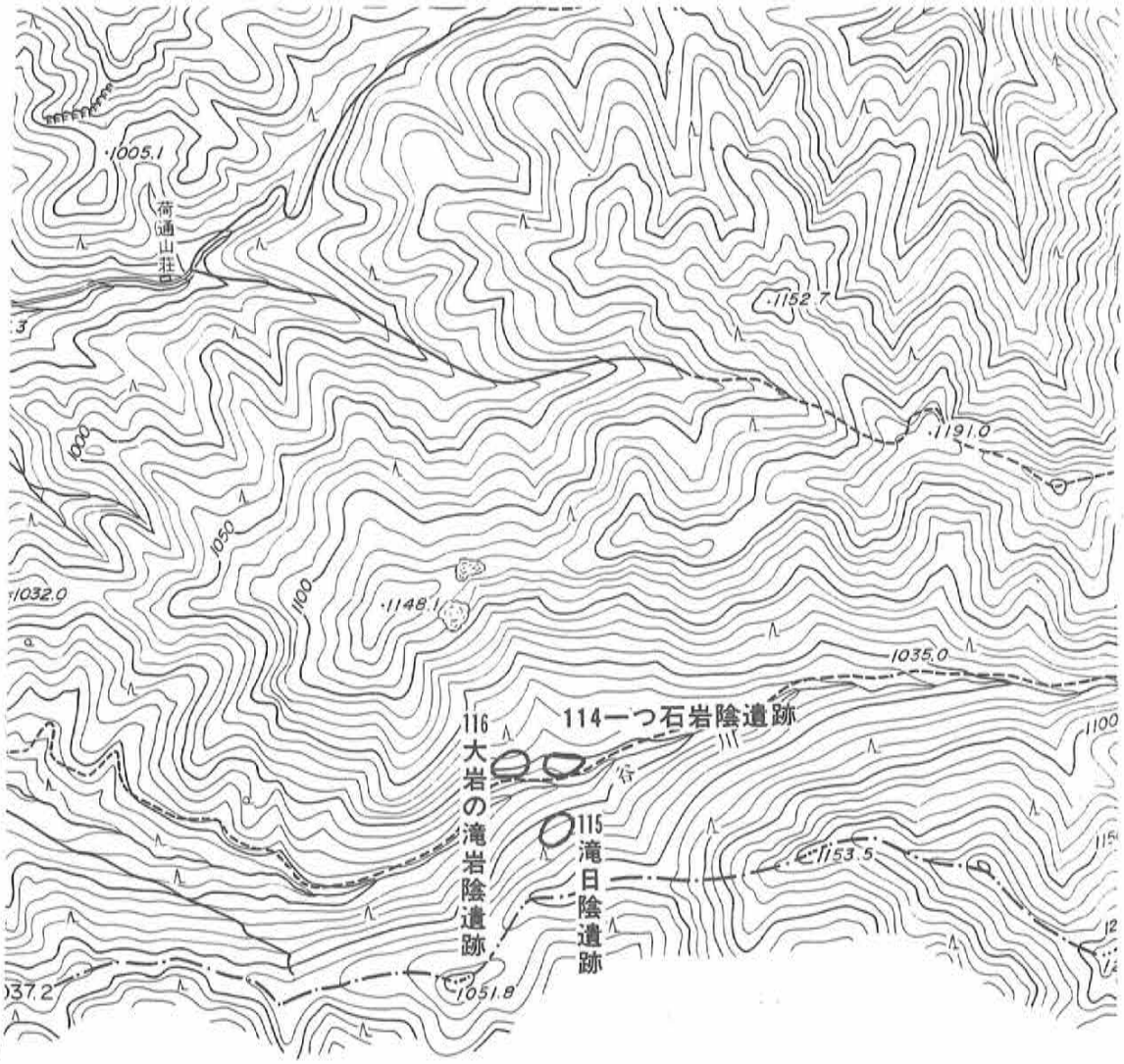
遺跡番号	114	遺跡名	一つ石岩陰	遺跡の種類	包蔵地	部落名	赤谷
地目	山林	面積	1,000㎡	時代	縄文・弥生 平安・中世	調査年月日	62年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	天狗岩	2374	国有林			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器2
	既出遺物	(縄) 中期土器、後期土器　(弥・後期) 箱清水式土器 (平) 土師器、須恵器　(中) 内耳土器

位置地形環境	
	赤谷部落の東方1km、谷川の最上流右岸の国有林内の山麓小台地に立地し、高さ8m鳥帽子状の角礫岩の孤立した巨岩の周辺に分布している。南面する日当たりのよい乾地であるが、その西方の浅い低湿地には石積み状の跡がみられる。




1005.1
荷通山荘
1152.7
1191.0
1000
1050
1100
1032.0
1148.1
1035.0
114一つ石岩陰遺跡
116
大岩の滝岩陰遺跡
115
滝日陰遺跡
1153.5
1051.8
1100

佐　　久

0　500m

遺跡番号	115	遺跡名	滝日陰	遺跡の種類	包蔵地	部落名	赤谷
地目	山林	面積	1,000㎡	時代	縄文・弥生	調査年月日	62年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	天狗岩	2273	国有林			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（縄・前期）黒浜式土器（弥）箱清水式土器（簾状文）（三石延雄氏所蔵）

位置地形環境	
	赤谷部落から東へ1km、赤谷川をさかのぼった国有林内で、赤谷川左岸の山麓傾斜地の岩塊の重なり合った、崩落した小岩陰にある。赤谷川の対岸200mに一つ石岩陰遺跡があり、南方の急峻な比高70mの尾根上には中日向岩陰遺跡（佐久町）があって、奥地の遺跡のあり方が注目される。

遺跡番号	116	遺跡名	大岩の滝岩陰	遺跡の種類	包蔵地	部落名	赤谷
地目	山林	面積	1,000㎡	時代	平安	調査年月日	62年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	大岩滝の上		臼田町有林			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器 (内黒)　　(三石延雄氏所蔵)

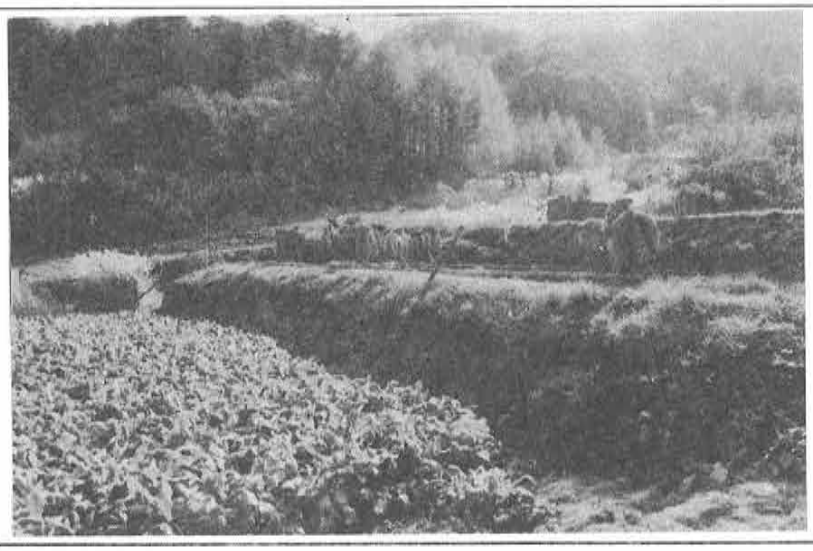
位置 地形 環境	赤谷部落から東へ1km、赤谷川右岸臼田町有林内の急峻な山腹にある大きな岩陰で、間口4m、奥行2.5m、庇の高さは10mもある。テラスには厚い土層の堆積がみられる。東方150mに一つ石岩陰がある。大岩の滝岩陰—一つ石岩陰—滝日陰—中日向岩陰（佐久町）とこのような深山に集中的に岩陰遺跡が存在することは注目される。

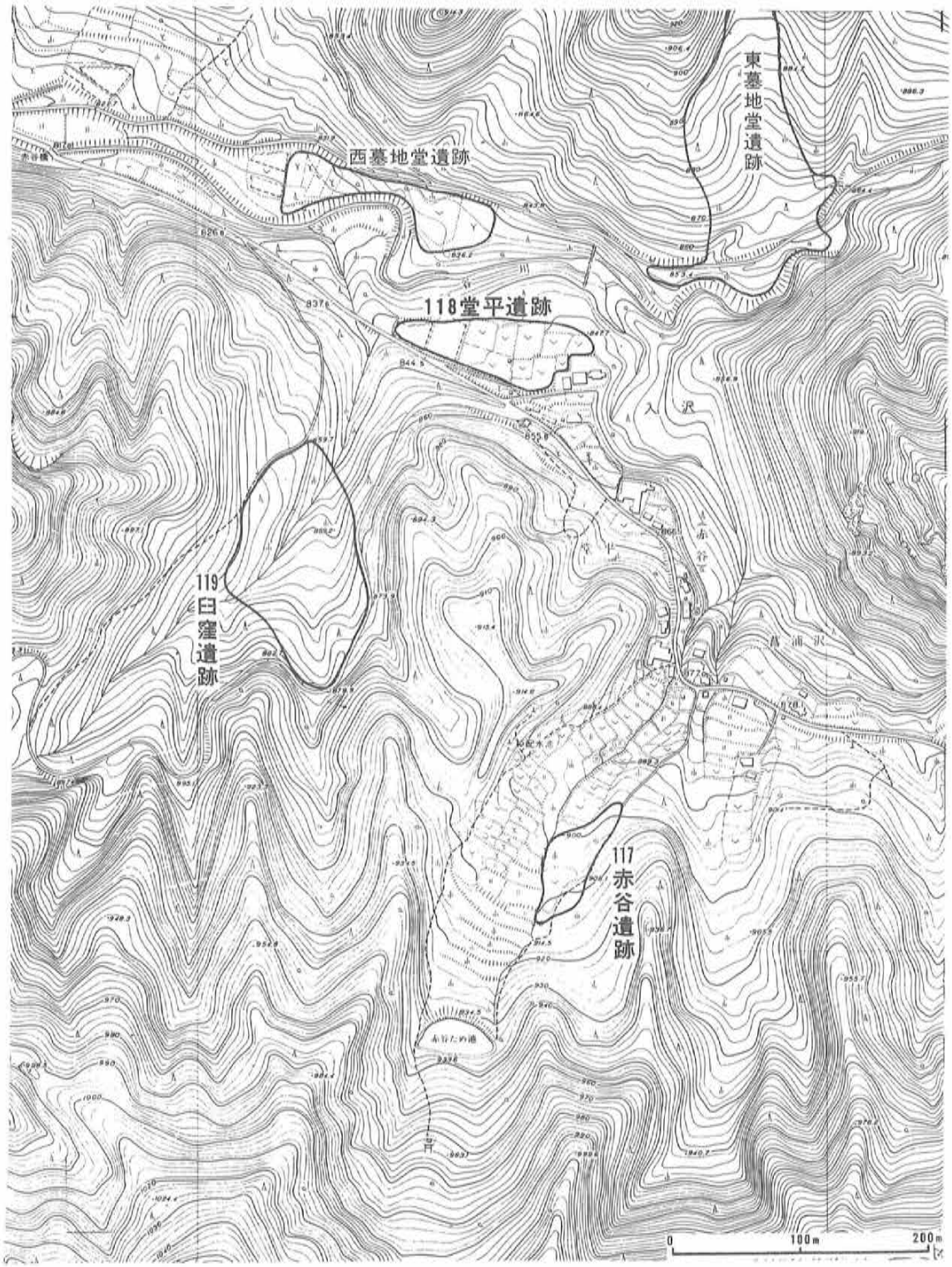
遺跡番号	117	遺跡名	赤谷	遺跡の種類	包蔵地	部落名	赤谷
地目	畑	面積	5,000㎡	時代	平安	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	大深山	2456	岩松寿一郎			
	〃	2456	横山　宮雄			
	〃	2457	渡辺　和夫			
	〃	2458	日向今朝蔵			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器 3
	既出遺物	

位置地形環境	
	赤谷部落の道路より上（南方）の盆地状の斜面で、沢の奥に湧水があり、大深山の池（貯水池）がつくられ、段々の水田と畑が開かれ、江戸末期の開拓村赤谷の主要耕地である。下方（北方）500mには堂平遺跡がある。



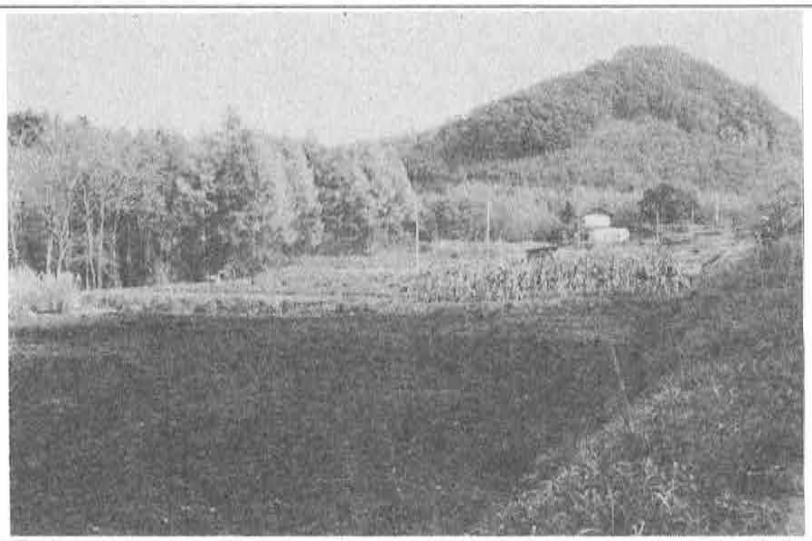

東墓地堂遺跡
西墓地堂遺跡
118堂平遺跡
119
臼窪遺跡
117
赤谷遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	118	遺跡名	堂平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	赤谷
地目	畑	面積	2,000㎡	時代	縄文	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	堂平	2503	日向　裕			
	〃	2504	岩松　定一			
	〃	2506	日向　義正			

遺物		
	採集遺物	(縄) 横刃型石器
	既出遺物	

位置地形環境	
	赤谷部落の入口、町道より下の谷川左岸の段丘上に所在する。日向喜作氏宅より西側の平坦な畑地に分布する。谷川の対岸には西墓地堂、東墓地堂、荻の入の諸遺跡があり、南方道路を越えた上方の沢には臼窪遺跡がある。

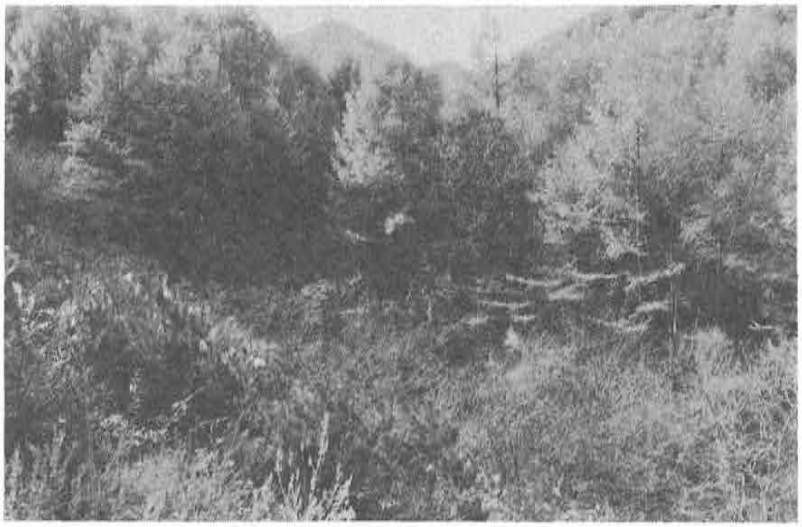


遺跡番号	119	遺跡名	臼窪	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	2,000㎡	時代	弥生・平安	調査年月日	62年11月9日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	田窪	2335	日向 喜作			
	日向臼窪	2567	桜井 忠士			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(弥・後期) 箱清水式土器 (平) 土師器

位置 地形 環境	
	赤谷部落の入口堂平から南へ道路をこえて田窪線道路を200mほどさかのぼった付近、沢の中央を流れる細流の右岸(東)田窪、左岸(西)日向臼窪にまたがる遺跡で北東面する沢で、もと畑地で水田も開かれていたが、現在はカラマツの植林や荒地となっている。日向臼窪の桜井忠士氏のもと畑(現在山林)から弥生土器が出土し、田窪の日向喜作氏の畑から道路づくりの際土師器が出土している。

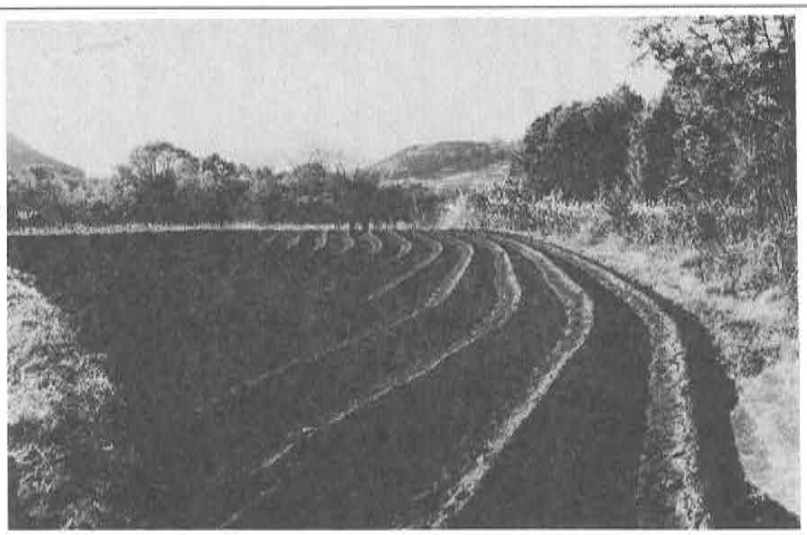


遺跡番号	120	遺跡名	藤原	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	1,000㎡	時代	弥生・平安	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上藤原出口	2854	日向 昌時			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	（弥・後期）箱清水式土器（平）土師器、須恵器　（三石延雄氏所蔵）

位置 地形 環境	
	馬寄集落の東方約600m谷川左岸の山麓台地に立地する小範囲の遺跡である。六角堂地籍から東方へ、谷川支流の小河川を渡った段丘端にあり、谷川の対岸には下海戸・山の前遺跡、天神平・西ノ窪古墳群がある。日向昌時氏畑から遺物を採集している。



遺跡番号	121	遺跡名	馬寄・六角堂	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・果樹園	面積	100,000㎡	時代	縄文・中世	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者

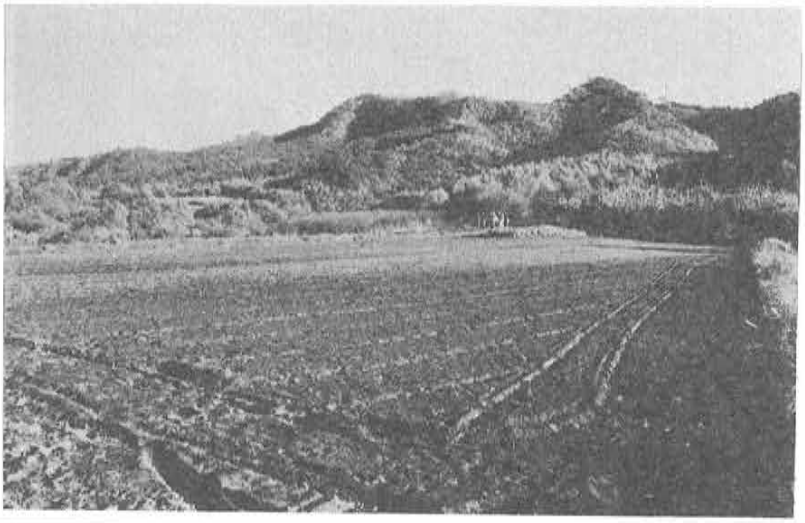
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
六角堂	2817	三石　延雄			
牧　平	2931	三石　幸三			
六角堂	2888	三石　昇			
〃	2892	日向　貞男			
〃	2894	岩松　賢助			
〃	2903	三石　要			
馬　寄	2988	三石　延雄			
〃	2990	岩松　昭			

遺物

採集遺物	
既出遺物	（縄・中期）曽利式土器、魚形陰刻土器、石鏃、打製石斧、横刃形石器、凹石、有孔環状石器　（中）鉄鏃

位置地形環境

入沢部落の南方、谷川左岸の段丘上に立地し、東は馬寄部落から、西は字六角堂地籍東端谷川に流入する支流の沢までの間、北は谷川の段丘端から南は山ぎわまで、一帯の畑地に分布する。六角堂地籍には段丘端から山麓まで北南に、約50mの間隔をもって2条の土居と湟あとが認められ、中世武士の私牧の遺構の一部と考えられ、鉄鏃を出土している。西南方山頂には入沢城跡がある。近世には六角堂があったと伝承され、元禄の記年銘をもつ石仏群が残されている。三石延雄氏の畑から土坑が検出され、魚形陰刻土器、打製石斧、横刃形石器等が出土した。（1980、長野県考古学会誌第38号に報告）



遺跡番号	122	遺跡名	月夜平	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑・宅地	面積	30,000㎡	時代	縄文・古墳 平安・中世	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者

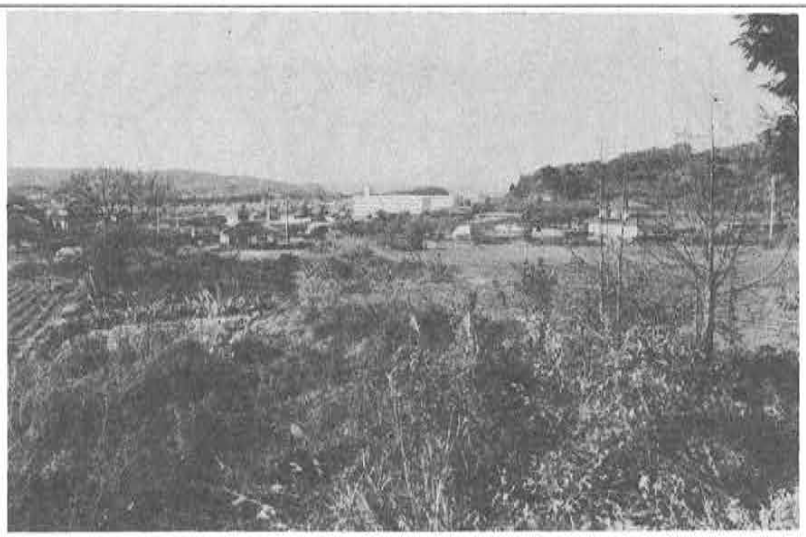
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
月夜平	2144	日向　義知			
原	3106	武舎　忠雄			
〃	3107	日向　喜平			
月夜平	3248	三石新一郎			
〃	3247	日向　悦郎			
〃	3252	日向　賢一			
〃	3257	日向新一郎			

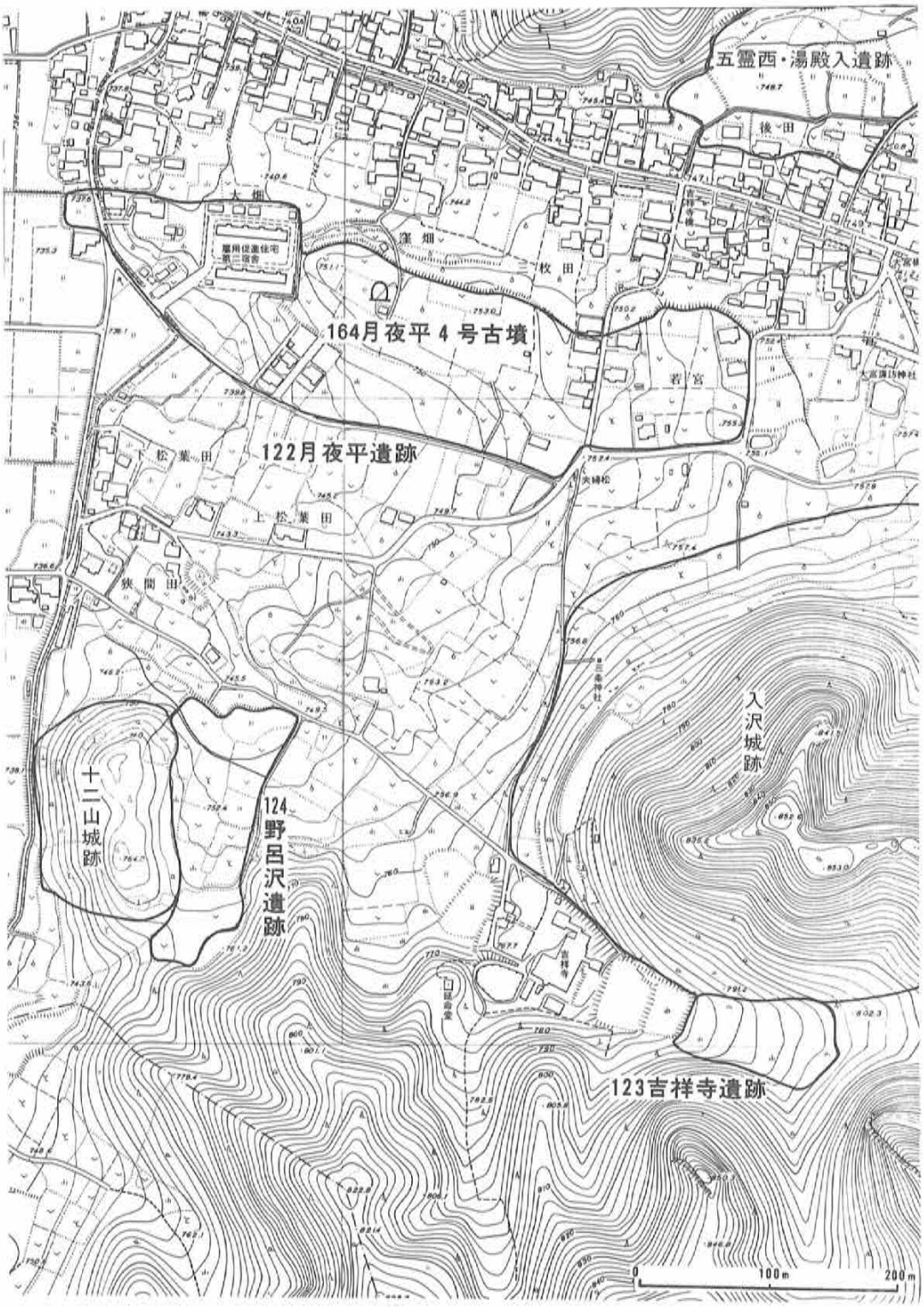
遺物

採集遺物	(縄) 黒曜石　(古～平) 土師器、須恵器、灰釉　(中) 中世陶器
既出遺物	(縄・前、中、後期)諸磯A式、下島式、加曽利E式、加曽利B式、堀ノ内式土器、石鏃、打石斧、磨石斧、石錐、石皿、凹石、石剣、石棒、多孔石、土偶、滑車形耳飾、土製蓋(弥・前、後期)水神平系土器、箱清水式土器(古～平)須恵器(昭和32年発掘調査、青沼郷土館所蔵)

位置地形環境

谷川が千曲川流域の沖積平地にでる谷口の左岸に形成された洪積層の段丘で、西方の水田面との比高約10mの西南面する台地で、磯部から大宮諏訪神社に通じる道路の北方一帯の畑地果樹園に分布する。遺跡内に月夜平4号古墳が所在する。段丘東方には馬寄六角堂遺跡、段丘下西方の水田地帯には東荒谷、十日町遺跡等がある。谷川の対岸には権現通、五霊西、湯殿入等の遺跡や古墳群が存在して、遺跡の密集地帯をなしている。磯部からは道路拡巾工事の際三石孝太郎氏宅の南隣り付近から長さ152cmの磨製の大石棒が出土し大宮諏訪神社に所蔵されている。



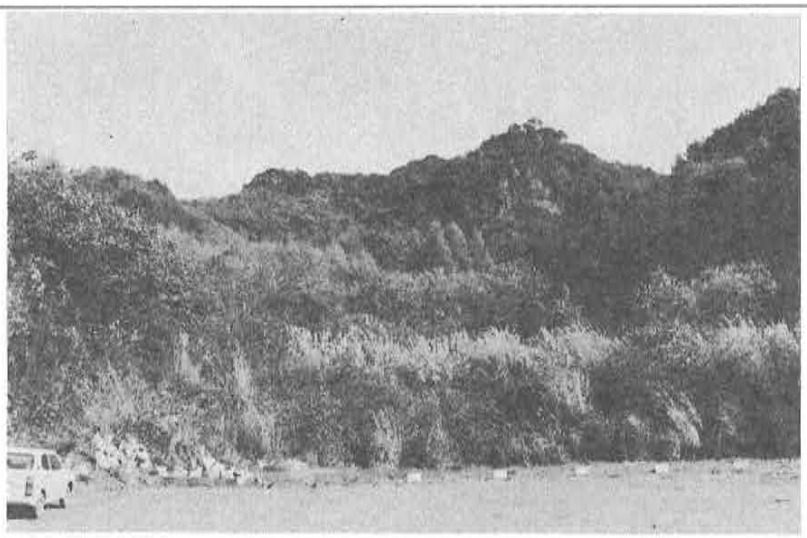

五霊西・湯殿入遺跡
164月夜平4号古墳
122月夜平遺跡
124野呂沢遺跡
十二山城跡
入沢城跡
123吉祥寺遺跡
0
100m
200m

遺跡番号	123	遺跡名	吉祥寺	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑荒地	面積	5,000㎡	時代	平安・中世	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	諏訪の入	3298	吉祥寺			
	〃	3298	日向 喜平			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器、須恵器、灰釉　(中) 土師質土器、内耳土器、陶器 (三石延雄氏所蔵)

位置地形環境	
	月夜平段丘の南東部で吉祥寺から入沢城跡の南麓を東に入った西面傾斜の沢で、もと桑畑であったが現在は荒地、雑木林となっている。西方に野呂沢遺跡、北方に月夜平遺跡がある。



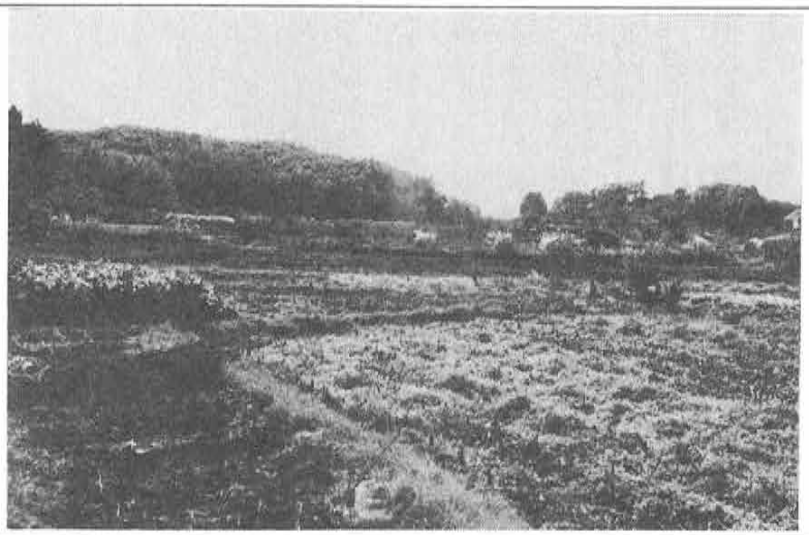
遺跡番号	124	遺跡名	野呂沢	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	平安・中世	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	野呂沢	3344	三石 敏郎			
	〃	3345	佐藤 光雄			
	〃	3346	三石 強			
	〃	3348	日向 豊吉			

遺物		
	採集遺物	
	既出遺物	(平) 土師器2　(中) 中世陶器1

位置地形環境

千曲川右岸の東方、谷川左岸の谷口に形成された月夜平段丘の南西部を占める遺跡で、十二山の東麓で、十日町から吉祥寺に通じる道路の南側の畑地に分布する。西の十二山城跡は三界塚ともいわれ、中世から近世初頭にかけて信仰対象の霊地とされていたものと考えられ、東には入沢城跡とその山麓に八幡神社と吉祥寺があり吉祥寺遺跡が存在する。北方は月夜平遺跡につづいている。

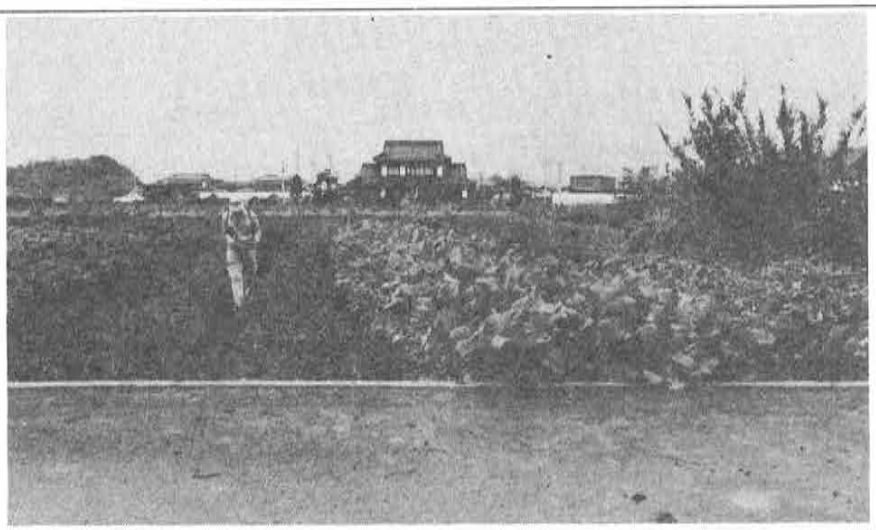


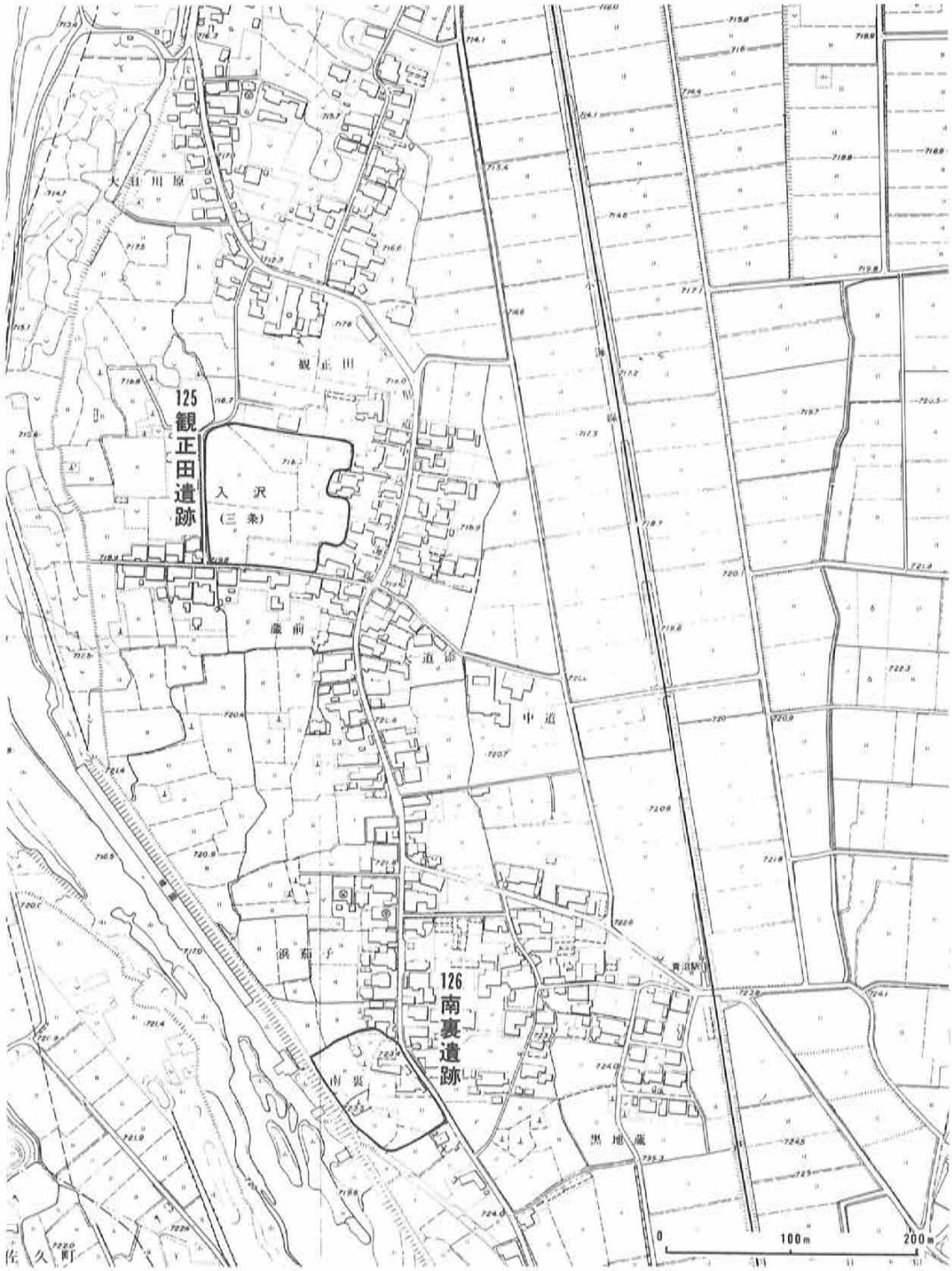
遺跡番号	125	遺跡名	観正田	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三条
地目	畑・水田 宅地	面積	10,000㎡	時代	平安・中世	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	観正田	652	新津　真治			
	〃	657	菊池仁一郎			
	〃	658	長津　長人			
	〃	659	三石　永			

遺物		
	採集遺物	(平) 土師器1　(中) 土師質土器1
	既出遺物	

位置地形環境	
	三条部落西方千曲川氾濫原に立地し、水田と転作の畑地である。遺跡の分布範囲は新田小路を南限とし、北は三石永氏の宅地まで、西は熱田神宮の石祠を北に通じる道路を西限として東は県道までとする。



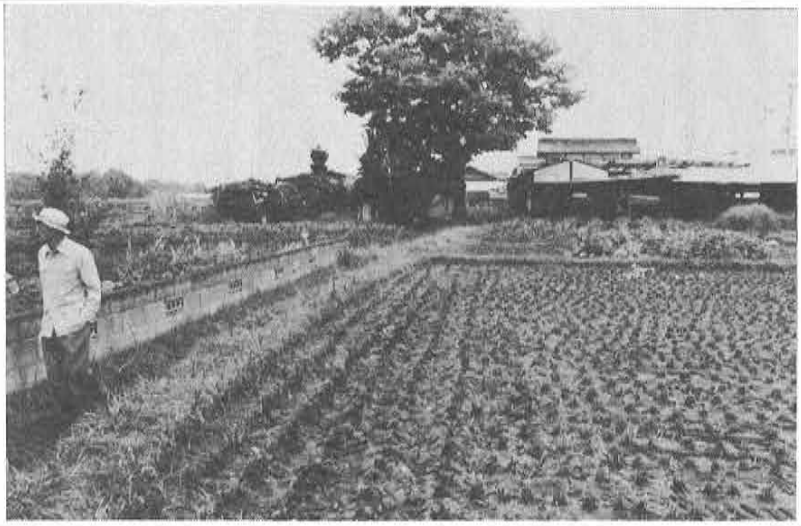

125
観正田遺跡
126
南裏遺跡
観正田
入沢
(三条)
蔵前
道祖
中道
南裏
黒地蔵
0
100m
200m

遺跡番号	126	遺跡名	南裏	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三条
地目	畑・宅地	面積	3,000㎡	時代	平安	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	浜茄子	491	新津　忠			
	〃	493	高柳善之助			
	〃	494	依田　積			
	〃	498	高柳　文市			

遺物		
	採集遺物	（平）土師器（ロクロ痕ある）
	既出遺物	

位置地形環境	
	三条部落の西方、千曲川堤防の内側の氾濫原に立地し、三条大橋の道路の北側の墓地（依田氏・花房屋）から、北は依田酒店の南側から西に通じる馬入れ道を限る。西は依田氏墓地から県道までを遺跡分布範囲とする。

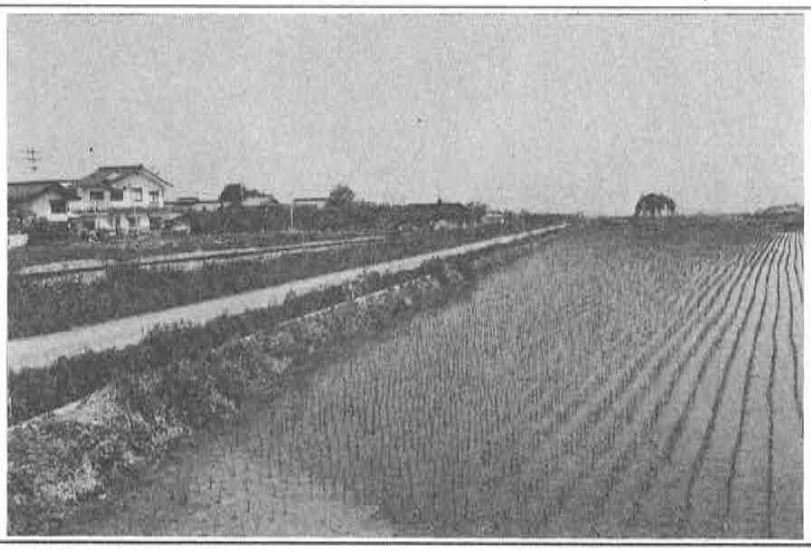


遺跡番号	127	遺跡名	東荒谷	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十日町
地目	畑・水田 宅地	面積	30,000㎡	時代	縄文・平安	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	東荒谷	1037	佐藤　正範			
	〃	1042	日向　邦助			
	〃	1044	三石　達助			
	〃	1049	佐伯　義弘			
	〃	1050	日向　褒雄			

遺物		
	採集遺物	（平）土師器1
	既出遺物	（縄）打製石斧1（農地基盤整備の際、南田の三石達助氏水田より出土）

位置地形環境	
	千曲川右岸の低位段丘上に立地し、十日町部落の北半部で西は県道から東はＪＲ小海線をこえて、七たび用水までの間で、南は広域農道と十日町中央部を結ぶ道路を限り、北は南田のしだれ桜の大木のある墓地の南を東西に通じる農道までの間を遺跡の範囲とする。南は十日町遺跡に接し、東方約250mには月夜平遺跡がある。



127
東荒谷遺跡
128
十日町遺跡
入沢
十日町
西荒谷
東荒谷
馬洗沢
0
100m
200m

遺跡番号	128	遺跡名	十日町	遺跡の種類	包蔵地	部落名	十日町
地目	畑・水田 宅地	面積	10,000㎡	時代	中世	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上長池	905	篠原　喜郎			
	〃	908	加藤　良三			
	〃	909	星野　道弘			
	〃	614	加藤　幸男			

遺物		
	採集遺物	(中) 中世陶器片1
	既出遺物	永享12年 (1440) 造立、重要文化財「六地蔵幢」

位置地形環境	
	千曲川右岸低位段丘上に立地する。十日町部落南半の県道からＪＲ小海線までの間で、南は十日町部落の南端から東にのびる馬入れ道 (臼田・佐久両町の境界線) を南限とし、北は広域農道と十日町中央を結ぶ道路までの間を遺跡範囲とする。北に接して東荒谷遺跡がある。十日町部落内に永享12年 (1440) 造立重要文化財の六地蔵幢がある。東方山麓の木伐窪には中世に津金寺があって、十日町はその門前町で市場が開設されていたと伝承されている。

遺跡番号	129	遺跡名	唐松A	遺跡の種類	包蔵地	部落名	岩水
地目	畑	面積	10,000㎡	時代	縄文	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者

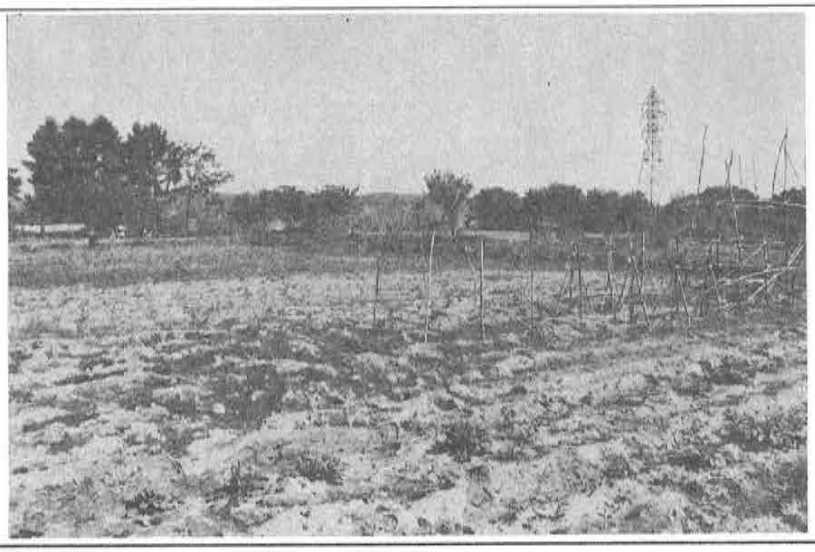
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
唐松	871	小金沢悦嘉			
〃	871	井出　忠雄			
〃	875	土屋　昭義			
〃	886	小林　清澄			

遺物

採集遺物	（縄）黒曜石、土器
既出遺物	（縄）石鏃多数

位置地形環境

曽原川と抜井川合流地点の東南部を占める台地に立地し、唐松A地区は台地の南西部に位置し、西は抜井川の断崖に面し、比高20m、南は段丘の南縁を形成する尾根の麓で、北東に向かって緩傾斜する畑地に分布する。南東部の高所にある小林清澄氏の畑を中心にはやくから石鏃、黒曜石片が多く採集されている。



羽黒山
180
舟久保古墳
舟久保
平林
(岩水)
松
白田町飛地
130
唐松B遺跡
129
唐松A遺跡
佐久町
0
100m
200m

遺跡番号	130	遺跡名	唐松B	遺跡の種類	包蔵地	部落名	岩水
地目	畑	面積	12,000㎡	時代	縄文 平安・中世	調査年月日	62年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	唐松	900	磯部 光一			
	〃	901	小林儀太郎			
	〃	905	小林 一恵			
	〃	907	小林 新三			

遺物		
	採集遺物	(縄)後期土器 (平)須恵器(中)土師質土器5
	既出遺物	

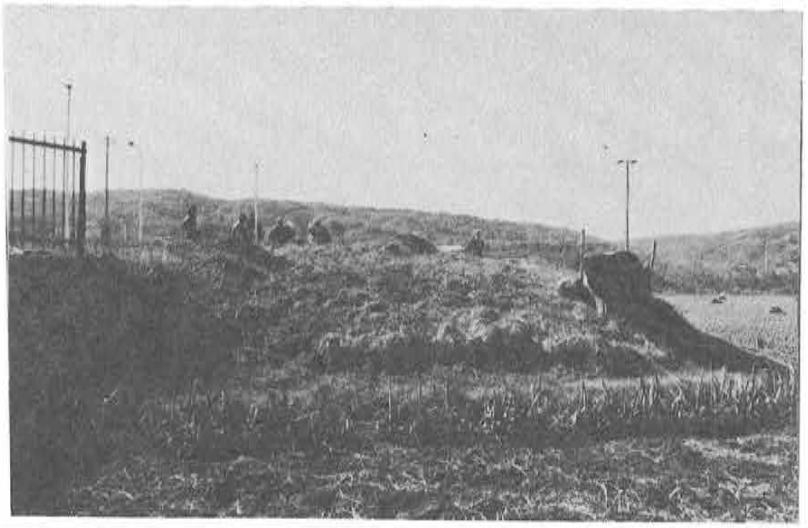
位置 地形 環境	
	抜井川が北流して千曲川に合流する付近の右岸丘陵台地に立地し、北方は曽原川の浸蝕による谷によって画され、羽黒山舟久保と相対している。唐松台地のほぼ中央部に位置し、唐松A遺跡との間は浅い沢状の凹地形をなしている。北西面に緩傾斜する畑地に分布している。

遺跡番号	131	遺跡名	境塚古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	宅地	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月11日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	善阿弥	1344	㈱臼田自動車教習所			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径10m、高さ2m
	採集遺物	土師器

位置 地形 環境	
	臼田町の北西端、片貝川右岸平地の微高地に立地する。臼田自動車教習所の建物の裏にわずかに残存している。国道バイパスの終点から東に直角にまがって、取出原の141号線の信号に向かう道路下の水田1枚を隔てた土手の断面に墳丘の残形が認められる。奥壁と思われる大石の一部が露われている。墳丘径10m、高さ2m、昔の村境にあったから境塚とよばれていたという。



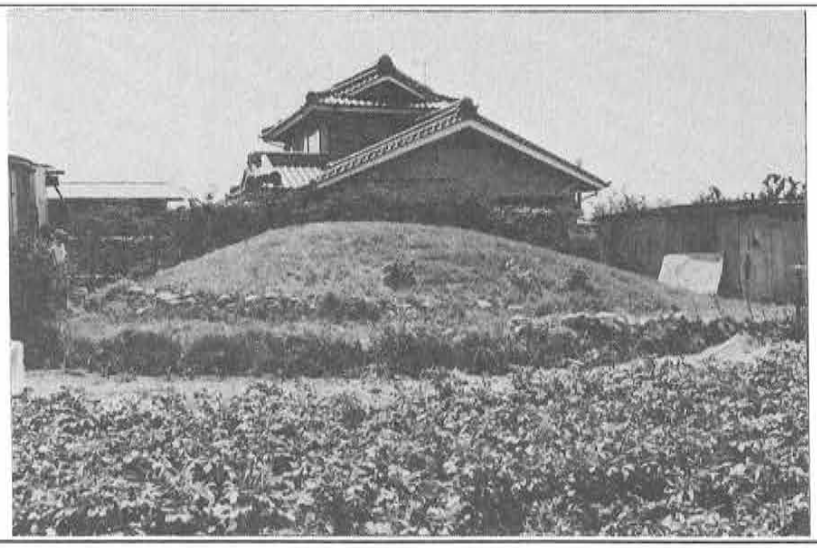
遺跡番号	132	遺跡名	蛇塚古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月4日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	法印塚	1025	臼田町			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径10m、高2.5m 玄室長さ 480cm　巾300cm　高95cm　羨道長さ190cm　巾120cm
	既出遺物	蕨手刀2　刀子、鉄鏃、鉄鎌、骨（火葬骨） 須恵器（奈良時代）

位置地形環境

臼田町の北部、千曲川左岸の平坦な沖積地に立地し、西方約600mの臼田山の山麓を片貝川が流れていて、古代の米作地と考えられ、中間の美里在家遺跡は縄文中期、弥生中期栗林式、平安時代にわたる遺物が確認される。本墳は国道141号線をはさんでその東に接し、周辺の蛇塚遺跡はやはり縄文、弥生から平安にわたる遺物を出土する。本墳は臼田高校の北約150mの畑地に所在するが最近宅地化がすすみ国道ぞいに宅地が広がりすでに本古墳の西にぴったり迫っている。本墳ははやくから盗掘され、戦時中は付近住民の防空壕に使われていたが、昭和61年臼田町教育委員会の清掃調査によって蕨手刀2本、鉄鏃、鉄鎌等が検出された。

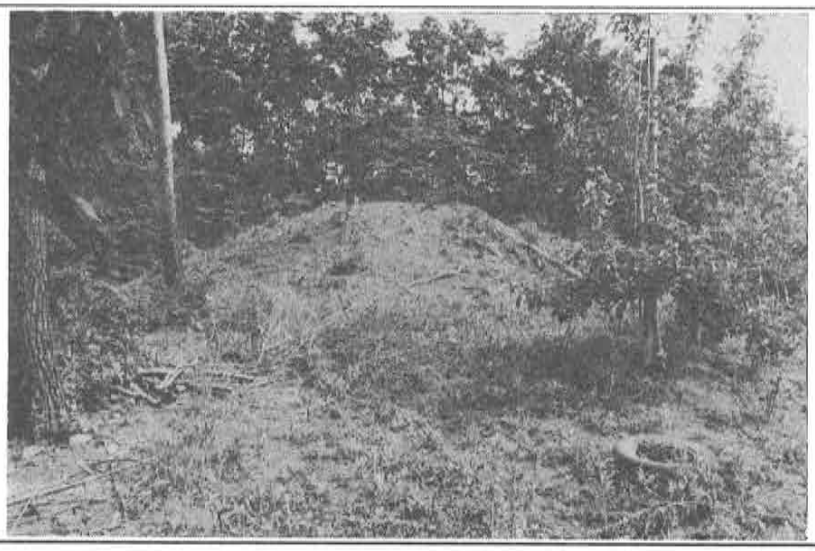


遺跡番号	133	遺跡名	滝の沢古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	山林	面積	500㎡	時代	縄文・古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	滝の沢	4048	田島　松夫			

遺物		
	規模	円墳、竪穴式　墳丘径16m　高3m、　保存良好
	採集遺物	（縄）土器1　（古）土師器1

位置地形環境	
	臼田町の西方片貝川左岸、医王寺城跡の尾根から西方約750m、滝の沢の山頂にあり、標高約840m佐久平を一望する山頂古墳である。墳丘径16m、高さ3m、墳丘はよく保存されている。竪穴式前期古墳の可能性がある。 付近は医王寺城の烽火台といわれる上の城の所在地と伝承される眺望のよい場所である。



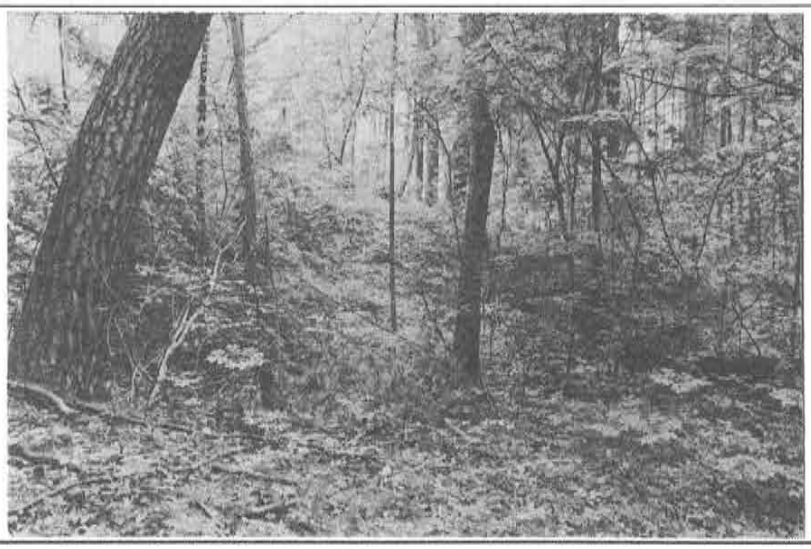
遺跡番号	134	遺跡名	滝の沢経塚	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	山林	面積	200㎡	時代	中世	調査年月日	61年11年10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	滝の沢		長野県			

遺物		
	規模	円墳、墳丘径12m、高さ2m
	採集遺物	

位置 地形 環境

臼田町の西方、片貝川左岸、医王寺城跡の西方尾根つづきの滝の沢の山頂にあり、滝の沢古墳からさらに300m西方に位置する。
墳丘径12m、高さ2m、周囲は周溝状の凹地をなす。墳頂は径約4mに削平され869.5mの測量三角点がつくられている。墳丘はすべて盛土である。古くから経塚と呼ばれている。この辺一帯は上の城跡といわれ、医王寺城（下の城）の烽火台に比定されている。現在は県有林で臼田高校の演習林となり、周辺の環境はよく保存されている。

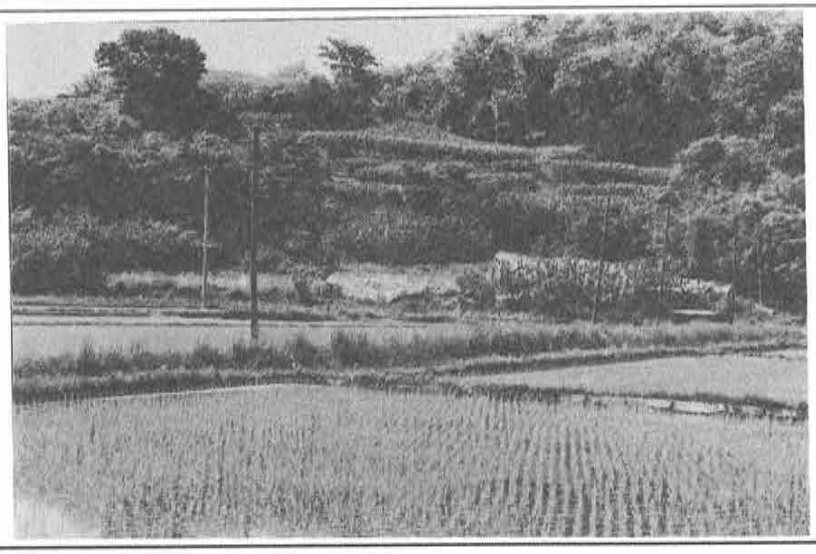


遺跡番号	135	遺跡名	離山1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上中込
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	離山	5910	秦 一二			

遺物		
	規模	
	採集遺物	

位置地形環境	
	上中込部落の北方、千曲川右岸の独立丘高727mの南麓の東よりにある。現在秦一二氏の人墓畑となり、墳丘、墳石等まったく認められない。西方30mから銅釧3ケが出土しその上方に離山2号古墳がある。



遺跡番号	136	遺跡名	離山2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上中込
地目	山林	面積	200㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	離山		志摩 光一			

遺物		
	規模	円墳、 横穴式石室、玄室220×190cm 天井石長270cm 巾120cm
	既出遺物	金環2ケ

位置地形環境	
	上中込部落の北方千曲川右岸の独立丘高さ727mの離山の南麓斜面にある。 水田面から比高10mの山腹急斜面にあり奥壁、天井石等が露出崩落している。そのすぐ上には住宅がつくられている。墳丘は認められない。 付近より道路工事中金環2ケ出土したという。あるいはこの古墳を削り取った際に下の道に落ちたものであったと考えられる。

遺跡番号	137	遺跡名	離山3号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上中込
地目	畑・宅地	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	離山	5857	有賀 秀雄			

遺物		
	採集遺物	円墳、横穴式石室、墳丘径6m、高2m
	既出遺物	

位置地形環境	
	上中込部落の北方、千曲川右岸の独立丘離山の北方の山麓、平らな畑地の道路わきにある。有賀秀雄氏の屋敷地となっている。天井石が露出し、その上に宝暦4年の大乗妙典供養塔がたてられている。

遺跡番号	138	遺跡名	清川入古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	清川
地目	墓地	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月20日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	清川入	608	千野 友由			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、玄室巾100cm 天井石長170cm 巾110cm
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	清川部落の東方山腹の清川入の沢の上方、部落との比高約50mの南面傾斜地で、千野家墓地の西端にある。墳丘は失なわれ石室も露出している。側壁も倒れ、天井石もずれ落ちているが、側壁の下部が残存し、南面する玄室と羨道がほぼ認められる。

遺跡番号	139	遺跡名	山崎古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	大奈良
地目	墳墓	面積	59㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	山崎	4758	新海神社地			

遺物		
	規模	墳丘わずかに残存、径南北10m、東西５m、高さ0.5m
	既出遺物	勾玉

位置 地形 環境

千曲川右岸平地の東方、大奈良部落の所在する段丘面平地の東部に立地する山崎遺跡東辺の微高地で、加藤武雄氏の畑と東隣りの水田の畦との間にある。

墳丘わずかに残存し、高さ50cm、径南北約10m、東西５m、昭和５年頃勾玉が出土したと伝えられている。古墳は新海神社地となっている。

この西北約150mにも古墳があり、金環が出土したという。

遺跡番号	140	遺跡名	幸神1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	82㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月16日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4804	新海神社地			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径12m、高さ3.5m、玄室長360cm 羨道長280cm 天井石長233cm 玄室巾320cm 羨門巾390cm 巾220cm
	採集遺物	須恵器

位置地形環境

大奈良部落の南方、千曲川右岸の平地の東方比高約5mの段丘上の平坦面に立地し、南方を雨川が西流して千曲川に注ぎ、扇状地を形成している。この台地上に原遺跡が所在し、この遺跡に北から幸神、外九間、中原の3つの古墳群が存在する。この台地上はすべて平坦な畑地であるが、最近工場や住宅の建設がすすんできている。この地籍の古墳は新海神社地となっている。

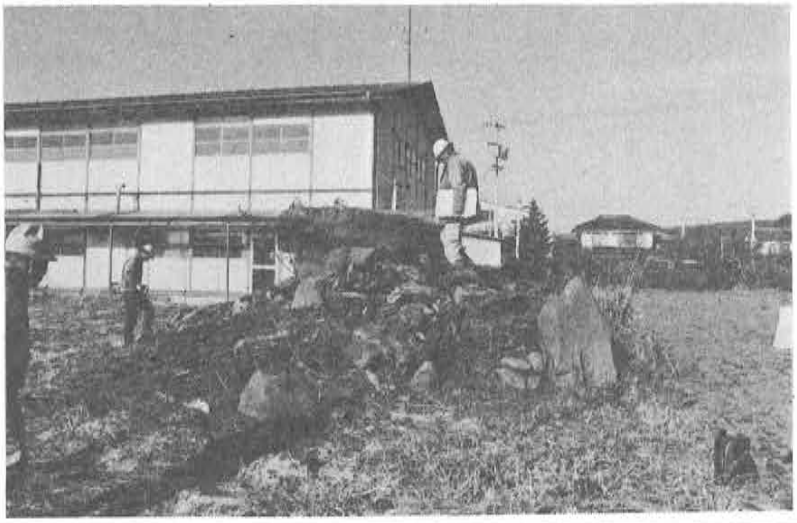
幸神1号墳は本古墳群中最大の規模を持ち、石室、羨道も原形をとどめ、最もよく保存されていて復原も可能。

遺跡番号	141	遺跡名	幸神2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4791	小林 一秋			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径東西6m、南北9m 玄室長240cm 羨道長260cm 天井石長250cm 巾220cm 巾120cm 巾230cm
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	幸神1号墳の東方、富士精機工場の南方の畑に所在する。玄室、天井石が残っているが玄室は畑から拾った小石で埋められている。

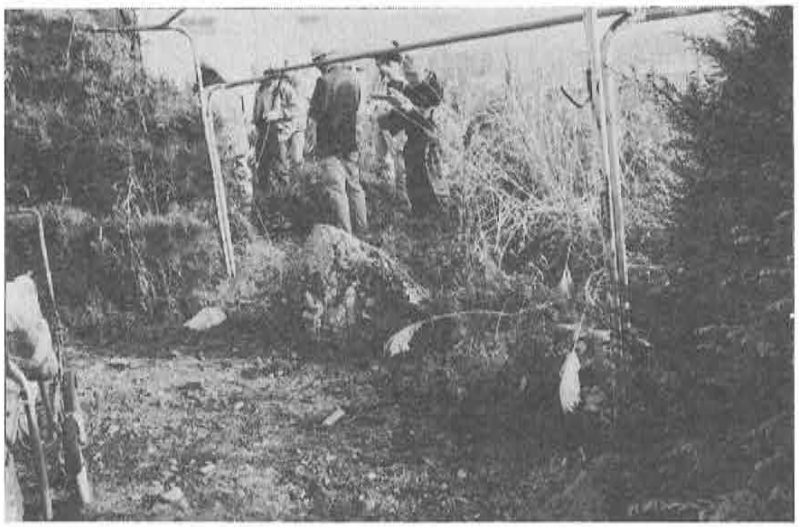


遺跡番号	142	遺跡名	幸神3号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	52㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月16日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4796	新海神社地			

遺物		
	規模	墳丘なし、墳石（玄門石か）2ケ残る
	採集遺物	

位置地形環境	
	幸神1号墳の北方柳沢悦雄氏宅の東側隣接地にあり、現在墳丘まったく失なわれて荒地となり、わずかに65cmの間隔を置いて相対する巾70cmの石が2つ残っているだけである。新海神社地である。

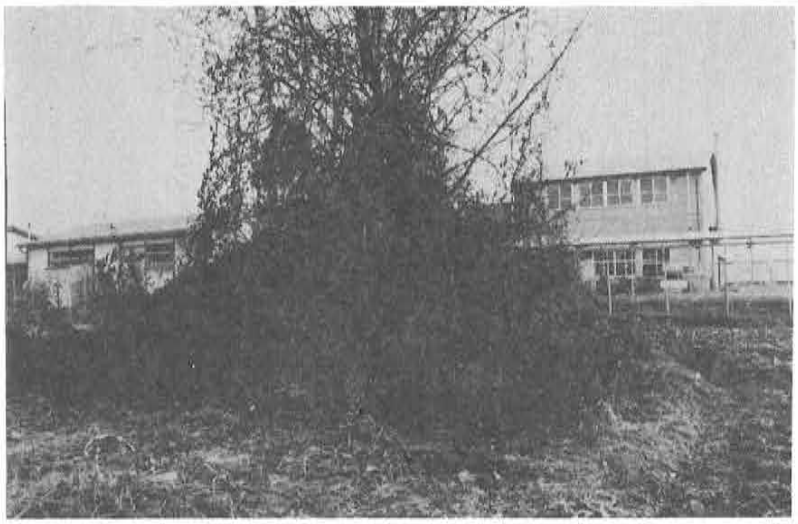


遺跡番号	143	遺跡名	幸神4号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	26㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月16日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4801	新海神社			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径6m、周囲18m、天井石の上面露出、現高2.3m
	採集遺物	

位置地形環境	
	幸神古墳群のうちいちばん西方に位置する。畑から集めた石で覆われていて、天井石がわずかに露出している。

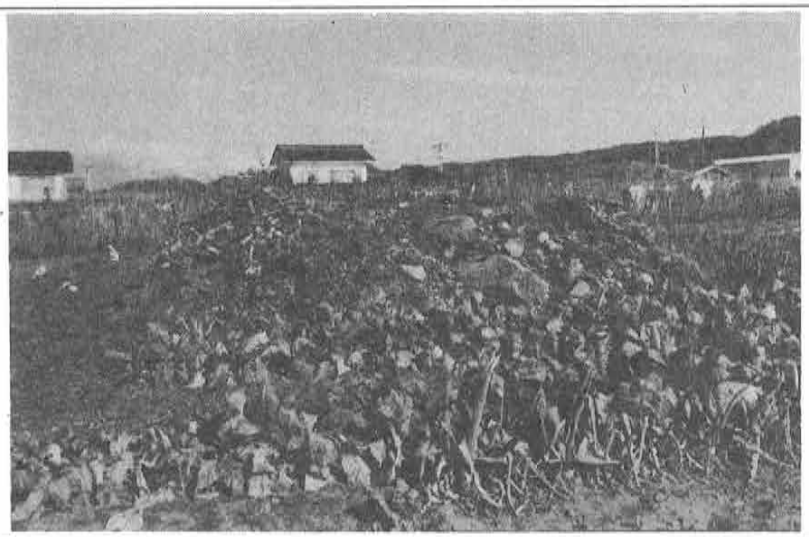


遺跡番号	144	遺跡名	幸神5号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4803-1	田中喜久雄			

遺物		
	規模	墳丘東西6.5m、南北5m、高さ2m
	採集遺物	打製石斧、須恵器

位置地形環境	
	幸神6号墳の西30m、田中喜久雄氏の畑の中にある。畑から拾い集めた石で覆われている。南側の裾の部分に墳石の一部と思われる大石がみえている。

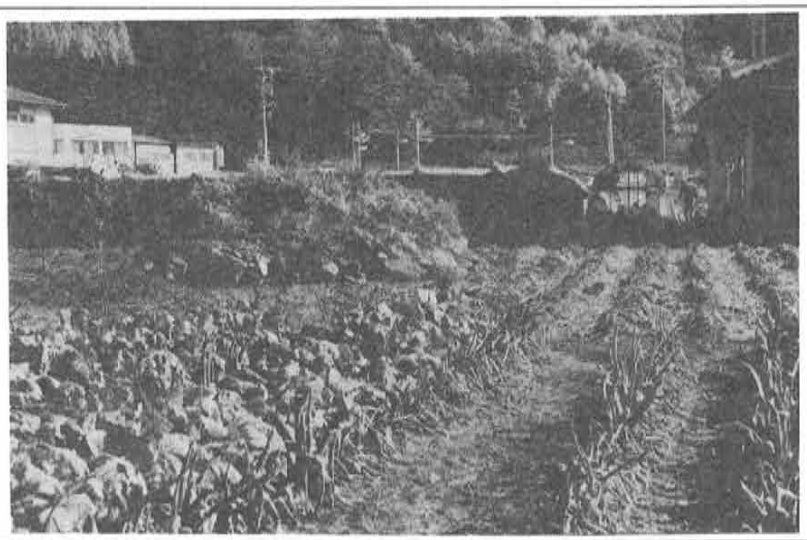


遺跡番号	145	遺跡名	幸神6号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	幸神	4803-1	田中喜久雄			

遺物		
	規模	円墳、墳丘東西7m、南北5m、高さ2m
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	幸神1号古墳の西約30m、田中喜久雄氏の畑の中にある。畑から拾い集めた礫で上面が覆われている。石室、羨道石等の露出がみられないので、確認はできないが、周辺の環境や立地条件からみて古墳である可能性が大である。

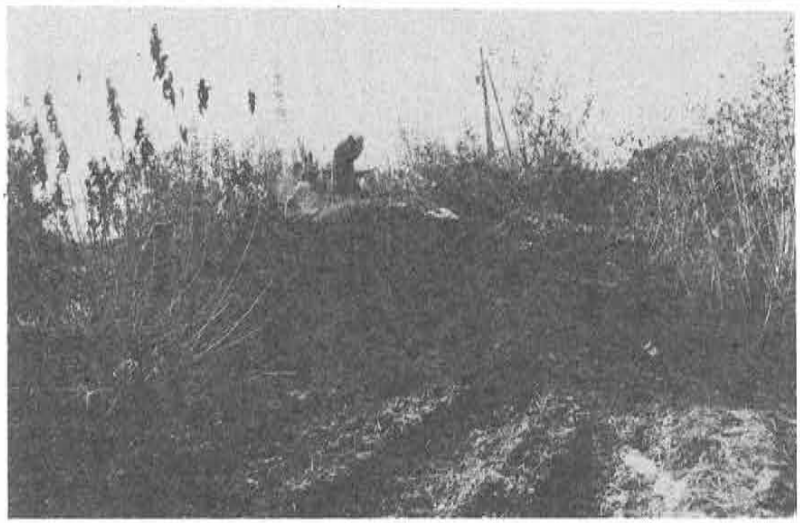


遺跡番号	146	遺跡名	外九間1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	300㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	外九間	5032	新海神社地			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室　墳丘径12m　高さ3m　玄室ほぼ完存、東西170cm 南北200cm　羨道長280cm　巾150cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	雨川右岸の段丘面に立地し、原遺跡のうち、幸神古墳群の南に接する畑地の中に所在する。封士はくずれ、玄室、羨道が露出している。外九間古墳群のうち、いちばん西側に位置する。新海神社地となっている。

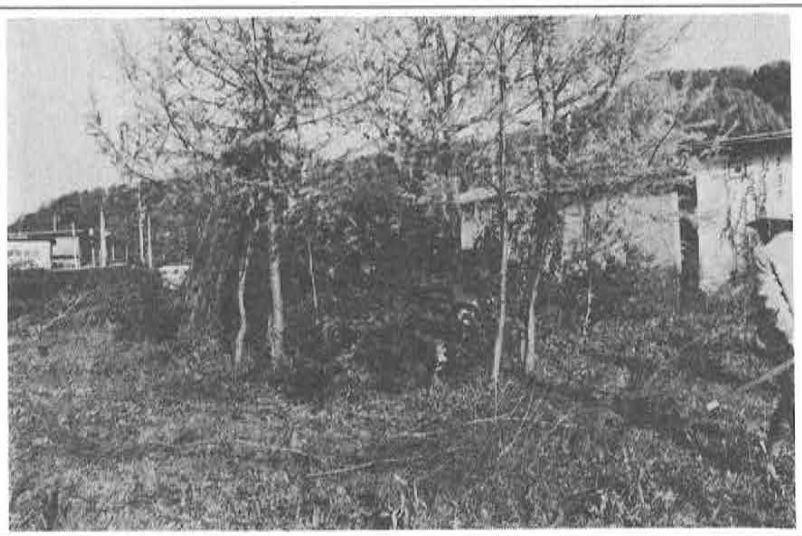


遺跡番号	147	遺跡名	外九間2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	300㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月16

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	外九間	5048	新海神社			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘東西5m、南北6m、周囲24m、高さ1m 奥壁、天井石残る。
	採集遺物	

位置地形環境	
	外九間古墳群のもっとも東方に位置し、周辺は畑荒地となっている。東側を三分・平賀線の県道が通じている。北方に幸神2号墳がある。封土はくずれて、奥壁、天井石が残っている。古墳は新海神社地となっている。



遺跡番号	148	遺跡名	外九間3号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	外九間	5040イ-2	大塚佐久男			

遺物		
	規模	円墳、墳丘径6m、高さ1.4m
	採集遺物	

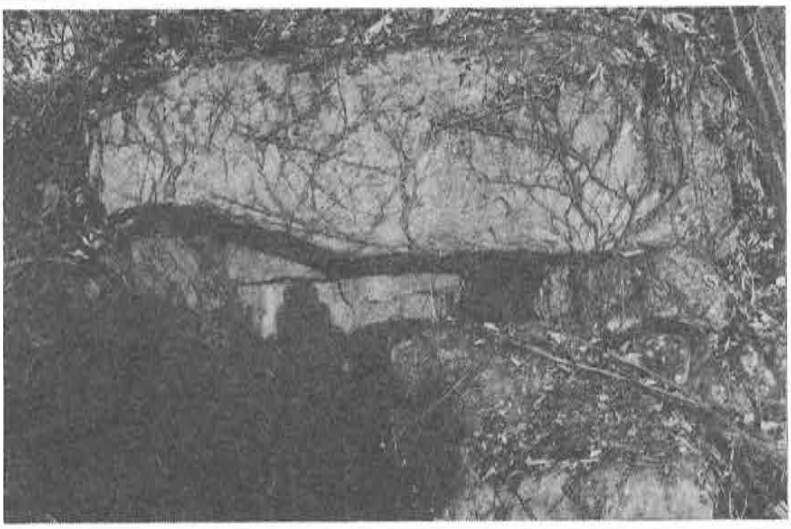
位置地形環境	
	外九間古墳群の中央に位置する。畑の中から拾い出した礫に覆われている。上部はやや平坦で、円錐台状をなすが、天井石等の露出はみられないので古墳としての確認はまだできていない。

遺跡番号	149	遺跡名	中原1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目		面積	66㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中原	5068	新海神社			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径10m、周囲36m、玄室横巾220cm、奥行300cm、羨道長さ200cm 、巾100cm
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	外九間古墳群の南に接し、新興製作所の西端の北側の畑地の中に所在する。封土はくずれて、石室、羨道の一部が露出している。

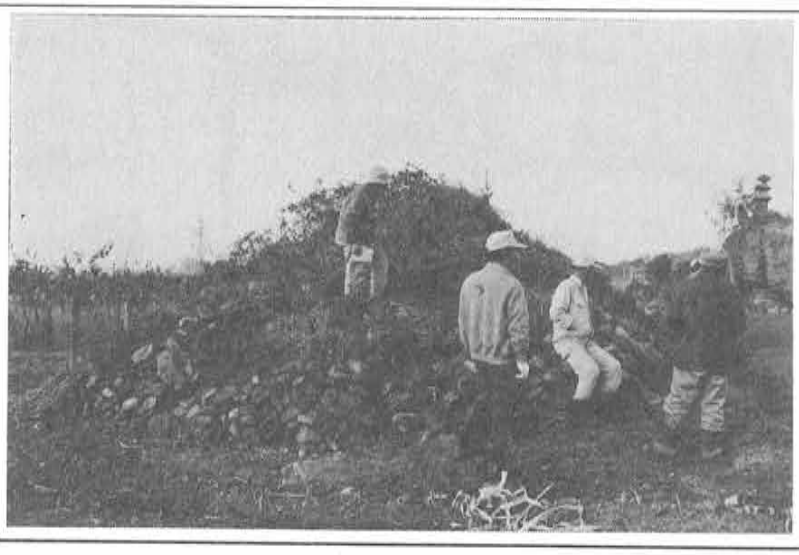


遺跡番号	150	遺跡名	中原2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月12日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中原	5096-1	小林 政則			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径約11m、周囲30m、高さ3m
	採集遺物	

位置地形環境	
	中原1号古墳の西50mにある。新興製作所の西端の柵外約50m付近の畑の中にある。墳丘高さ約3mで、天井石の一部が露出している。

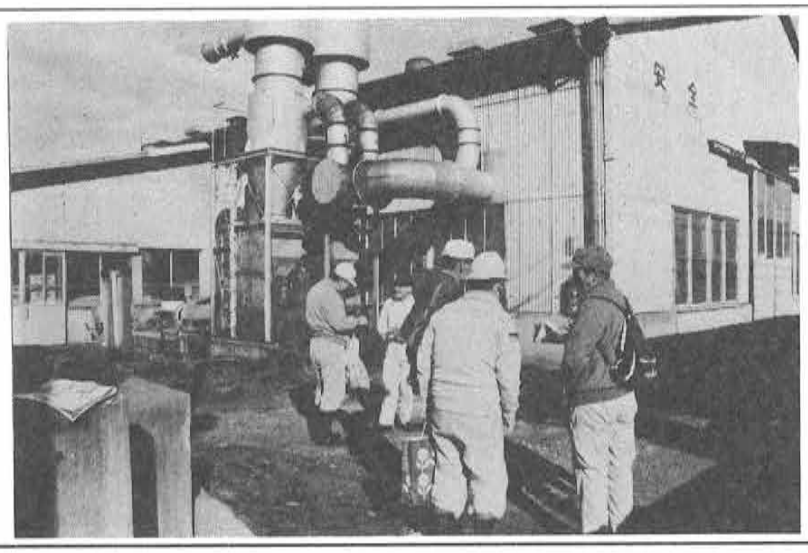


遺跡番号	151	遺跡名	中原3号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	原
地目	墳墓	面積	19㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月16日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中原	5132	新海神社地			

遺物		
	規模	
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	昭和41年新興製作所設立の際、中原3号古墳は、その建物の敷地の中に包含され、現在その工場東側の床面となっている。当時天井石は耕作者であった三分の臼田真二氏宅に庭石として移し、出土品は新海神社の宝庫に納めてあるという。

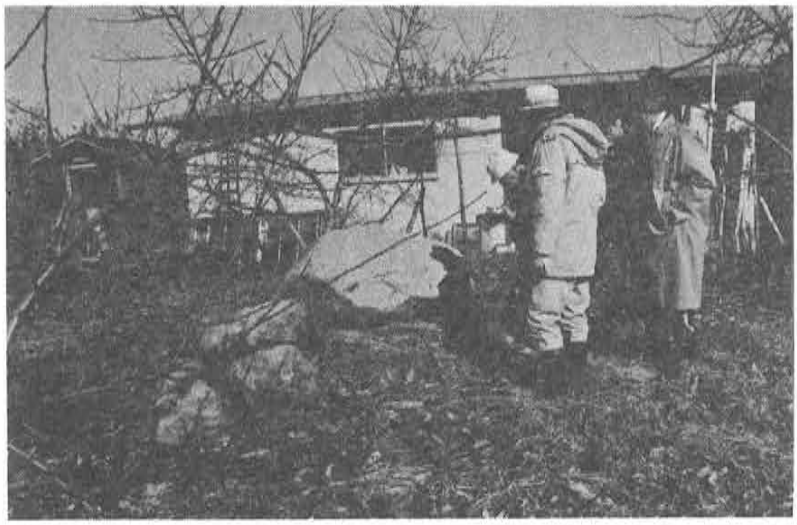


遺跡番号	152	遺跡名	割塚古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	果樹園	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	割塚	3236-1	大工原七郎			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、玄室（東西）120cm、（南北）180cm、 墳丘残存しない。
	採集遺物	

位置地形環境	
	田口集落の西方入口付近、割塚遺跡内の平坦地に立地し、リンゴ園の中にある。封土は全く失なわれ平地面に奥壁、側壁の一部が残存し、石室の大きさ等をほぼ推定することができる。



遺跡番号	153	遺跡名	明法寺古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	桑畑	面積	200㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	明法寺	3281	中条　栄次			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘（残存部）径約5.5m、玄室、横巾（推定）240cm 奥壁240cm、　天井石240cm×190cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	城山西方山麓台地の桑畑の中にあり、南方に割塚１号古墳がある。封土はほとんど失なわれ、奥壁、側壁、天井石が露出し羨道石も残っている。奥壁、側壁の下部は埋没しているが、天井石と共に大型である。西側壁は二段積に残存している。

遺跡番号	154	遺跡名	五庵古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口下町
地目	屋敷地内	面積	30㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五庵		臼田町			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘失なわれ、石室露出、高さ2m、玄室350×250cm
	採集遺物	

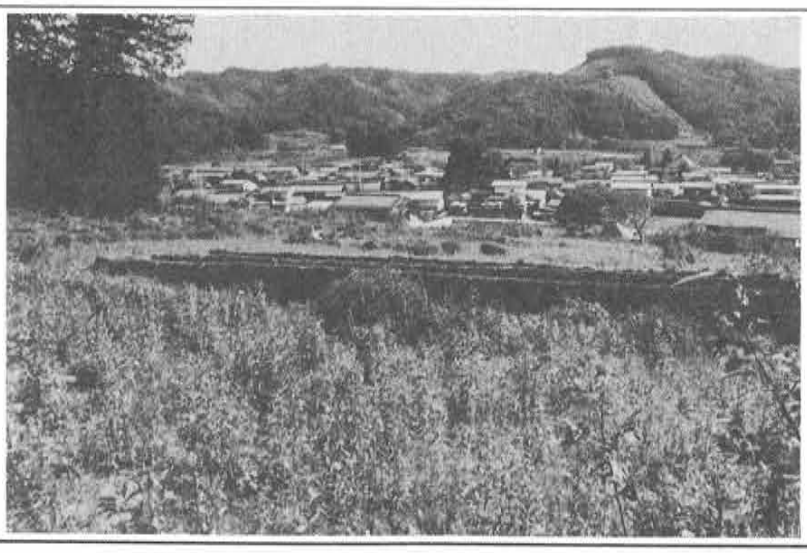
位置地形環境	田口下町部落内の宅地路地内にある。奥壁は通路拡巾のため失なわれたが、側壁石と天井石2枚が残存している。

遺跡番号	155	遺跡名	英田地畑古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	畑	面積	20㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	英田地畑	2414	鷲見　達			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、玄室東西100cm、南北200cm
	採集遺物	昭和40年発掘調査 蕨手刀１、直刀１、鉄鏃10、銅製品４、三輪玉２、土師器、須恵器、人骨

位置地形環境	
	新海神社参道の西方の畑の中にある。田口の集落を一望におさめる位置にあり、その上方には英田地畑２号古墳や新海神社及び中御陵古墳、東御陵古墳等がある。昭和40年発掘調査後は削平して畑地となっている。 （蕨手刀は国立博物館に所蔵されている）



遺跡番号	156	遺跡名	新海神社 西御陵古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	山林	面積	300㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	英田地畑	2407	新海神社地			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘高さ2m 玄室横巾130cm、奥行210cm
	採集遺物	

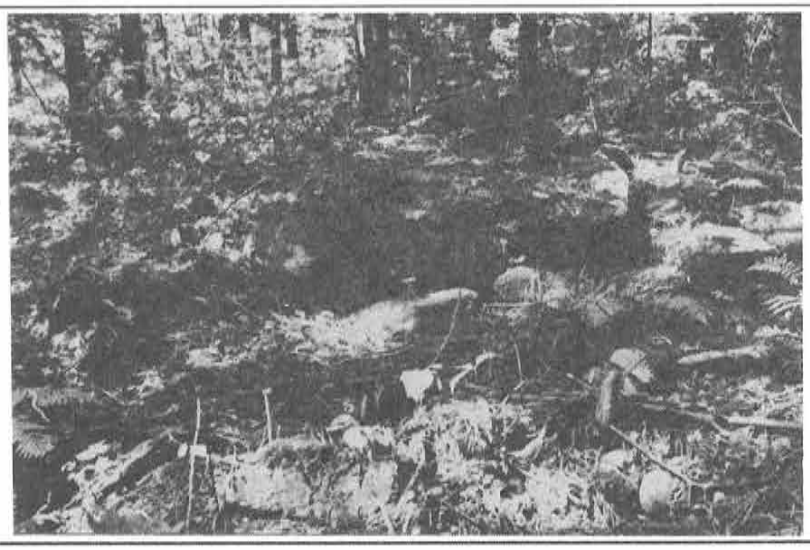
位置地形環境	
	新海神社西方約200m、山麓の南面傾斜面にあり、下方には蕨手刀を出土した英田地畑1号古墳がある。封土は周囲にやや残っているが、石室内は掘り凹められている。奥壁は巾約130cmの石が2段に横積みされている。側壁は左右に1ケずつ残り前方に玄門石らしいものが一つある。小形の古墳である。

遺跡番号	157	遺跡名	新海神社 中御陵古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	新海神社・林	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	宮の沢	2394	新海神社			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室　墳丘径８ｍ、高さ2.5ｍ、玄室、横巾160cm 奥行240cm、　羨道長さ200cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	新海神社本殿の裏山、山腹緩斜面の杉林の中にある。墳丘頂上に天井石が露出し、玄室内は凹んでいて、壁面が見えている。南前方の墳丘下端には、羨門部の石の一部らしいものが見えている。



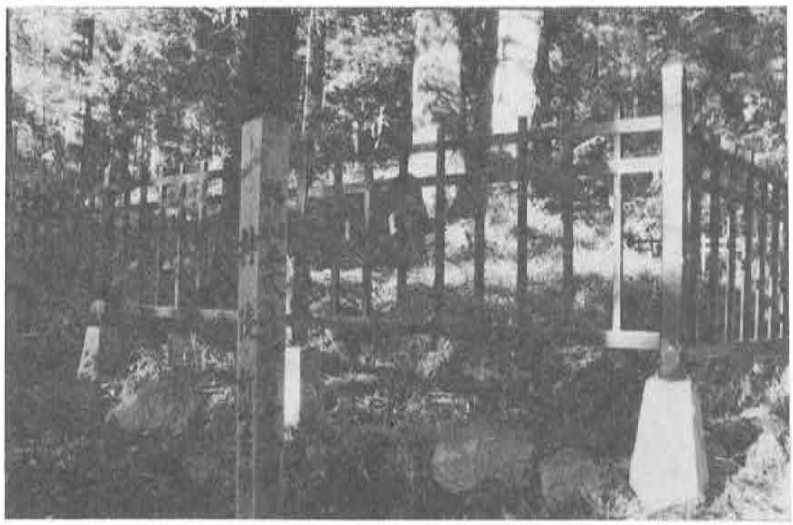
遺跡番号	158	遺跡名	新海神社 東御陵古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	新海神社・林	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	宮の沢	2386	新海神社			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径7m、高さ2m 玄室、横巾180cm、奥行200cm
	採集遺物	

位置地形環境

新海神社裏山、山腹傾斜地で、中御陵古墳の東南約50m、三重塔の背後にあたる。
奥壁と側壁の一部が残存している。奥壁は横巾180cm、高さ120cm、玄室内は露出し、側壁の一部が残っているから、その規模はほぼ推定することができる。羨道部の下方には吉池とよばれる小凹地があり、平素は水がないが、正月元旦の早朝神官が御符を書く硯の水をここから汲むという神事が伝承されている。
最近、先祖の墓と称す立札が立ち、羨道の中途まで鉄柵で囲いが巡っている。

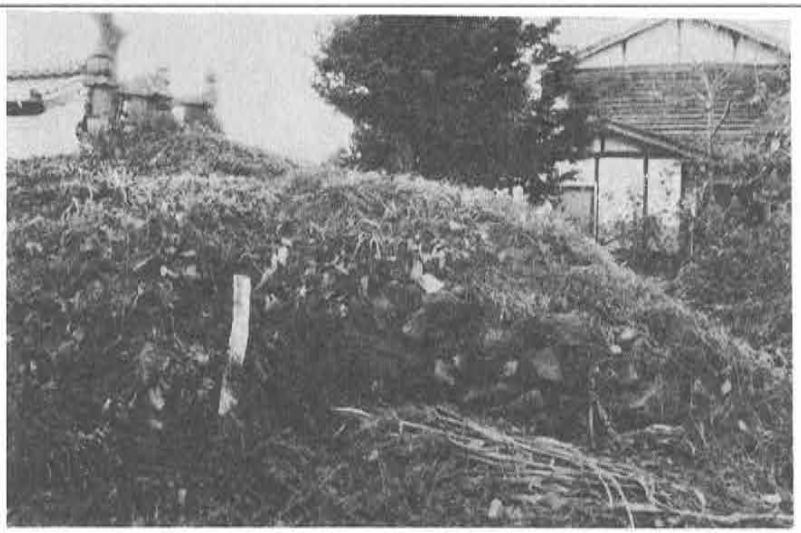


遺跡番号	159	遺跡名	上宮代1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	祭地	面積	150㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上宮代	2312	井出　瞬			

遺物		
	規模	円墳、墳丘径約10m、高さ2m
	採集遺物	

位置地形環境	
	新海神社の南約200m、宮代の集落内にあり、新海神社神官井出瞬氏宅の東に接し、墳頂にはその屋敷神が祀られている。墳丘の裾は石積が施されていてほぼ長方形となっている。墳丘は畑地から集められたと思われる礫で覆われている。墳頂には石宮2基と、五輪塔3基が建てられている。立地環境から古墳の可能性が大であるが、まだ確定はできない。

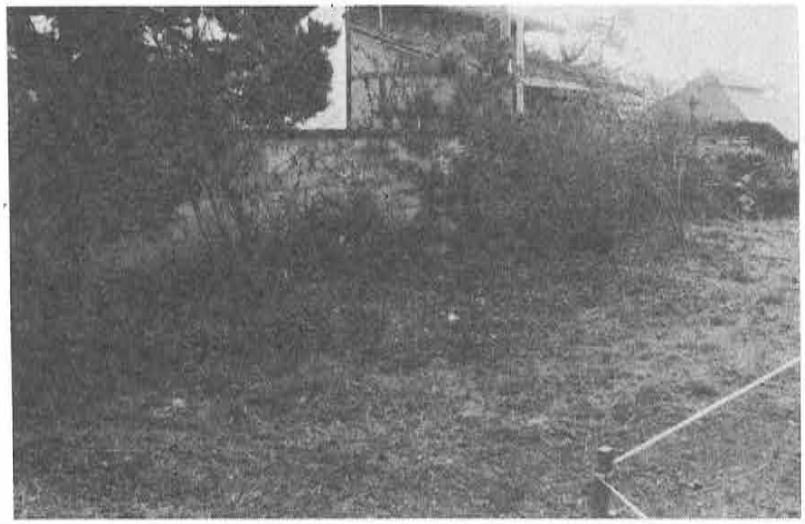


遺跡番号	160	遺跡名	上宮代2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口宮代
地目	宅地	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	61年11月18日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上宮代	2331	太田 たかみ			

遺物		
	規模	墳丘なし
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	上宮代1号古墳の東北100m、新海神社の所在する段丘崖下の平地に立地するが、住宅建設の際墳丘をとり除いて削平し、現在その跡地といわれる宅地内の一角に五輪塔が一基置かれているに過ぎない。



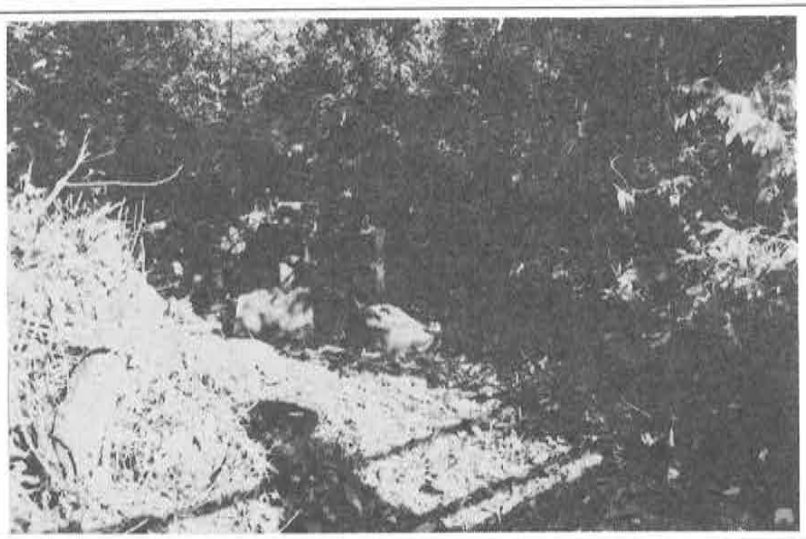
遺跡番号	161	遺跡名	山際1号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑　荒地	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	山際	9	新津　真澄			

遺物		
	規模	円墳・横穴式石室　玄室2.4m×2.1m 墳丘なし、側壁の一部を残すのみ
	既出遺物	勾玉2

位置地形環境

入沢部落の入口磯部の北方、山麓線と水田地帯の接点にそって、現田口用水の水路下に連なる山際古墳群のうち、いちばん北方に位置するもので、山際遺跡内に含まれ、北方には、弥生後期から平安時代に及ぶ新巻遺跡がある。現在畑荒れの桑畑内に、封土はすべて失なわれ、側壁が露出してわずかに残存し、石室の規模がようやく推定される。奥壁は失なわれ、あとに石祠がまつられている。

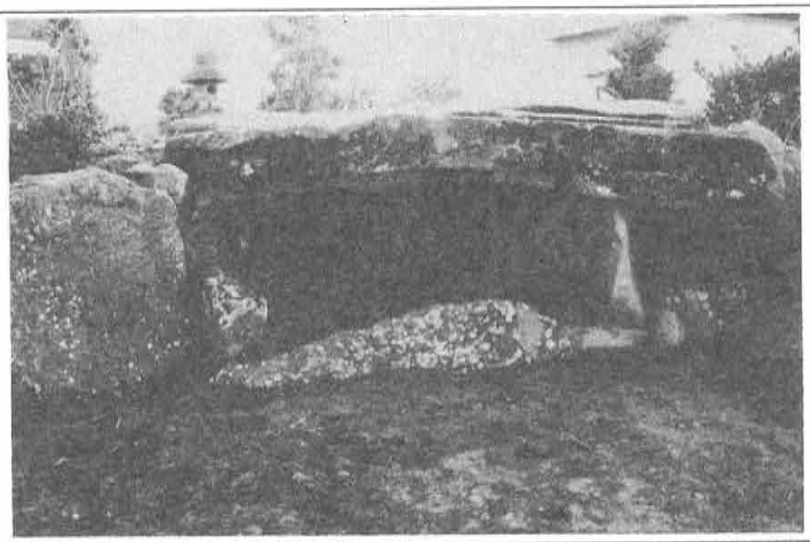


遺跡番号	162	遺跡名	山際2号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上大深	88	新津　覚			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室　玄室1.7×2.2m
	既出遺物	勾玉4

位置地形環境	
	山際1号古墳の南方約250m、山際台地に立地し、水田地帯を前面にした好位置であるが、古墳はすでに青沼小学校に移転復原されていて、現在はリンゴ園に削平されていて痕跡もない。

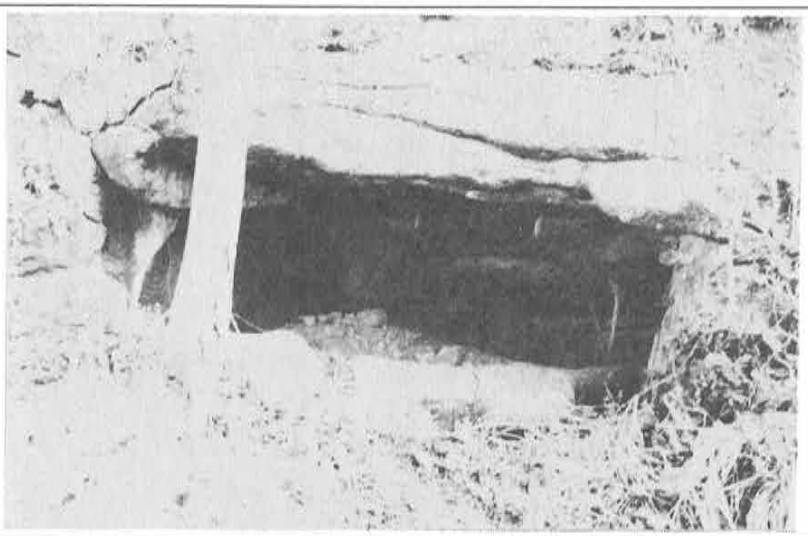


遺跡番号	163	遺跡名	山際3号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	水路敷	面積	20㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	上大深	108-12	三石 昌義			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 玄室、奥壁高さ60cm、横巾130cm、長さ200cm、天井石長さ（南北）210cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	山際2号古墳の南200m、山麓を南北に通じる田口用水路の土手に西側面を露出している。南側には石積みコンクリート壁をつくって支えている。側壁石は小口積みにして重ね、上部に狭まるように傾斜をつけている。



遺跡番号	164	遺跡名	月夜平4号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	月夜平	3224	日向　義知			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室　墳丘高さ1.5m、径東西4m、南北10m 玄室（推定）長さ200cm、巾180cm、天井石長さ200cm
	採集遺物	

位置地形環境

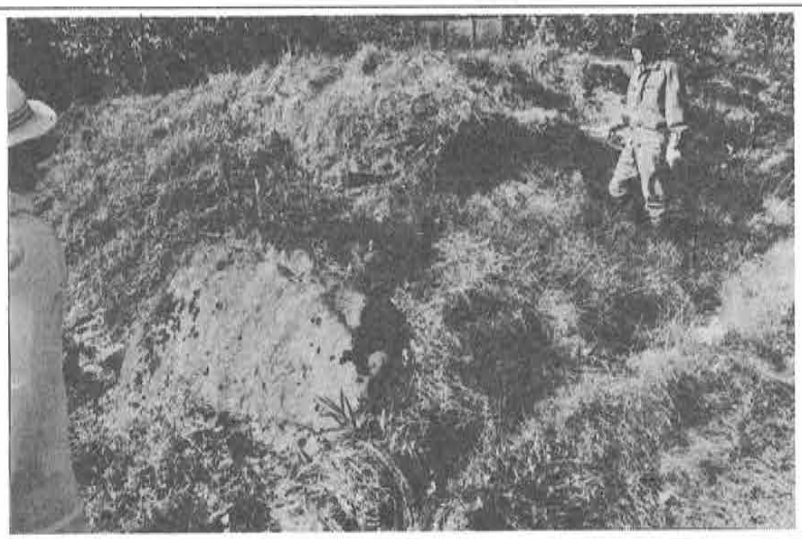
谷川左岸の洪積台地に立地する月夜平遺跡の中央部に立地し、千曲川右岸の水田地帯を眼下にしている。付近は縄文時代から古代、中世にわたる南佐久地方の代表的遺跡の一つである。低い丘陵状の高みに位置し、墳丘はわずかに残存し篠竹に覆われている。奥壁巾145cm、側壁長さ120cm等が残存し、天井石は後方にずり落ちている。玄室は横巾180cm、長さ200cmが推定される。

遺跡番号	165	遺跡名	権現通 5号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	10㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	中権現	1521	日向　丈夫			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、奥壁　横巾160cm、天井石　長さ210cm、巾170cm 側壁　長さ160cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	入沢部落北方、比高約20m、南面する山腹斜面のリンゴ園の階段状の土手に、奥壁と東側壁がわずかに露出し、天井石が前方にずり落ちている。眼下に入沢部落と月夜平の台地を一望におさめる好位置にある。 天井石を持っていこうとしてけがをした人があったり、古墳をくずしはじめると不幸がある等のことがあり、中権現古墳群はいままでかろうじて残っているという状態である。

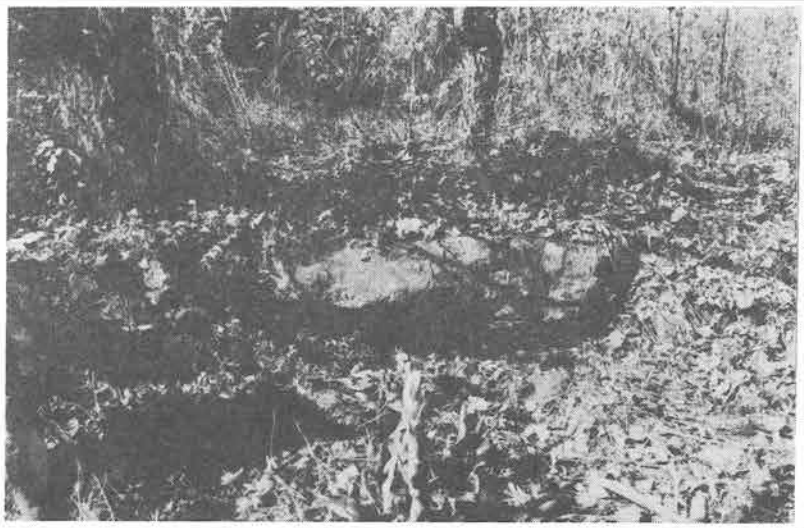


遺跡番号	166	遺跡名	権現通 6号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	遠見場	1415	日向猪一郎			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 奥壁　横巾170cm、天井石　横巾180cm、長さ220cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	権現通5号墳から約80m下の、南面傾斜地で、上下の畑の境の階段状の断面に天井石の一部がわずかに露出している。奥壁は横巾170cmと推定され天井石は、横巾180cm、長さ220cmを測るが、側壁は埋もれていて不明。



遺跡番号	167	遺跡名	権現通 7号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	150㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	遠見場	1408	三石　清吾			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 奥壁　横巾130cm、側壁（1枚）長さ150cm、天井石長さ180cm
	採集遺物	

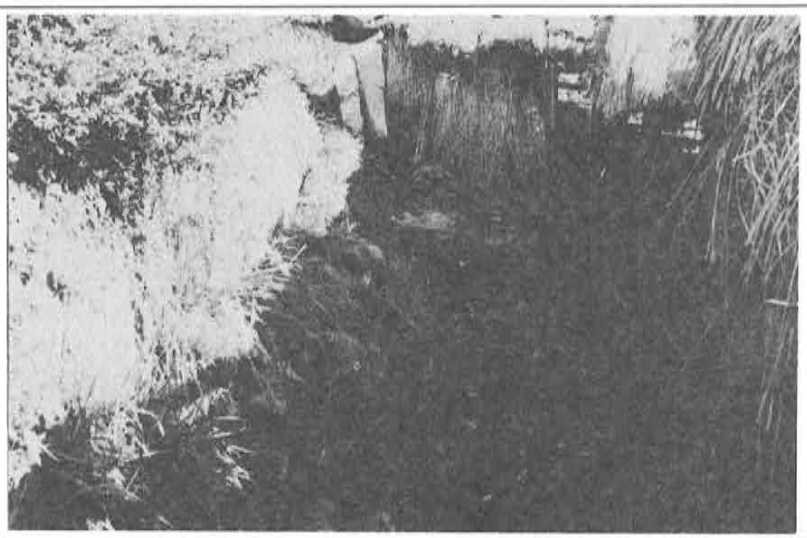
位置 地形 環境	
	権現通古墳群の北端、遠見の沢の尾根に近い傾斜地に立地し、小丘陵状をなす低い台地の先端につくられている。奥壁と側壁の一部が残り、天井石がずれながら残っている。

遺跡番号	168	遺跡名	五霊西8号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	果樹園	面積	15㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五霊西	1693	日向　潔			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 奥壁　横巾240cm、側壁（2枚）推定310cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	入沢集落中央部の北方、南面傾斜する畑地に立地し、部落からの比高約20m五霊西古墳群中もっとも下方西よりに位置する。上・下の畑の境を画する土手の裾に、奥壁と側壁が一部を露出している。石室規模等は未詳

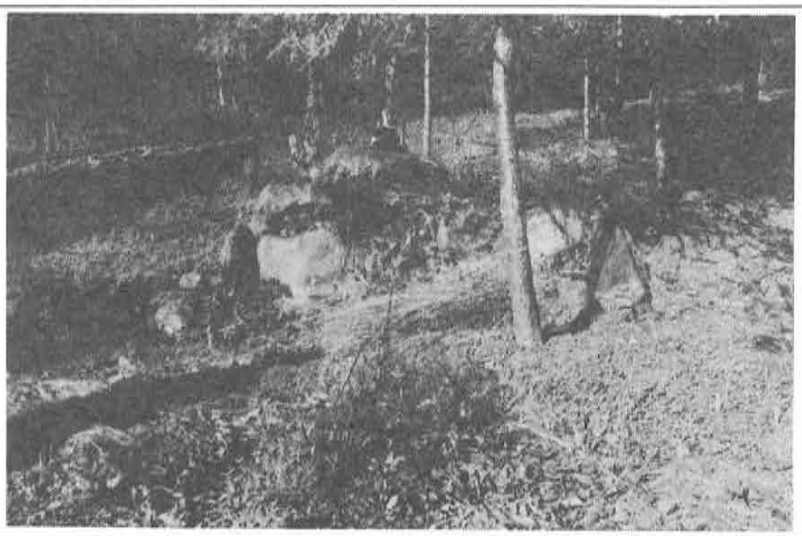


遺跡番号	169	遺跡名	五霊西9号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	15㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五霊西	1693	日向 潔			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 側壁長120cm、 130cmの石2枚
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	五霊西8号古墳の上方50mにある。山腹東南斜面の畑の上下の境を画する階段状の斜面に奥壁と側壁がわずかに残存している。石室規模等不詳



遺跡番号	170	遺跡名	五霊西10号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積		時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五霊西	1692	岩松　昭			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室
	採集遺物	

位置地形環境	
	五霊西9号墳の東20mの畑地内に存在していたが、昭和50年ごろ農耕のため石室を撤去し、削平されたため、現在は痕跡をとどめていない。 写真は昭和45年撮影

遺跡番号	171	遺跡名	五霊西11号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積		時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五霊西	1692	岩松　昭			

遺物		
	規模	
	採集遺物	

位置 地形 環境	五霊西８号古墳の西北の畑の階段状の土手に側壁と羨門石の一部と思われる石がのぞいている。

遺跡番号	172	遺跡名	五霊西12号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	50㎡	時代	奈良・平安	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	五霊西	1696	横森　覚			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、玄室、横巾２ｍ、奥行2.3ｍ、床面石敷 羨道、巾１ｍ、長さ1.7ｍ
	採集遺物	鉄鏃14、刀子２、銙帯具４、土師器坏、高台付坏、須恵器壷、須恵器高台付坏、骨、歯、火葬骨、(臼田町文化センター展示)

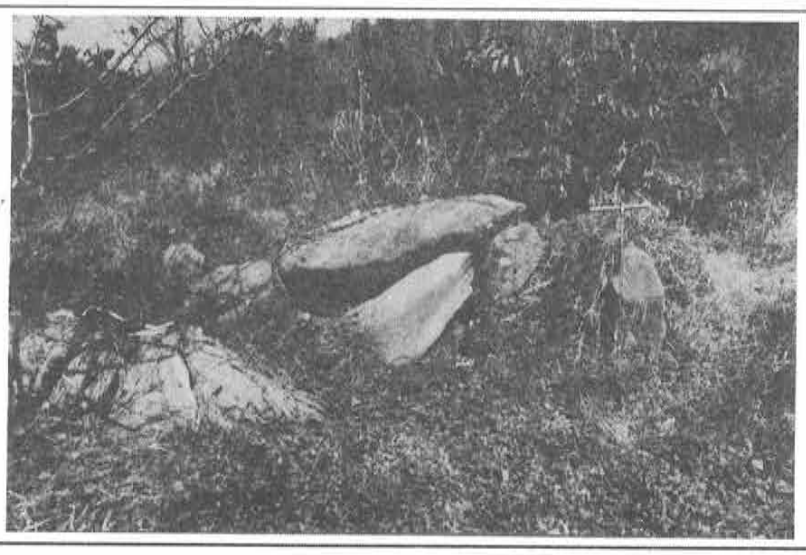
位置地形環境	
	五霊西古墳群のいちばん東側に位置し、五霊神社の南西下方にあったが、昭和61年農道開設のため臼田町教育委員会が緊急発掘調査を行い道路となる。奈良時代築造、平安時代前期～中期に追葬。　　63年３月報告書発行

遺跡番号	173	遺跡名	湯殿入13号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	湯殿入	1797	岩松　健助			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、天井石、横巾170cm、縦150cm、側石倒れて一部残存
	採集遺物	

位置地形環境	
	五霊西古墳群の東北方約250m、湯殿入の沢の南面傾斜の山麓の畑の中にある。墳丘はほとんど失なわれ、天井石が露出し、側壁の一部が残存している。石室の規模形状等、測定は困難、南東にはりだした尾根の南麓には、天神・宮林等の古墳群がある。



遺跡番号	174	遺跡名	天神平14号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

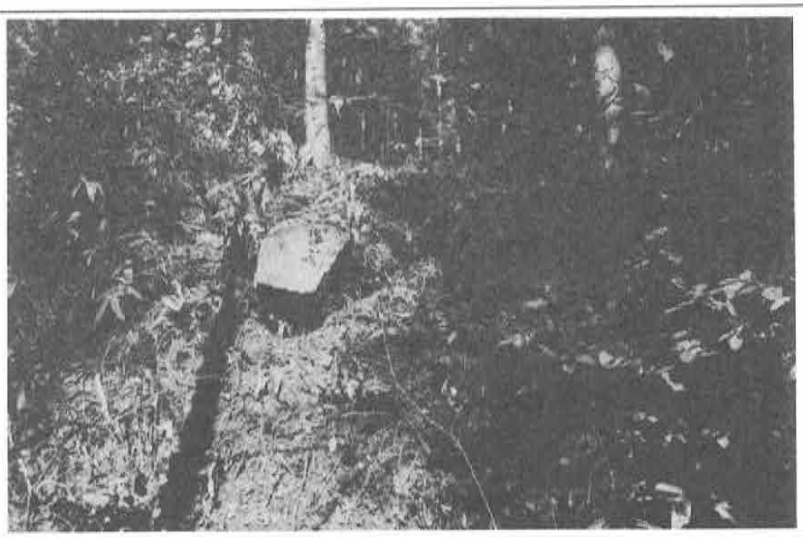
所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	天神平	1857	三石甲子郎			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径5m、高1.5m、玄室250×180cm
	採集遺物	

位置地形環境

谷川右岸の台地の北方に、東からはりだした丘陵の、南面傾斜の山麓に立地する古墳群のうち、いちばん西方に位置している古墳で、これから東へ宮林、一万窪、西の窪の順で、6基の古墳が東西にならんで分布する。前面の台地は、谷川に向かって緩傾斜し、畑地果樹園となり、下海戸、山の前遺跡である。

天神平14号墳は山林斜面の裾で、前面の畑との比高15m、奥壁と羨門石と思われる石が残存し、ほぼ石室の規模が推察できる。

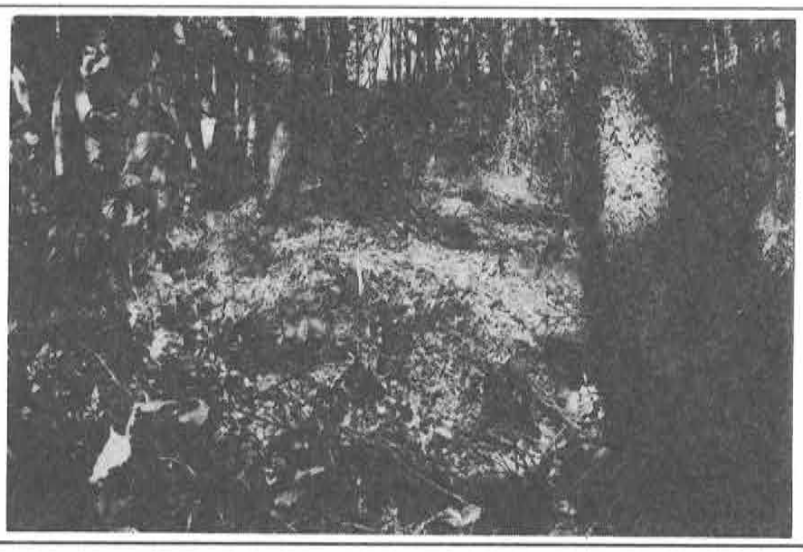


遺跡番号	175	遺跡名	天神平15号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	天神平	1860	日向　正彦			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径7m、高3m
	採集遺物	

位置 地形 環境	
	宮林17号古墳の西方50m、畑からの比高20mにある。墳丘に葺石らしいものがみられるが、確認はできない。



遺跡番号	176	遺跡名	天神平16号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	天神平	1860	日向 正彦			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径10m、高3m
	採集遺物	

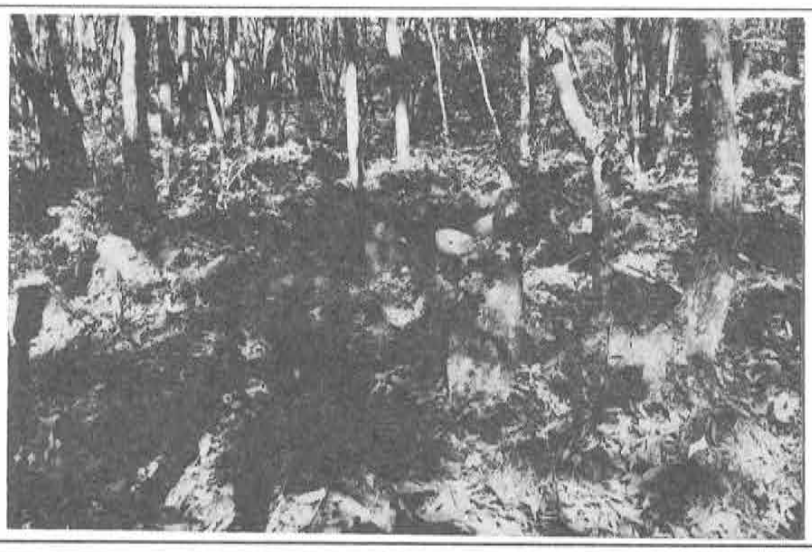
位置地形環境	天神平14号古墳の北東比高10mにある。墳丘だけ残り、石室の石はすべて除かれ凹みとなっている。

遺跡番号	177	遺跡名	宮林17号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	宮林	1850	岩松　昭			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘径10m、高3m、玄室120cm×190cm わずかに胴張りがみられる。
	採集遺物	

位置地形環境	
	天神林古墳群の東につづき、山林内緩傾斜面にある。奥壁横巾120cm、側壁は長さ190cm 横積みされているがわずかに胴張りがみられ、羨門石が残存している。

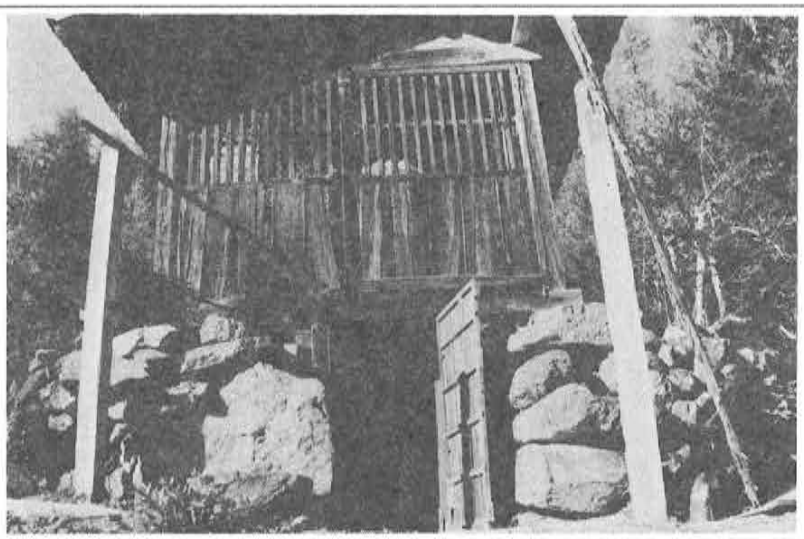


遺跡番号	178	遺跡名	一万窪18号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	畑	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	一万窪	1965	菊池　寅男			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室 玄室、巾200cm、長さ310cm
	既出遺物	直刀、鉄鏃

位置地形環境	
	宮林17号墳の東150mの一万窪の山麓、畑地の小台地に立地している。 羨門部を除いて、巨石で構築した石室に上屋を覆って農具舎として所有者が利用している。

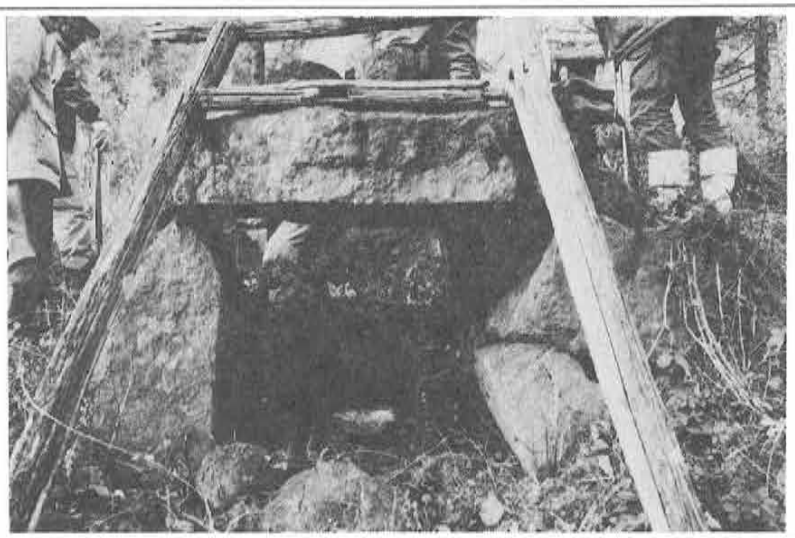


遺跡番号	179	遺跡名	西の窪19号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	100㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月7日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	西の窪	1973のイ	桜井 喜重			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、墳丘わずかに残り、石室露出、奥壁巾170cm、高130cm 玄室170cm、長さ 230cm、胴張りを示す、羨道長190cm、巾100cm
	採集遺物	

位置地形環境	
	西の窪19号古墳の東約100m、西の窪の山麓斜面の山林内にある。横穴式石室が露出し、墳丘わずかに残る。玄室は胴張りを示す。奥壁、側壁、羨道部等ほぼ残存し、その規模を推定することができる。奥壁上部に石祠が祀られている。



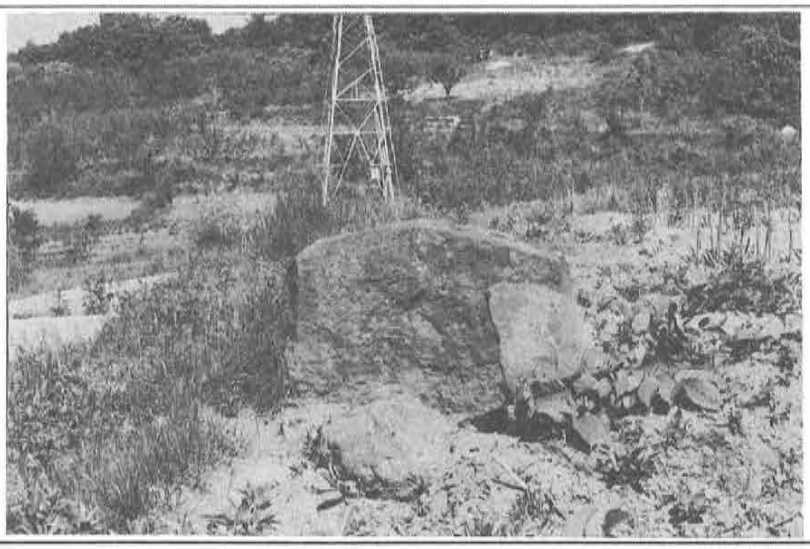
遺跡番号	１８０	遺跡名	舟久保20号古墳	遺跡の種類	包蔵地	部落名	岩水
地目	畑	面積	50㎡	時代	古墳	調査年月日	62年11月４日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	舟久保	1037	木次みわ子			

遺物		
	規模	円墳、横穴式石室、奥壁横巾130cm、厚25cm、高さ80cm（地上） 東側壁長さ130cm、厚25cm、長さ60cm、西側壁、土手斜面に転落
	採集遺物	

位置地形環境

岩水部落の東方、約300m、羽黒山の南東斜面の舟久保にある。南方前面の谷を曽原川が東から西に流れている。階段状の畑の畦斜面の上に位置し、奥壁と東側壁の石は原位置に立っているが、西側壁は、土手の斜面に転落している。東方約600mにある曽原古墳（佐久町）と共に佐久地方の千曲川右岸に於ける南限の古墳である。



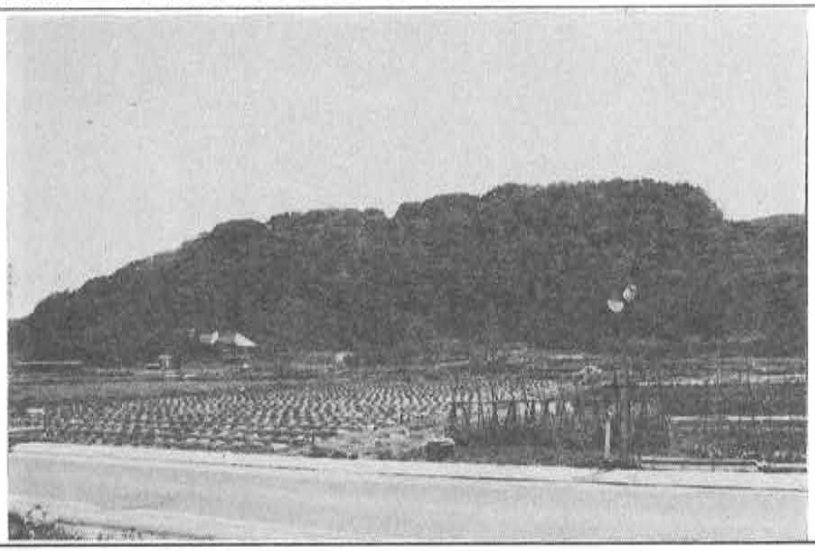
遺跡番号	181	遺跡名	医王寺城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	山林・耕作地	面積	連郭 180×80㎡	時代	～戦国	調査年月日	61年11月22日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	字下ノ城	3717	桜井　克二			
		3718	相沢　松江			
		3719	桜井　浩一			
		3655	木内　豊			
		3689	依田　龍己			

遺物		
	形状	連郭式、本郭、二の郭、三の郭、土塁、堀切
	既出遺物	石臼、古銭　（村上氏 井出氏）　別称下ノ城、西方山上 経塚付近を上ノ城とよぶ。

位置地形環境

臼田町の西方、片貝川左岸に迫る比高60mの段丘崖上にあり、崖下に曹洞宗医王寺がある。頂上崖端に堀切を隔てて本郭、二の郭が南北にならび、本郭の北端に大堀切を設ける。南と西に対しては数段の段郭を構成している。西方約800mの山頂には経塚と古墳があり、上の城と称して烽火台跡と伝承されている。脚下に片貝川流域の平野をおさえる要衝である。井出氏、村上氏等との関係が伝承されているが、伴野氏の前山城とも近接した位置にある。信陽雑志は村上顕胤について、不祥だが或は臼田城跡と関係あるかと記している。塩山向獄禅庵小年代記天文九年の条に板垣駿河守が大将となり、佐久郡の臼田、入沢の両城をはじめとして数十城を攻め破り、前山城を築いて在陣したという。臼田城はこの医王寺城跡をさすものと考えられる。



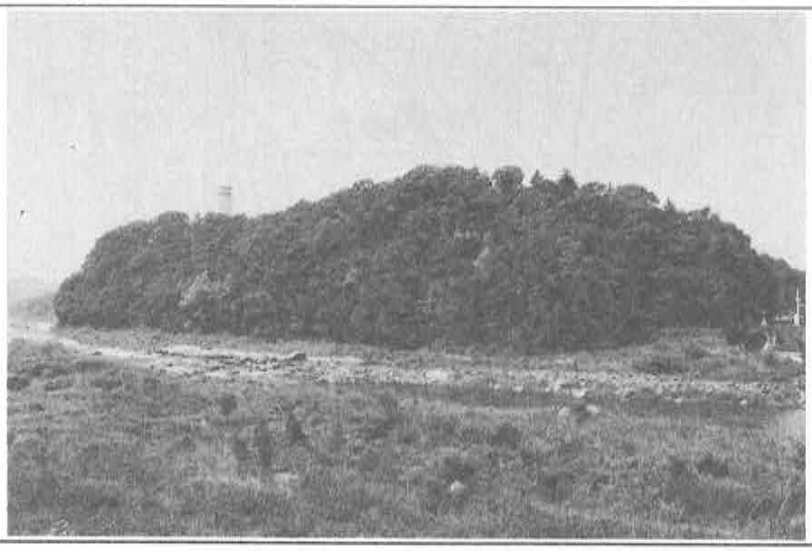
遺跡番号	182	遺跡名	稲荷山城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	勝間
地目	台地	面積	連郭 370×250㎡	時代	～安土桃山	調査年月日	61年11月11日

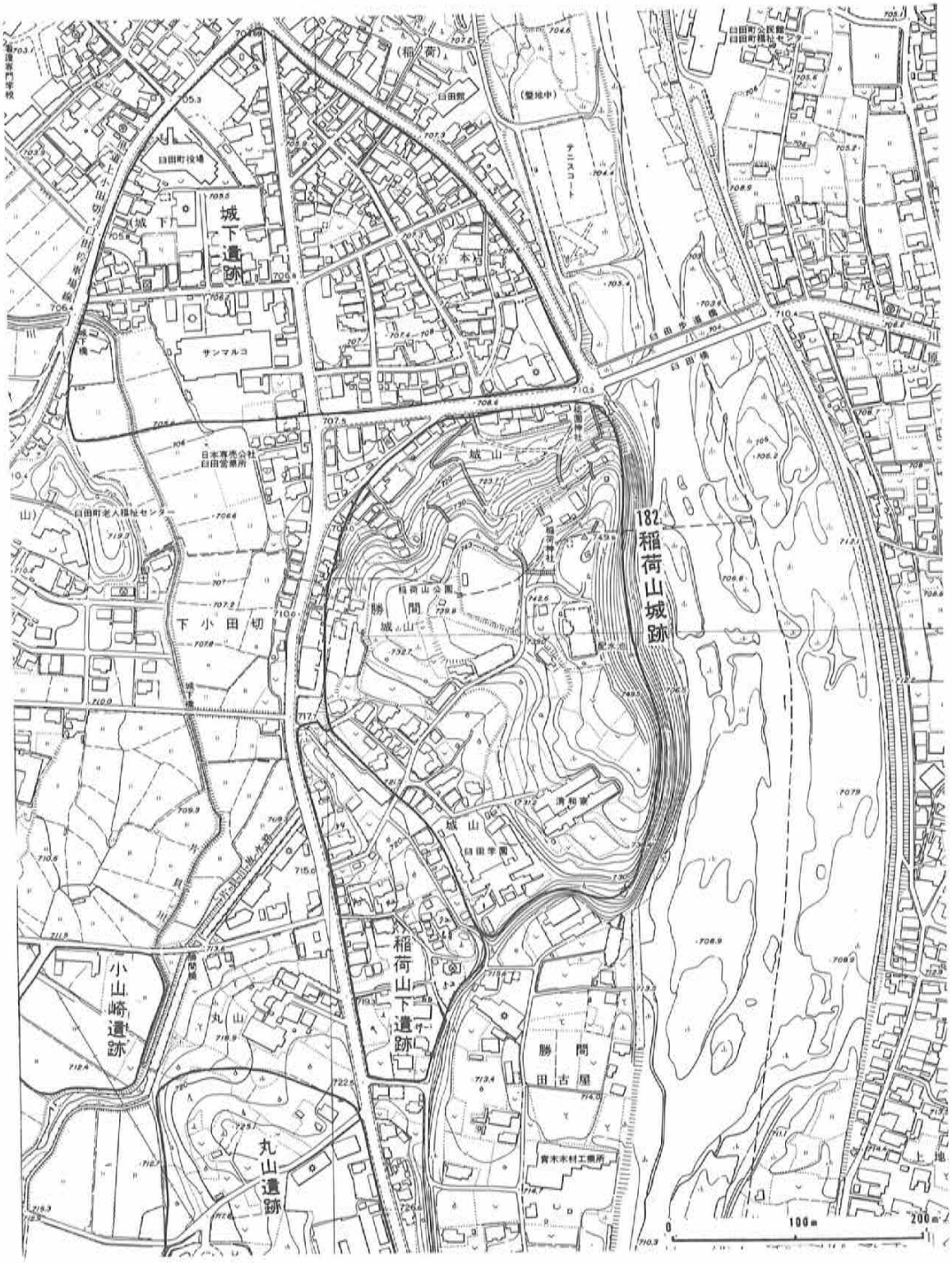
所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	城山	13	篠原　光男			
	輿水	20	輿水　正一			
		30	依田　英人			
		122	上田養護学校			

遺物		
	形状	連郭式、本郭、二の郭、三の郭、曲輪、堀切、土居
	既出遺物	（武田氏）「勝間反砦」天正10年、徳川軍が甲州より侵入の前進基地として、松平家忠が修築した。

位置地形環境

臼田町の南方、千曲川左岸の丘陵上にある。東から南にかけては千曲川にのぞむ比高30mの断崖で西方は片貝川にむかって緩傾斜面をなし、佐久甲州往還が通じている。字名は城山を中心にして城下（北～西）勝間（南）、城構えの内に本丸、肥前曲輪、扇ケ岡、千人詰、馬出、虎口等がある。住宅等諸施設の開発がすすみ、虎口や堀、土居が失なわれている。編年集成に天正十年八月徳川家康が柴田康忠を監使として、甲信両国の先方の士を佐久郡勝間反砦に拠らしめ、11月7日松平家忠に勝間砦を修築させたこと、天正13年家康が真田氏の上田城を攻めたが敗れ、軍を返したとき、鳥居、平岩らが勝間反砦に入って、その後甲州に引き上げた等のことが記されている。勝間反砦が現在の稲荷山城跡である。




182.稲荷山城跡
城下遺跡
稲荷山下遺跡
小山崎遺跡
丸山遺跡
勝間城山
城山
稲荷山公園
下小田切
サンマルコ
日本専売公社
白田営業所
白田町老人福祉センター
白田町役場
白田館
(稲荷)
(宮本)
(整地中)
テニスコート
白田学園
清和寮
勝間
田古屋
青木木材工場所
白田橋
白田公園
稲荷神社
配水池
白田町公民館
白田町福祉センター
上地
0
100m
200m

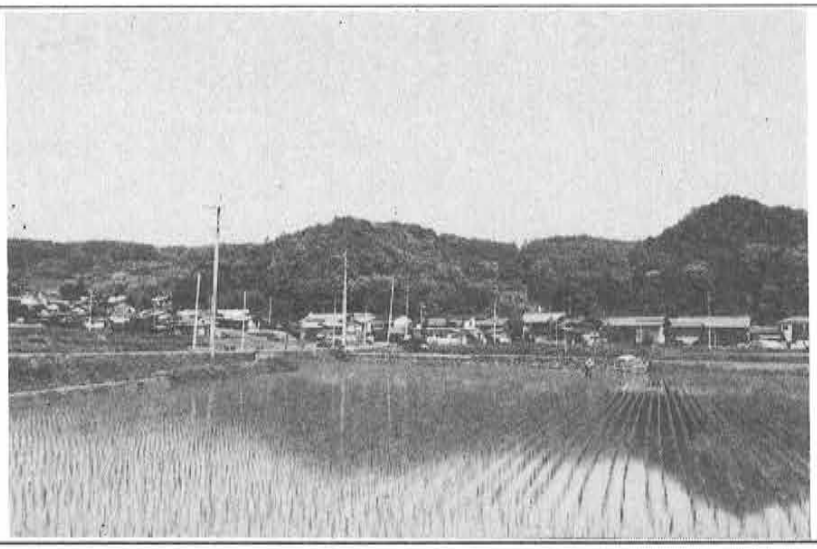
遺跡番号	183	遺跡名	湯原城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	湯原
地目	山林	面積	連郭 150×150㎡	時代	～戦国	調査年月日	61年11月10日

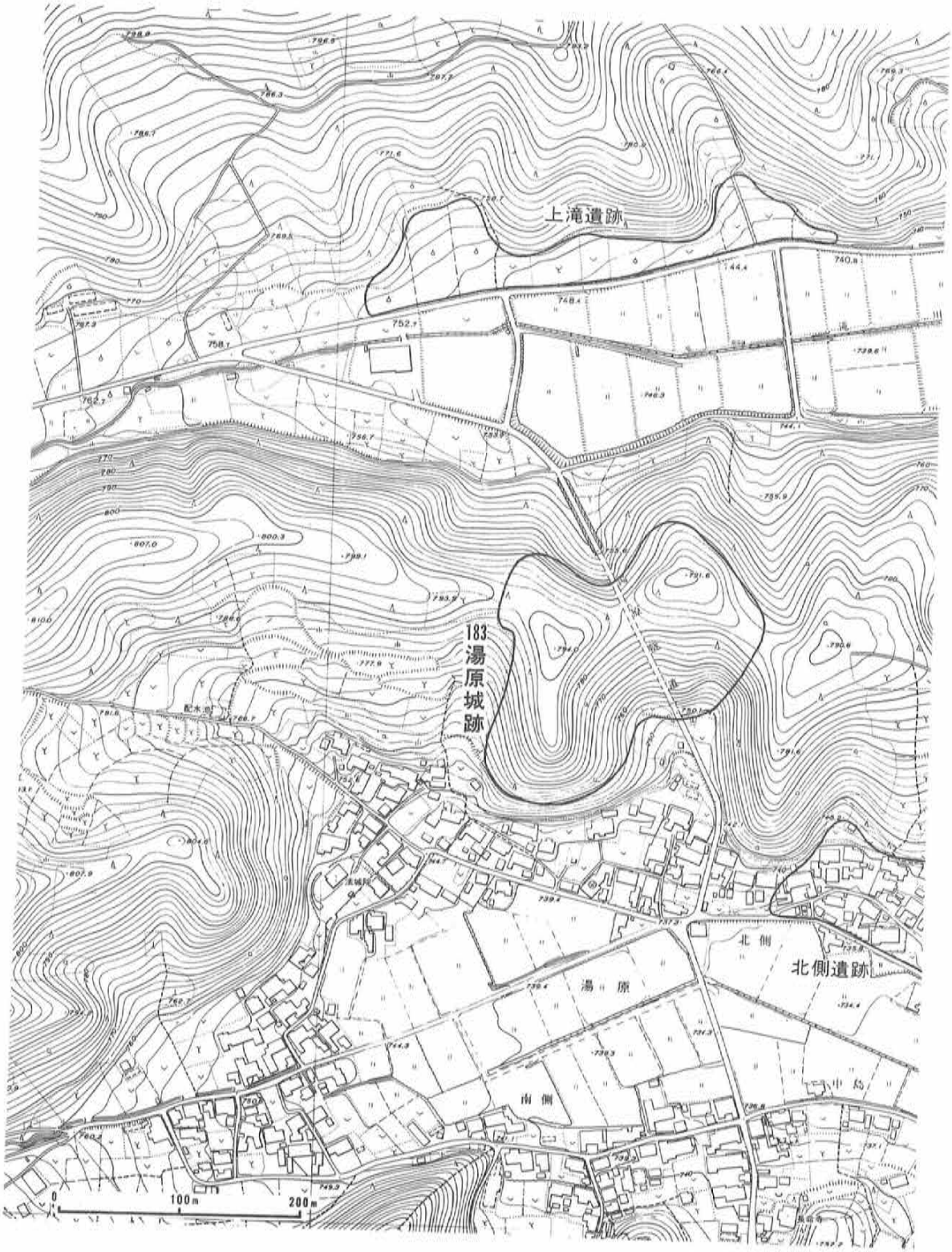
所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	北側		沖浦 新一 平林 龍雄			

遺物		
	形状	連郭式、本郭、二の郭、曲輪、堀切を三方の尾根に配す。
	既出遺物	五輪塔、弘治三年依田長繁銘鰐口、湯原氏のち相木（依田)氏一族が拠ったか。

位置地形環境

臼田町の南西部、片貝川左岸、滝川との合流点の間に張りだした尾根の山頂に所在する。南側の山麓には湯原部落があり、古くは湯原氏が拠ったものと思われる。東北方に城主の墓地といわれた所があり、宝筐印塔二基があり、ここから発掘した鰐口に、「奉納湯原大門明神御宝前鰐口、弘治三丁巳十二月吉日依田与七郎源長繁」とあり、いま湯原神社に保存されている。武田氏が侵入後はそれに属した依田（相木）氏の居城となったものと思われる。西北麓は滝部落を経て春日（望月町）に通じる道路がとおっている。



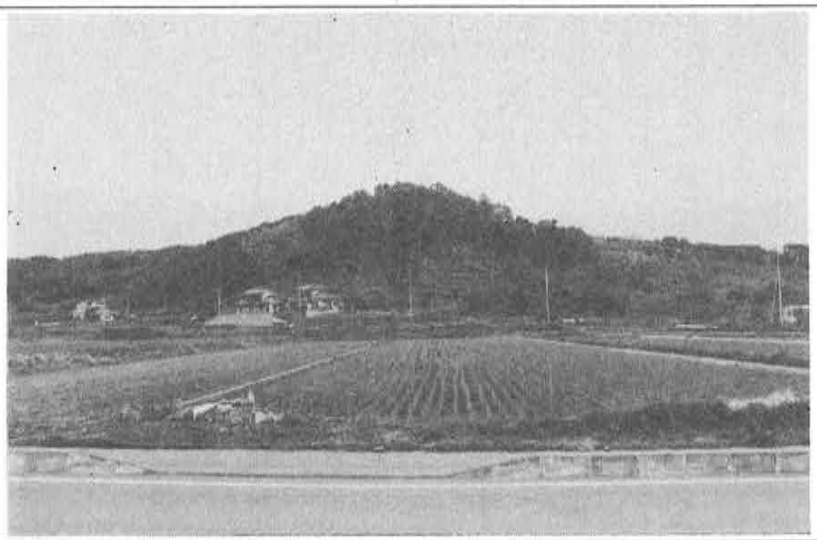

上滝遺跡
183
湯原城跡
北側
北側遺跡
湯原
南側
中島
0
100m
200m

遺跡番号	184	遺跡名	向城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	山林・耕地	面積	単郭 100×100㎡	時代	戦国	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	向城	115	油井　明			
		116	清水　勲			
		117	清水　重弥			
		118	大工原正美			

遺物		
	形状	単郭、堀切
	既出遺物	（武田氏）雁峰城攻略に武田信玄が築いたと伝える。

位置地形環境	
	中小田切部落の北西にはり出した尾根の先端に築かれ、比較的小規模ではあるが、数段の帯曲輪をめぐらしている。それらは現在畑地として耕作されているものが多い。片貝川流域の小田切の平地を眼下にして、南方の雁峰城と相対している。北方山麓の蓮華寺窪からは五輪塔や中世骨壷を出土している。



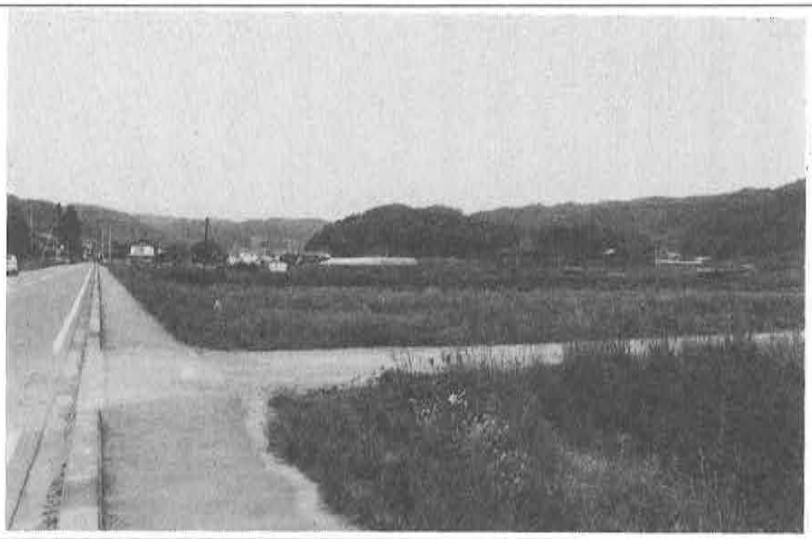
遺跡番号	185	遺跡名	上小田切城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	上小田切
地目	山林	面積	単郭 50×40㎡	時代	戦国	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	亭通	193	鷹野 敏彦			
		199	鷹野 敏彦			
		202	鷹野 敏彦			
	西ノ入	249	小林 茂夫			

遺物		
	形状	単郭、曲輪、堀切
	既出遺物	（依田氏）東南面山腹に普門寺跡がある。

位置地形環境

十二新田部落の北東の尾根上にあり、単郭で、東西に堀切を設けて防禦している。
十二新田部落から城跡への上り口に「しょうもんぜいけ」（将監在家）の坂といい、東方山麓には集塊岩の崖が約200ｍにわたってつづき、真言宗普門寺跡があり、字大門地に大門道の跡が残っている。また普門寺付近を古地（ふるっち）といい、山腹の岩穴からさびた刀剣、鍔、鏡、蠟石環、古壺等を発掘したという（「南佐久郡志」）



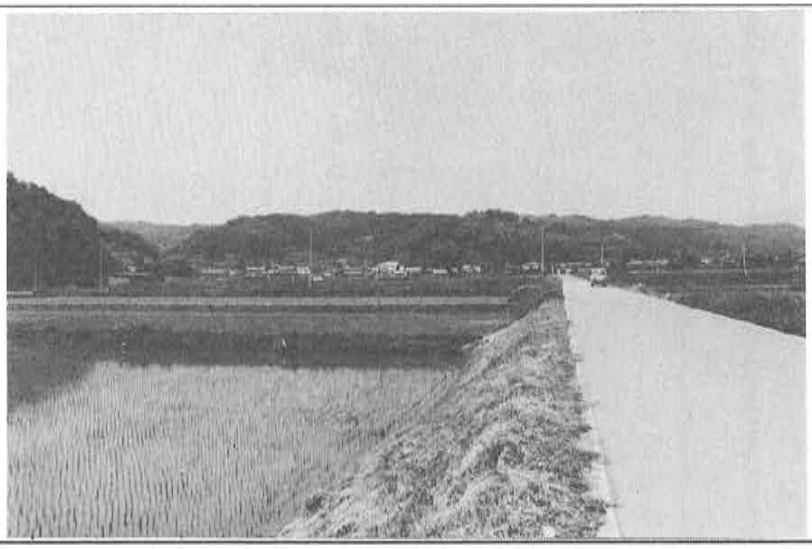
遺跡番号	186	遺跡名	雁峰城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	中小田切
地目	山林・耕地	面積	連郭 380×300㎡	時代	戦国	調査年月日	61年11月13日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	久保古屋	516	草間　和幸			
		530	草間　　密			
		541	油井　健一			
		544	小平　古平			
		547	草間　政男			

遺物		
	形状	連郭式、本郭、二の郭、三の郭、曲輪、堀切
	既出遺物	(小田切氏 草　間氏) 村上氏被官、小田切氏の築城と伝える。一名草間城

位置地形環境

片貝川右岸に南方から突出した尾根の先端に築かれている。東の沢は城影とよばれ、西方山麓には南居村の集落がある。北方前面には片貝川が流れ、水田地帯を隔てて北西約700mの向城と相対している。南方後方の尾根には三条の堀切を設けて防禦としている。北東第三郭の前面にも一条の堀切がある。北西尾根の先端部には片貝川に臨んで水の手があり、水の手曲輪がある。北方前面に対しては段郭、帯曲輪を巧みに配している。陽雲寺境内は城の大手をなし、城主の居館跡かと考えられる。はじめ小田切氏が居住し、小田切氏が水内郡に移った後、戦国時代に草間氏が守ったと伝えられる。



遺跡番号	187	遺跡名	田口城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	田口・城山
地目	山林・耕地	面積	連郭 750×200㎡	時代	戦国	調査年月日	61年11月21日

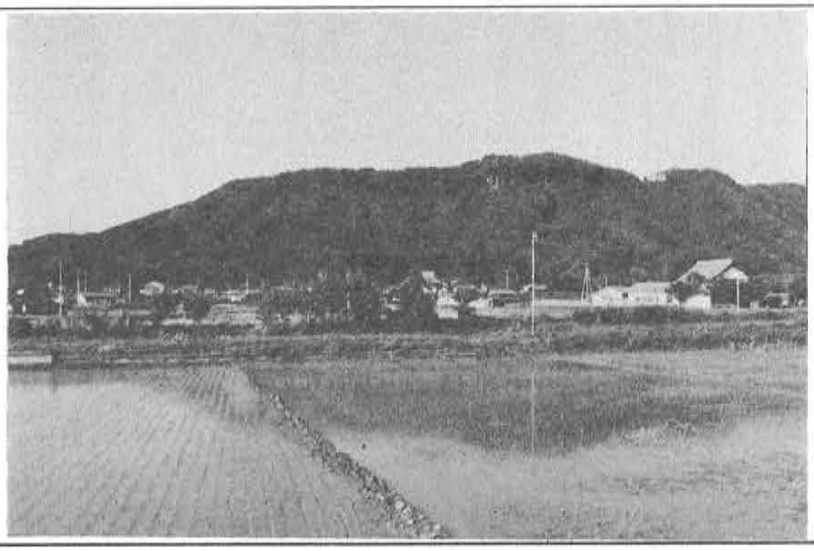
所在地・土地所有者

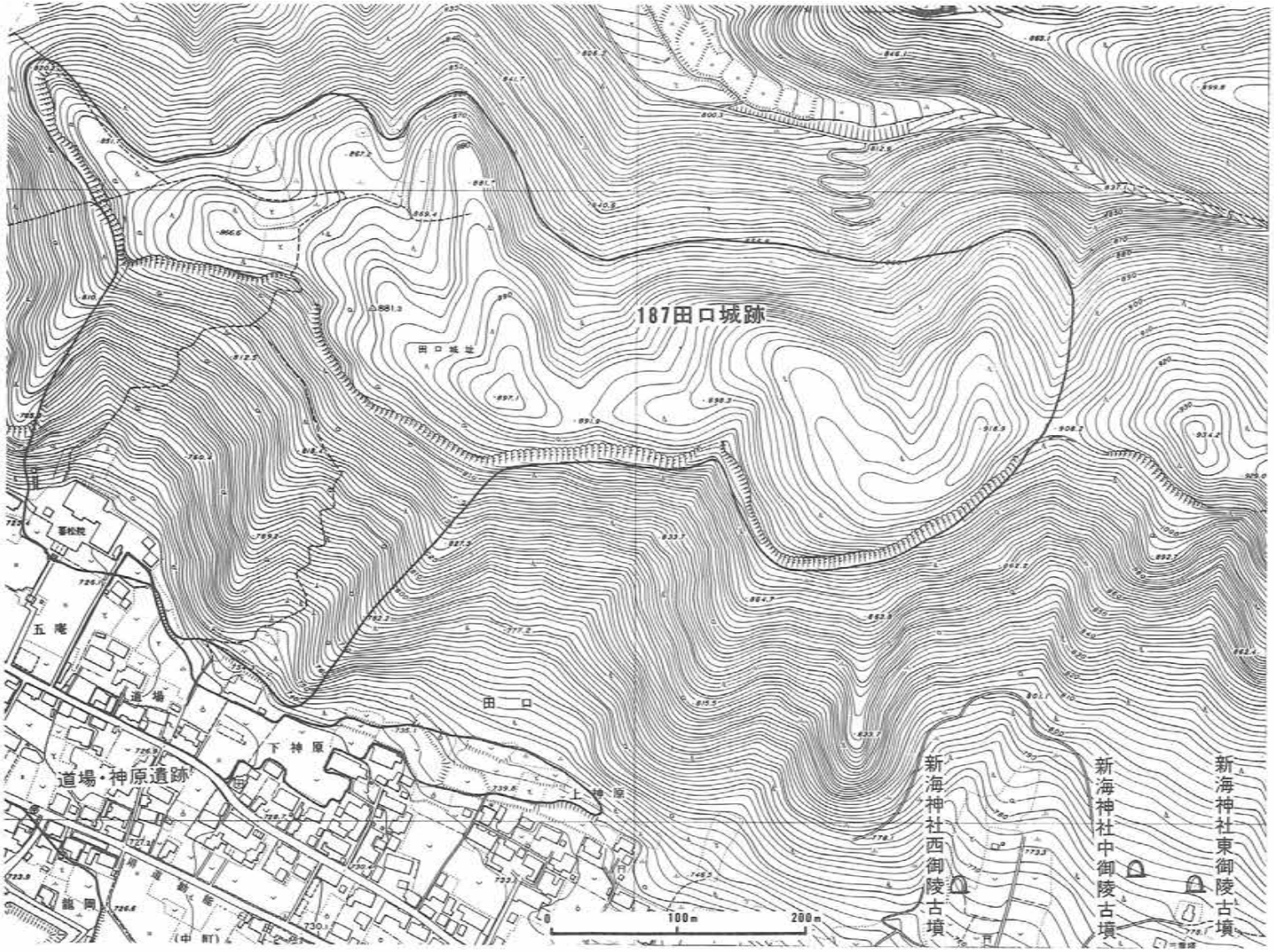
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
城山	3404	中条徳之助	蟻久保	3545	田口区
〃	3408	中条徳之助	〃	3546	口
〃	3409	中条寅之助	恵下久保	3674	篠原 たえ
〃	3424	丸山 篤雄	〃	3688	加藤 新一
〃	3432	加藤 哲夫	〃	3690	加藤 米司
柳沢	3438	田口区	〃	3693	加藤 嘉一
〃	3448	〃	〃	3695	加藤 新一
			〃	3706	加藤 嘉一

遺物		
	採集遺物	連郭式、本郭、二の郭、三の郭、堀切、段曲輪
	既出遺物	石臼破片、焼米（田口氏 相木(依田)氏）麓に蕃松院、新海三社神等城に関する寺社がある。

位置 地形 環境

雨川右岸にそって東方からはり出した関東山地の支脈の尾根の先端に築かれた山城で、東南西は高い岩の断崖がめぐっている。頂上からは佐久平全域を一望できる。東方の尾根上には二条の大堀切を設けている。南の山麓には新海神社、蕃松院があり、田野口の集落が開けている。雨川にそって東方は田口峠を越えて上州南牧谷に通じる要衝である。田口氏代々の居城、天文17年９月、田口長能が武田晴信に攻められて落城して滅亡、その後依田（相木）能登が城主となったが、武田氏の滅亡後、北条氏に属したため徳川方の依田信蕃に攻められ、依田能登は天正11年２月城を捨てて上州に走った。依田信蕃の子松平康国は小諸城主となり、田口城下に蕃松院を創建して父信蕃の菩提所とした。




187田口城跡
田口城址
△881.3
五庵
道場
道場・神原遺跡
下神原
上神原
田口
新海神社西御陵古墳
新海神社中御陵古墳
新海神社東御陵古墳
0
100m
200m

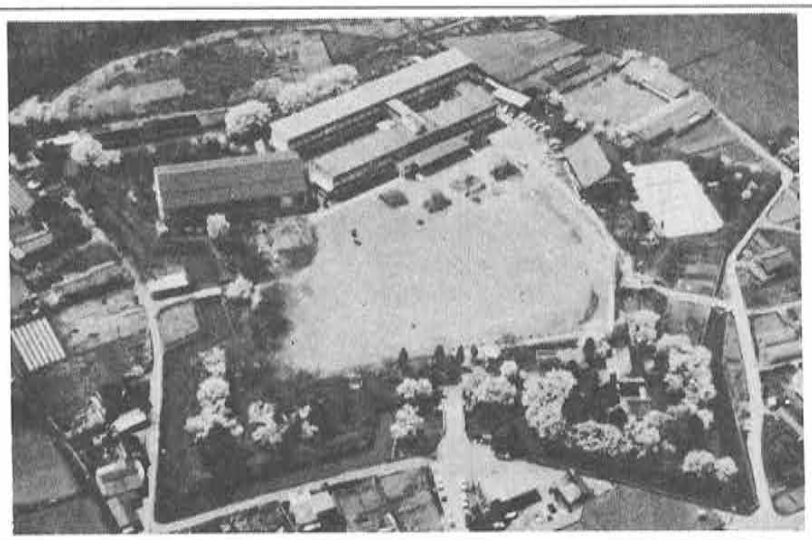
遺跡番号	188	遺跡名	龍岡城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	下町・龍岡
地目	平地	面積	五稜郭 160×160㎡	時代	近世末	調査年月日	61年11月21日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	龍岡	2973 ～ 3098	臼田町 臼田町			

遺物		
	形状	五稜郭、堀、御台所、大寺門、薬返門（田口丸山唯衛氏門） 藩校尚友館（佐久市木内孝一氏宅） 大広間（佐久市時宗寺本堂）書院(佐久市小池八郎氏宅)東通用門 (佐久市成田山表門)
	既出遺物	慶応２年完成の西洋式城郭　国史跡、文久３年着工 陣屋日記他多数（松平乗謨）　藩印、(11点）そろばん他

位置地形環境

雨川右岸氾濫原につくられた江戸時代末期の西洋式城郭で龍岡藩主松平乗謨が慶応２年に完成、広さ１万坪（33,000㎡）余、五角形の稜堡型で切石積、西面を除いて水濠をめぐらす。国の史跡に指定されている。廃藩の際、御台所を除いて建物はすべて徹去し、現在は田口小学校の敷地となっている。城内に明治元年戊辰の役に我死した龍岡藩士を祭るために創建した招魂社がある。



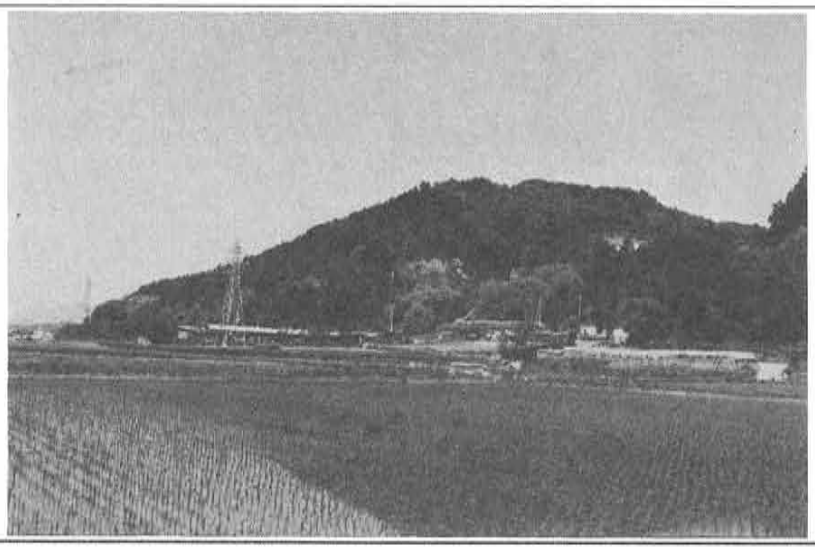
遺跡番号	189	遺跡名	岩崎砦城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	三分
地目	山林	面積	単郭 250×100㎡	時代	～戦国	調査年月日	61年11月21日

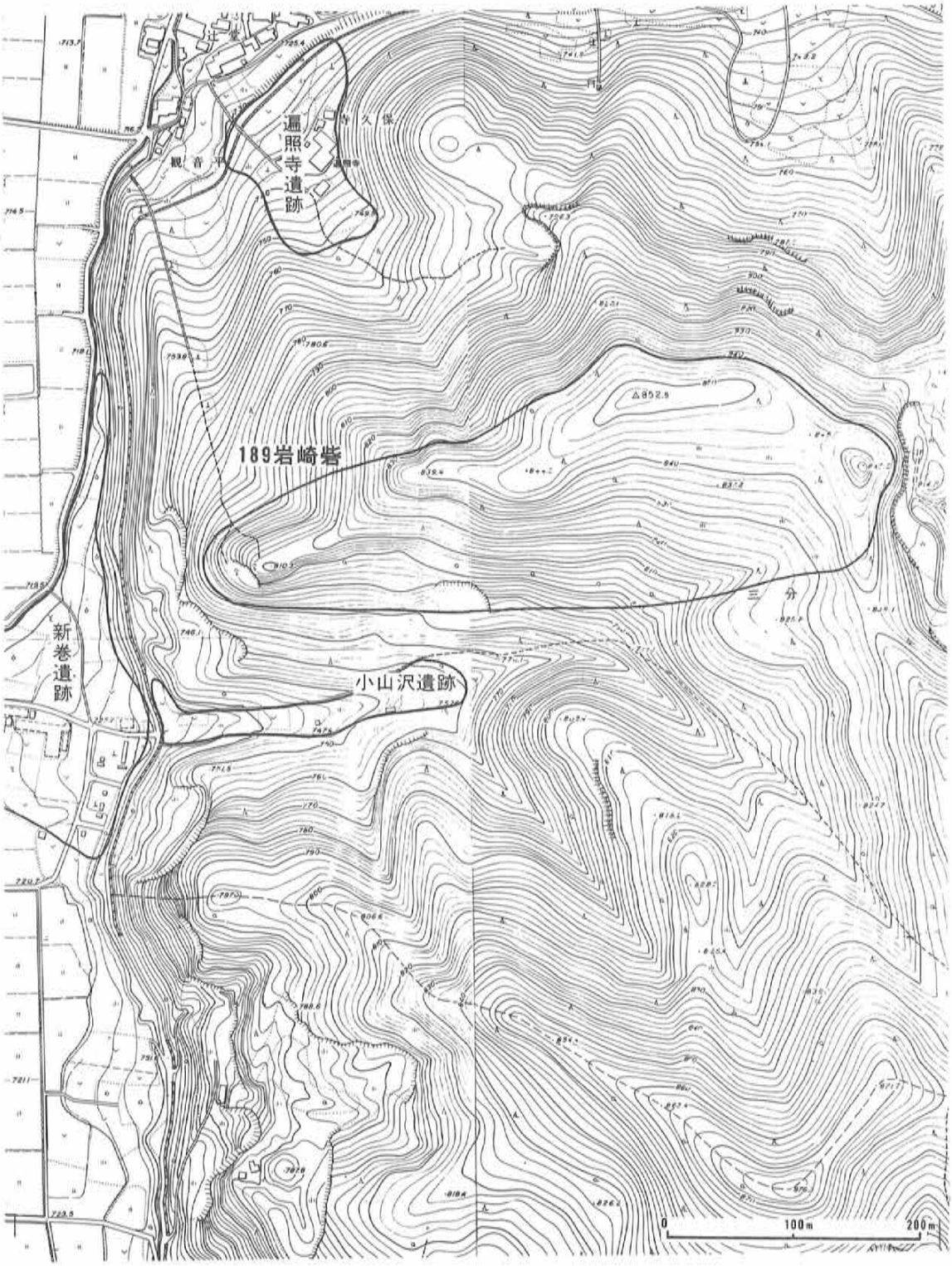
所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	愛岩山	774	清水　三治他	内ノ角入	896	清水てるじ
	内ノ角入	793	横山　安雄	〃	902	清水　護他
	〃	794	清水　俊佐			
	〃	853	柏原　實			
	〃	856	横山　定直			
	〃	857	清水　忠雄			
	〃	878	佐々木昭司			

遺物		
	形状	単郭
	既出遺物	天正10年、山全体が徳川軍により利用されたと伝えられる。

位置地形環境

三分部落の南方岩崎山頂にあり、千曲川と雨川の合流点付近をおさえ、佐久平を一望にする要地で、千曲川をへだてて稲荷山（勝間反）城跡と相対している。編年集成、天正十年八月二十九日の条に「吾兵信州佐久郡岩崎ニ闘ヒ北条方百九十三人撃取ル」とある。徳川氏に属して北条軍を突破して、勝間反砦を占拠した津金衆が、勝間、岩崎を拠点として北条方と戦ったものであろう。現在遺構として認め得るものはないが、徳川方の津金衆が陣を置いて戦ったものと思われる。




遍照寺遺跡
観音堂
189岩崎砦
新巻遺跡
小山沢遺跡
△852.8
0
100m
200m

遺跡番号	190	遺跡名	磯部城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢磯部
地目	山林	面積	単郭 200×80㎡	時代	～戦国	調査年月日	62年11月5日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	南和田	1135	日向　裕			
	西権現	1136	三石新一郎			
	〃	1149	新津　長人			
	〃	1150	三石　義人			
	南和田	1151	三石　一族			
	〃	1152	日向　裕			
	〃	1155	三石　邦夫			

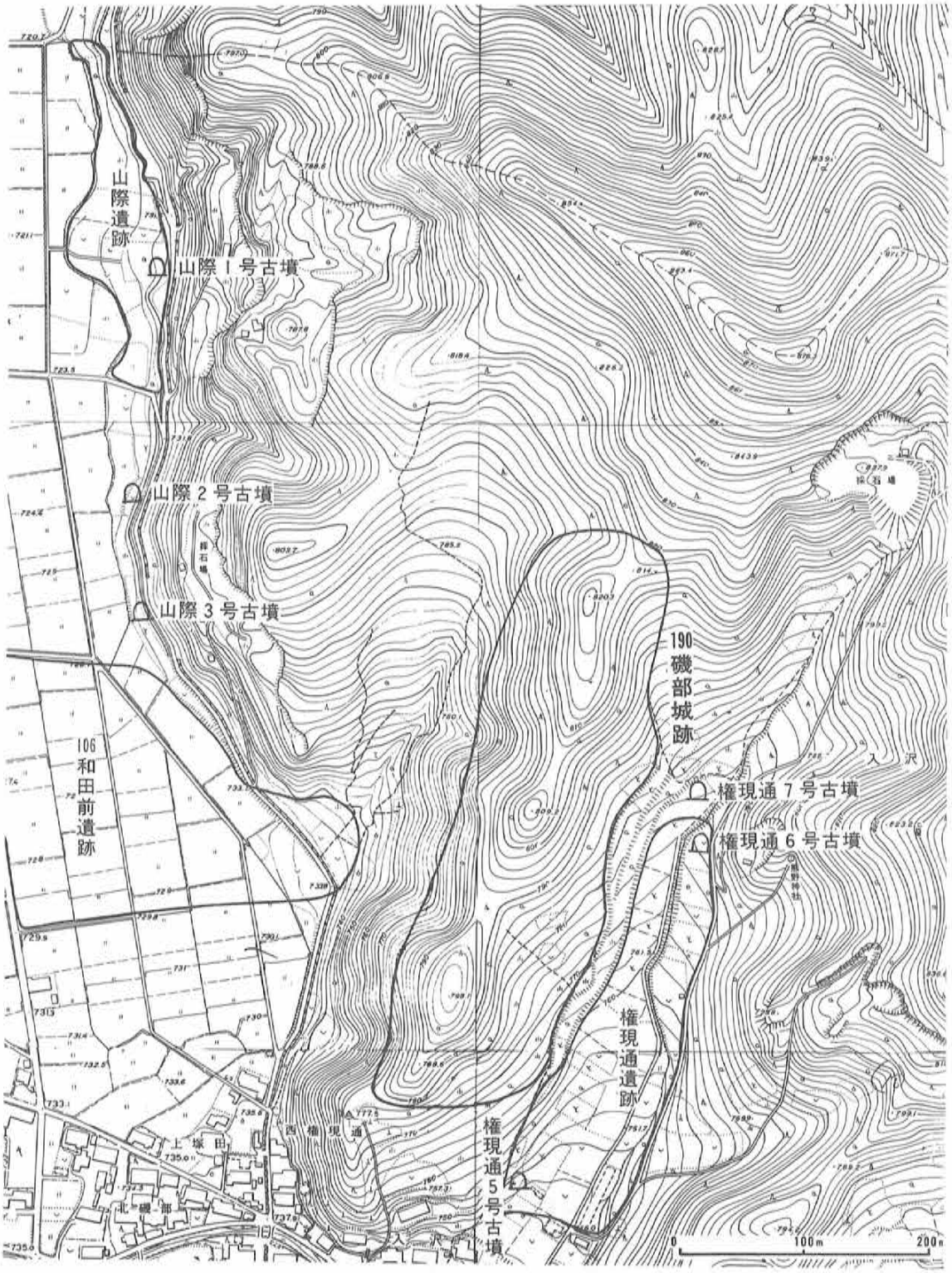
遺物		
	形状	単郭式、本郭、堀切
	既出遺物	入沢城の支城か

位置地形環境

谷川が千曲川畔の平地にでる谷口にあたり、その右岸の尾根上に位置し、月夜平西端の十二山砦と相対して、入沢の谷の出口を扼している。山頂からは千曲川畔の平地を一望におさめる。南北の尾根にそって、山頂に本郭を置き、北方に一段下って小郭を設け、その北方に二条の堀り切りを設けている。

地形を利用した入沢城の砦で、平野部に対する見張り所の役目も兼ねたものと思われる。

（三石幸太郎氏発見の城跡）


山際遺跡
山際1号古墳
山際2号古墳
山際3号古墳
106和田前遺跡
190磯部城跡
権現通7号古墳
権現通6号古墳
権現通遺跡
権現通5号古墳
西権現通
上塚田
北磯部
入沢
0
100m
200m

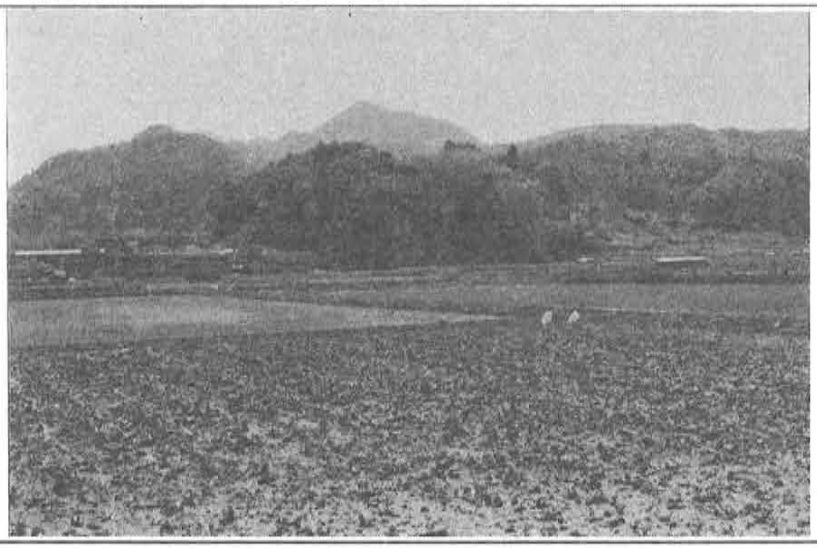
遺跡番号	191	遺跡名	十二山城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢十二山
地目	山林・墓地	面積	単郭 200×100㎡	時代	～戦国	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	三界塚	3396	加藤　清			
	〃	3402	佐藤　武			
	〃	3409	三石　強			
	〃	3412	加藤　良三			
	〃	3597	岩下竹之助			

遺物		
	形状	単郭、段曲輪
	既出遺物	入沢城の支城か 三界塚（寛永14年丁丑7月吉日、三海行）と刻まれた石祠がある。

位置地形環境

入沢の谷の入口にあたり、谷川左岸の月夜平台地の西方丘陵上に位置し、西方前面の千曲川畔沖積平地からの比高約20m、谷川北方の磯部城と相対して、入沢城の砦として前線の防衛拠点として、入沢の谷を守っていたものと思われる。山頂は南北に長く、中央が細く、くびれていて、二つの小郭が連結されているとも考えられる。墓地がつくられて、全体の形がやや変えられているが、西方前面に対しては四段の帯曲輪が構成されている。東方内側に対しては、畑に削平された部分が多いが、段郭の一部が認められる。十二山砦を防衛拠点として、その内側の入沢城との間には、城主や家臣の屋敷、神社などの諸施設も置かれたものと思われる。（調査団発見の城跡）



遺跡番号	192	遺跡名	入沢城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢
地目	山林	面積	連郭 300×200㎡	時代	鎌倉～戦国	調査年月日	62年11月6日

所在地・土地所有者

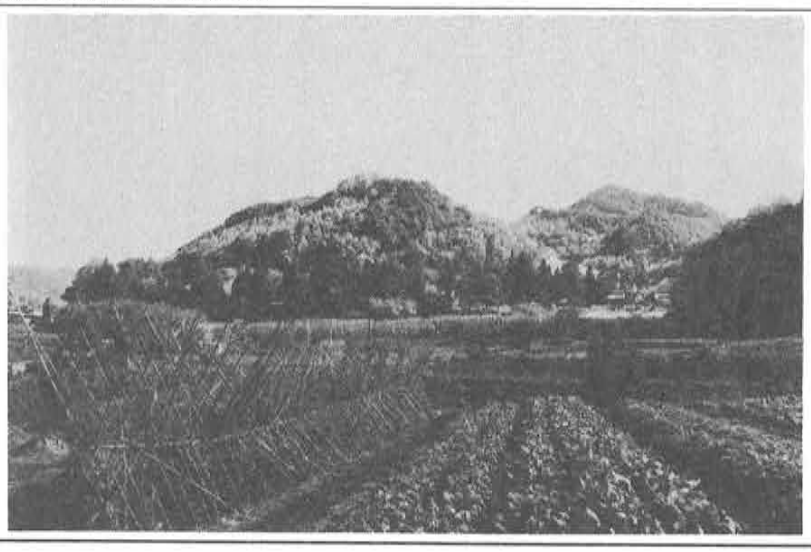
字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
天白	3050	日向　浩			
〃	3051	日向　賢一			
〃	3052	三石　良紀			
諏ノ入	3298	吉祥寺			

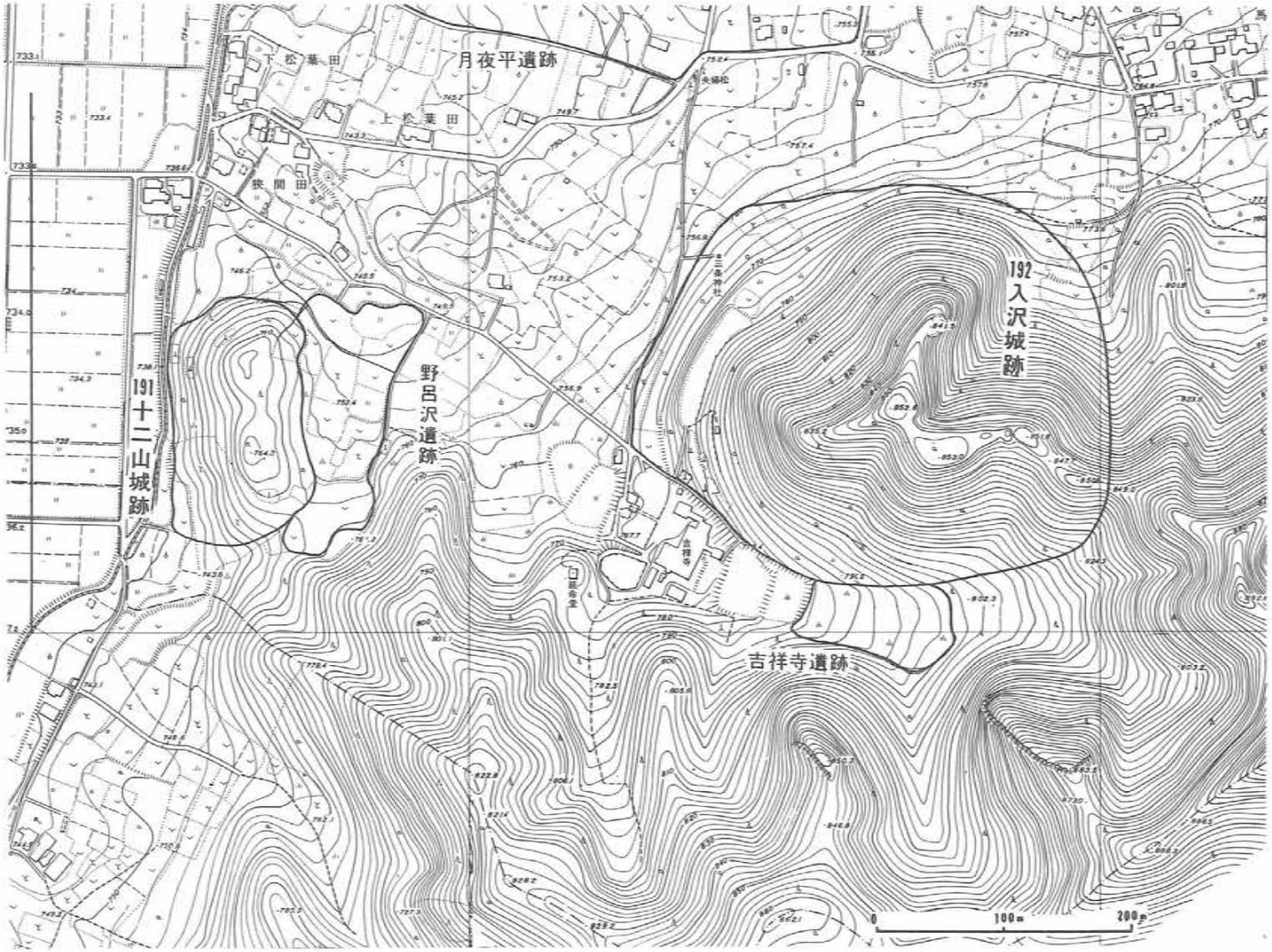
遺物		
	形状	連郭式、本郭、二の郭、堀切、土居
	既出遺物	石臼破片、唐銭

位置・地形・環境

谷川左岸にそってはり出した関東山系の支脈の最西端、853ｍの山頂に築かれた山城で、北方は谷川にそって入沢部落が所在し、北岸山麓には古墳群があり、地域の歴史は古代にさかのぼる。入沢城跡はこの入沢の谷の中央部にあって、西方山麓に月夜平の洪積台地をふまえ、その前面に十二山砦と磯部城の二つの支城があって、谷川の谷の入口部の南北に相対して千曲川ぞいの平野部からの侵入を防いでいた。本郭東方の尾根筋には三条の堀切を設け、二の郭の西方にも堀切がある。南方直下に曹洞宗吉祥寺があり、西方脚下には八幡社があり、やや北方にはなれて大宮諏訪神社がある。北東の山麓台地の馬寄地区には中世牧場址がある。応仁３年（1469）文明14年（1482）に入沢長助・長義が御符礼之古書に記され、また天文７年（1538）大井美作沙弥源昌が大井庄青沼郷八幡に寄進した鰐口が現存するから、城主は入沢氏、大井氏とかわり、天文９年武田信虎に攻略され、以後廃城となったものと思われる。

（入沢氏、大井氏）正慶２年北条時俊が住み入沢氏を名のると伝える。



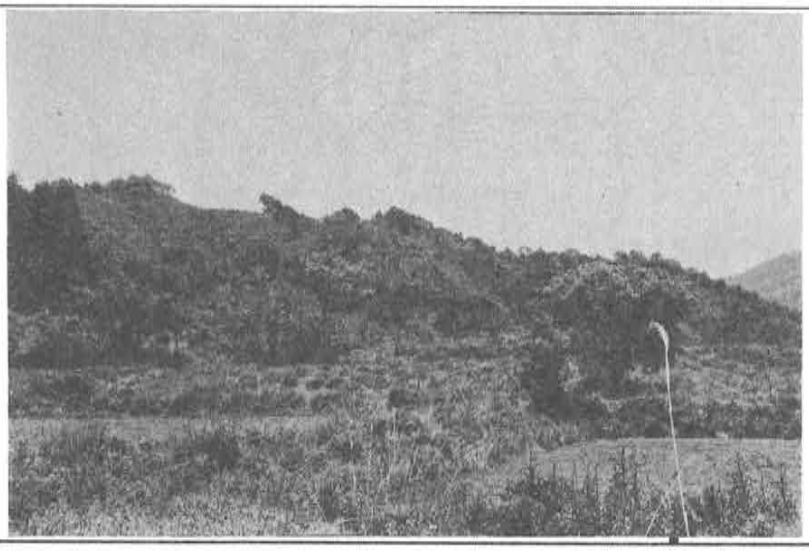

月夜平遺跡
下松葉田
上松葉田
鉄開田
191
十二山城跡
野呂沢遺跡
192
入沢城跡
吉祥寺遺跡
吉祥寺
0
100m
200m

遺跡番号	193	遺跡名	水石城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	入沢・水石
地目	山林	面積	単郭 70×50㎡	時代	～戦国	調査年月日	62年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	水石	2273	青沼財産区			
	十二窪					

遺物		
	形状	単郭
	既出遺物	天目茶碗・木碗・陶器片、

位置地形環境	
	谷川の上流、赤谷川と荷通川の合流点付近の右岸段丘上の東方からはりだした低い尾根の西方末端に築かれたものであるが、顕著な遺構は認められない。岩石の多い丘陵状の自然の地形を利用したものと思われる。付近より、天目茶碗の破片、陶器片、木の椀等が発見され、又付近に、ヤグラ山、墓地堂などの地名もあるが、城主等については不明である。（まぼろしの城と伝承されていたが、三石延雄氏が数十回の踏査により発見した城跡である。）



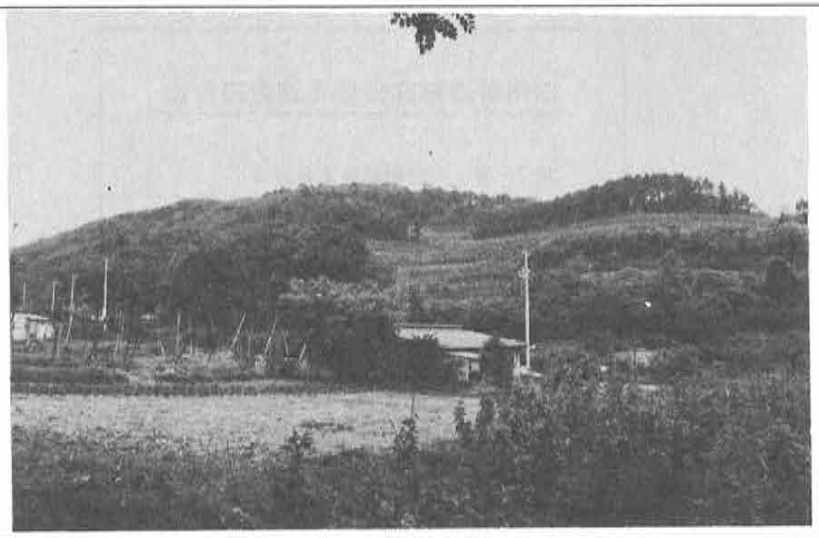
遺跡番号	194	遺跡名	上ノ城跡	遺跡の種類	包蔵地	部落名	臼田
地目	山林	面積	200×150	時代	～戦国	調査年月日	61年11月10日

所在地・土地所有者	字名	地番	氏名	字名	地番	氏名
	滝ノ沢		長野県			

遺物		
	形状	
	既出遺物	医王寺城の烽火台といわれる。

位置地形環境

佐久平南部片貝川左岸に西方から迫る北八ケ岳山麓台地の山頂に位置し、標高約870m、佐久平全域を一望におさめることができる。東方約750mこの山麓台地の先端に医王寺があり、この医王寺城（下の城）に対して上ノ城とよばれたが、ここには円墳が二つあるが、城の遺構として確認できるものはない。南佐久郡古城址調査では烽火台としている。



臼田町遺跡一覧表(1)

昭和63年３月30日現在

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
1	○		原田遺跡	臼田・原田	平地	(古～平)土師器					○	○		
2	○		蛇塚 〃	〃 法印塚 源吾庭	〃	(縄)打石斧 (弥)太形蛤刃石斧	(古～平)土師器		○	○	○	○		蛇塚、法印塚両遺跡を含む
3	○		美里在家 〃	〃 美里在家	〃	(縄)加曽利E式土器、石鏃、打石斧、凹石 (弥)栗林式土器、(古～平)土師器、須恵器			○	○	○	○		
4		○	滝ノ沢 〃	〃 水沼	〃		(平)土師器(高台、内黒)、灰釉					○		
5	○		荒谷 〃	〃 荒谷	山腹	(縄)打石斧	(平)土師器		○			○		
6		○	七曲り下 〃	〃 加護石	山麓		(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器			○	○	○		
7	○		平 〃	〃 平	山腹	(縄)石鏃、黒曜石片 (平)土師器、須恵器			○			○		
8	○		寺久保 〃	〃 庚申	〃	(縄)勝坂式土器、石鏃 (古)須恵器			○		○			
9	○		下ノ城 〃	〃 寺久保		(縄)打石斧 (弥)箱清水式土器	(古～平)土師器、須恵器		○	○	○	○		
10		○	台ヶ坂 〃	〃 台ヶ坂	〃		(縄)縄文土器、打石斧、黒曜石 (古～平)土師器		○		○	○		
11	○		反田 〃	〃 反田	平地	(縄)石鏃、凹石			○					
12	○		城下 〃	〃 城下	〃	(縄)加曽利E式土器			○					
13	○		横山 〃	〃 〃	扇状地	(縄)加曽利E式土器、石鏃、石匙、打石斧、磨石斧、黒曜石片、(弥)箱清水式土器、磨石鏃	(古～平)土師器		○	○	○	○		
14	○		城山 〃	〃 城山	〃	(縄)堀の内式土器	(古～平)土師器		○		○	○		
15	○		小山崎 〃	〃 小山崎	〃	(縄)石鏃			○					
16	○	○	小山 〃	〃 小山	〃	(古)須恵器	(縄)黒曜石片 (古～平)土師器、須恵器		○		○	○		旧前田遺跡を包含する。
17	○		丸山 〃	下小田切・勝間	〃	(縄)加曽利E式、同B式土器、石鏃、磨石斧、凹石、(弥)箱清水式土器(平)土師器、須恵器	(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器、須恵器、灰釉		○	○	○	○		
18	○		勝間原 〃	〃 勝間	〃	(縄)石鏃、堀の内式土器 (弥・後期)箱清水式土器(甕、壺、鉢、高坏他)	(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器、須恵器		○	○	○	○		昭和62年一部発掘調査(弥)箱清水式住居址２棟、溝１基検出
19	○		栗ノ木 〃	〃 栗ノ木	〃	(縄)石鏃 (弥)箱清水式土器・土製紡錘車	(縄)黒曜石片 (古～平)土師器		○	○	○	○		
20	○		日影 〃	〃 日影	丘陵	(古～平)土師器、土錘	(古～平)土師器				○	○		
21		○	見次 〃	〃 〃	〃		(古～平)土師器、須恵器				○	○		
22	○		家浦 〃	下小田切・家浦	扇状地	(縄)加曽利E式、同B式土器、石鏃、打石斧、磨石斧、石棒、(平)土師器	(古～平)土師器(内黒を含む)須恵器		○		○	○		
23		○	滝 〃	湯原・滝	山麓		(古～平)土師器				○	○		
24		○	和田 〃	〃 和田	〃		(縄)石鏃、黒曜石剝片 (古～平)土師器、須恵器、灰釉		○		○	○		

臼田町遺跡一覧表(2)

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
25	○		北側遺跡	湯原・北側	山麓	(縄)石鏃、打石斧、磨石斧、黒曜石片 (古～平)土師器、須恵器			○		○	○		
26		○	中島 〃	〃・中島	〃		(古～平)土師器(内面黒色を含む) 須恵器、勾玉				○	○		
27	○		向城 〃	中小田切・向城	〃	(縄)打石斧、磨石斧、曽利式土器	(縄)土器片 (古～平)土師器、須恵器		○		○	○		
28	○		上滝 〃	湯原・上滝	山麓	(縄)山形、格子目、楕円押型文土器、撚糸文土器、田戸下層式、茅山式、有尾式、加曽利E式土器、石鏃、石皿、(平)須恵器	(縄)土器 (古～平)土師器(内黒を含む)		○		○	○		
29		○	児玉・大平 〃	〃 児玉 大平	〃		(平)土師器(糸切底を含む)、灰釉					○		
30	○		ジンジロ 〃	〃 児玉	〃	(平)土師器						○		
31		○	山の神 〃	〃 山の神	山麓		(縄)石鏃 (平)土師器、灰釉		○			○		
32	○		梨子久保 〃	〃 梨子久保	〃	(縄)柱穴2、上原式、下島式土器、石匙、敲石、石皿、凹石			○					
33		○	五里久保 〃	〃 五里久保	〃		(弥)櫛描波状文 (平)土師器(内黒を含む)			○		○		
34		○	法城日向 〃	〃 法城日向	〃		(平)土師器、須恵器、灰釉					○		
35		○	居久保 〃	〃 居久保	〃		(平)土師器、須恵器					○		
36		○	細久保 〃	〃 細久保	〃		(平)土師器(内黒、糸切底)					○		
37		○	北川勝間 〃	北川・勝間	扇状地		(古～平)土師器、須恵器				○	○		
38		○	千曲台団地 〃	〃 原	山麓		(古～平)土師器				○	○		
39	○		広沢 〃	〃 広沢	丘陵	(縄)勝坂式土器 (弥)箱清水式土器	(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器、須恵器		○	○	○	○		
40		○	田島窪 〃	〃 田島	山麓		(縄)土器片、黒曜石片、打石斧 (平)土師器		○			○		
41	○		城影 〃	中小田切・城影	〃	(縄)有尾式、勝坂式、加曽E式土器、打石斧、磨石斧、凹石、(古～平)土師器、須恵器	(平)土師器・須恵器		○		○	○		
42	○		札場吉原 〃	〃 吉原	扇状地	(縄)磨石斧	(縄)曽利式土器、打石斧、磨石斧、石匙、黒曜石片、(古～平)土師器、須恵器		○		○	○		
43		○	南久保・居村 〃	〃南久保・居村	山麓		(平)土師器					○		
44	○		前久保 〃	上小田切・前久保	〃	(縄)加曽利E式、同B式土器、石鏃、打石斧、凹石、(平)土師器、須恵器			○			○		
45		○	広久保・桃の久保 〃	〃 広久保 桃の久保	〃		(平)土師器					○		
46	○		馬騎 〃	十二新田・馬騎	〃	(縄)打石斧	(平)土師器		○			○		
47		○	家浦 〃	上小田切・家浦	平地		(縄)中期後半土器、打石斧、石鏃、黒曜石、(平)土師器(内黒を含む)		○			○		
48	○	○	堂裏 〃	〃 堂裏 西の入	山麓	(縄)石鏃 (古～平)須恵器	(縄)土器片 (古～平)須恵器		○		○	○		

臼田町遺跡一覧表(3)

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
49	○		大門地遺跡	十二新田・大門地	山麓	(縄)堀ノ内式土器	(縄)花積下層式土器、石鏃、黒曜石 (平)土師器		○			○		旧東日向遺跡を含める
50		○	岩下洞窟 〃	〃 岩下	山腹		(平)土師器、埦形土器、動物の骨					○		
51		○	日向 〃	〃 日向	山麓		(縄)堀ノ内式土器		○					
52		○	岩下 〃	〃 岩下	〃		(縄)石鏃、黒曜石 (平)土師器		○			○		
53	○		十二新田寺久保 〃	〃 寺久保	〃	(縄)加曽利E土器、打石斧 (古～平)土師器、須恵器	(中)内耳土器片		○		○	○	○	
54		○	樋口 〃	〃 樋口	山麓		(古～平)土師器、須恵器				○	○		
55	○		大近 〃	〃 大近	〃	(平)土師器	(縄)黒曜石片 (平)土師器		○			○		
56		○	梨子木 〃	〃 梨子木	〃		(縄)中期後半土器、黒曜石片、チャート剥片 (古～平)土師器(糸切、内黒)、須恵器、灰釉		○		○	○		
57		○	転石 〃	〃 転石	〃		(平)土師器(ロクロ使用痕)					○		
58		○	金ヶ崎 〃	〃 金ヶ崎	〃		(縄)繊維入土器、黒曜石片、石鏃 (平)土師器(内黒、高台)、須恵器		○			○		
59	○		観音平 〃	〃 本久保	〃	(縄)黒曜石片	(縄)楕円押型文、繊維入尖底部片、中期土器、打石斧、石鏃、黒曜石片		○					
60		○	葭ヶ久保 〃	〃 葭ヶ久保	〃		(縄)繊維入土器 (古～平)須恵器		○		○	○		
61		○	町屋形 〃	〃 町屋形	〃		(縄)石匙、石鏃 (平)土師器(内黒を含む)		○			○		
62		○	坂さ帰り 〃	〃 坂さ帰り	〃		(縄)土器片、石鏃 (平)土師器(内黒、暗文)、灰釉		○			○		
63	○		大岩穴洞窟 〃	〃 大岩穴	〃	(平)土師器、鹿角片						○		
64	○		大平入口 〃	〃 大平	山腹	(縄)黒浜式土器			○					
65		○	大曲 〃	十二新田・大曲	山腹		(先)黒曜石(石核)	○						
66	○		離山 〃	上中込・離山	台地	(弥)箱清水式土器、銅釧	(縄)黒曜石、(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器		○	○	○	○		
67		○	中反田 〃	大奈良・中反田	平地	(古～平)土師器					○	○		堀内重雄氏開田のとき多数出土という
68	○		大奈良 〃	大奈良・大奈良金石他	微高地	(縄)勝坂式、加曽利E式土器、打石斧、磨石斧、石棒、石皿、多孔石、石鏃、(弥)箱清水式土器(平)土師器	(縄)打石斧(弥)箱清水式(高坏) (古～平)須恵器、鬼高式(甕、瓦泉)		○	○	○	○		
69		○	原 〃	原・幸神・切合外九間・中原他	〃	(弥)後期土器 (古)須恵器	(弥)箱清水式土器、 (古～平)土師器、須恵器			○	○	○		
70		○	山崎 〃	大奈良・山崎	〃	(古)金環	(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器、須恵器			○	○	○		
71		○	脇白山 〃	〃 脇	丘陵		(縄)石匙1、黒曜石、打石斧(弥)箱清水式土器(古～平)住居址落込み、土師器、須恵器		○	○	○	○		
72	○		芝添 〃	清川・芝添	平地	(縄)石囲炉、加曽利E式土器、深鉢完形	(縄)中期藤内式土器		○					

臼田町遺跡一覧表(4)

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
73		○	清川遺跡	清川部落内	山麓		(縄)多孔石、小形石皿 (平)土師器(糸切底)、須恵器、灰釉		○			○		
74		○	はかせ久保 〃	清川・はかせ久保	山麓		(平)土師器2					○		
75		○	金原 〃	〃 金原入	山麓		(弥)箱清水式土器1 (平)土師器(内黒を含む)20			○		○		
76		○	清川入 〃	〃 清川入	〃		(弥)箱清水式土器 (古～平)土師器			○	○	○		
77		○	吉沢堤下 〃	〃 吉沢堤下	山麓		(古～平)土師器、須恵器				○	○		
78	○		明法寺 〃	下町・明法寺	山麓	(弥)箱清水式土器	(縄)分胴形石斧1 (古～平)土師器1、須恵器1		○	○	○	○		
79	○		割塚 〃	〃 割塚	平地	(弥)太型蛤刃石斧	(古～平)土師器、須恵器			○	○	○		
80	○		五庵 〃	〃 五庵	〃	(縄)打石斧 (古～平)須恵器			○		○	○		
81	○	○	神原道場 〃	下町・中町・下神原・道場	〃	(縄)打石斧(弥)箱清水式土器 (平)土師器、須恵器	(古～平)土師器5、須恵器1		○	○	○	○		道場を含める
82	○		英田地畑 〃	宮代・英田地畑	山麓	(平)須恵器	(古～平)土師器2 (中)刀2				○	○	○	
83	○	○	宮東 〃	〃 宮東	台地	(縄)凹石	(古～平)土師器8(甕、高台付坏)、須恵器2、(中)茶臼		○		○	○	○	東方の段丘上を含め「宮東」とする。
84		○	大工原 〃	〃 上ノ平	〃		(古～平)土師器1、須恵器1				○	○		
85	○		山口 〃	河原宿・岩渕 山口	山麓	(縄)加曽利B式土器、凹石 (古～平)須恵器	(縄)黒曜石 (古～平)土師器3		○		○	○		「山口沢」を「山口」と改める
86		○	明躰 〃	宮代・明躰	〃		(古～平)土師器(甕胴部)				○	○		
87		○	日向大工原 〃	〃 日向大工原	〃		(古～平)土師器1、須恵器1				○	○		
88	○		芦内岩陰 〃	清川・高戸ヤ	〃	(縄)洞窟形岩陰、木島式、関山式、黒浜式、諸磯A式土器、石鏃、石匙、小形掻器、礫器、シカ骨、敲石、磨石、凹石、(弥)後期土器			○	○				
89		○	芦内 〃	〃 芦内	〃		(縄)黒曜石10		○					
90		○	丸山下 〃	丸山・東大工原	平地		(古～平)土師器				○	○		
91		○	丸山上 〃	〃丸山・四ノ久保	山麓		(古～平)土師器4、須恵器1				○	○		
92		○	影丸山 〃	〃田ノ上・水落	〃		(平)土師器3					○		
93		○	程久保 〃	〃 程久保	〃		(縄)黒曜石		○					
94		○	栗平 〃	〃 栗平	〃		(縄)大型打石斧1		○					
95		○	大からさわ 〃	〃 からさわ	〃		(縄)前期土器2、横刃型石器2		○					
96		○	広川原 〃	広川原・広川原	〃		(平)土師器30(内黒、糸切底含)、須恵器					○		

臼田町遺跡一覧表(5)

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
97		○	西塚田遺跡	三分・西塚田	平地	(古～平)須恵器10(圃場整備中に出土)	(古～平)土師器2				○	○		
98	○		田中〃	〃 中川原	平地	(弥)栗林式、箱清水式土器、石包丁、太形蛤刃石斧	(縄)打石斧 (古～平)土師器、須恵器		○	○	○	○		
99	○		戸井口〃	〃 上川原 下川原	〃	(縄)打石斧、凹石 (古～平)須恵器			○		○	○		
100	○		井上〃	〃 上の田	〃	(縄)前期土器、掘の内式土器、石鏃、石匙、打石斧、横刃型石器、(弥)、土器(古)竪穴住居址4、溝1、土壙4、和泉式、鬼高式土器(平)須恵器、土師器他			○	○	○	○		昭和48年発掘臼田町教委所蔵 臼田町文化センターで展示
101	○		遍照寺〃	〃 寺久保	山麓	(縄)打石斧 (弥)箱清水式土器	(中)土師質土器3		○	○			○	
102	○	○	荒巻〃	〃 新巻 薬鉢田	平地	(弥)箱清水式土器 (中)内耳土器・陶器	(弥)箱清水式土器、(古～平)土師器			○	○	○	○	薬鉢田を含め「新巻」遺跡とする
103	○		小山沢〃	〃 小山沢	山麓	(縄)石鏃			○					
104		○	三分〃	〃 塚畑・谷地 芝宮・北手塚	台地		(縄)中期土器・打石斧 (古～平)須恵器、土師器		○		○	○		
105		○	山際〃	入沢・山際	山麓	(古)山際1号墳を含む	(弥)後期土器、(平)土師器、須恵器、灰釉、土錘、(中)陶器			○	○	○	○	
106		○	和田前〃	〃 池ノ端 和田前	山麓 平地	(古)山際3号墳を含む	(古～平)土師器				○	○		
107		○	権現通〃	〃 中権現 細久保	山麓	(縄)打石斧 (平)土錘大1	(古～平)土師器、須恵器、灰釉、土錘大2、		○		○	○		
108		○	五霊西・湯殿入〃	〃五霊西・湯殿入 後田・中村	山麓	(縄)石剣、打石斧、(弥)後期土器 (古)鬼高式(甕、高杯、蓋、土製勾玉)	(縄)石鏃、打石斧、(古～平)土師器、須恵器、灰釉、(中)陶器		○	○	○	○	○	
109		○	下海戸・山の前〃	〃宮林、下海戸、 上海戸・山の前	〃	(縄)後期土器、打石斧、横刃形石器 (古～平)土師器	(弥)箱清水式土器10		○	○	○	○		
110	○		月通沢・水石〃	〃月通沢・水石	〃	(先)ナイフ形石器、翼状剥片、石核(縄)打石斧、黒曜石(平)土師器、須恵器、灰釉、(大原2号窯10世紀後半)、土鈴	(弥)箱清水式土器 (中)天目破片	○	○	○		○	○	
111		○	西墓地堂〃	〃 西墓地堂	〃		(平)土師器					○		
112		○	東墓地堂〃	〃 東墓地堂	〃		(縄)後期土器、(平)土師器、須恵器		○			○		
113		○	荻の入〃	〃 荻の入	〃		(平)土師器(内黒)					○		
114	○		一つ石岩陰〃	赤谷・天狗岩	〃	(縄)中期五領ヶ台式土器、後期土器、(弥)箱清水式土器、(平)土師器、須恵器、(中)内耳土器	(平)土師器2		○	○		○	○	
115		○	滝日陰〃	〃 〃	山腹		(縄)黒浜式土器 (弥)箱清水式土器		○	○				
116		○	大岩の滝岩陰〃	〃大岩の滝の上	〃		(平)土師器(内黒)					○		
117		○	赤谷〃	〃 大深山	〃		(平)土師器3					○		
118		○	堂平〃	〃 堂平	山麓		(縄)横刃型石器		○					
119		○	臼窪〃	入沢 日向臼窪 田窪	山腹		(弥)箱清水式土器 (平)土師器			○		○		
120		○	藤原〃	〃 藤原出口	〃		(弥)箱清水式土器 (平)土師器、須恵器			○		○		

臼田町遺跡一覧表(6)

番号	発見		遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物		時代						備考
	旧	新				既出	表面採集・新発見の既出遺物	先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	
121	○		馬寄・六角堂遺跡	入沢 馬寄・牧平 六角堂	山麓	(縄)土壙、中期土器(魚形陰刻土器)、横刃形石器、石鏃、凹石、打石斧、(中)野馬除土居と溜、鉄鏃	(縄)有孔環状石器		○				○	
122	○		月夜平 〃	〃 月夜平・原	丘陵	(縄)諸磯A式、下島式、加曽利E式、加曽利B式、堀の内式土器、石鏃、打石斧、磨石斧、石錐、石皿、凹石、石剣、石棒、石刀、多孔石、土偶、滑車形耳飾、土製蓋(弥)箱清水式土器(平)須恵器	(縄)黒曜石、(古～平)土師器・須恵器・灰釉(中)陶器		○	○	○	○	○	昭和32年発掘調査 青沼史料館所蔵
123	○		吉祥寺遺跡	〃 諏訪の入	山麓	(平)土師器、須恵器、灰釉(中)内耳土器、土師質土器、陶器						○	○	寺久保遺跡を改称
124		○	野呂沢 〃	〃 野呂沢	〃		(中)土師質土器2、陶器1						○	
125		○	観正田 〃	三条・観正田	平地		(平)土師器、(中)土師質土器1					○	○	
126		○	南裏 〃	〃 浜茄子	〃		(平)土師器					○		
127		○	東荒谷 〃	十日町・東荒谷	〃		(縄)打石斧1 (平)土師器1		○			○		
128		○	十日町 〃	〃 上長池	平地	(中)永享12年六地蔵幢(重文)	(中)中世陶器片1						○	
129		○	唐松A 〃	岩水・唐松	丘陵	(縄)石鏃、黒曜石	(縄)黒曜石1、土器、		○					
130		○	唐松B 〃	〃 〃	〃		(縄)後期土器 (平)須恵器1 (中)土師質土器5		○			○	○	
131		○	境塚古墳	臼田・善阿弥	〃		円墳・横穴 墳丘径10m 高2m				○			
132	○		蛇塚 〃	〃 蛇塚	平地	円墳・横穴 径10m 高2.5m 玄室(長4.8m 巾3.0 高 0.95) 羨道長1.9m	蕨手刀、刀子、鉄鏃、鎌、骨、須恵器(奈良)、				○			昭和60年清掃調査
133		○	滝ノ沢 〃	〃 滝ノ沢	尾根		円墳、竪穴式 墳丘径16m 高さ3m (縄)土器1、(古)土師器1				○			
134	○		滝ノ沢経塚	〃 滝ノ沢	尾根	(中)土石混合塚(径12、高2)							○	
135	○		離山1号古墳	上中込・離山	山腹						○			現在人参畑痕跡なし
136	○		〃 2号 〃	〃 〃	〃	円墳、横穴、玄室2.2×1.9m、羨道長300×130cm、天井石270×120cm	金環2				○			南斜面、青木家の下
137	○		〃 3号 〃	〃 〃	山麓	円墳、横穴、墳丘径6m、高2m					○			北斜面下、有賀秀雄氏屋敷地
138		○	清川入 〃	清川・清川入	山腹		円墳、横穴、玄室巾100cm、天井石170×110cm				○			千野氏墓地
139		○	山崎 〃	大奈良・山崎	平地	円墳、横穴、墳丘10m×5m、高0.5mの残存	勾玉				○			新海神社地
140	○		幸神1号 〃	原・幸神	平地	円墳・横穴、墳丘径12m、周囲36.5m、高3.5m、玄室3.6×3.2m、天井石2.3×2.2m、羨道長2.8m、羨門3.9m、須恵大甕破片					○			新海神社地
141	○		〃 2号 〃	〃 〃	〃	円墳、横穴、墳丘6m×9m、玄室2.4×2.2m、羨道2.6×1.2m、天井石2.5×2.3m					○			〃
142	○		〃 3号 〃	〃 〃	〃						○			柳沢悦雄氏土蔵の東側に僅に残る。新海神社地
143	○		〃 4号 〃	〃 〃	〃	円墳・横穴(径6m、周囲18m、天井石僅か残る)					○			新海神社他
144		○	〃 5号 〃	〃 〃	平地	4号墳の西北方、畑の中に土石を盛り上げてある。従来やっくらとされていた。	墳丘径東西6.5m、南北5m、高さ2m				○			

臼田町遺跡一覧表(7)

番号	発見 旧	発見 新	遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物・規模・状況		時代 先土器	縄文	弥生	古墳	平安	備考
145		○	幸神6号古墳	原幸神	平地	1号古墳西方の畑の中に土石を盛り上げたやっくらとされていた。	墳丘径東西7m、南北5m、高2m				○		
146	○		外九間1号〃	〃外九間	平地	円墳・横穴、墳丘径12m、高さ3m、玄室1.7×2m、羨道2.8×1.5m					○		新海神社地
147	○		〃 2号〃	〃 〃	〃	円墳・横穴、墳丘5m×6m、周囲24m、高さ1m					○		〃
148	○		〃 3号〃	〃 〃	〃	円墳・横穴、墳丘径6m、高さ1.4m					○		古墳か、やっくらか判別困難
149	○		中原1号〃	〃中原	〃	円墳・横穴、墳丘10m、周囲36m、玄室2.2×3m、羨道2m×1m					○		新海神社地
150	○		〃 2号〃	〃 〃	〃	円墳・横穴、墳丘径11m、周囲30m、高3m					○		
151	○		〃 3号〃	〃中原	〃	昭和41年新興製作所設立の際とりこわし、建物敷地とされた、天井石は当時の耕作者三分の向田直二氏宅に移され、出土品は、新海神社宝庫にある。					○		新海神社地
152	○		割塚〃	下町・割塚	〃	円墳・横穴、玄室1.2×1.8m					○		
153	○		明法寺〃	〃明法寺	〃	円墳・横穴、墳丘径5.5m、玄室2.4×2.4m、天井石2.4×1.9m					○		
154	○		五庵〃	〃五庵	〃	円墳・横穴、高さ2m、玄室2.5×3.5m					○		
155	○		英田地畑〃	宮代・英田地畑	山麓	円墳・横穴(長2.0、巾1.0m)	蕨手刀1、直刀1、鉄鏃10、銅製品4、三輪玉2、土師器、須恵器				○		昭40年発掘調査現在畑地化す
156		○	新海神社西御陵古墳	〃 〃	〃	円墳・横穴、墳丘高2m、玄室2.1×1.3m					○		新海神社地
157	○		新海神社中御陵〃	〃宮の沢	〃	円墳・横穴、墳丘径8m、高2.5m、玄室2.4×1.6m、羨道2×1.3m					○		〃
158	○		新海神社東御陵〃	〃 〃	〃	円墳・横穴、墳丘径7m、高2m、玄室2×1.8m					○		〃
159	○		上宮代1号〃	〃上宮代	平地	円墳、墳丘径10m、高2m					○		観察では古墳か判定困難
160	○		〃 2号〃	〃 〃	〃	現在は五輪塔が置かれているだけで、取りこわされてしまった					○		
161	○		山際1号〃	入沢・山際	山麓	わずかに側壁の一部を残し、石祠をまつっている。勾玉2	円墳・横穴、玄室2.4×2.1m				○		
162	○		〃 2号〃	〃上大深	〃	石室は青沼小学校庭に移転保存 勾玉4	円墳・横穴、玄室1.7×2.2m				○		
163	○		〃 3号〃	〃 〃	〃	天井石奥壁の一部が田口用水ぞいの道の土手にのぞいている	円墳・横穴、玄室1.5×2.2m				○		
164	○		月夜平4号〃	〃月夜平	丘陵	石室露出、周囲は篠やぶに覆われている天井石は北方にずり落ちている	円墳・横穴 墳丘高1.5m、周囲巾西4m、南北10m、玄室2×1.8m、天井石長2m				○		
165	○		権現通5号〃	〃中権現	山腹	奥壁と側壁の一部を存し天井石はずり落ちている	円墳・横穴 玄室1.6×1.6m、天井石2.1×1.7m				○		
166	○		〃 6号〃	〃 〃	〃	奥壁は斜面にわずかに露われる。天井石もずれ落ちて埋まっている。	円墳・横穴 奥壁巾170cm、天井石2.2×1.8m				○		
167	○		〃 7号〃	〃遠見場	〃	奥壁が残り右側壁は内に倒れ天井石は落ちている。	円墳・横穴 玄室1.5×1.3m、天井石長180cm				○		
168	○		五霊西8号〃	〃五霊西	〃	階段状の畑の畦の斜面に奥壁と側壁の一部が残存している。	円墳・横穴 玄室3.1×2.4m				○		

臼田町遺跡一覧表(8)

番号	発見 旧	発見 新	遺跡名	所在地	立地	遺構・遺物・規模・状況		時代 先土器	縄文	弥生	古墳	平安	中世	備考
169	○		五霊西９号古　墳	〃　五霊西	〃	山腹東南斜面畑の階段状斜面に奥壁、側壁がわずかに残存している。	円墳・横穴　側壁長さ120㎝、130㎝の石２枚				○			
170	○		〃　10号　〃	入　沢　〃	〃	昭和50年頃農耕のため石室を撤去する	円墳・横穴				○			
171	○		〃　11号　〃	〃　〃	〃	山腹斜面畑の階段状畦の端に羨門石が残っている					○			
172	○		〃　12号　〃	〃　〃	〃	鈎帯具、鉄鏃、火葬骨、刀子、土師器、須恵器、歯他	円墳・横穴　墳丘径10m、高２m、玄室２×2.3m、羨道1.7×１m				○	○		昭和61年発掘調査をして道路敷となる。
173	○		湯殿入13号　〃	〃　湯殿入	山　麓	山麓緩斜面の畑の中にあり、天井石と側壁の一部が残るが形状は不明	円墳・横穴　天井石横巾170㎝、縦150㎝				○			
174	○		天神平14号　〃	〃　天神平	山　腹	山麓斜面の林の中にある。天井石は失なわれているが奥壁と羨門がみられる。	円墳・横穴　玄室推定250×180㎝、墳丘径５m、高1.5m				○			
175	○		〃　15号　〃	〃　〃	〃	山腹斜面の林の中にある。墳丘が残存し葺石らしいものがみられる。	円墳・横穴　墳丘径７m、高３m				○			
176		○	〃　16号　〃	〃　〃	〃	16号墳の東にある。石室の石はすべて除かれ凹みとなり、墳丘わずかに残る	円墳・横穴　墳丘径10m、高３m				○			
177	○		〃　17号　〃	〃　宮　林	〃	山麓斜面の林の中にあり、奥壁と側壁の一部羨門石わずかに残る。	円墳・横穴　墳丘径10m、高３m　玄室1.2×1.9m				○			
178	○		一万窪18号　〃	〃　一万窪	山　麓	山麓斜面の畑の畔にあり、石室を農具舎とし、上屋を造ってある。直刀１、鉄鏃１	円墳・横穴　玄室3.1×２m				○			
179	○		西の窪19号　〃	〃　西の窪	〃	山麓斜面の山林内にある。横穴式石室露出し、墳丘わずかに残る。	円墳・横穴　玄室2.3×1.7m　羨道1.9×１m				○			
180		○	舟久保20号　〃	岩水・舟久保	山　腹	山麓斜面の畑の中にあり、階段状畔土手に奥壁と側壁の一部が残存している。	円墳・横穴　玄室２×1.3m				○			

臼田町遺跡一覧表(9)

番号	発見 旧	発見 新	遺跡名	所在地	立地	現況	規模 m×m 形状	残存情況	存続期間（推定伝承）	築・在城者（推定・伝承）	文献	地名	遺構 遺物 絵図	備考
181	○		医王寺城跡	臼田・臼田	丘陵	山林 耕作地	180×80 連郭	やや不良	～（戦国）	（村上氏）（井出氏）	南佐久郡志、信陽雑誌 南佐久郡古城址調査	美里在家、寺久保 加護石	石臼・古銭	別称下ノ城、西方山城、経塚付近を上ノ城とよぶ
182	○		稲荷山 〃	〃 勝間	台地	山林、耕地、宅地、寺社境内	370×250 連郭	不良	～（安土桃山）	（武田氏）（徳川氏）	千曲之真砂、南佐久郡古城址調査「編年集成」「芦田記」	肥前曲輪、千人詰、田古屋、城下、城山		「勝間反砦」天正10年徳川軍が甲州より侵入前進基地とし、松平家忠が修築
183	○		湯原 〃	湯原	丘陵	山林	150×150 連郭	良	～（戦国）	（湯原氏）（依田氏）	南佐久郡古城北調査 南佐久郡志	将監在家	弘治三年依田長繁銘の鰐口、五輪塔、	相木氏一族が拠ったものか
184	○		向城 〃	中小田切	〃	山林 耕地	100×100 単郭	やや不良	（戦国）	（武田氏）	南佐久郡古城址調査	蓮華寺窪	五輪塔	雁峰城攻略に武田信玄が築いたと伝える。
185	○		上小田切 〃	上小田切	山頂	山林	50×40 単郭	やや不良	（戦国）	（依田氏）	南佐久郡古城址調査 南佐久郡志	しょうもんぜいけの坂、古城、古地		東南面山腹に普門寺跡がある。
186	○		雁峰 〃	中小田切	丘陵	山林 耕作地	380×300 連郭	やや不良	～（戦国）	（小田切氏）（草間氏）	南佐久郡古城址調査 南佐久郡志、千曲之真砂	城影、居村、小屋久保		村上氏被官小田切氏の築城と伝える。一名草間城
187	○		田口 〃	田口・城山	〃	山林 耕作地	750×200 連郭	やや不良	～（戦国）	（田口氏）（相木(依田)氏）	南佐久郡古城址調査「妙法寺記」「依田記」		古臼破片 焼米	麓に蓍松院、新海三社神社等城に関する寺社がある。
188	○		龍岡 〃	下町龍岡	平地	寺社境内 小学校	160×160 五稜郭	やや不良	近世末	（松平乗謨）	南佐久郡古城址調査 大給亀崖公伝		藩印、そろばん 陣屋日記他	国史跡、文久３年着工、慶応２年完成の西洋式城郭
189	○		岩崎砦 〃	三分	丘陵	山林	250×100 単郭	良	～（戦国）		千曲之真砂「編年集成」			天正10年、山全体が徳川軍により利用されたと考えられる。
190	○		磯部 〃	入沢・磯部	〃	山林	200×80 単郭	やや不良	～（戦国）					入沢城の支城か
191		○	十二山 〃	入沢・十二山	〃	山林 墓地	200×100 単郭	やや不良	～（戦国）					入沢城の支城か
192	○		入沢 〃	入沢	山頂	山林	300×200 連郭	良	（鎌倉）～（戦国）	（入沢氏）（大井氏）	南佐久郡古城址調査「向岳禅庵小年代記」	北小屋、馬寄、天白、寺久保、かじ久保	石臼破片、唐銭	正慶２年北条時俊が住み入沢氏を名乗ると伝える。
193	○		水石 〃	入沢・水石	〃	山林	70×50 単郭	良	～（戦国）			十二久保、墓地堂（はかっと）、やぐら山	天目茶埦、木埦陶器片	
194	○		上ノ城 〃	臼田・臼田	〃	山林	200×150				南佐久郡古城址調査			医王寺城の烽火台といわれる。

臼田町全図

日田町
南牧村
佐久良町
大肥向
凡　例

八郡
馬越
平代里
本間
中央
天神町
清水町
崎由
花岡
旭
筆岩
967.2
896
882
875.7
901.8
935
926
845
848
802
850
900
950
1000
1100
1200
1250
1300
1350
1400
1450
1500
1550
1600
1650
1700
1750
1800
1850
1900
1950
2000
2050
2100
2150
2200
2250
2300
2350
2400
2450
2500
2550
2600
2650
2700
2750
2800
2850
2900
2950
3000
3050
3100
3150

編　年　表

実年代	約30,000年前	20,000	10,000	9,000	8,000	6,000	4,000	3,000	2,000	1,700	1,300	1,200	800	600	400
時代	先土器（旧石器）時代	縄文時代							弥生時代		古墳時代			古代		中世		近世
		草創期	早期		前期	中期		後期	晩期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	奈良	平安	鎌倉	室町	江戸
編年（中部）	石子原 杉久保ＡＩ 茶臼山 男女倉Ｂ 小坂 上ゲ屋 神子柴 矢出川	石小屋　隆起線文系土器群 曽根　爪形文〃 石小屋　押圧縄文〃 増野川子石　回転縄文〃	立野 樋沢 細久保 塞の神	中越 神ノ木 有尾 南大原 上原 下島 篭畑	九兵衛尾根　梨久保 藤内　新道 井戸尻Ｉ・II　貉沢 〃　III 曽利Ｉ・II 〃　III 〃　IV 〃　V	+	+	大洞Ｂ 〃　ＢＣ 大洞Ｃ1・佐野Ｉ 〃　Ｃ2　〃　II 〃　Ａ　氷Ｉ 〃　II	〈東北信〉 〈南信〉 林里	〈東北信〉 新諏訪 + 栗林 百瀬 〈南信〉 庄の畑 阿島 北原 恒川	〈東北信〉 吉田 箱清水 〈南信〉 座光寺原 中島	+	+	+	+	+	土師質土器 内耳土器		
編年（関東）	中山谷Ｘ 西之台Ｘ 茂呂 前原Ⅳ上 仙川Ⅲ 月見野Ⅳ上		井草 大丸 夏島 稲荷台 大浦山 平坂 三戸 田戸下層 〃　上層 子母口 野島 鵜ケ島台 茅山上・下層	花積下層 関山 黒浜 諸磯Ａ 〃　Ｂ 〃　Ｃ 十三菩提	五領ケ台 勝坂Ｉ　阿玉台Ｉ 〃　II　〃　II 〃　III　〃　III 加曽利ＥＩ 〃　II 〃　III 〃　IV	称名寺 堀ノ内　Ｉ 〃　II 加曽利ＢＩ 〃　II 曽谷 安行　Ｉ 〃　II			〈尾張〉 貝殻山 西志賀 〈三河〉 〈樫王〉 水神平	〈尾張〉 朝日 貝田町 外土居 長床 〈三河〉 統水神平 瓜郷 下長山 長床	〈尾張〉 寄道 欠山	五領	和泉	鬼高	真間	国分	中世陶磁器		近世陶磁器
編年	川上、三沢　ナイフ形石器 槍先形尖頭器 掻器　石錐　削器　彫器　川上、柏垂 細石刃 野辺山、矢出川　細石核	北相木、栃原岩陰 北相木、栃原岩陰	北相木、栃原岩陰	白田三分、井上 佐久町　後平	佐久町　後平	川上　大深山	南牧、中ノ沢 佐久町、後平	南牧村、中ノ沢	白田入沢、月夜平	白田、勝間原	佐久市　今井西原	白田三分、井上	白田三分、井上	佐久市、若宮	白田入沢、五霊西 八千穂 川上、切草 川上、大海道	佐久市、大井城		

参考文献「長野県史 考古資料編」より

正　誤　表

誠に申し訳ありませんが一部に誤りがありましたので訂正してご利用ください。

ページ	正	誤
２９所有者　2行目	土 屋 志つ子	土 屋 しず子
４４　〃　右欄１〃	元 木 典 雄	元 木 豊 雄
６０　〃　５〃	油 井 岸太郎	油 井 孝太郎
１４９字名　右欄	715から尼入海道	厄入海道
１４９位置　１〃	諏訪神社	訪諏神社
１５９所有地　１〃	荒神出口２２１４	月通沢２２１４
１５９所有者　２〃	荒神口2216友野好勝	〃　2216伴野好勝
１５９所有地　３〃	月通沢2225とする	空　白
１５９所有者　４〃	三 石 志 う	三 石 む ら
161位置3行目.5ページ本文一段102	荒巻遺跡	新巻遺跡
１６２　図１１３	荻の入遺跡	萩の入遺跡
１６５　位置　2行目	烏帽子状	鳥帽子状
１７５　〃　７〃	日 向 猪一郎	日 向 新一郎
１７９　〃　１〃	新 津 真 澄	新 津 真 治
２０３　〃　２〃	封 土	封 士
２１５　〃　４〃	由 池	吉 池
２１６　〃　１〃	井 出　舜	井 出　瞬
２３９既出遺物欄１〃	前進基地	前進墓地

臼田町遺跡詳細分布調査報告書

発 行 日　昭和63年 6 月25日
編 集 者　臼田町遺跡詳細分布調査団
発 行 者　臼田町教育委員会
印 刷 所　臼田活版株式会社